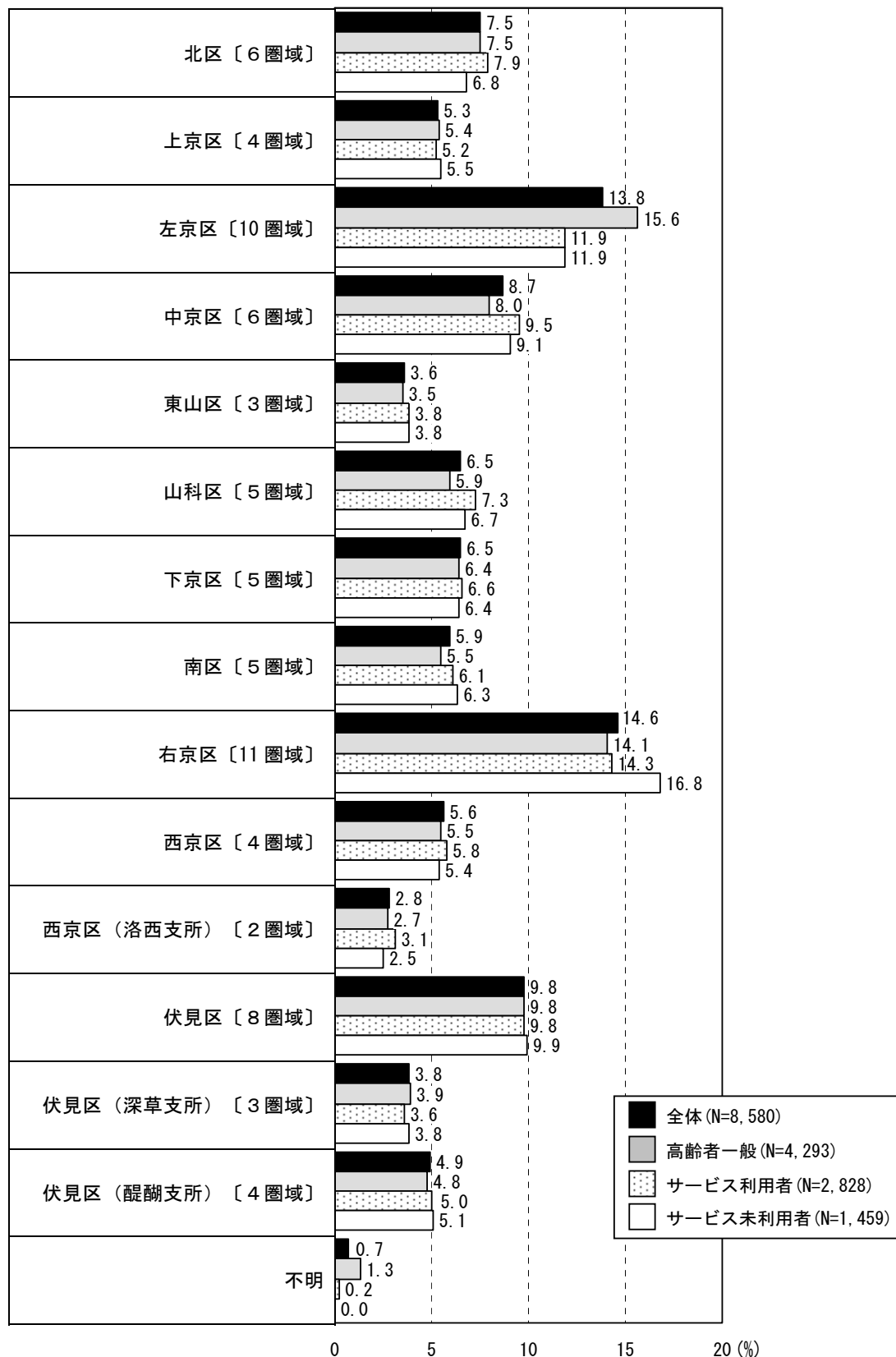


第2章 高齢者調査の結果

1 回答者の基本属性

(1) 回答者の属する行政区・支所

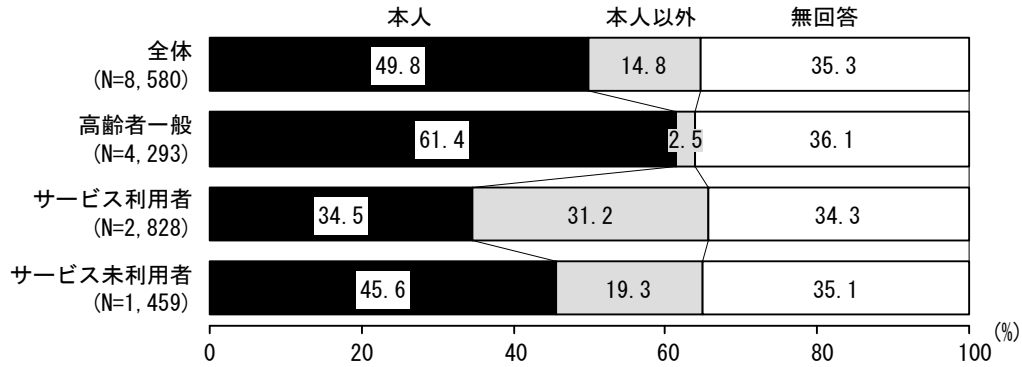
回答者は全体で、日常生活圏域数の多い「右京区」「左京区」が高くなっています。すべての調査（「高齢者一般」「サービス利用者」「サービス未利用者」の各調査。以下同じ。）で傾向に大きな差は見られません。



(2) 調査票記入者

Q 調査票を記入された方をお教えてください。〈あてはまる方に○を付けてください。〉

調査票の記入者は、全体で「本人」が49.8%、「本人以外」が14.8%となっています。すべての調査で「本人」が「本人以外」よりも高く、高齢者一般が61.4%で最も高くなっています。



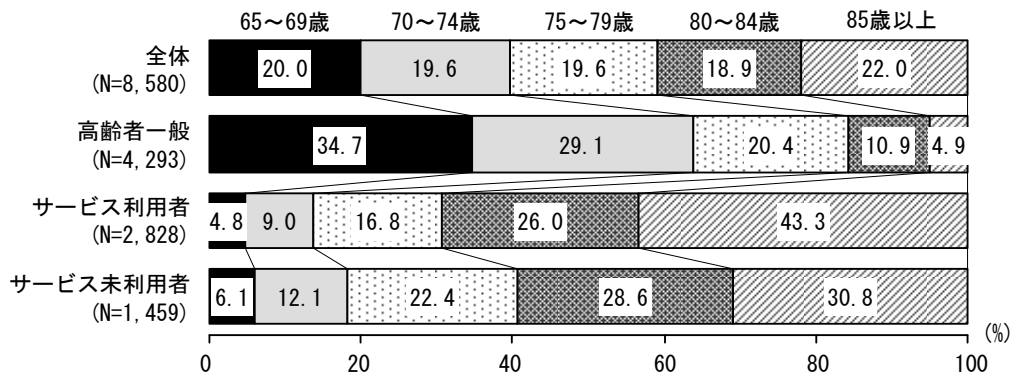
(3) 年齢

問1 Q1. あなた（あて名のご本人。以下の問も同じです）の年齢をお教えてください。〈○は1つ〉

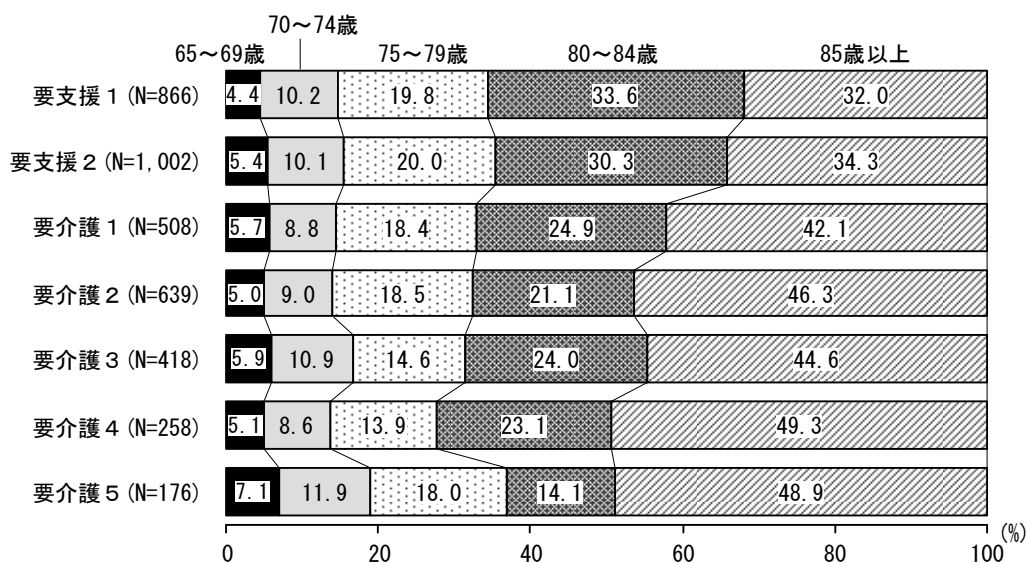
回答者の年齢は、全体で各年齢層ともに20%程度となっています。

高齢者一般においては、「65～69歳」と「70～74歳」を合わせて60%以上と、低年齢層の割合が高くなっています。サービス利用者・サービス未利用者は、いずれも「80～84歳」と「85歳以上」を合わせて50%以上と、高年齢層の割合が高くなっています。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、いずれの要介護度も80歳以上の割合が高く、「85歳以上」は概ね要介護度が重度になるほど割合が高くなる傾向が見られます。



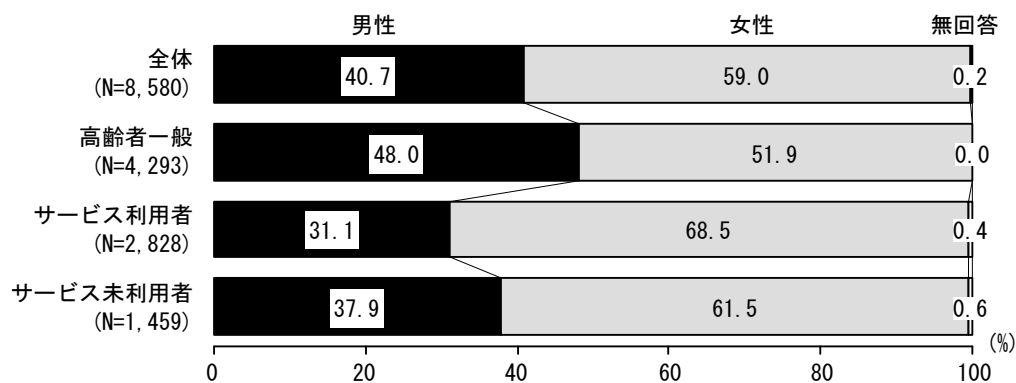
【要介護度別 年齢（サービス利用者・サービス未利用者）】



(4) 性別

問1Q2. あなたの性別をお教えてください。〈○は1つ〉

回答者の性別は、全体で「女性」が59.0%となっています。すべての調査で女性が高くなっており、特にサービス利用者が68.5%と高くなっています。



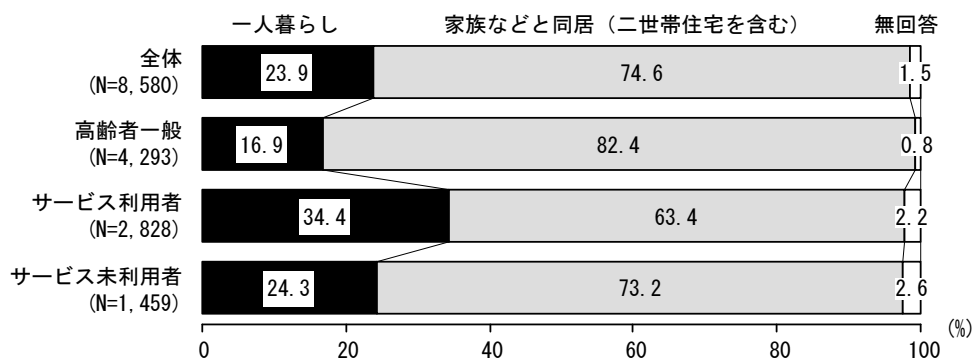
(5) 家族構成

問1 Q3. 家族構成をお教えてください。〈〇は1つ〉

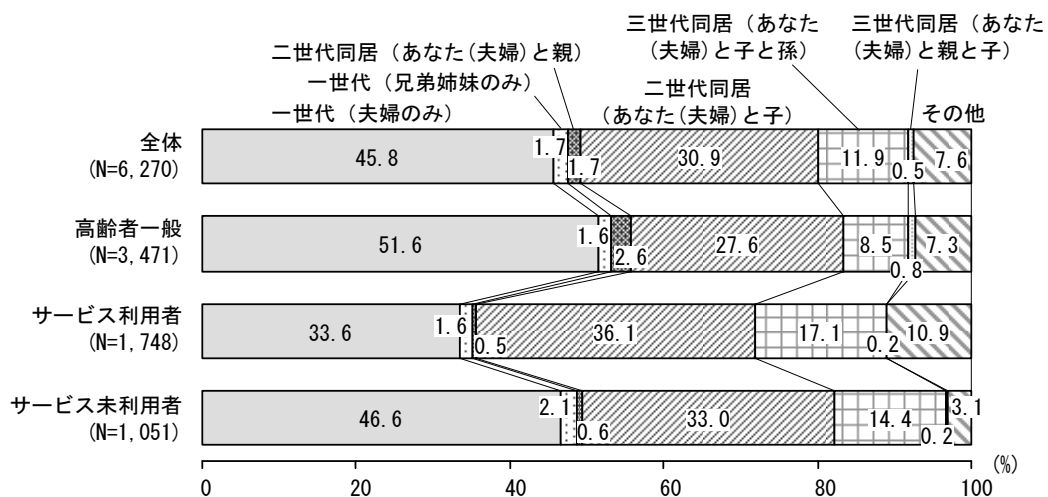
回答者の家族構成は、全体で「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が74.6%、「一人暮らし」が23.9%となっています。「一人暮らし」はサービス利用者が34.4%で最も高く、高齢者一般が16.9%で最も低くなっています。

「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」の内訳をみると、全体で「一世代（夫婦のみ）」が45.8%で最も高く、次いで「二世帯同居（あなた（夫婦）と子）」が30.9%、「三世帯同居（あなた（夫婦）と子と孫）」が11.9%となっています。「一世代（夫婦のみ）」は高齢者一般が51.6%で最も高く、サービス利用者が33.6%で最も低くなっています。

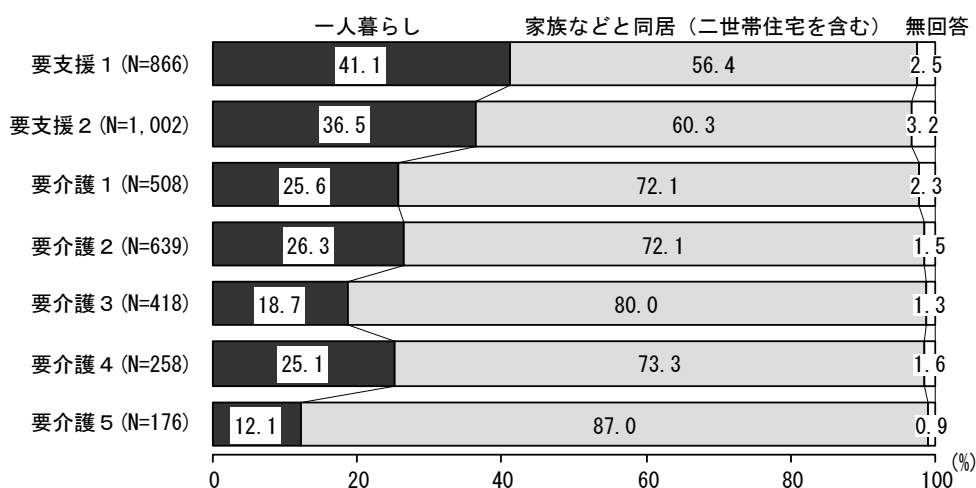
サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、「一人暮らし」は要支援1が41.1%で最も高く、概ね重度になるほど低くなる傾向が見られます。



【「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」の内訳】



【要介護度別 家族構成（サービス利用者・サービス未利用者）】



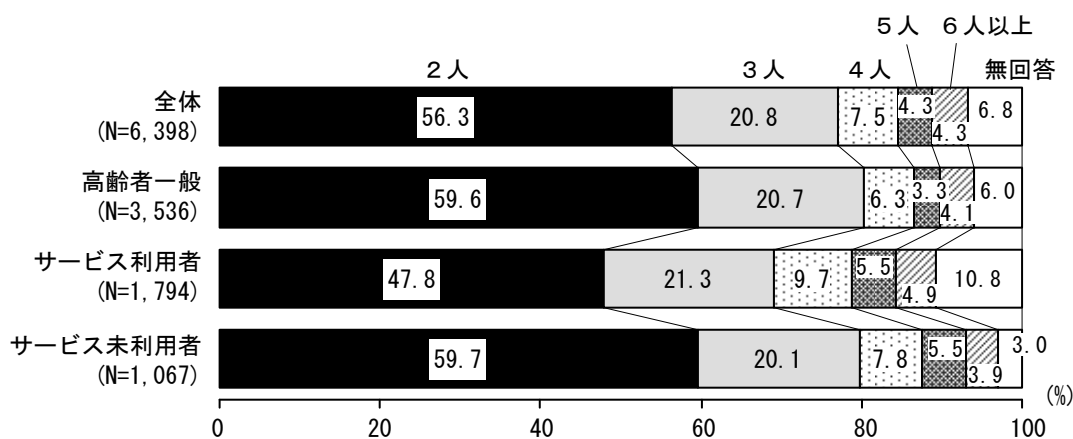
(6) 同居家族

【家族など同居されている方のみ】(Q3で「2. 家族など同居」と回答した方)
 問1 Q3-1. あなたを含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

① 同居家族人数

回答者の同居家族人数は、全体で「2人」が56.3%で最も高く、次いで「3人」が20.8%、「4人」が7.5%となっています。

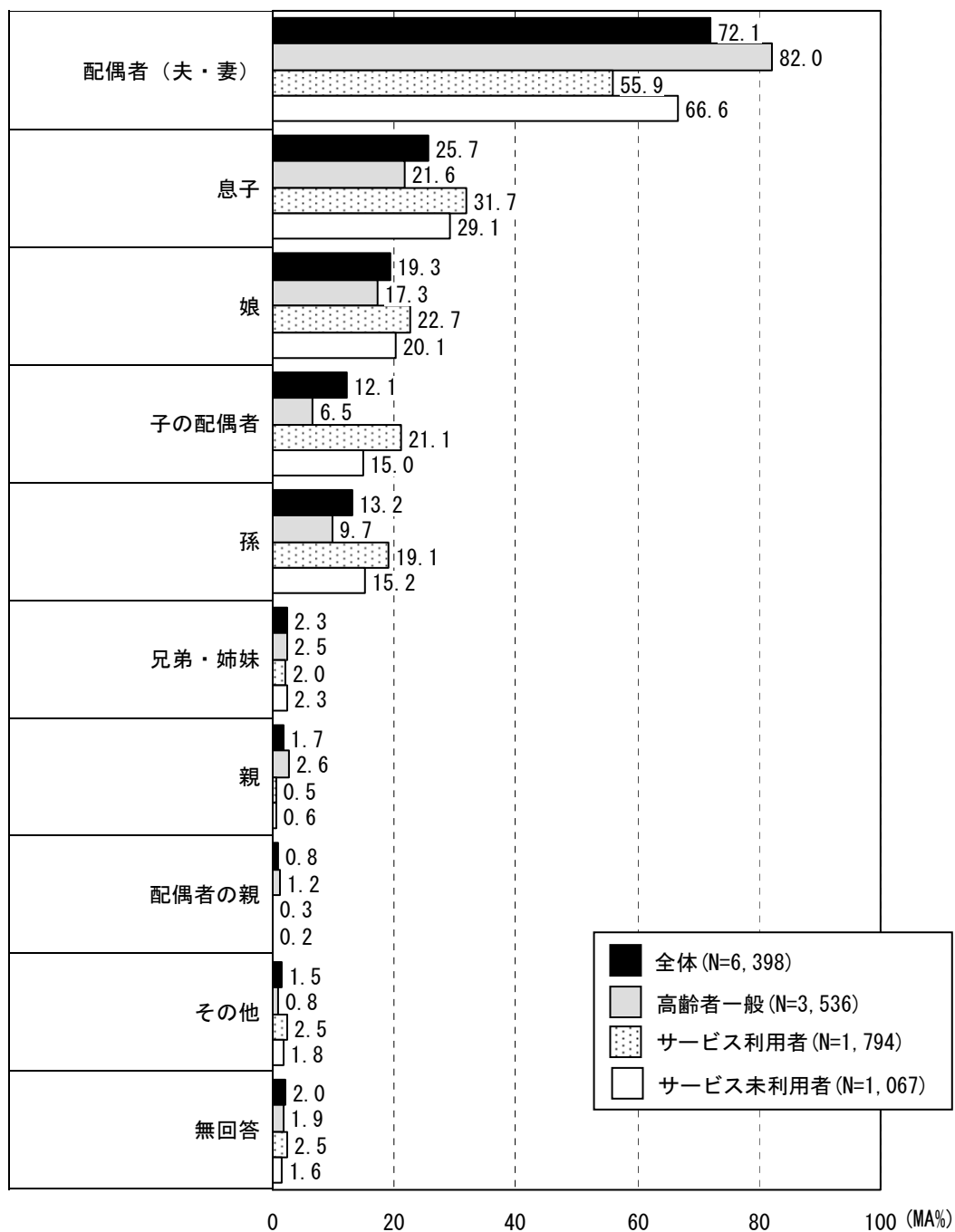
「2人」はサービス未利用者（59.7%）と高齢者一般（59.6%）がほぼ同様の高い割合となっています。



② 同居者

回答者の同居者は、全体で「配偶者（夫・妻）」が72.1%で最も高く、次いで「息子」が25.7%、「娘」が19.3%となっています。

「配偶者（夫・妻）」は高齢者一般が82.0%で最も高く、サービス利用者が55.9%で最も低くなっています。「息子」「娘」「子の配偶者」「孫」は、高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。

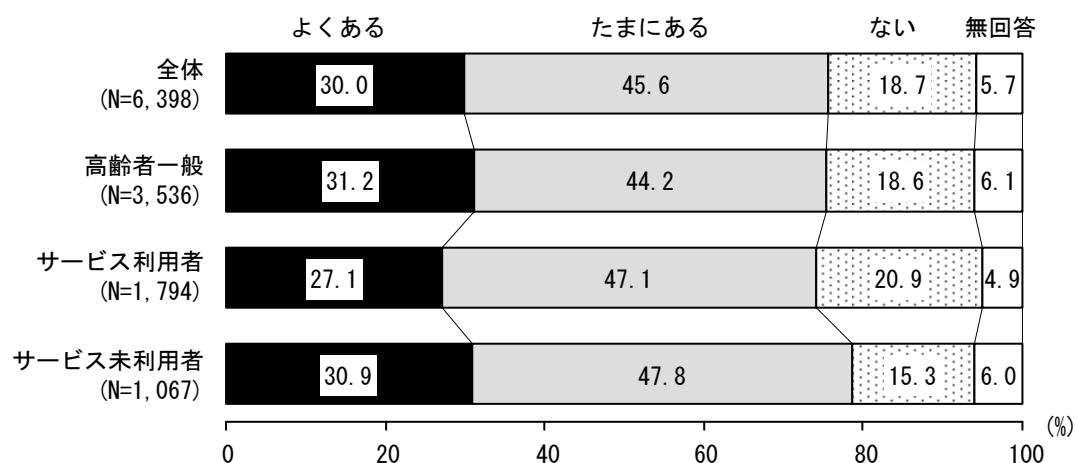


(7) 日中、一人になることについて

【家族など同居されている方のみ】(Q3で「2. 家族など同居」と回答した方)
問1 Q3-2. 日中、一人になることがありますか。〈○は1つ〉

日中、一人になることについては、全体で「たまにある」が45.6%で最も高く、次いで「よくある」が30.0%となっており、「たまにある」と「よくある」をあわせた『ある』が75.6%、「ない」が18.7%となっています。

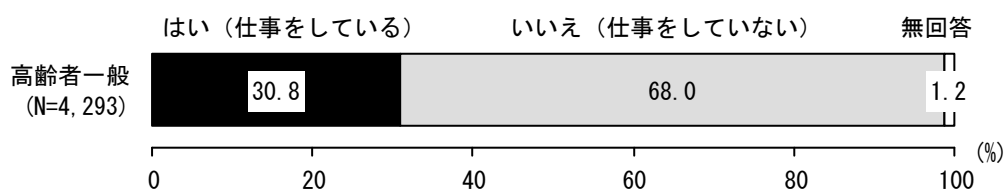
すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。



(8) 収入のある仕事の有無【高齢者一般のみ】

問1 Q4. あなたは現在収入になる仕事をしていますか。〈○は1つ〉

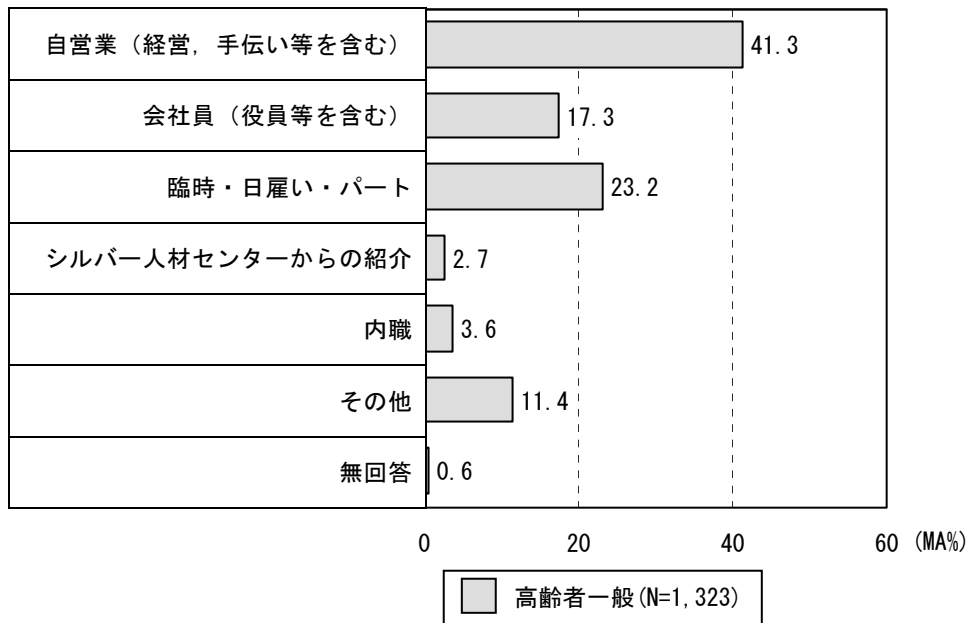
収入のある仕事の有無については、「はい(仕事をしている)」が30.8%、「いいえ(仕事をしていない)」が68.0%となっています。



(9) 主な就労形態【高齢者一般のみ】

【収入になる仕事をしている方のみ】(Q4で「1. はい」と回答した方)
問1 Q4-1. 主な就労形態は、次のどれですか。〈○は1つ〉

主な就労形態については、「自営業（経営，手伝い等を含む）」が41.3%で最も高く，次いで「臨時・日雇い・パート」が23.2%，「会社員（役員等を含む）」が17.3%となっています。

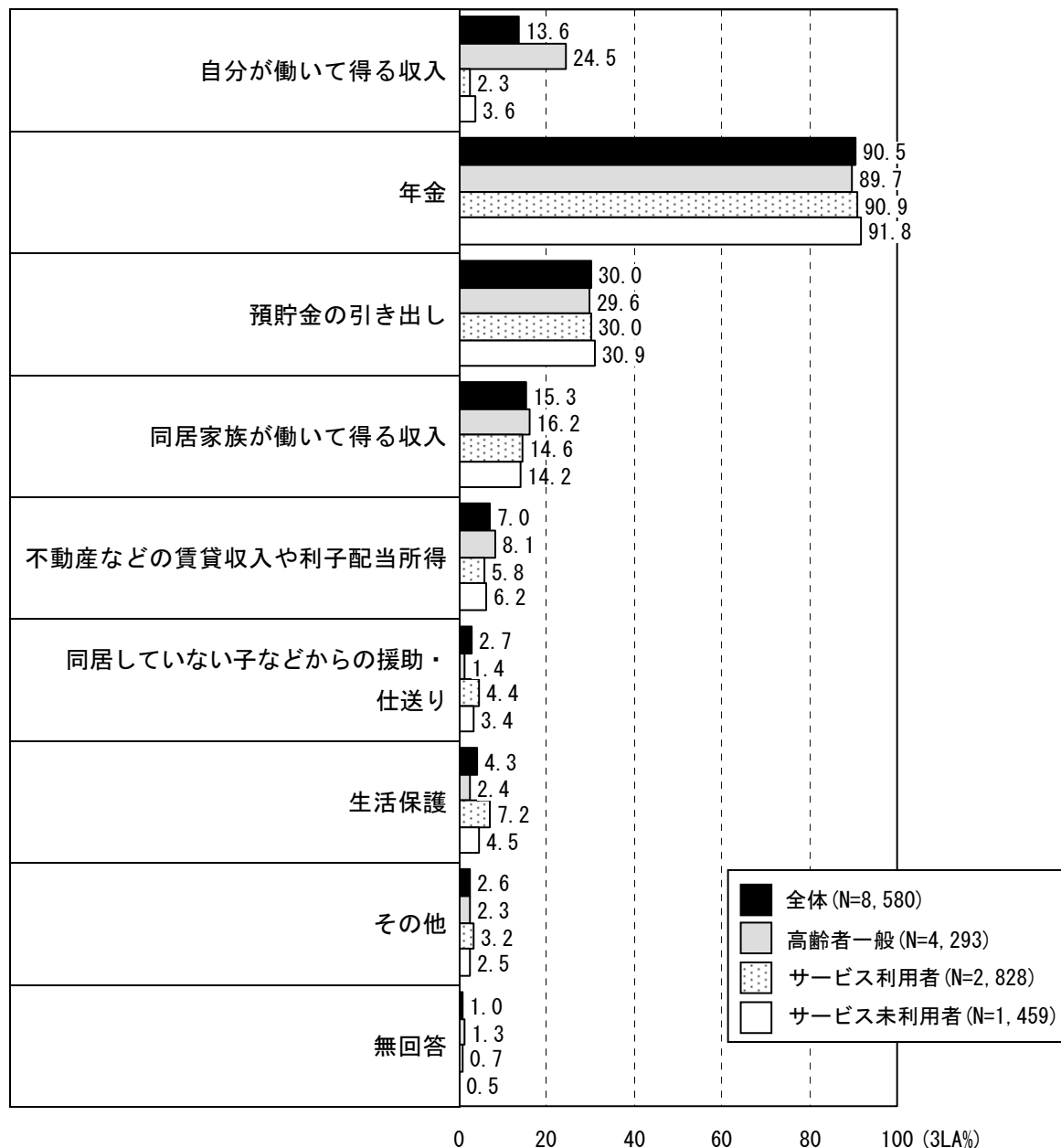


(10) 生活費の収入源

問1Q5. あなたは生活費をどのようにして得ていますか。〈〇は3つまで〉

生活費の収入源については、全体で「年金」が90.5%で最も高く、次いで「預貯金の引き出し」が30.0%、「同居家族が働いて得る収入」が15.3%となっています。

「自分で働いて得る収入」が、サービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般で高くなっていますが、それ以外は、すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。



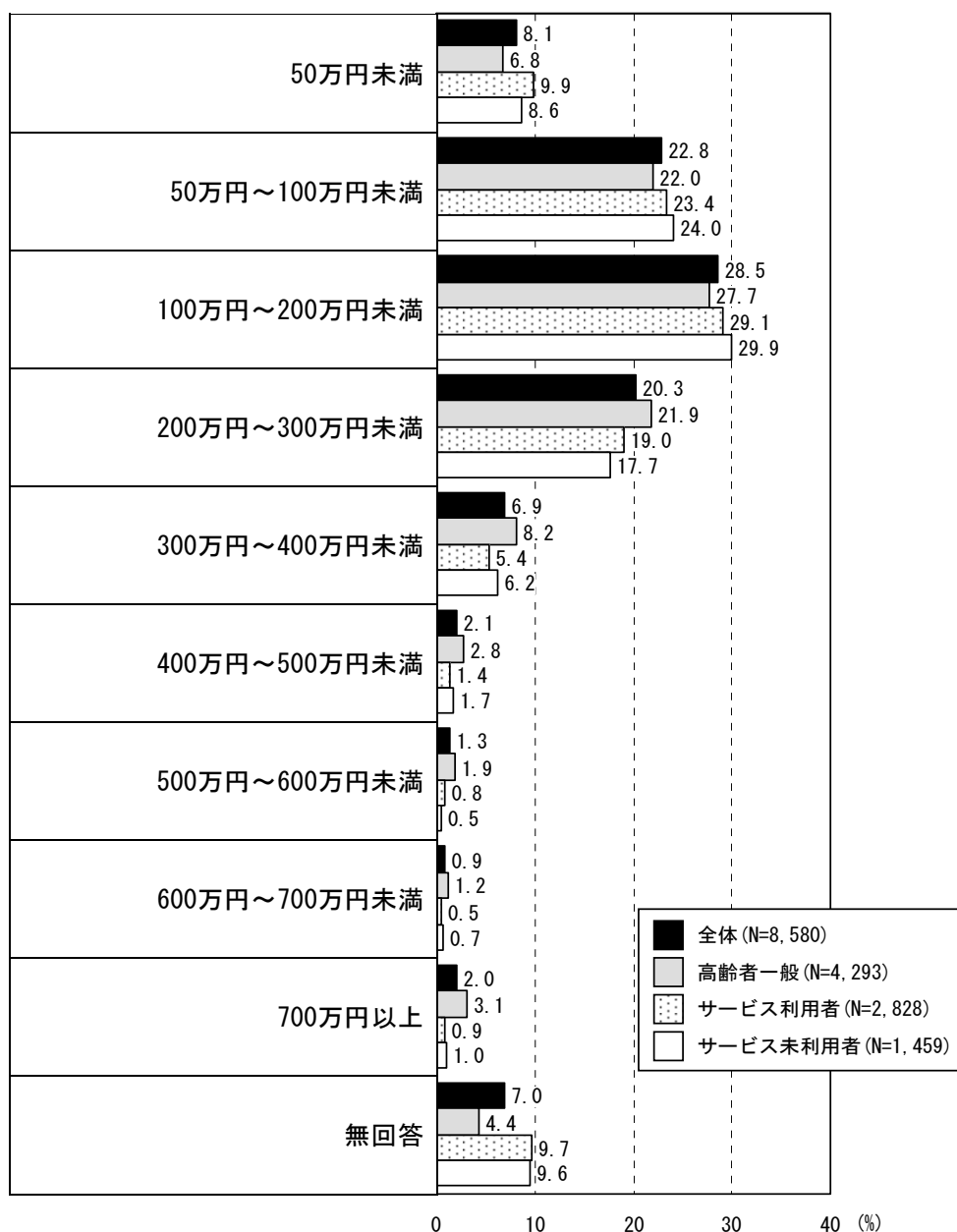
(11) 個人の年間総収入

問1 Q6. あなた個人の年間総収入（年金収入を含む。税込）はどのくらいですか。
 <○は1つ>

個人の年間総収入は、全体で「100万円～200万円未満」が28.5%で最も高く、次いで「50万円～100万円未満」が22.8%、「200万円～300万円未満」が20.3%となっています。

200万円未満までは高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高く、200万円以上はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなる傾向が見られます。

全体を生活費の収入源別でみると、“自分が働いて得る収入”は100万円～300万円未満が、“年金”、“預貯金の引き出し”は50万円～300万円未満がそれぞれ20%以上と高くなっています。“同居家族が働いて得る収入”や“生活保護”は50万円～200万円未満が、“同居していない子などからの援助・仕送り”は50万円未満～200万円未満がそれぞれ20%以上と高くなっています。



【生活費の収入源別 個人の年間総収入（全体）】

	N	50万円未満	150万円未満	210万円未満	320万円未満	430万円未満	540万円未満	650万円未満	760万円未満	70万円以上	無回答
自分が働いて得る収入	1,167	3.4	10.5	24.4	21.8	12.5	7.5	5.4	3.2	9.0	2.2
年金	7,761	7.1	23.3	29.9	21.7	7.1	2.1	1.2	0.8	1.5	5.2
預貯金の引き出し	2,571	9.1	26.3	27.6	21.3	6.7	1.7	0.6	0.6	0.7	5.4
同居家族が働いて得る収入	1,314	15.8	32.3	27.4	12.3	3.7	1.5	0.1	0.5	1.4	5.0
不動産などの賃貸収入や利子配当所得	600	3.6	9.7	12.0	19.8	15.3	8.4	5.9	5.4	15.2	4.8
同居していない子などからの援助・仕送り	234	20.1	29.6	30.2	10.7	1.9	-	-	0.1	0.8	6.5
生活保護	373	10.1	28.5	27.1	1.3	0.6	0.1	-	0.5	0.1	31.7
その他	225	16.1	34.5	23.9	9.3	2.9	2.4	-	0.6	1.5	8.8

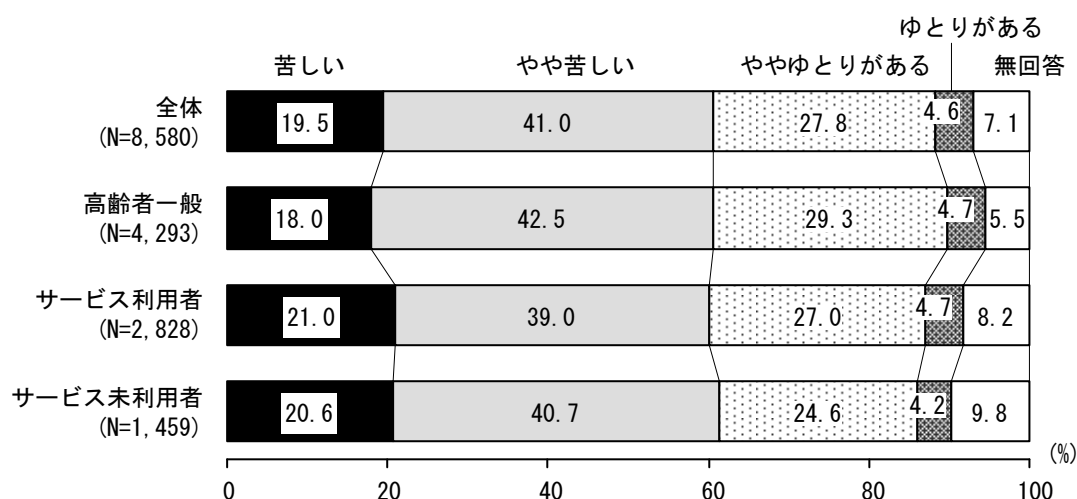
(12) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問1 Q7. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。〈○は1つ〉

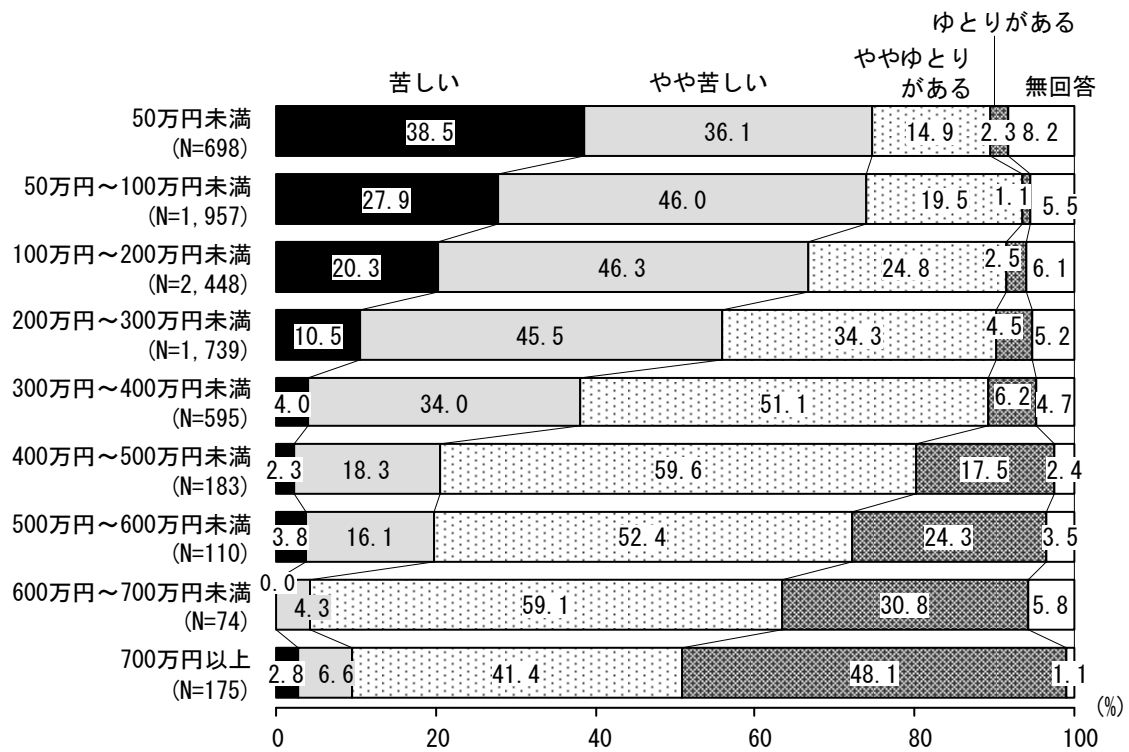
経済的にみた現在の暮らしの状況については、全体で「やや苦しい」が41.0%で最も高く、次いで「ややゆとりがある」が27.8%、「苦しい」が19.5%となっています。「苦しい」と「やや苦しい」をあわせた『苦しい』は60.5%、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」をあわせた『ゆとりがある』は32.4%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。

全体を個人の年間総収入別でみると、年間総収入が300万円未満では『苦しい』が過半数を占めていますが、300万円以上では『ゆとりがある』が過半数を占めています。



【個人の年間総収入別 経済的にみた現在の暮らしの状況（全体）】



2 住まいについて

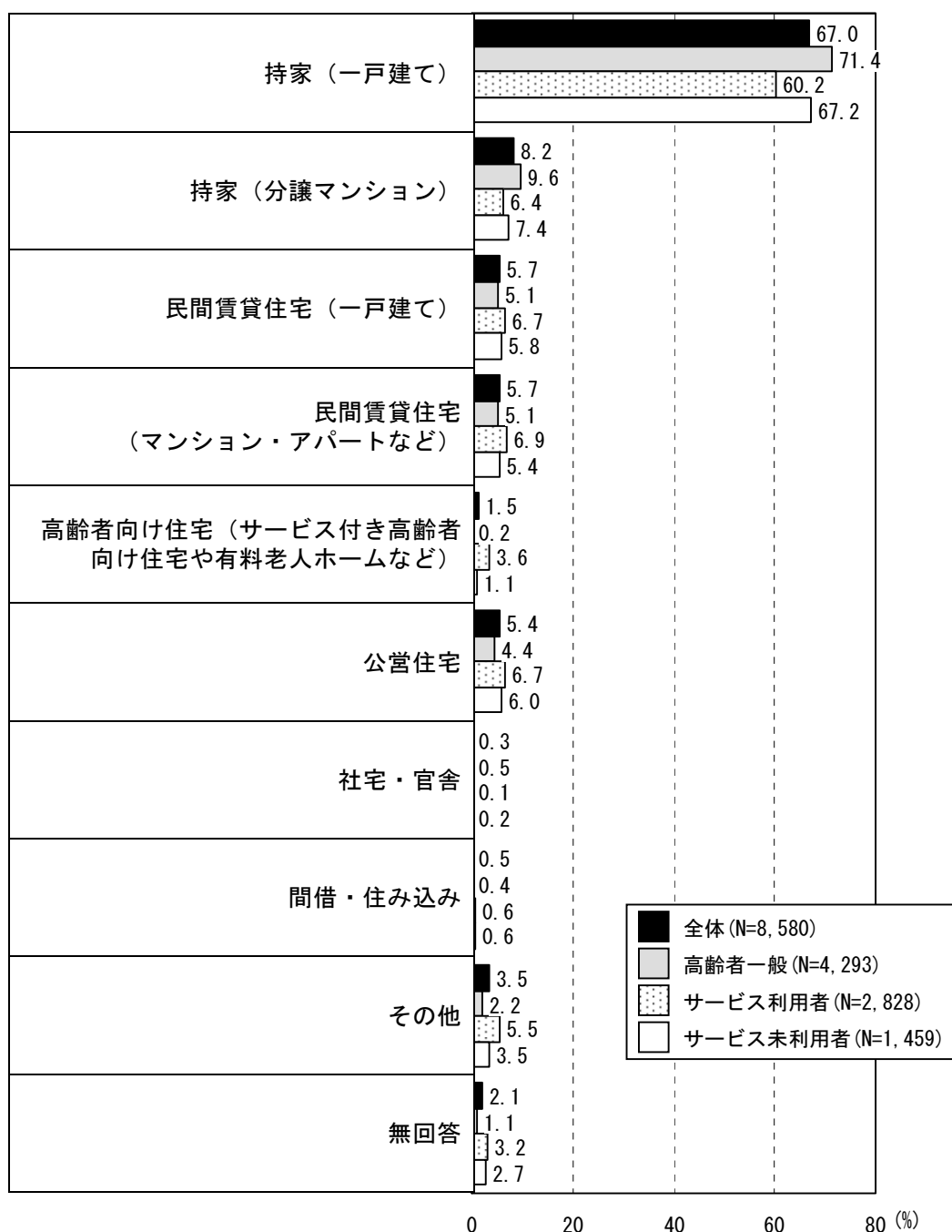
(1) 住居形態

問2Q1. あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。〈○は1つ〉

住居形態については、全体で「持家（一戸建て）」が67.0%で最も高く、次いで「持家（分譲マンション）」が8.2%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」と「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が5.7%となっています。

「持家（一戸建て）」は高齢者一般が71.4%で最も高く、サービス利用者が60.2%で最も低くなっています。

全体を家族構成別で見ると、いずれも「持家（一戸建て）」が最も高くなっており、家族など同居よりも一人暮らしが25.9ポイント低くなっています。



【家族構成別 住居形態（全体）】

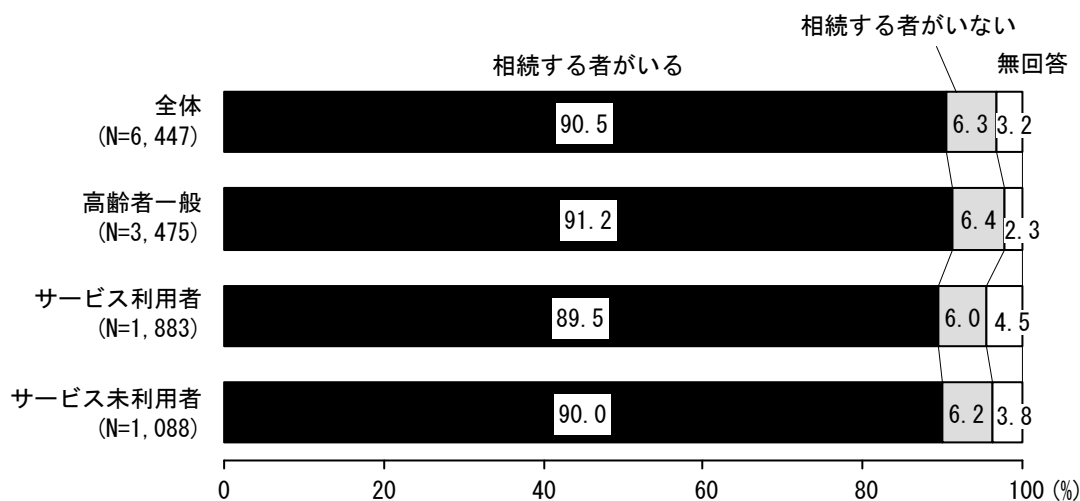
	N	持家 （一戸建て）	持家 （分譲マンション）	民間賃貸住宅 （一戸建て）	民間賃貸住宅 （マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅 （サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
一人暮らし	2,050	47.8	10.2	7.1	12.9	4.9	10.0	0.6	0.5	3.4	2.6
家族などと同居 （二世帯住宅を含む）	6,398	73.7	7.5	5.3	3.4	0.3	4.0	0.3	0.5	3.4	1.7

（２）相続者の有無

【持家にお住まいの方のみ】

（Q1で「1. 持家（一戸建て）」または「2. 持家（分譲マンション）」と回答した方）
問2 Q1-1. 持家の相続については、次のどれにあたりますか。〈○は1つ〉

持家に住んでいると回答した人に、持家の相続者の有無についてたずねたところ、全体で「相続する者がいる」が90.5%、「相続する者がいない」が6.3%となっています。すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。



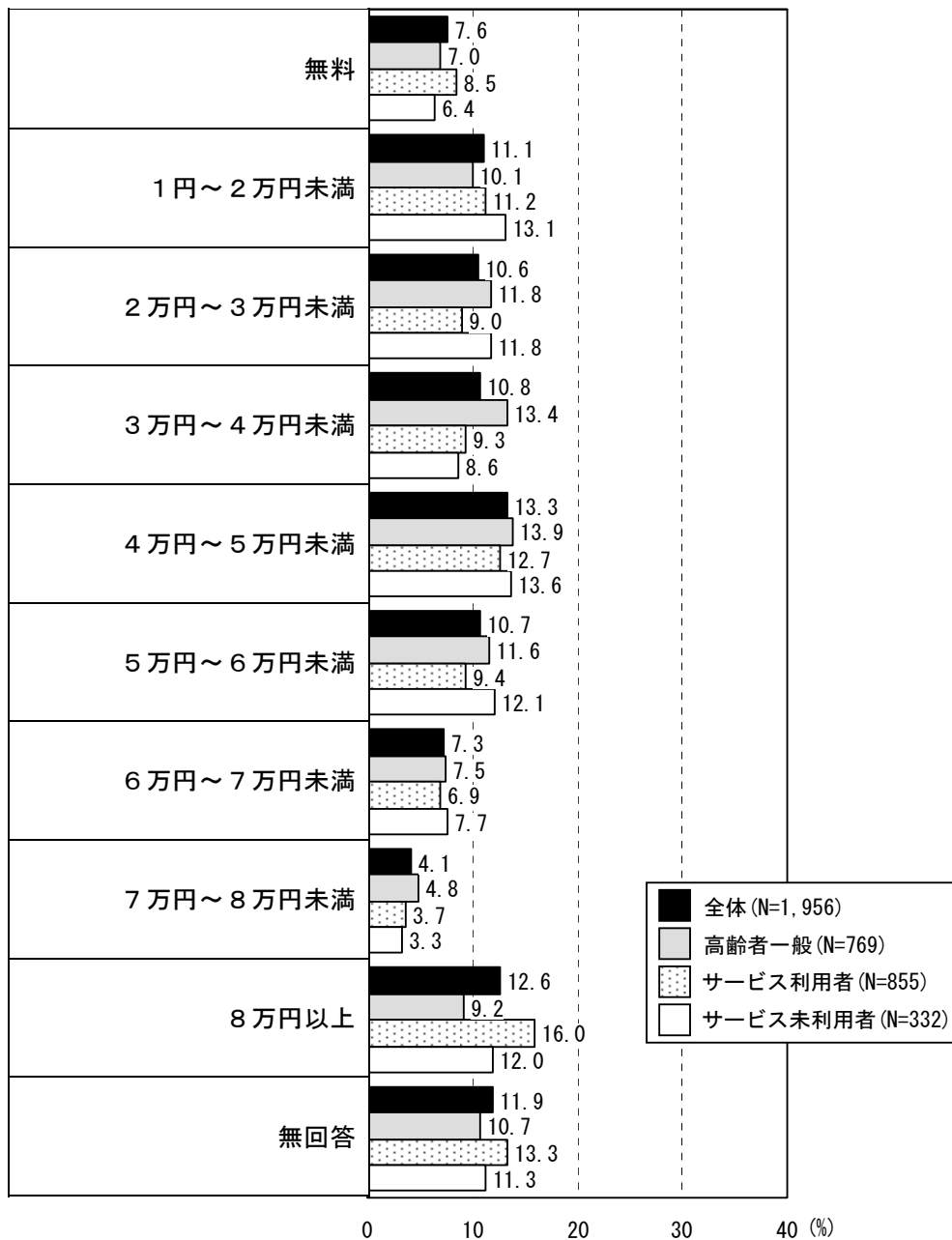
(3) 現在の住まいに係る住居費

【持家以外にお住まいの方のみ】(Q1で「3」～「9」と回答した方)
 問2 Q 1－2. 現在のお住まいに係る住居費(月額, 共益費含む。)は, 次のどれにあたり
 ますか。<○は1つ>

持家以外に住んでいると回答した人に, 現在の住まいに係る住居費についてたずねたところ, 全体で「4万円～5万円未満」が13.3%で最も高く, 次いで「8万円以上」が12.6%, 「1円～2万円未満」が11.1%となっています。

「8万円以上」はサービス利用者が16.0%で最も高く, 高齢者一般が9.2%で最も低くなっています。

全体を住居形態別で見ると, 民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)は「4万円～5万円未満」(24.1%), 高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅など)は「8万円以上」(72.1%)が最も高くなっています。公営住宅は3万円未満が半数(50.0%)を占めており, 社宅・官舎や間借・住み込みでは「無料」が約4～5割を占めています。



【住居形態別 現在の住まいに係る住居費（全体）】

	N	無料	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円以上	無回答
民間賃貸住宅（一戸建て）	492	2.3	8.8	12.8	10.1	16.7	16.8	9.4	4.6	9.6	8.8
民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	493	0.7	2.5	3.1	12.8	24.1	16.0	9.5	7.4	15.0	9.1
高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅など）	129	1.8	2.3	0.5	1.8	3.3	1.8	2.0	4.0	72.1	10.3
公営住宅	466	0.8	27.4	21.8	14.0	6.3	6.7	7.3	1.9	3.8	10.1
社宅・官舎	30	39.1	18.3	7.7	8.2	4.7	13.5	-	-	5.1	3.3
間借・住み込み	44	48.9	4.1	5.9	9.6	12.9	6.6	3.2	0.6	3.2	5.1
その他	302	31.3	7.8	7.1	8.1	6.3	2.6	3.7	2.0	4.0	27.1

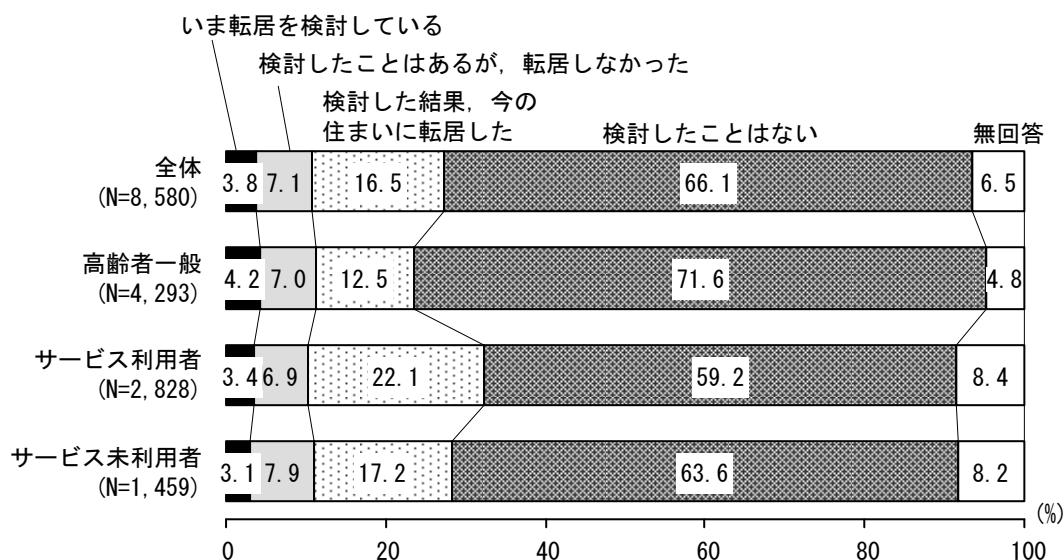
（４）60歳以上になってからの転居の検討

問2 Q2. 60歳以上になってから、転居を検討したことがありますか。＜○は1つ＞

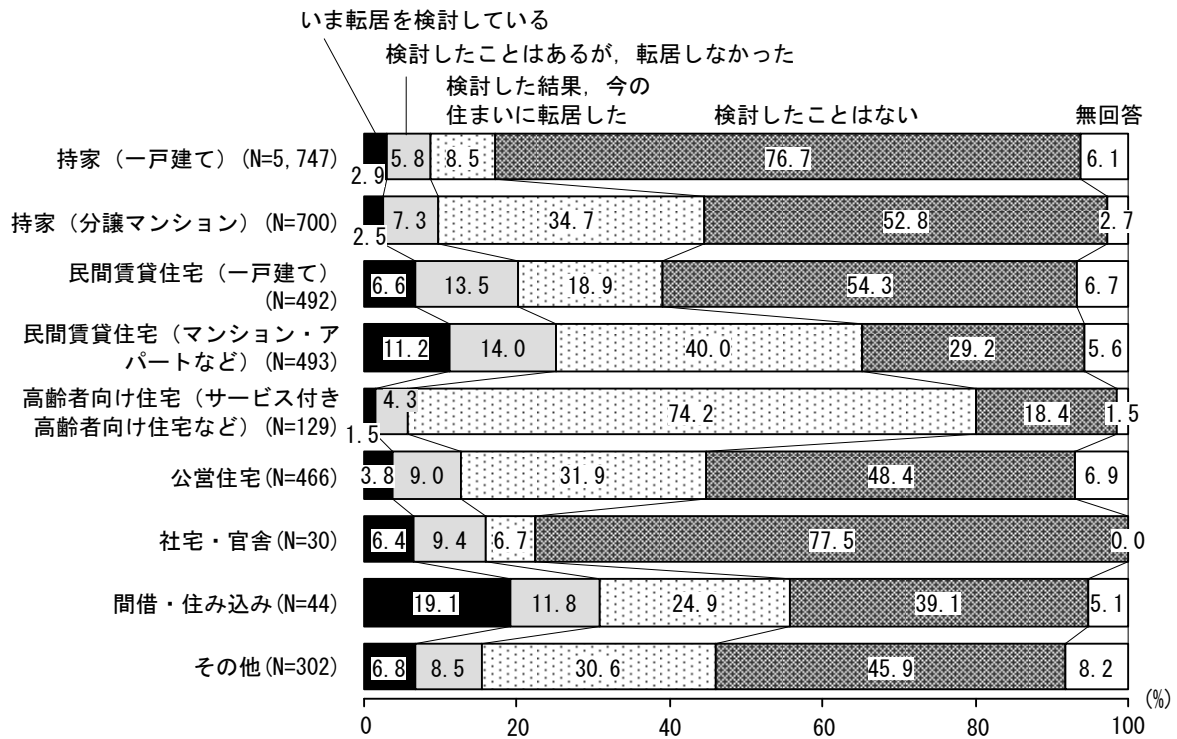
60歳以上になってからの転居の検討については、全体で「検討したことはない」が66.1%で最も高く、次いで「検討した結果、今の住まいに転居した」が16.5%となっています。

「検討したことはない」は高齢者一般が71.6%で最も高く、サービス利用者が59.2%で最も低くなっています。「検討した結果、今の住まいに転居した」はサービス利用者が22.1%で最も高く、高齢者一般が12.5%で最も低くなっています。

全体を住居形態別でみると、民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）（40.0%）と高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅など）（74.2%）は「検討した結果、今の住まいに転居した」が最も高くなっていますが、それ以外の住居形態では「検討したことはない」が最も高くなっています。「いま転居を検討している」は間借・住み込み（19.1%）、民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）（11.2%）が高くなっています。



【住居形態別 60歳以上になってからの転居の検討（全体）】



(5) 転居しなかった理由

【検討したが転居しなかった方のみ】

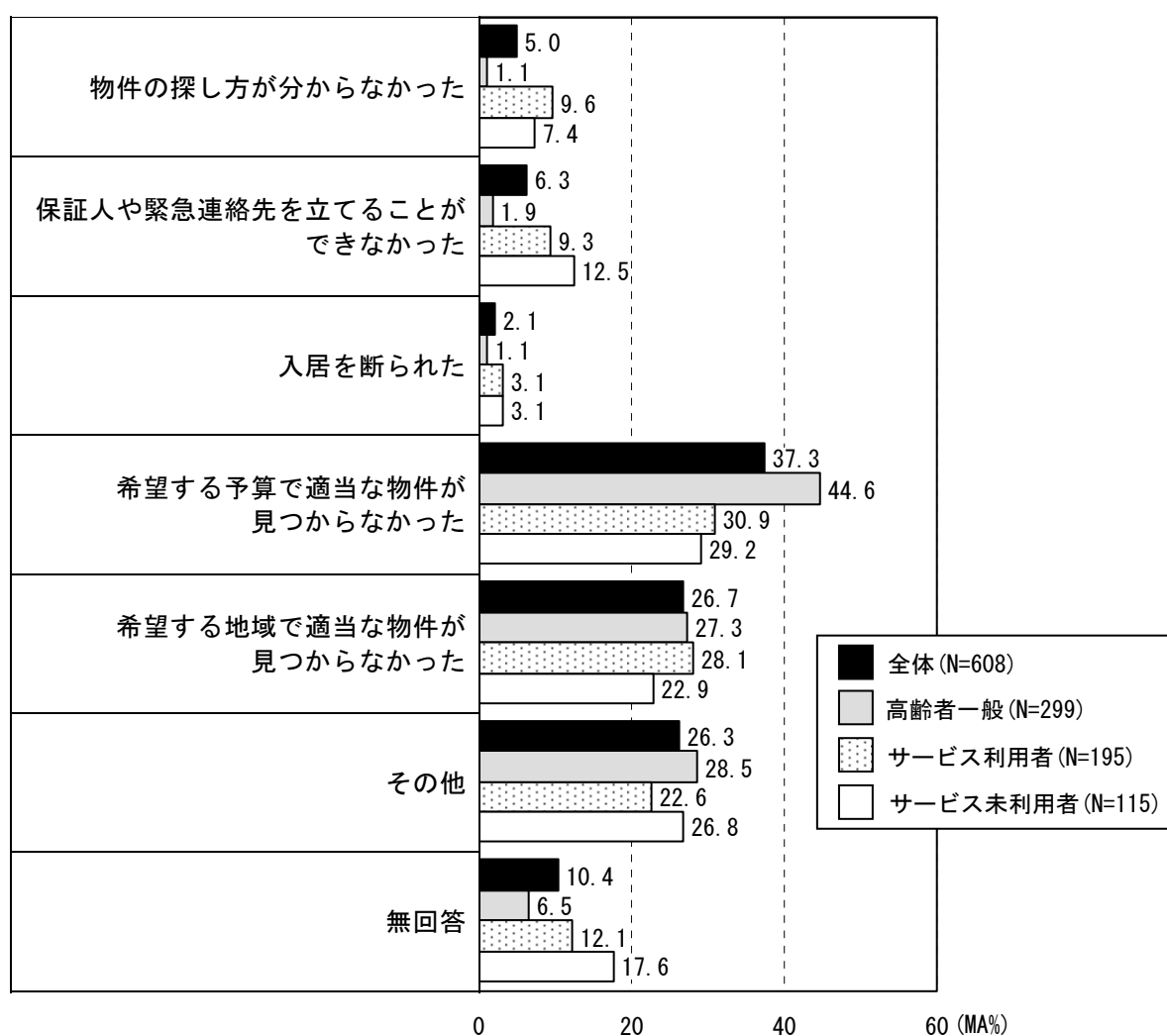
(Q2で「2. 検討したことはあるが、転居しなかった」と回答した方)

問2 Q2-1. 転居しなかった理由は、次のどれにあたりますか。

<あてはまるものすべてに○>

検討したが転居しなかったと回答した人に、その理由をたずねたところ、全体で「希望する予算で適当な物件が見つからなかった」が37.3%で最も高く、次いで「希望する地域で適当な物件が見つからなかった」が26.7%となっています。

「希望する予算で適当な物件が見つからなかった」は、サービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。「物件の探し方が分からなかった」「保証人や緊急連絡先を立てることができなかった」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。



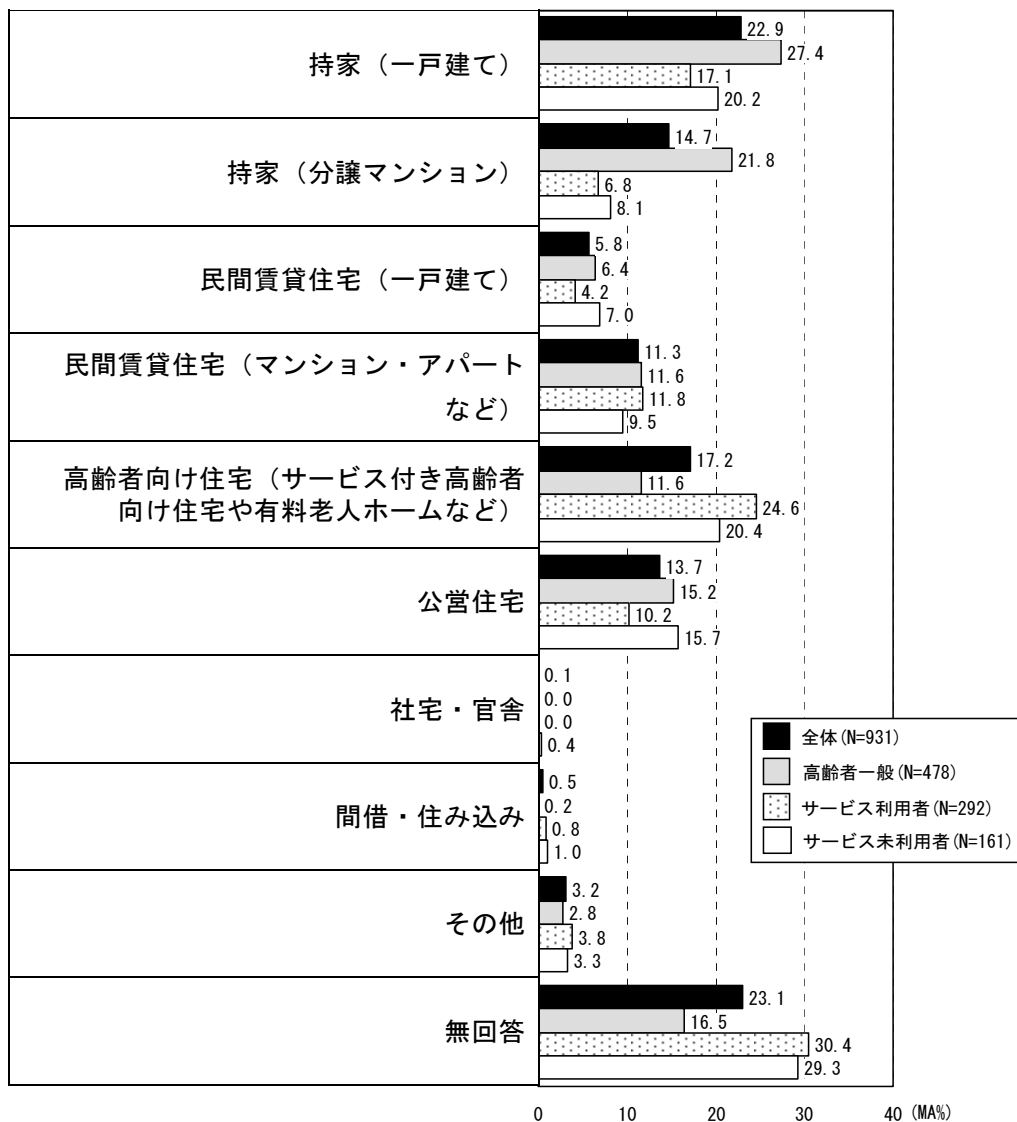
(6) 転居先としての検討物件

【転居を検討している（検討したが転居しなかった）方のみ】（Q2で「1. いま転居を検討している」または「2. 検討したことはあるが、転居しなかった」と回答した方）
 問2 Q2-2. 転居先として検討している（検討した）物件は、次のどれにあたりますか。
 <あてはまるものすべてに○>

転居を検討していると回答した人に、転居先としての検討物件についてたずねたところ、全体で「持家（一戸建て）」が22.9%で最も高く、次いで「高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）」が17.2%、「持家（分譲マンション）」が14.7%となっています。

「持家（一戸建て）」、「持家（分譲マンション）」は高齢者一般がそれぞれ20%以上と、サービス利用者・サービス未利用者よりも高くなっています。「高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。

全体を住居形態別でみると、現在、持家（一戸建て）に住んでいる人では「持家（一戸建て）」（35.3%）を、持家（分譲マンション）に住んでいる人では「持家（分譲マンション）」（35.5%）を、民間賃貸住宅（一戸建て）に住んでいる人では「民間賃貸住宅（一戸建て）」（28.5%）を検討する人が高くなっているなど、概ね現在住んでいる住居形態と同じ形態の物件を検討する傾向が見られます。



【住居形態別 転居先としての検討物件（全体）】

	N	持家 （一戸建て）	持家 （分譲マンション）	民間賃貸住宅 （一戸建て）	民間賃貸住宅 （マンション・ア パートなど）	高齢者向け住宅 （サービス付き高齢 者向け住宅など）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
持家（一戸建て）	501	35.3	16.7	1.7	6.6	21.1	3.3	0.1	0.4	3.1	22.4
持家（分譲マンション）	69	13.1	35.5	2.8	7.6	15.5	8.6	-	-	-	26.9
民間賃貸住宅 （一戸建て）	99	12.4	4.0	28.5	18.6	10.8	22.2	-	0.4	4.2	19.7
民間賃貸住宅 （マンション・アパートなど）	124	1.8	10.7	6.0	31.9	9.0	26.5	-	-	2.6	25.5
高齢者向け住宅 （サービス付き高齢者向け住宅など）	7	25.2	25.2	-	-	30.8	18.7	-	-	-	25.2
公営住宅	60	3.4	0.7	4.4	4.9	19.7	55.9	-	1.7	2.1	18.7
社宅・官舎	5	11.0	-	29.7	59.3	-	29.7	-	-	-	-
間借・住み込み	13	-	14.3	9.1	12.2	15.8	59.5	-	11.6	12.7	2.2
その他	46	17.2	12.6	3.3	2.7	11.9	13.5	-	-	8.5	34.1

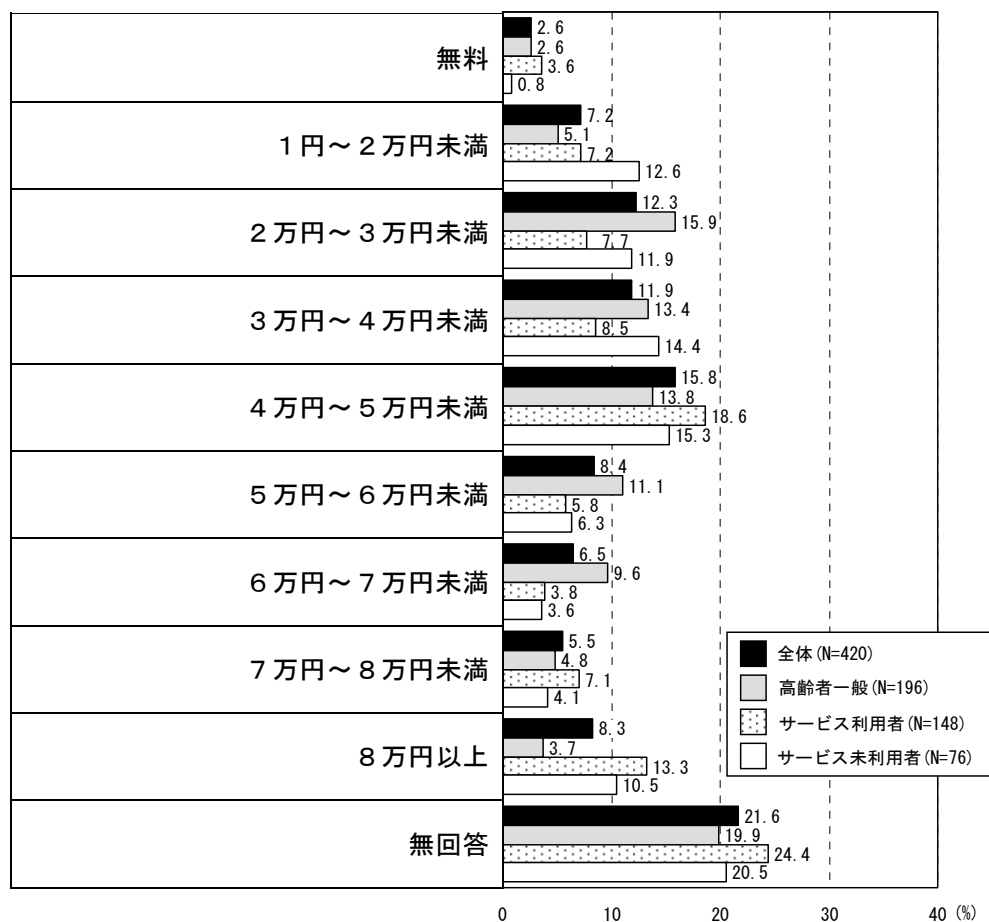
（7）転居先としての検討物件の住居費

【持家以外への転居を検討している（検討したが転居しなかった）方のみ】

（Q2-2で「3」～「9」と回答した方）

問2 Q 2 - 3. 転居先として検討している（検討した）物件の住居費（月額、共益費含む。）は、次のどれにあたりますか。＜○は1つまで＞

持家以外への転居を検討していると回答した人に、転居先としての検討物件の住居費についてたずねたところ、全体で「4万円～5万円未満」が15.8%で最も高く、次いで「2万円～3万円未満」が12.3%、「3万円～4万円未満」が11.9%となっています。

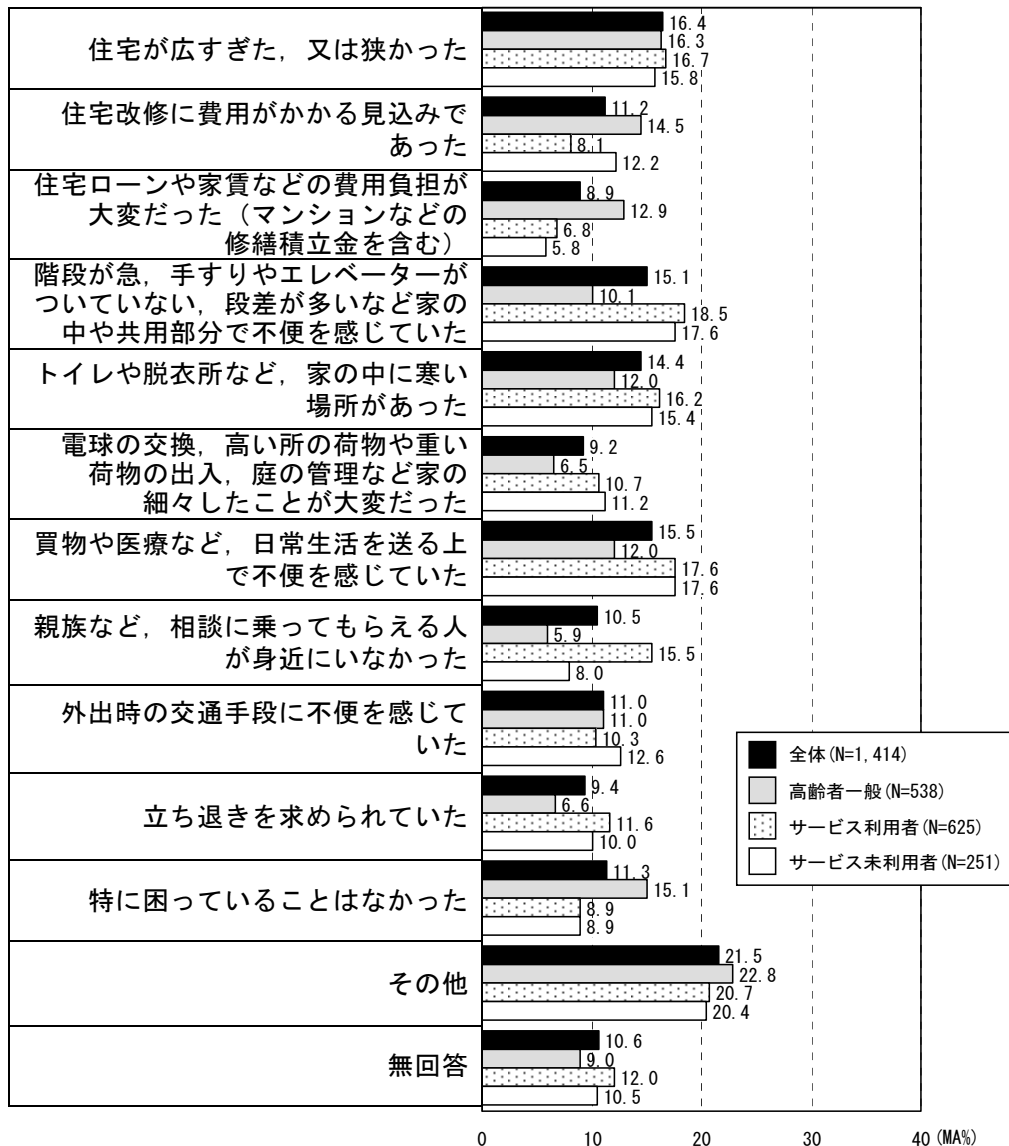


(8) 転居前の住まいで困っていたこと

【60歳以上になって転居された方のみ】
 (Q2で「3. 検討した結果、今の住まいに転居した」と回答した方)
 問2 Q 2-4. 転居前のお住まいについて、お困りだったことは、次のどれですか。
 <あてはまるものすべてに○>

検討した結果、今の住まいに転居したと回答した人に、転居前の住まいで困っていたことについてたずねたところ、全体で「住宅が広すぎた、又は狭かった」が16.4%で最も高く、次いで「買物や医療など、日常生活を送る上で不便を感じていた」が15.5%、「階段が急、手すりやエレベーターがついていない、段差が多いなど家の中や共用部分で不便を感じていた」が15.1%となっています。

「住宅ローンや家賃などの費用負担が大変だった（マンションなどの修繕積立金を含む）」「特に困っていることはなかった」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。「階段が急、手すりやエレベーターがついていない、段差が多いなど家の中や共用部分で不便を感じていた」「買物や医療など、日常生活を送る上で不便を感じていた」は、高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「親族など、相談に乗ってもらえる人が身近にいなかった」はサービス利用者が15.5%で最も高く、高齢者一般が5.9%で最も低くなっています。

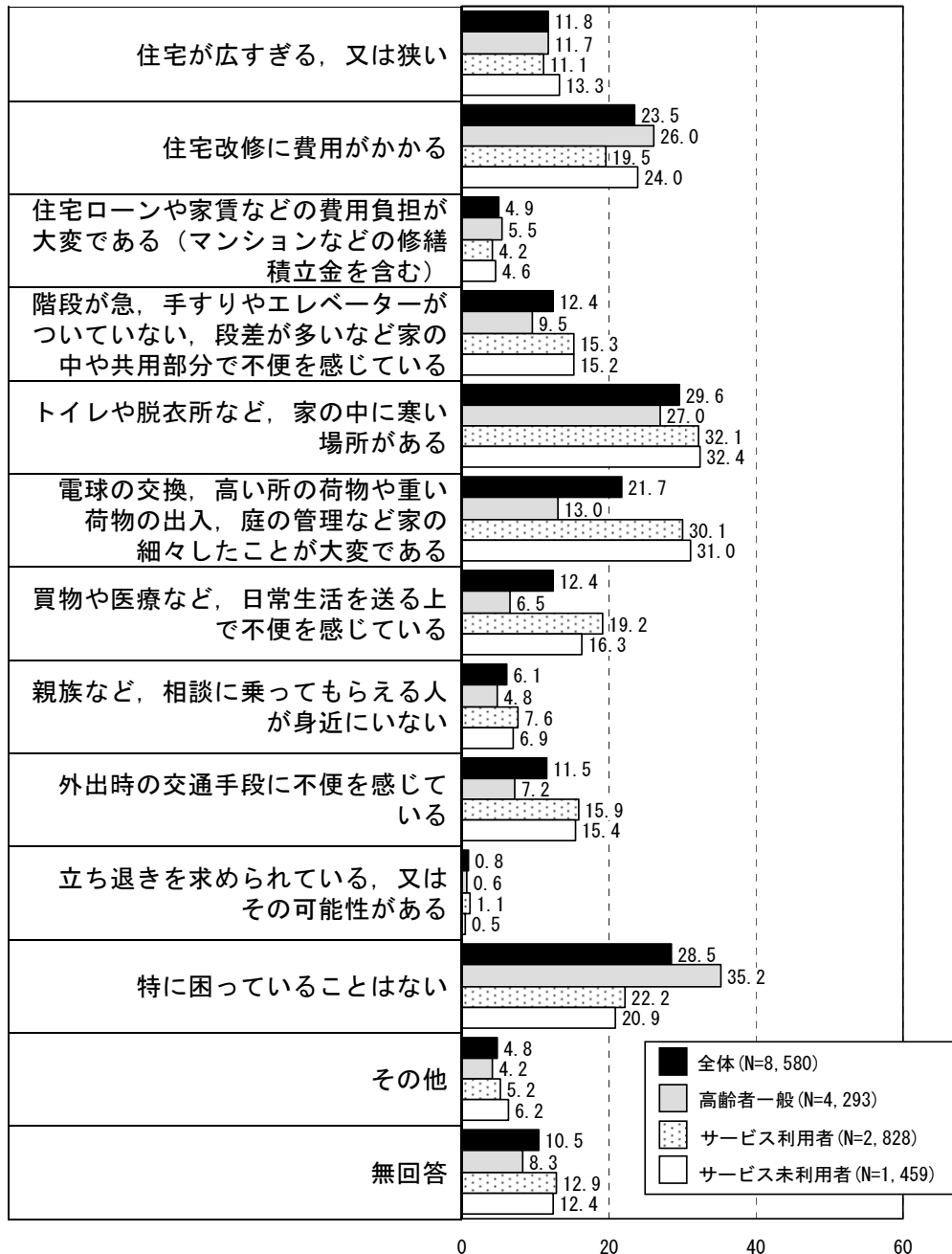


(9) 現在の住まいで困っていること

問2Q3. 現在のお住まいについてお困りのことは、次のどれですか。
 <あてはまるものすべてに○>

現在の住まいで困っていることについては、全体で「トイレや脱衣所など、家の中に寒い場所がある」が29.6%で最も高く、次いで「特に困っていることはない」が28.5%、「住宅改修に費用がかかる」が23.5%となっています。

「階段が急、手すりやエレベーターがついていない、段差が多いなど家の中や共用部分で不便を感じている」「電球の交換、高い所の荷物や重い荷物の出入、庭の管理など家の細々したことが大変である」「買物や医療など、日常生活を送る上で不便を感じている」「外出時の交通手段に不便を感じている」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「特に困っていることはない」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。



この項における「二次予防事業対象者」、「生活機能評価」、「日常生活評価」、「社会参加評価」の判定方法はP.7の「リスク評価の概要」を参照

3. リスク評価について

○ 二次予防事業対象者とは

今回の調査では、国が示す「日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、基本チェックリストの調査項目も包含していることから、地域の課題とあわせて介護予防事業の対象者（二次予防事業対象者）の把握も同時に行うことができます。

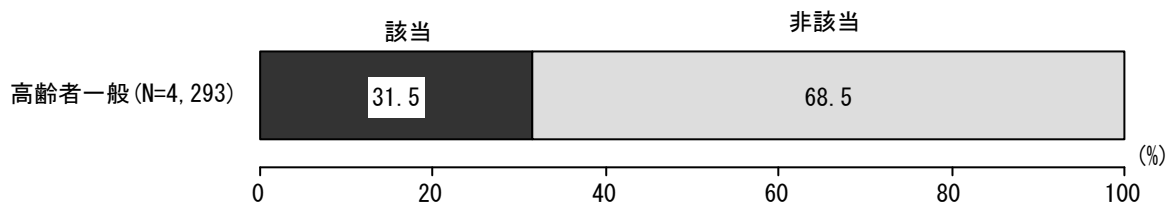
このため、ここでは、高齢者一般調査の回答者を二次予防事業対象者とそうでない方（二次予防事業対象者を除く高齢者一般）に区分して、より高齢者の状態に応じた評価分析等を行っています。

二次予防事業対象者は、基本チェックリストの質問項目に対する回答結果から、運動器、栄養改善、口腔機能、虚弱のうち、一つの機能でもリスクがあるとされた方を対象としています。

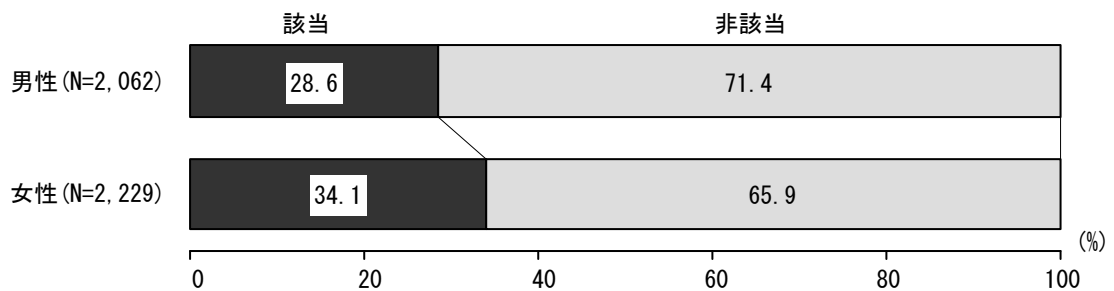
高齢者一般調査の回答者のうち、二次予防事業対象者に該当する方の割合は31.5%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者に該当する割合は、男性よりも、女性が5.5ポイント高くなっています。

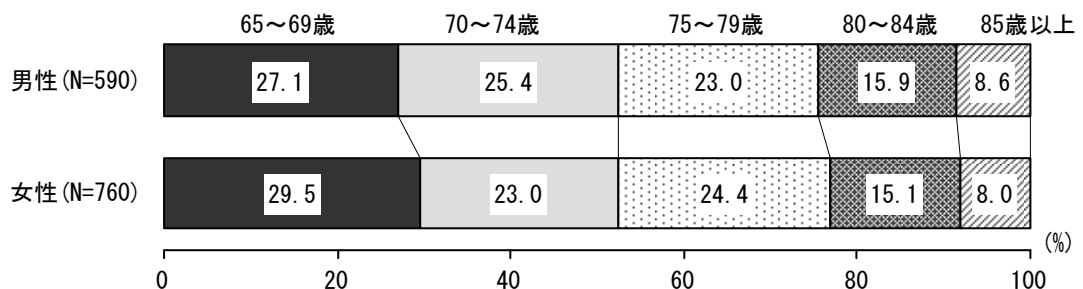
性年齢別でみると、男性・女性ともに、74歳以下と75歳以上とで、およそ1：1の割合になっています。男性・女性ともに、80歳以上で該当する方の割合が減少するのは、要支援・要介護認定者に移行するためと考えられます。



【性別 二次予防事業対象者】



【性年齢別 二次予防事業対象者】



(1) 生活機能評価

生活機能の低下リスクに関連する質問項目に対する回答を点数化し、その得点を集計することにより、①運動器、②閉じこもり予防、③栄養改善、④口腔機能、⑤認知症予防、⑥認知機能障害の程度、⑦うつ予防、⑧虚弱、⑨転倒の各項目に関するリスク評価を行いました。

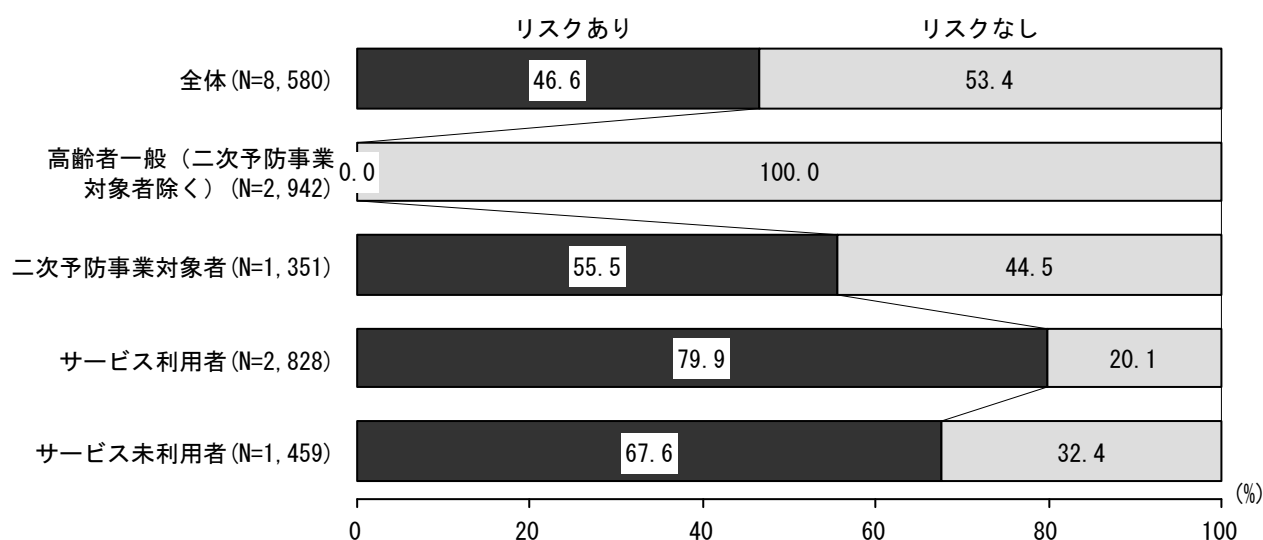
①運動器

運動器については、全体でリスクありに該当する方の割合は46.6%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が79.9%で最も高く、次いでサービス未利用者が67.6%、二次予防事業対象者が55.5%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が0.0%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者では、男性よりも女性の割合が16.2ポイント高くなっていますが、サービス利用者・サービス未利用者では大きな差異は見られません。

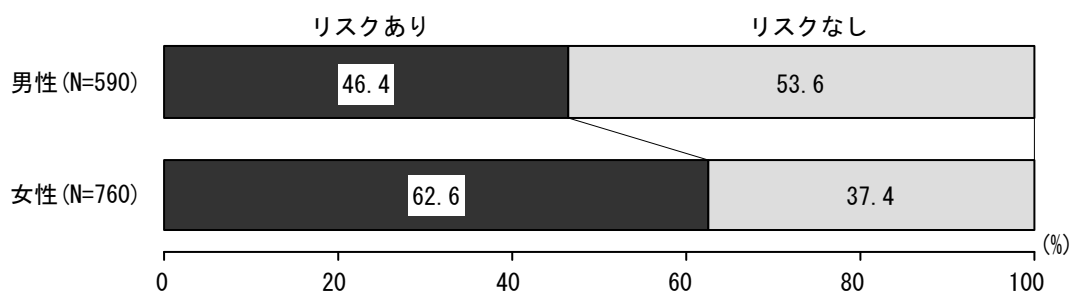
性年齢別でみると、二次予防事業対象者では、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。サービス利用者・サービス未利用者では、いずれも女性は、年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなっています。



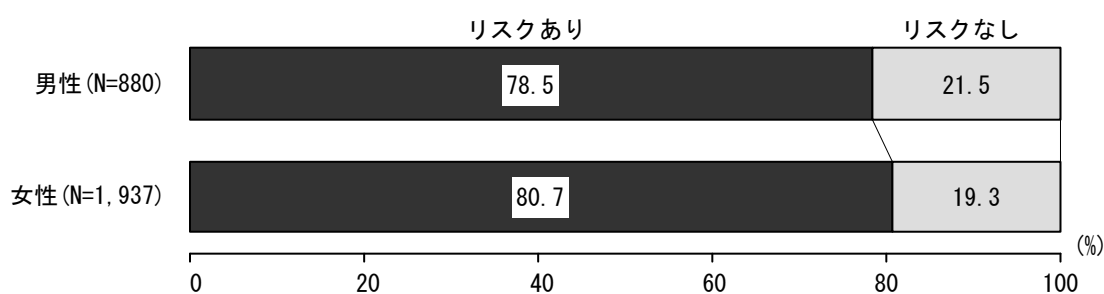
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問3Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(いいえ)	23.8%	66.3%	85.6%	79.6%
問3Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(いいえ)	4.5%	42.9%	76.3%	64.4%
問3Q3. 15分位続けて歩いていますか。(いいえ)	5.1%	23.7%	60.7%	43.9%
問4Q1. この1年間に転んだことがありますか。(はい)	11.8%	39.9%	48.1%	43.3%
問4Q2. 転倒に対する不安は大きいですか。(はい)	23.6%	68.6%	80.7%	77.6%

【性別 運動器の機能低下リスク】

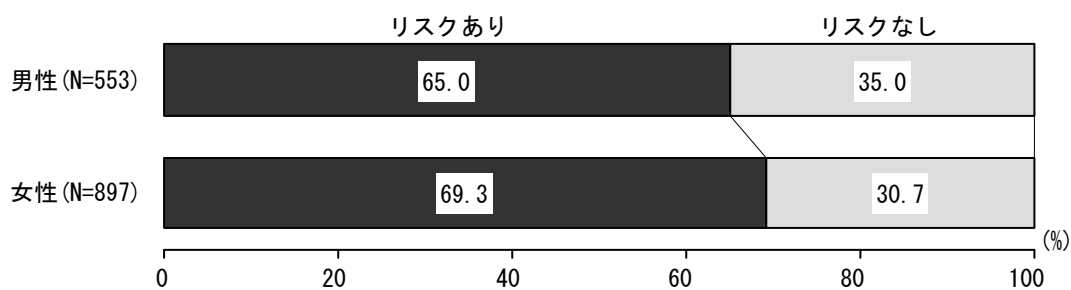
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

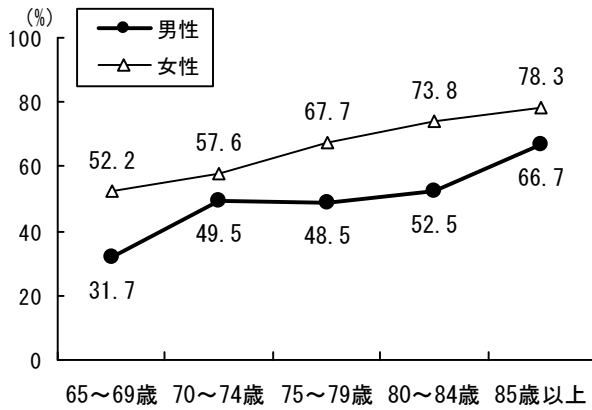


■サービス未利用者

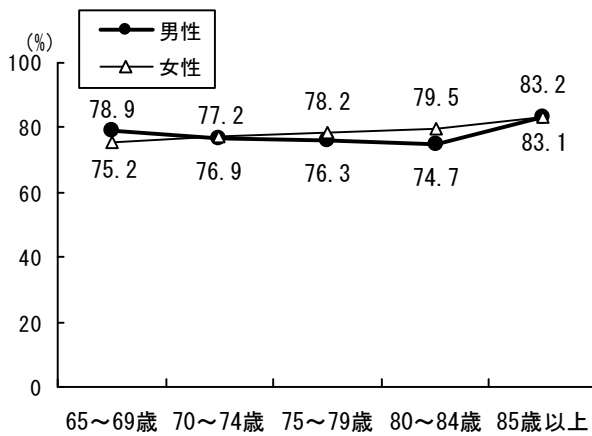


【性年齢別 運動器の機能低下リスク】

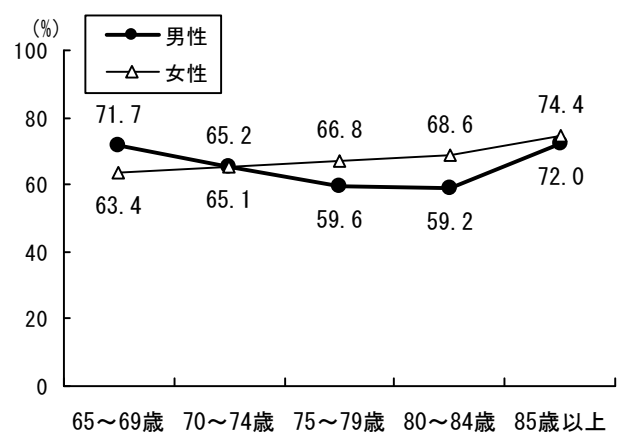
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■サービス未利用者



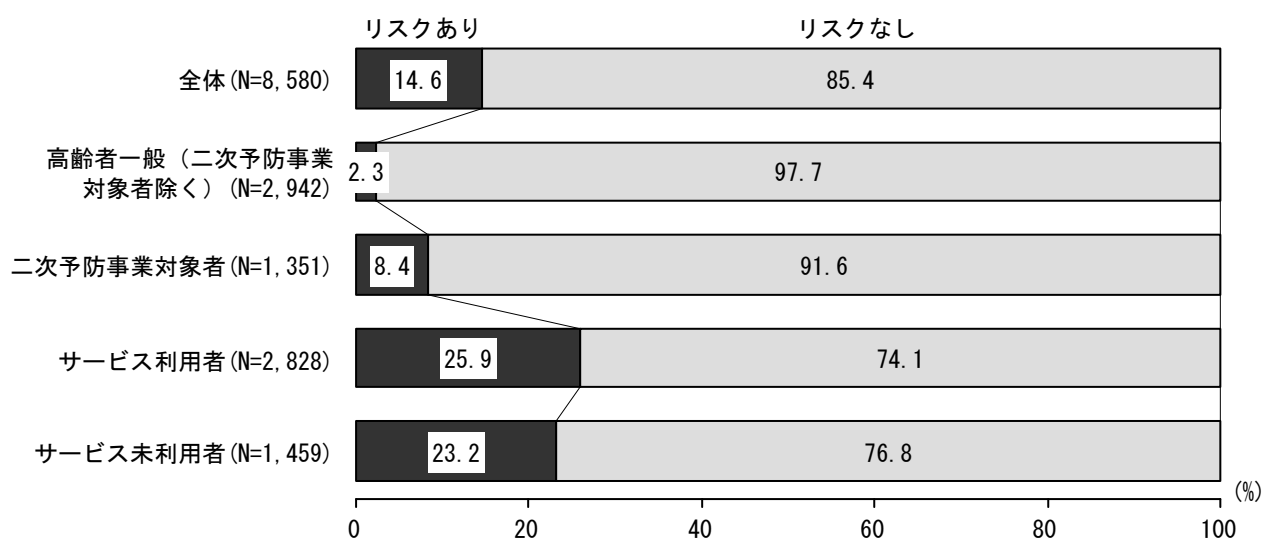
②閉じこもり予防

閉じこもり予防については、全体でリスクありに該当する方の割合は14.6%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が25.9%で最も高く、次いでサービス未利用者が23.2%、二次予防事業対象者が8.4%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が2.3%となっています。

性別でみると、該当する方の割合は、すべての区分で男女間に大きな差異は見られません。

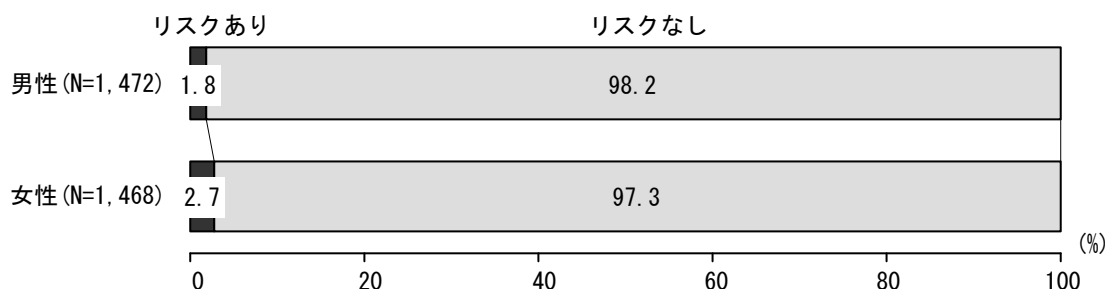
性年齢別でみると、いずれの区分も、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られ、いずれも女性の85歳以上の割合が最も高くなっています。



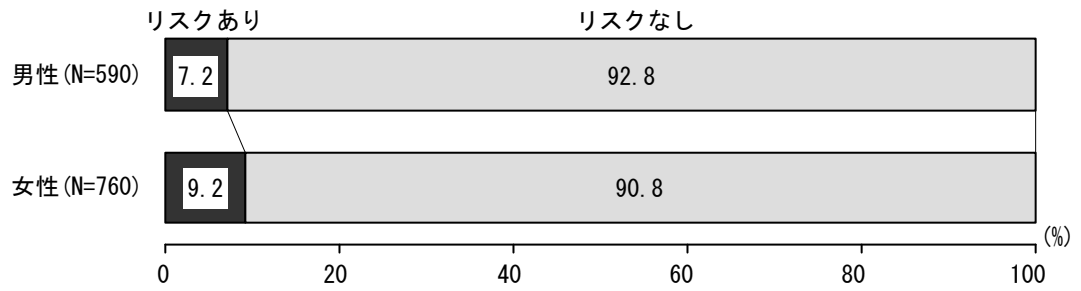
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問3Q5. あなたの外出頻度はどのくらいですか。(週に1日未満)	2.2%	8.4%	25.9%	23.2%
問3Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(はい)	15.0%	44.3%	60.2%	64.4%

【性別 閉じこもりリスク】

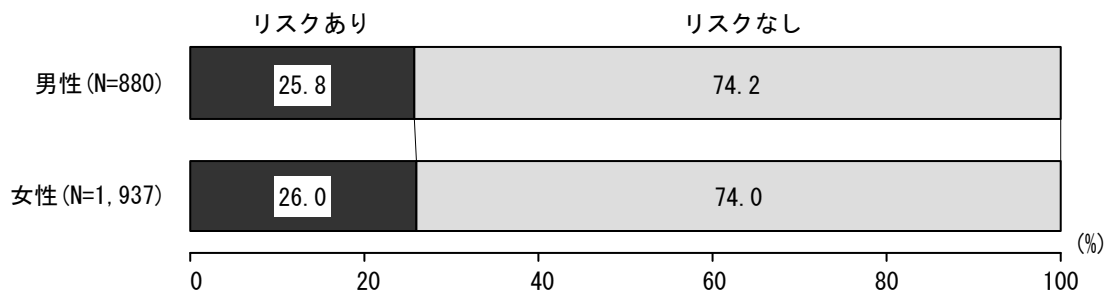
■高齢者一般 (二次予防事業対象者を除く)



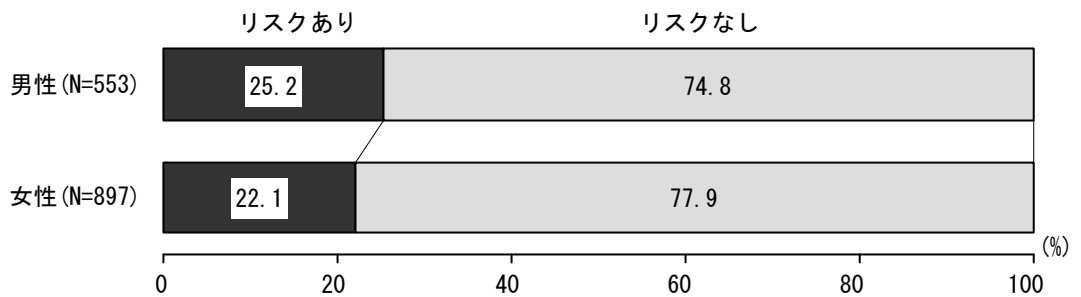
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

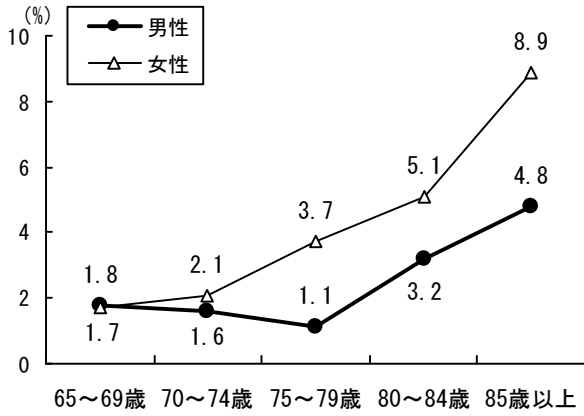


■サービス未利用者

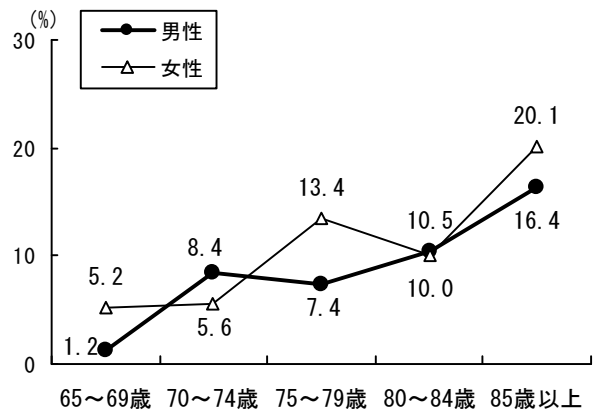


【性年齢別 閉じこもりリスク】

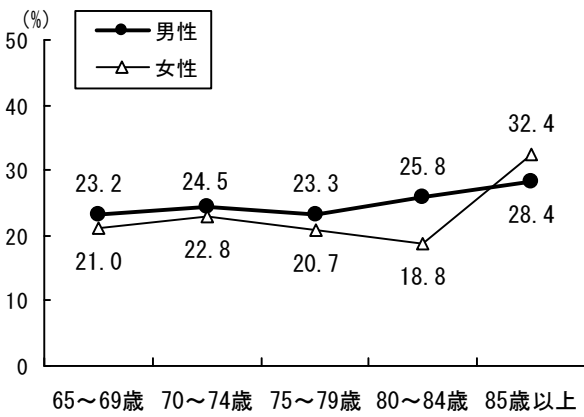
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



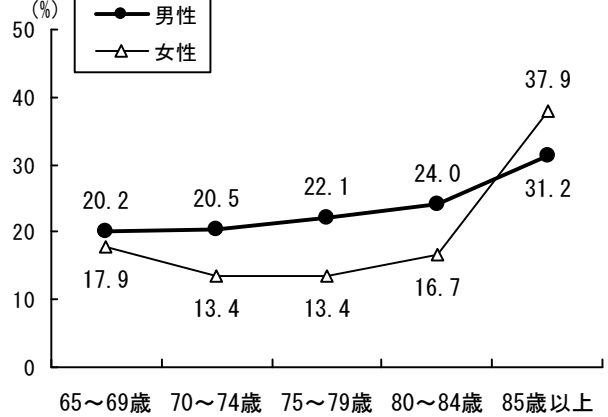
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■サービス未利用者

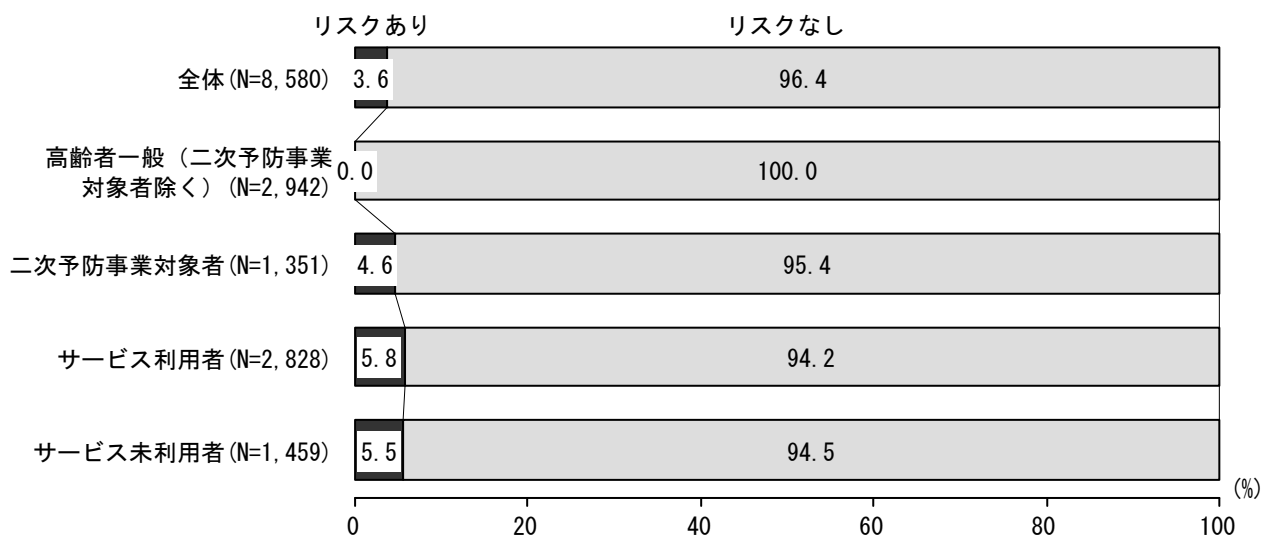


③栄養改善

栄養改善については、リスクありに該当する方の割合は、いずれの区分も5%前後と低くなっています。

性別でみると、該当する方の割合は、すべての区分で男女間に大きな差異は見られません。

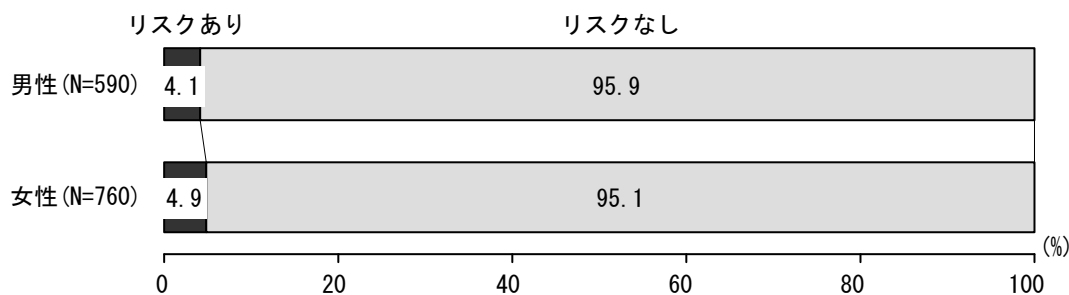
性年齢別でみると、サービス利用者では、男性は、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。



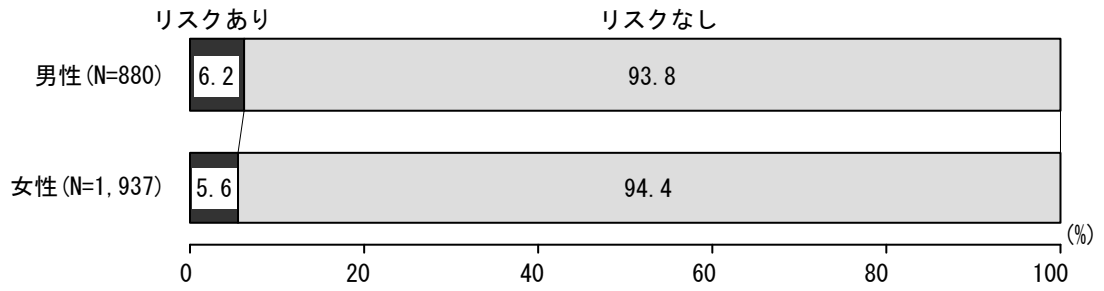
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問5 Q 1. 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(はい)	7.2%	20.0%	23.3%	25.5%
問5 Q 2. 身長, 体重 (BMI < 18.5)	7.1%	10.0%	16.1%	12.5%

【性別 栄養改善リスク】

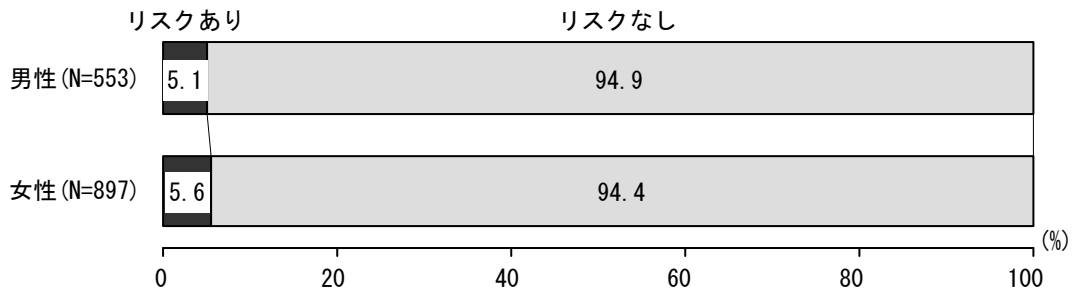
■二次予防事業対象者



■ サービス利用者

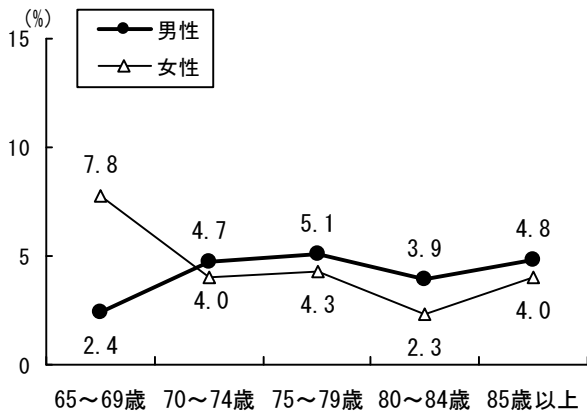


■ サービス未利用者

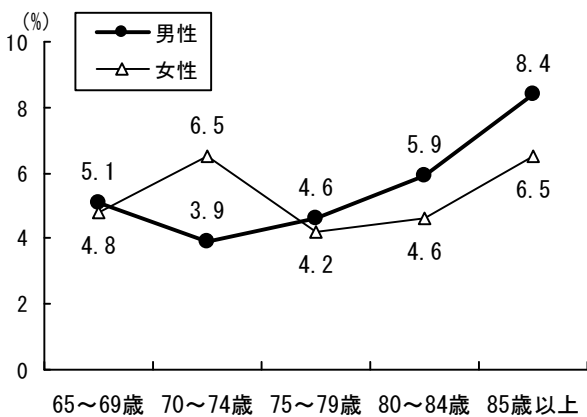


【性年齢別 栄養改善リスク】

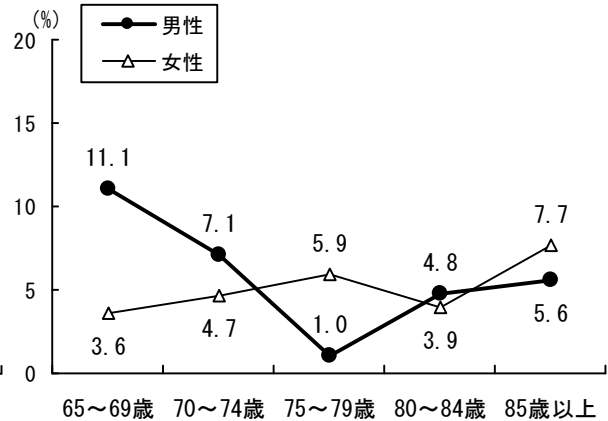
■ 二次予防事業対象者



■ サービス利用者



■ サービス未利用者



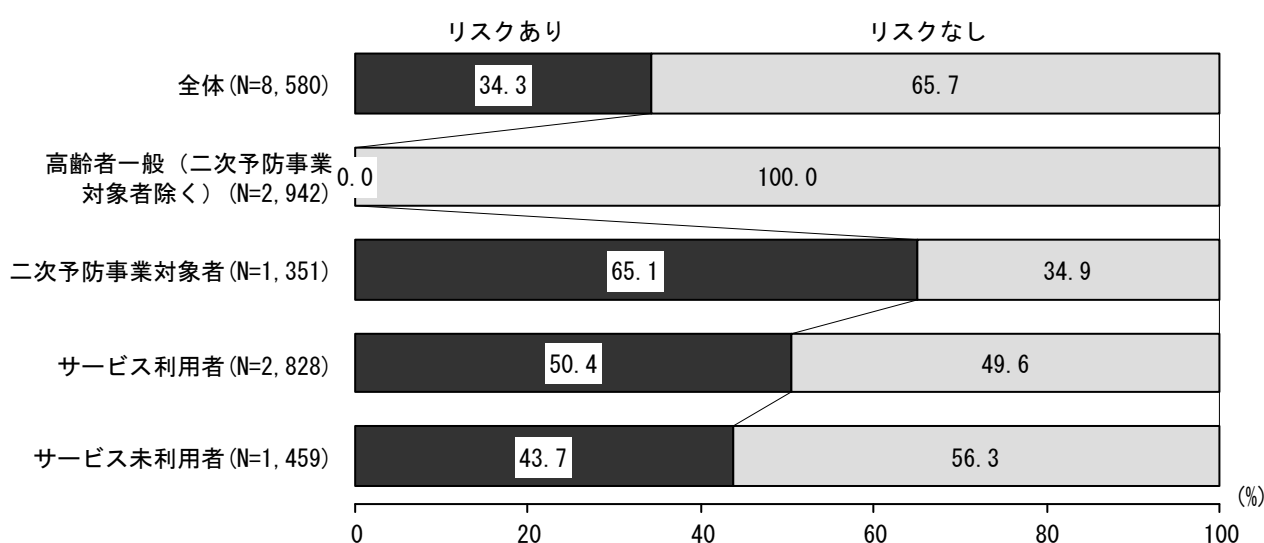
④口腔機能

口腔機能については、全体でリスクありに該当する方の割合は34.3%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、二次予防事業対象者が65.1%で最も高く、次いでサービス利用者が50.4%、サービス未利用者が43.7%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が0.0%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者では、女性よりも男性の割合が12.4ポイント高くなっていますが、サービス利用者・サービス未利用者では男女間に大きな差異は見られません。

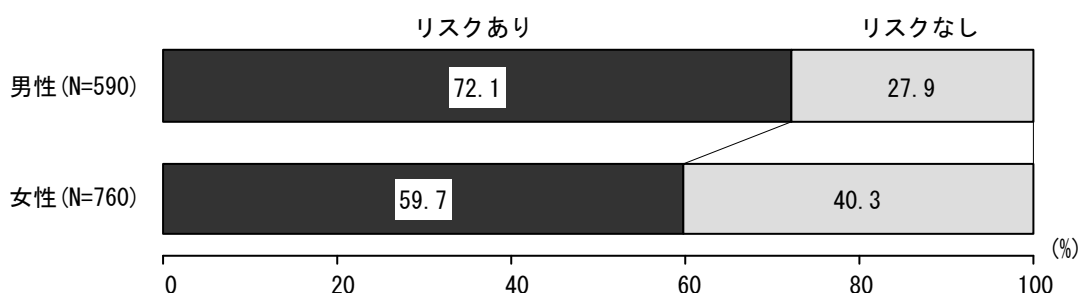
性年齢別でみると、二次予防事業対象者では、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が低くなる傾向が見られます。サービス利用者・サービス未利用者では、女性は、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。



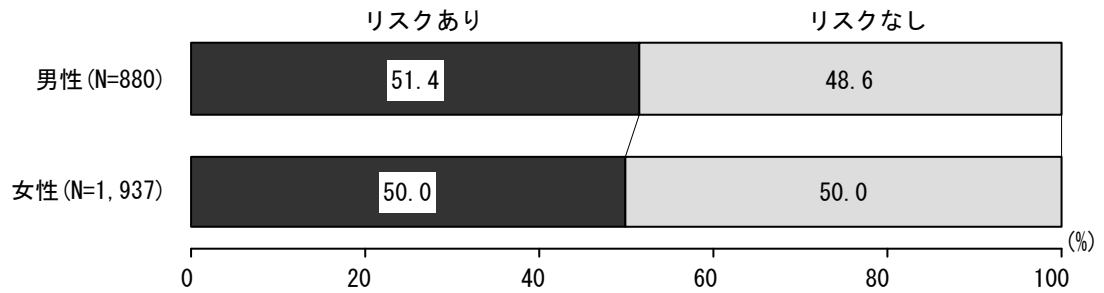
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問5Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(はい)	14.9%	59.3%	58.3%	52.8%
問5Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか。(はい)	8.9%	48.2%	44.5%	38.2%
問5Q5. 口の渇きが気になりますか。(はい)	11.9%	59.2%	45.7%	42.6%

【性別 口腔機能リスク】

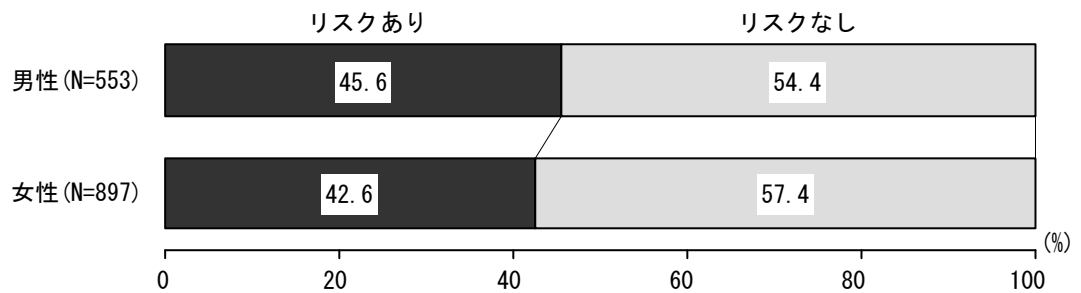
■二次予防事業対象者



■ サービス利用者

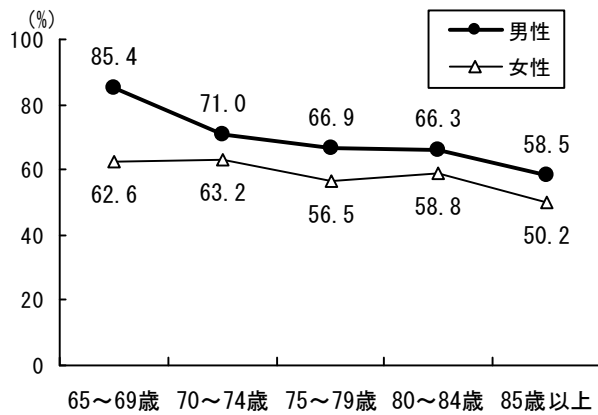


■ サービス未利用者

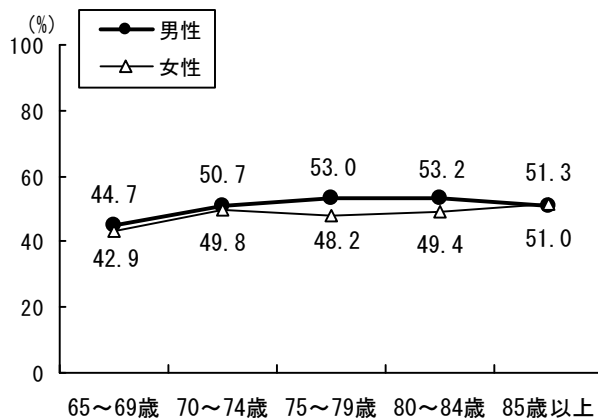


【性年齢別 口腔機能リスク】

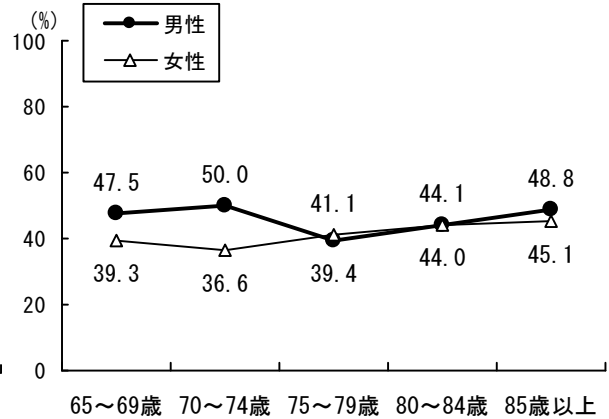
■ 二次予防事業対象者



■ サービス利用者



■ サービス未利用者



⑤認知症予防

認知症予防については、全体でリスクありに該当する方の割合は45.6%となっています。

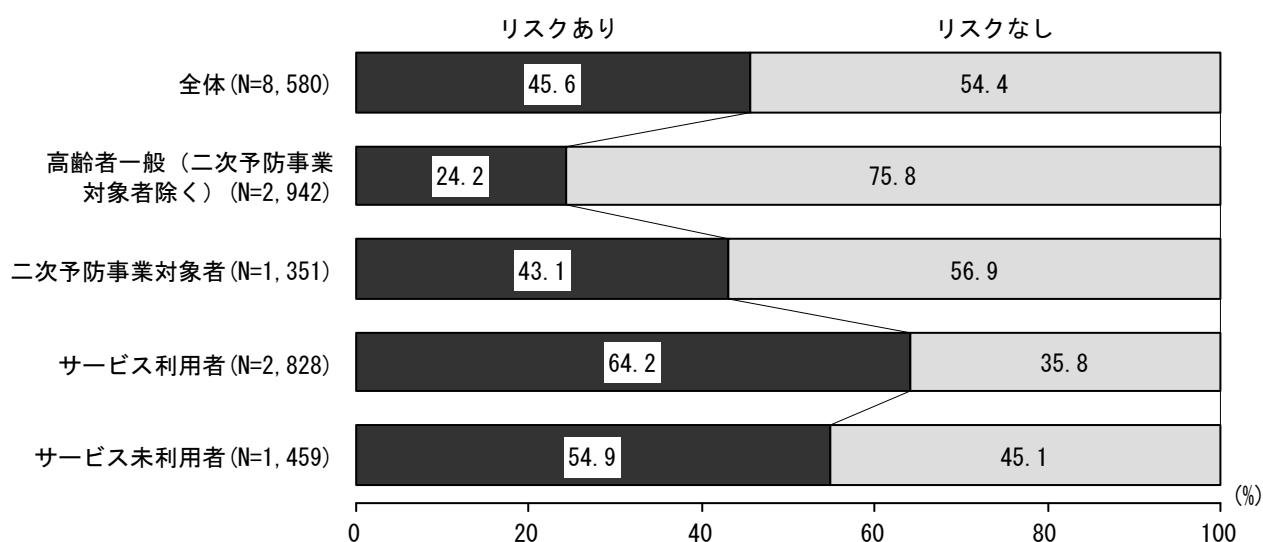
リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が64.2%で最も高く、次いでサービス未利用者が54.9%、二次予防事業対象者が43.1%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が24.2%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者では、女性よりも男性の割合が11.1ポイント高くなっており、その他の区分についても、いずれも女性よりも男性の割合が高くなっています。

性年齢別でみると、二次予防事業対象者・サービス利用者では、女性は、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。サービス未利用者では、女性は、65～84歳では年齢別に大きな差異は見られませんが、85歳以上では割合が高くなっています。

家族構成別でみると、いずれの区分も一人暮らしよりも家族など同居の割合が高く、特に、サービス利用者では18.1ポイント高くなっています。

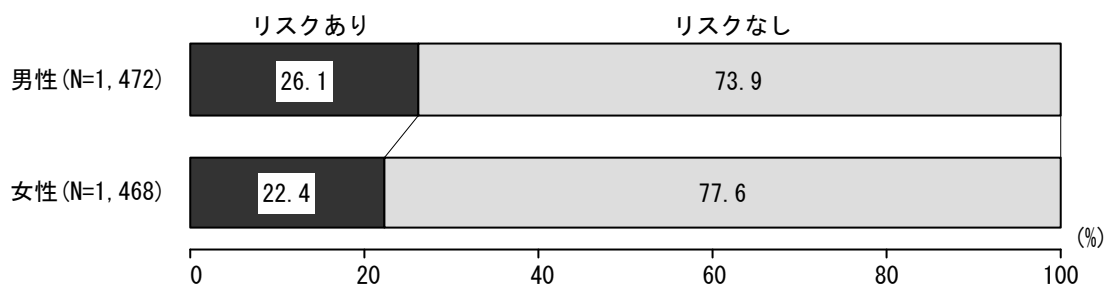
要介護度別でみると、サービス利用者・サービス未利用者とも概ね要介護度が重度化するにつれて割合が高くなる傾向が見られます。



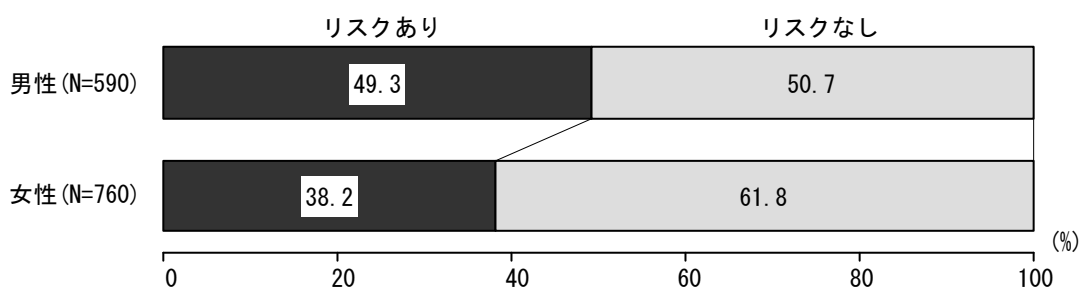
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問6Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。(はい)	9.8%	26.4%	42.2%	34.9%
問6Q2. 他人の手助けを得ずに、自分で電話番号を調べて、電話をかけるをしていますか。(はい)	93.3%	92.9%	58.6%	75.7%
問6Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。(はい)	13.6%	26.8%	48.6%	37.7%

【性別 認知症リスク】

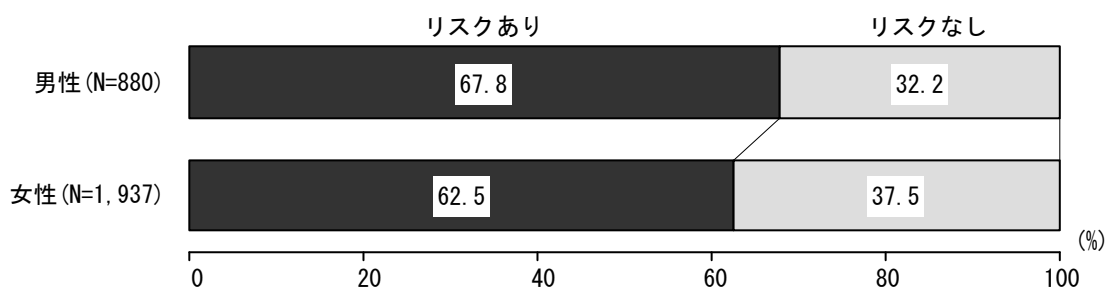
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



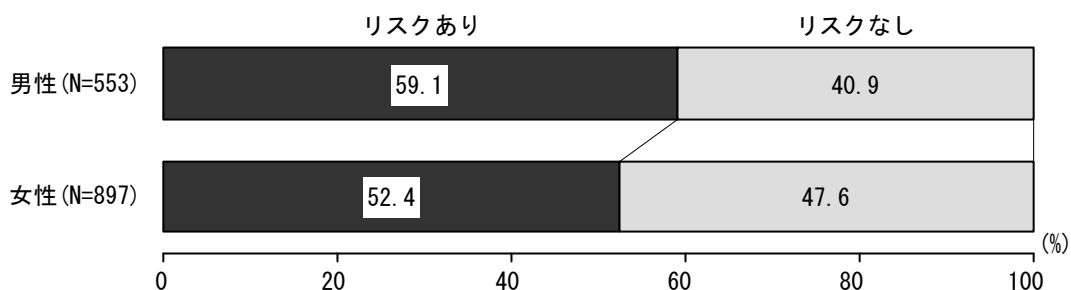
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

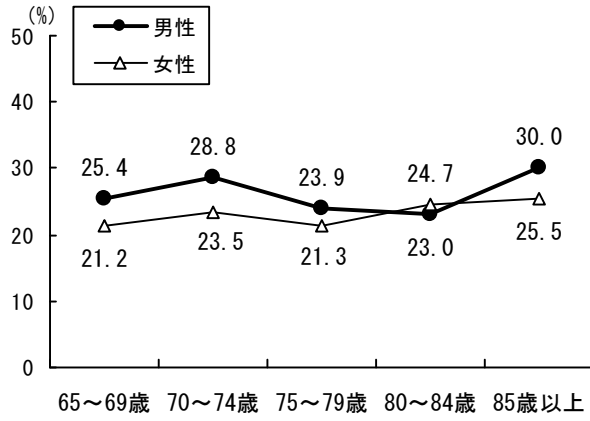


■サービス未利用者

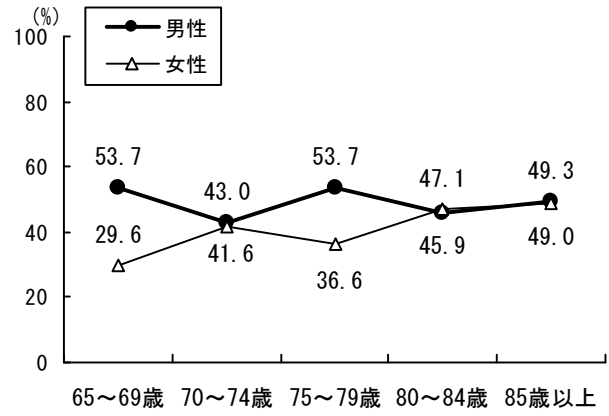


【性年齢別 認知症リスク】

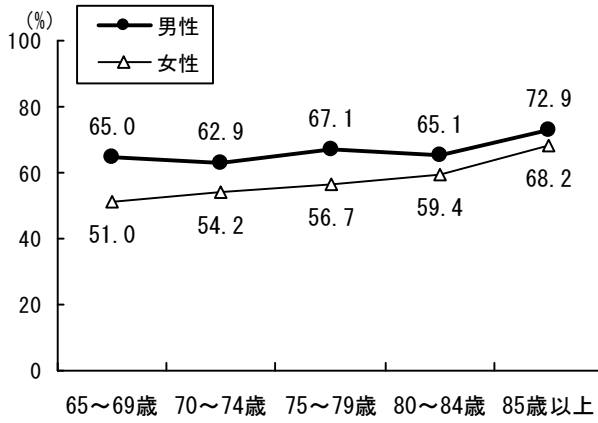
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



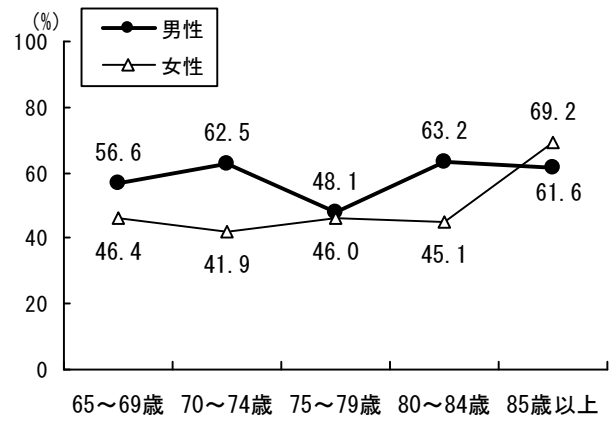
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

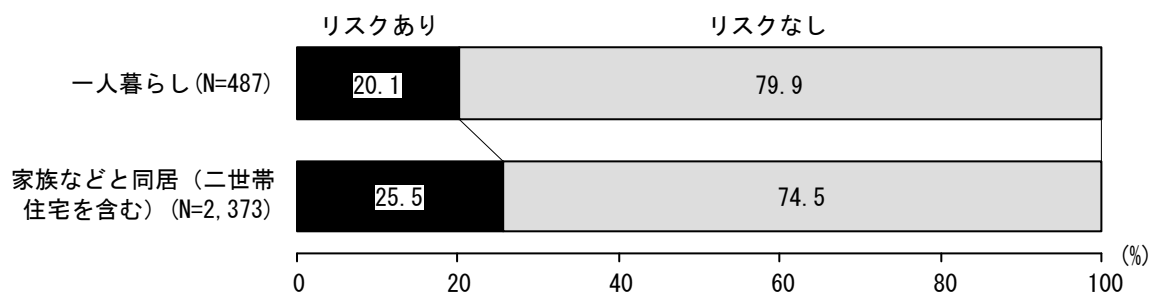


■サービス未利用者

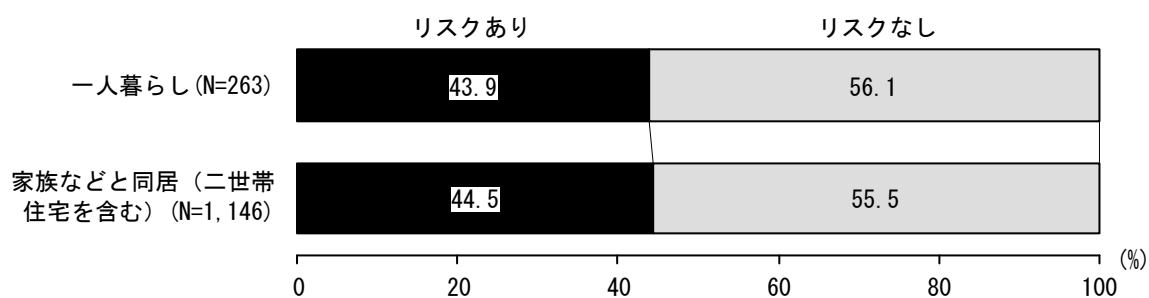


【家族構成別 認知症リスク】

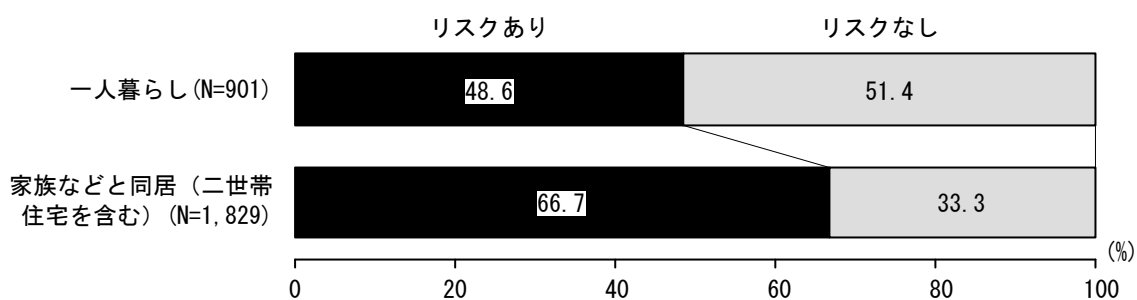
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



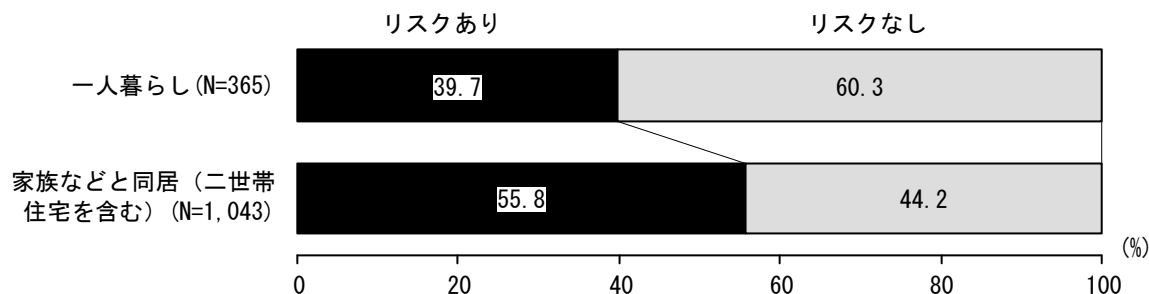
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

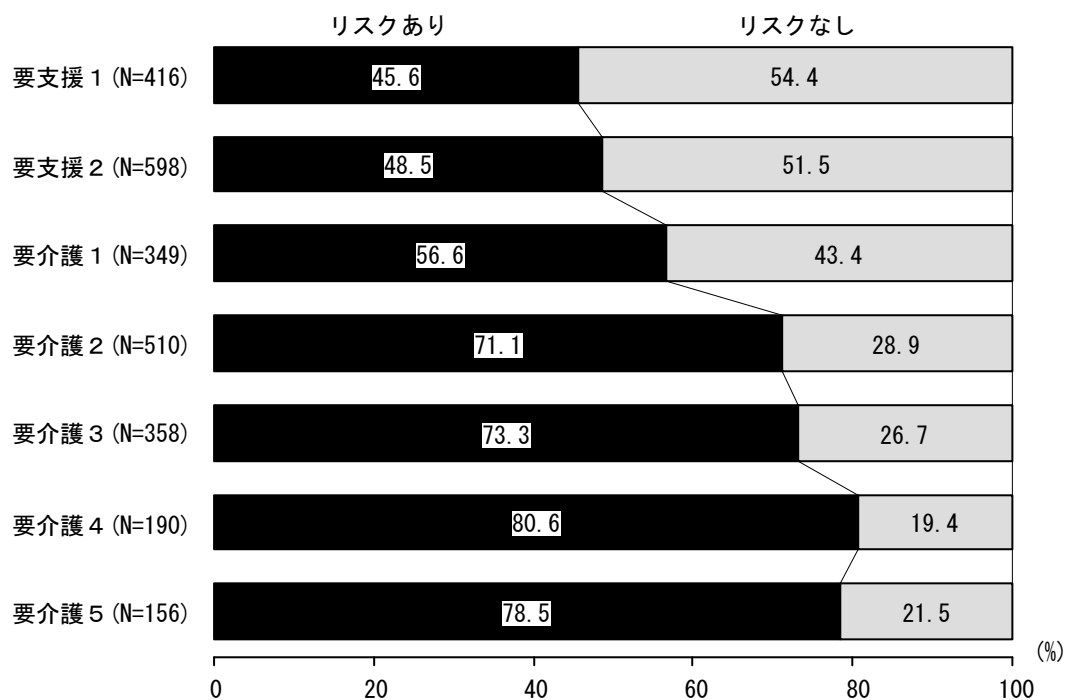


■サービス未利用者

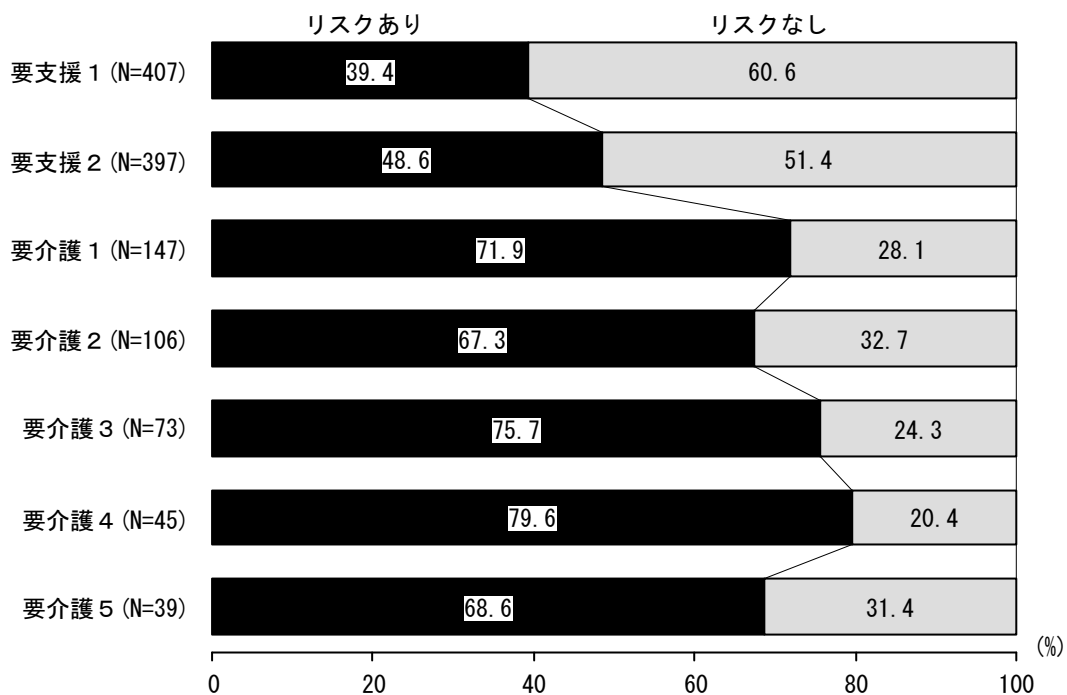


【要介護度別 認知症リスク】

■ サービス利用者



■ サービス未利用者



⑥認知機能障害の程度

認知機能障害の程度については、全体で「1レベル（境界的）」以上の『障害あり』の割合は36.6%となっています。

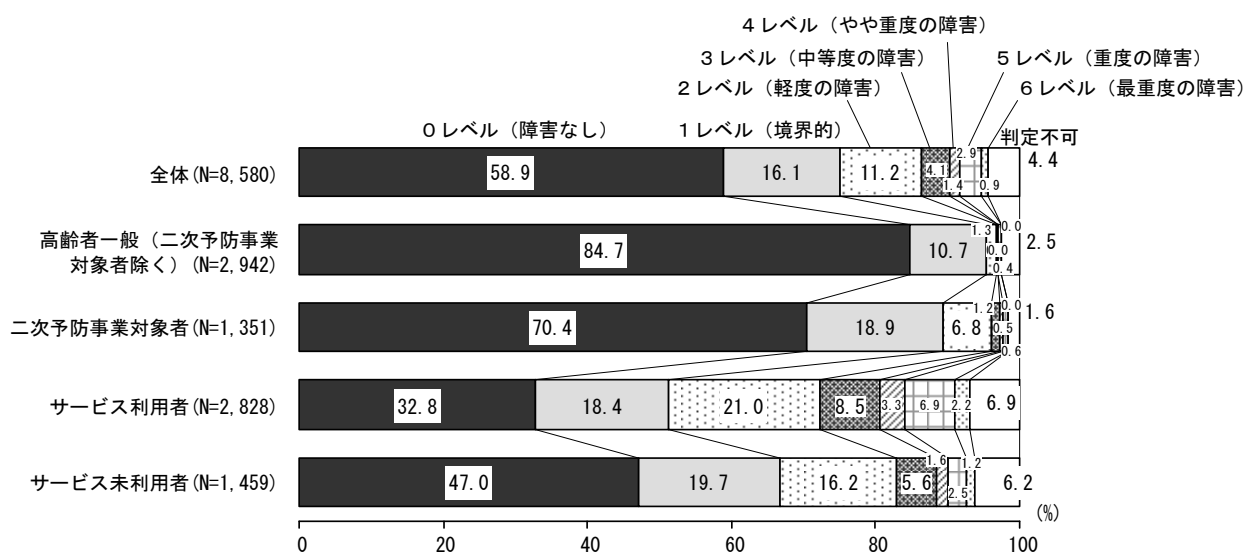
『障害あり』の割合は、二次予防事業対象者を除く高齢者一般では12.4%、二次予防事業対象者では28.0%であるのに対し、サービス利用者では60.3%、サービス未利用者では46.8%と高くなっています。

性別でみると、二次予防事業対象者では、女性よりも男性の『障害あり』の割合が13.9ポイント高くなっており、その他の区分についても、いずれも女性よりも男性の割合が高くなっています。

性年齢別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般・二次予防事業対象者では、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて『障害あり』の割合が高くなる傾向が見られます。サービス利用者・サービス未利用者では、男性は、年齢別に大きな差異は見られませんが、女性は85歳以上で『障害あり』の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、サービス利用者・サービス未利用者では、一人暮らしよりも家族など同居が『障害あり』の割合が高くなっています。

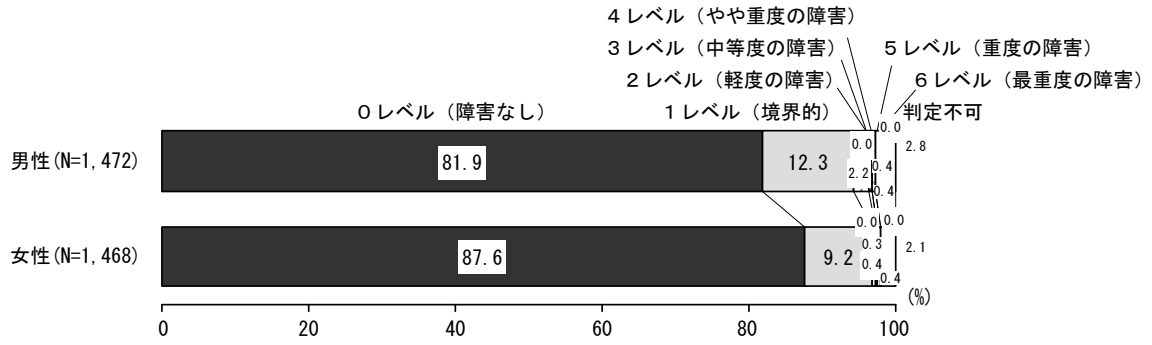
要介護度別でみると、サービス利用者・サービス未利用者とも概ね要介護度が重度化するにつれて『障害あり』の割合が高くなる傾向が見られます。



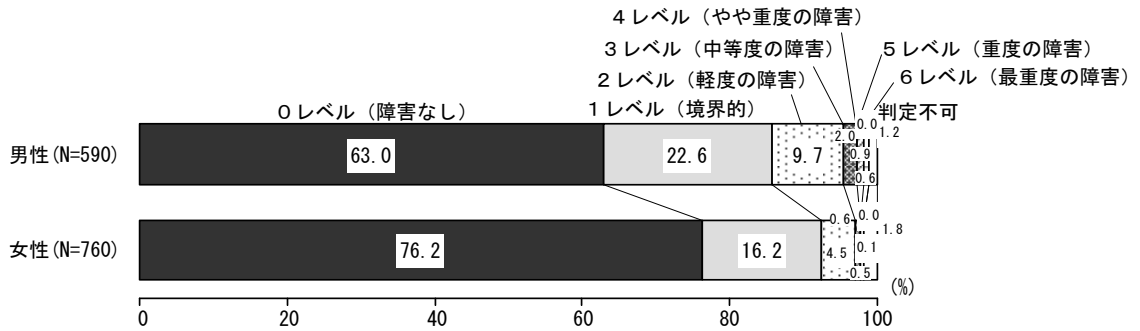
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問6Q4. 5分前のことが思い出せますか。(いいえ)	7.0%	10.3%	29.3%	18.6%
問6Q5. その日の活動を自分で判断できますか。(いくらか困難であるが、できる～ほとんど判断できない)	2.7%	9.8%	51.5%	33.4%
問6Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(いくらか困難であるが、伝えられる～ほとんど伝えられない)	5.3%	19.5%	46.8%	34.1%
問7Q7. 食事は自分で食べられますか。(一部介助があればできる、できない)	0.0%	0.4%	13.9%	6.4%

【性別 認知機能障害の程度】

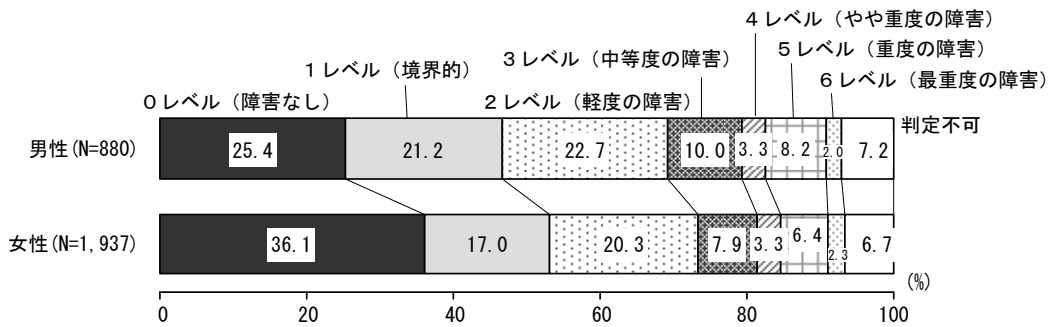
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



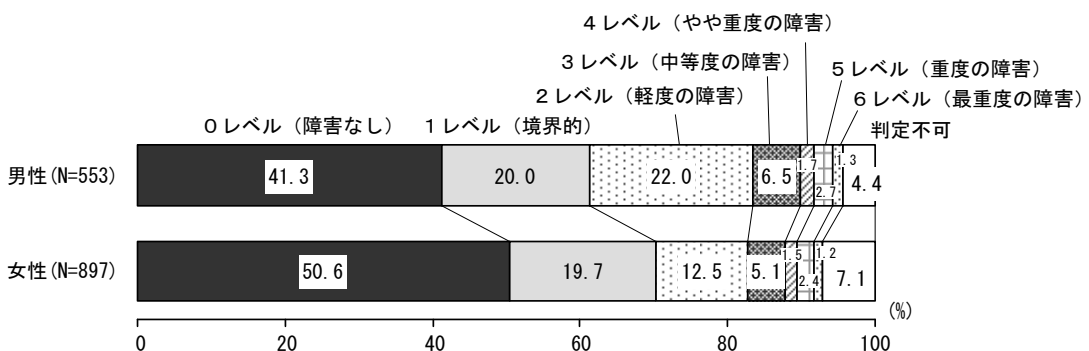
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

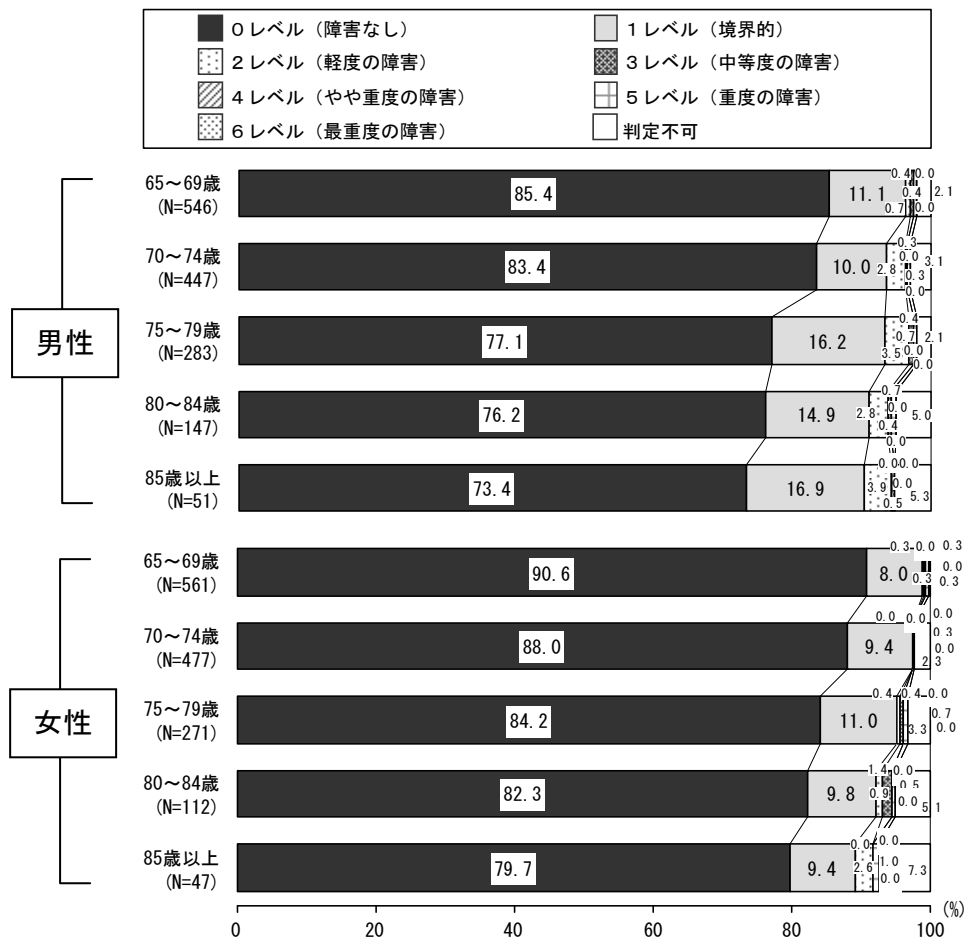


■サービス未利用者

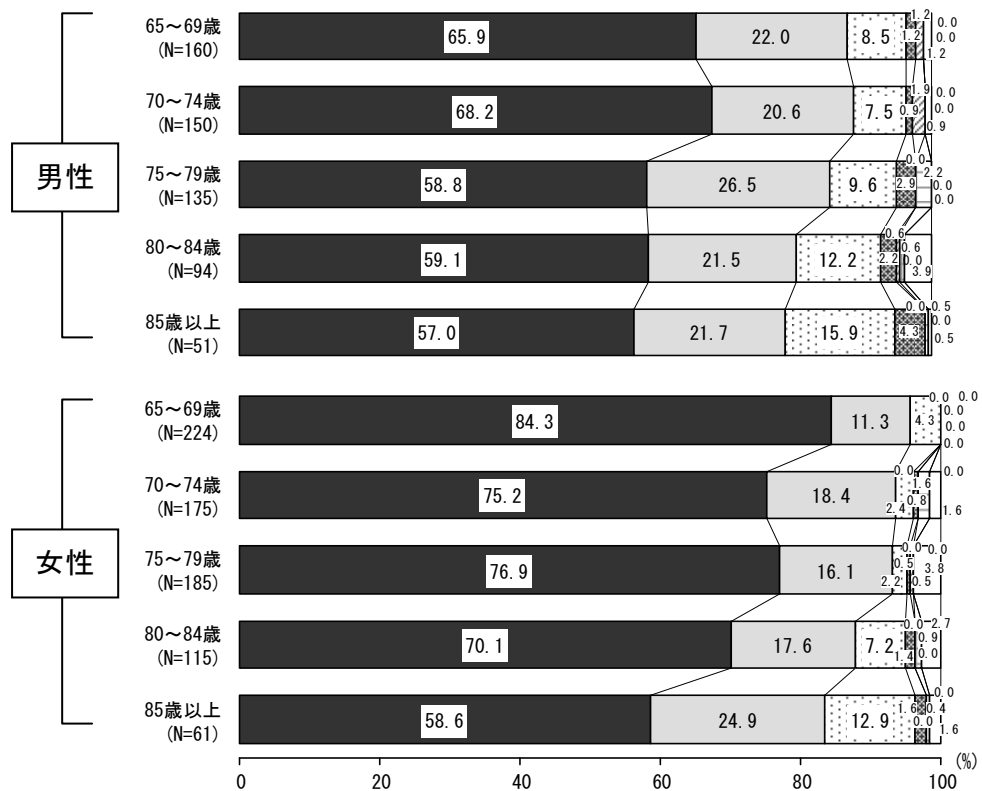


【性年齢別 認知機能障害の程度】

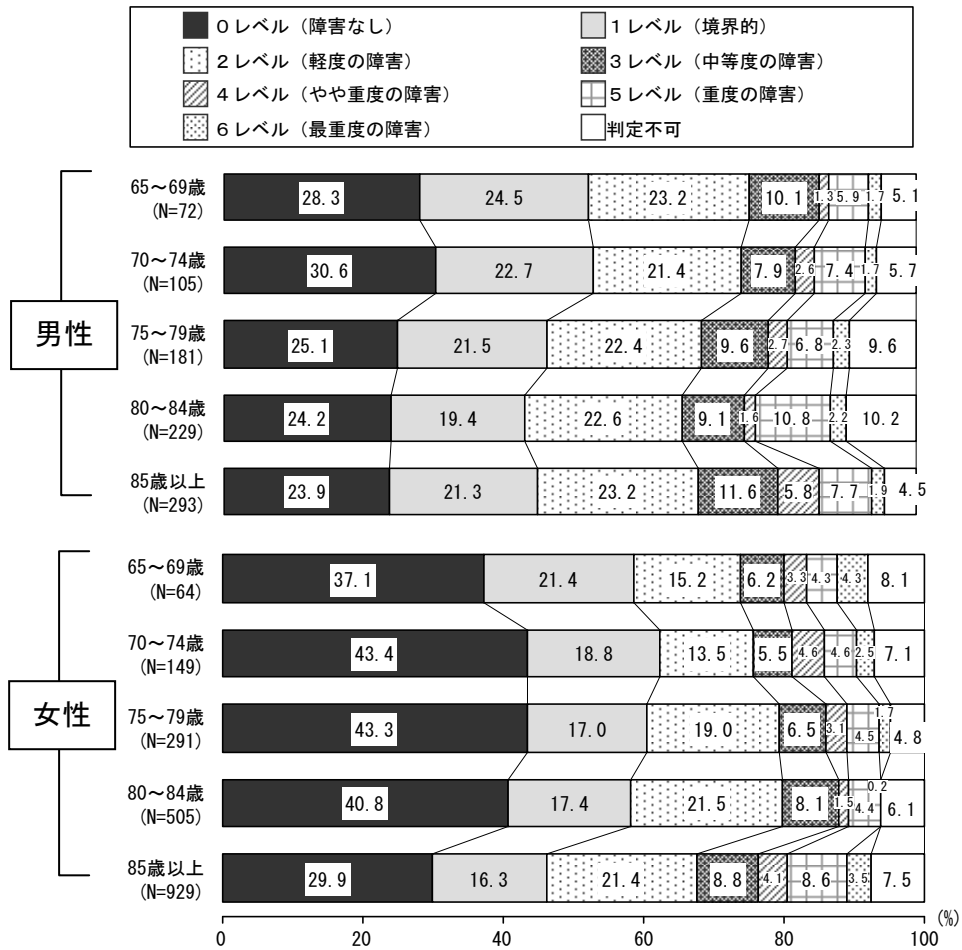
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



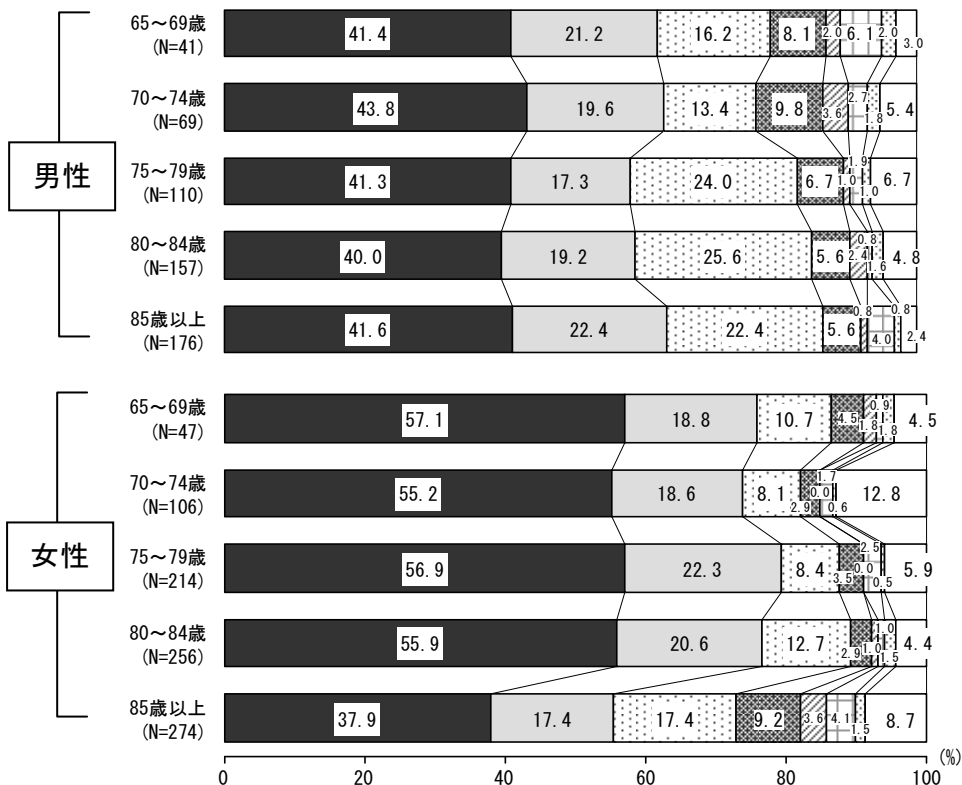
■二次予防事業対象者



■ サービス利用者

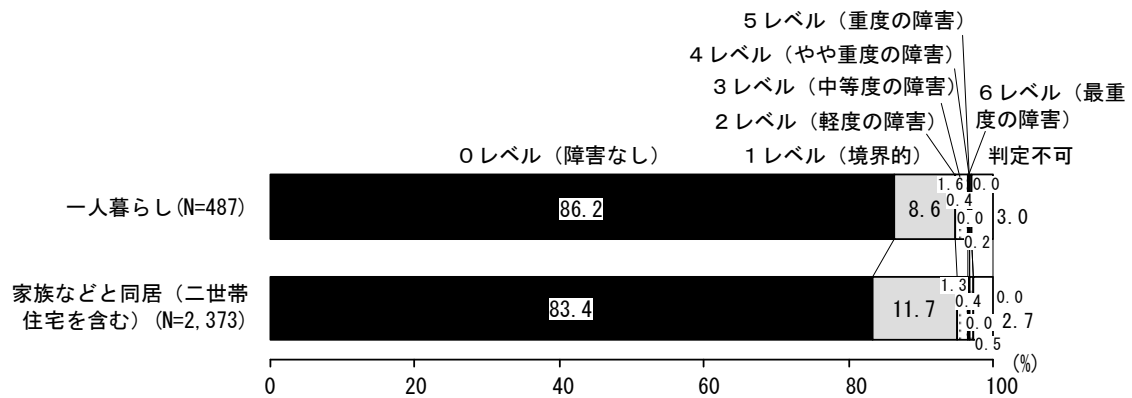


■ サービス未利用者

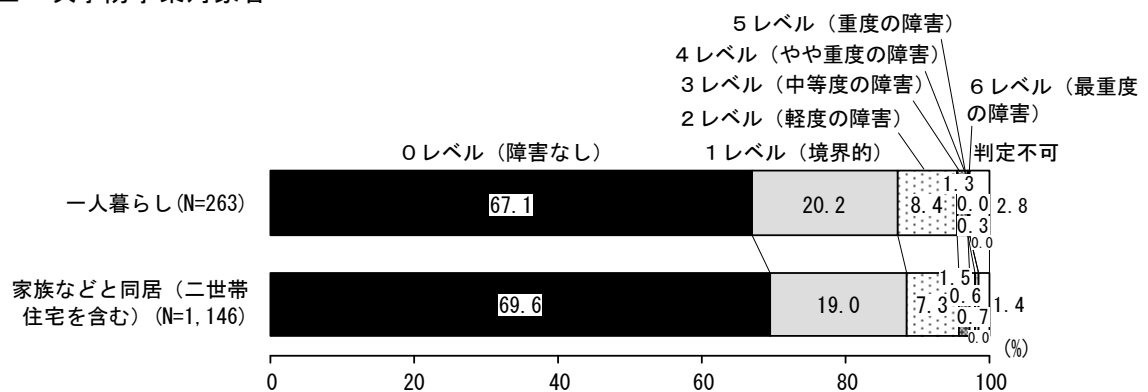


【家族構成別 認知機能障害の程度】

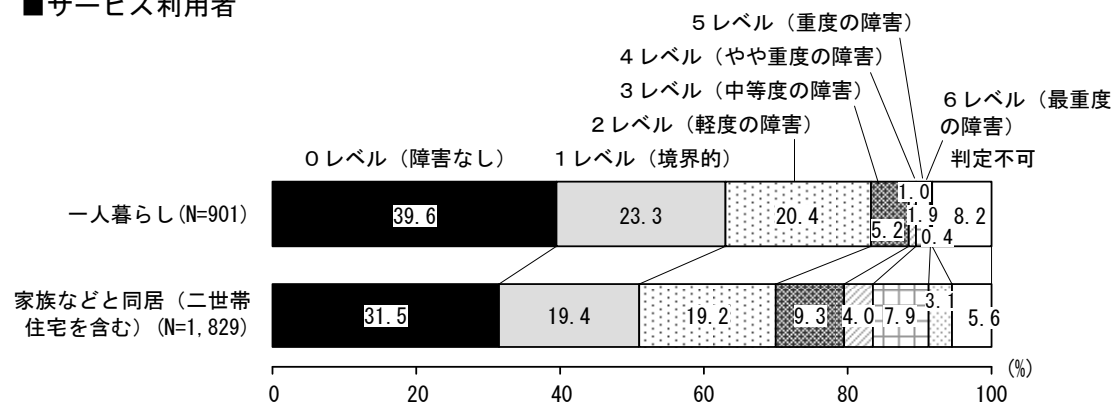
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



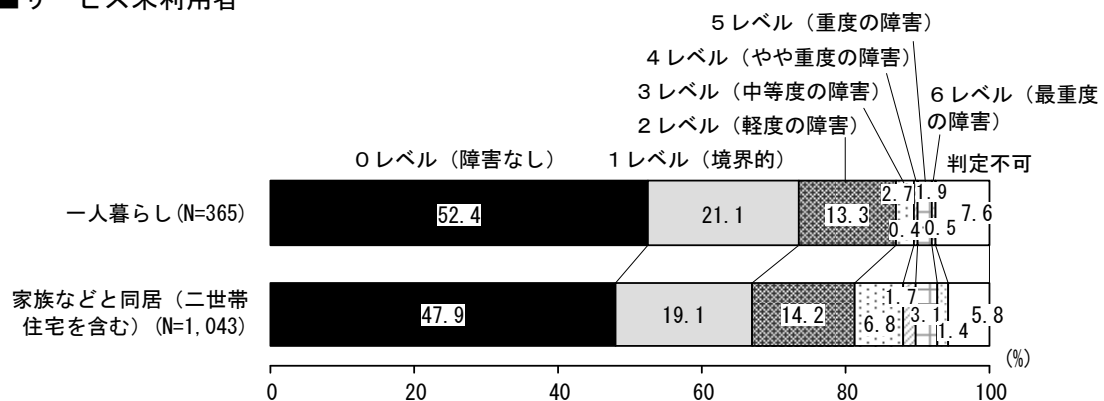
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

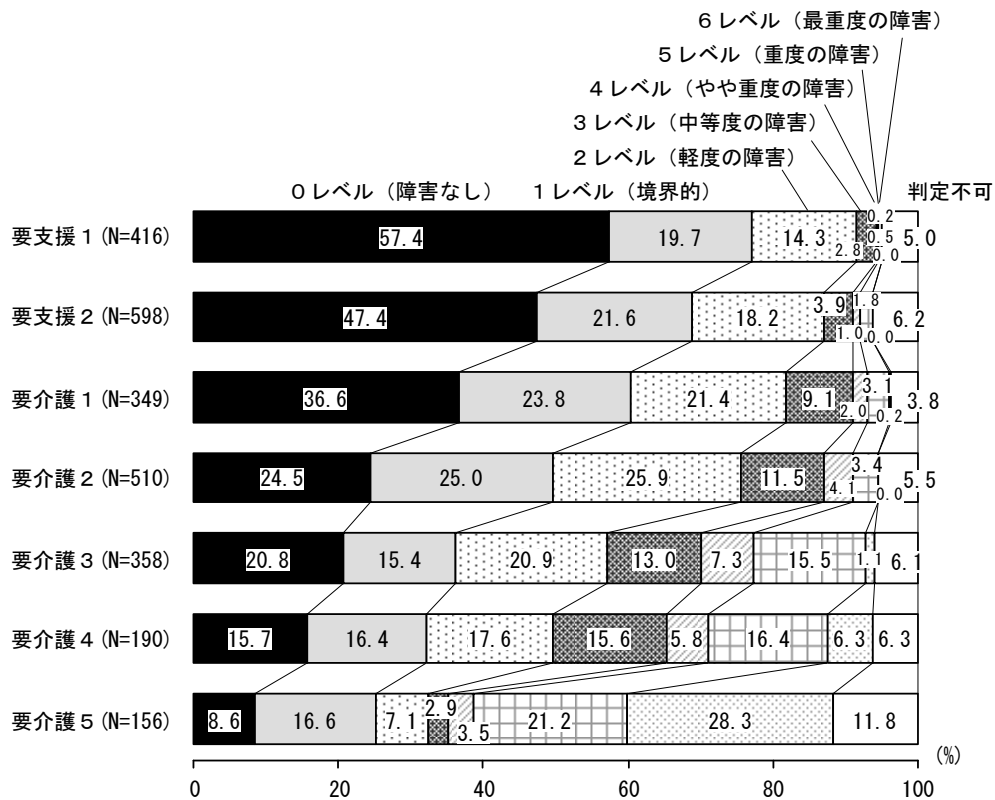


■サービス未利用者

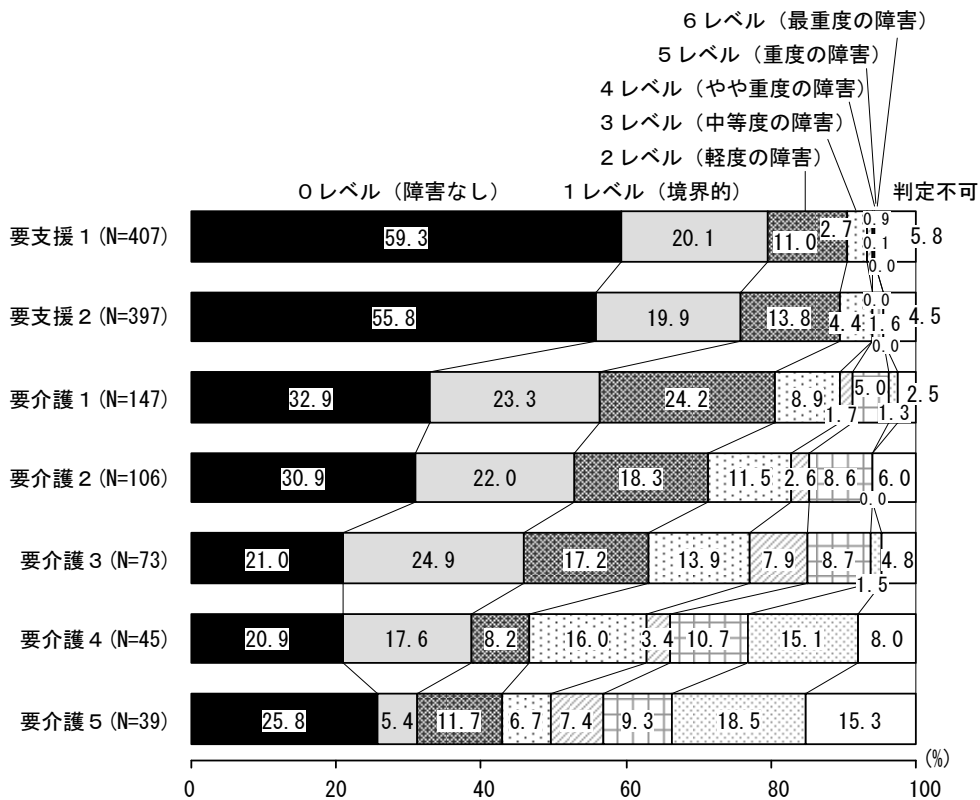


【要介護度別 認知機能障害の程度】

■ サービス利用者



■ サービス未利用者



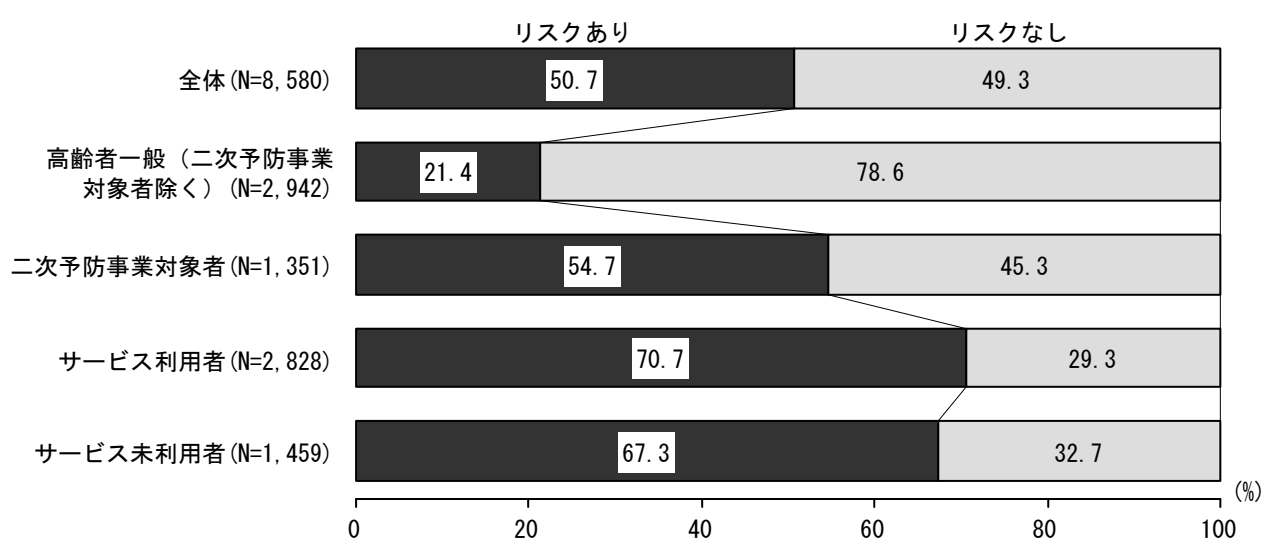
⑦うつ予防

うつ予防については、全体でリスクありに該当する方の割合は50.7%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が70.7%で最も高く、次いでサービス未利用者が67.3%、二次予防事業対象者が54.7%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が21.4%となっています。

性別でみると、該当する方の割合は、すべての区分で男女間に大きな差異は見られません。

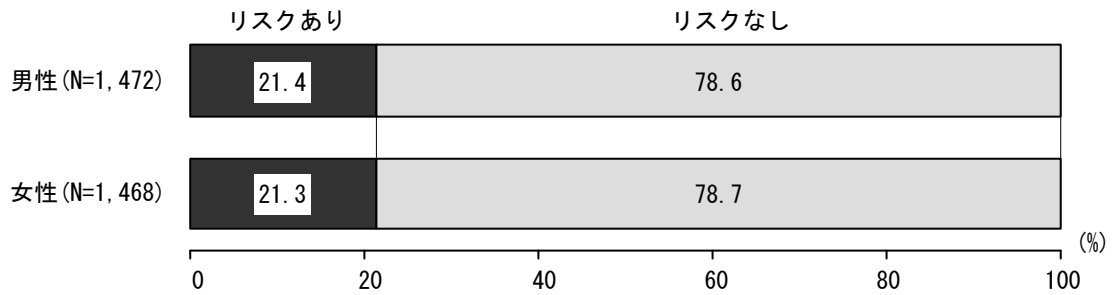
性年齢別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般では、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。サービス未利用者では、女性は、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。



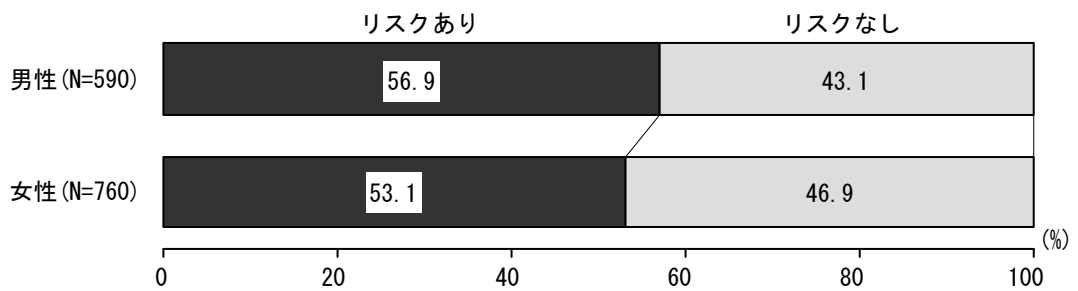
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問9Q7.(1) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない (はい)	11.6%	31.1%	46.8%	43.4%
問9Q7.(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった (はい)	9.3%	32.3%	51.4%	46.3%
問9Q7.(3) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる (はい)	27.8%	60.7%	73.6%	71.4%
問9Q7.(4) 自分が役に立つ人間だと思えない (はい)	12.6%	28.4%	49.6%	41.8%
問9Q7.(5) わけもなく疲れたような感じがする (はい)	17.2%	47.6%	57.4%	55.8%

【性別 うつリスク】

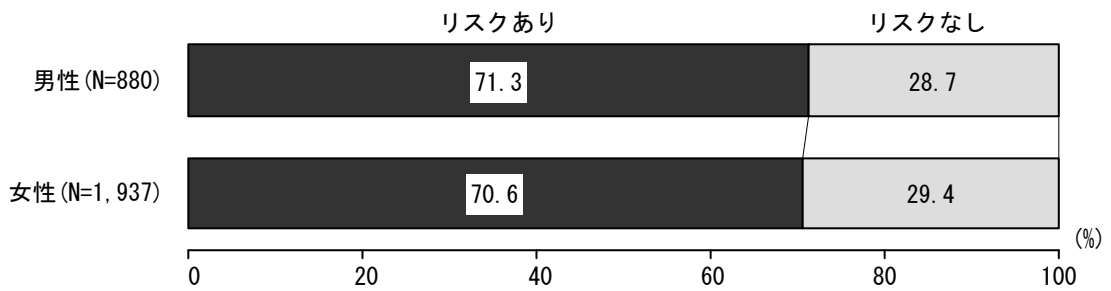
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



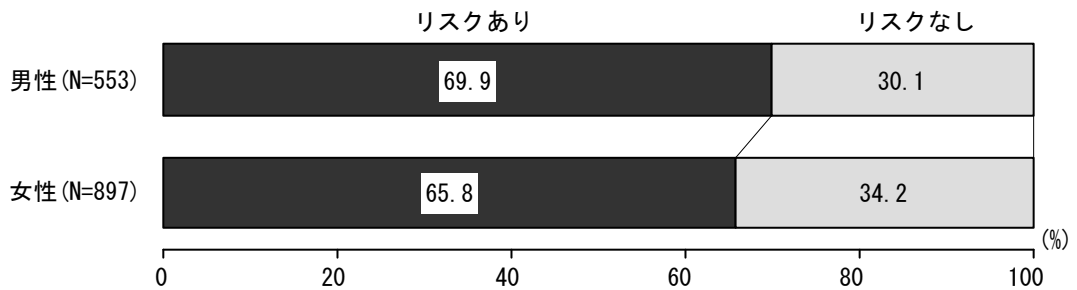
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

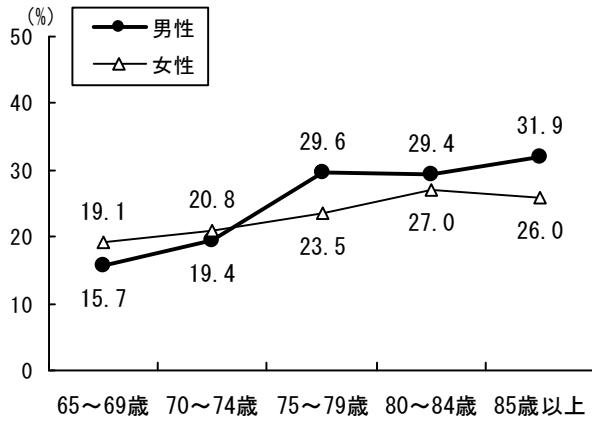


■サービス未利用者

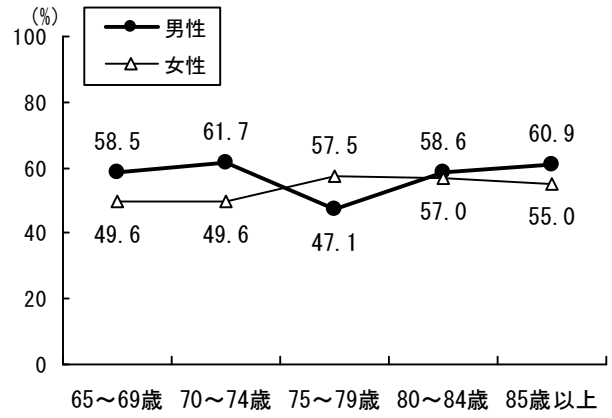


【性年齢別 うつリスク】

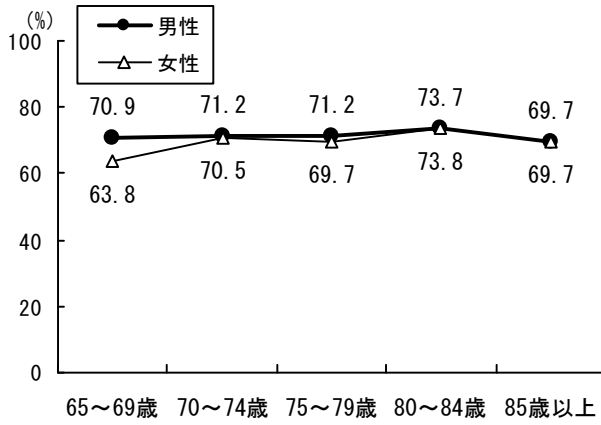
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



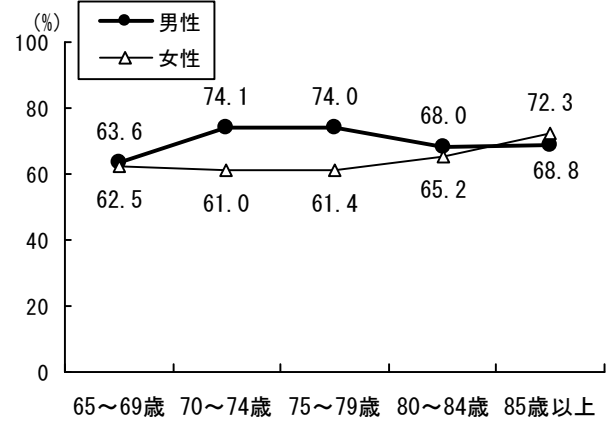
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■サービス未利用者



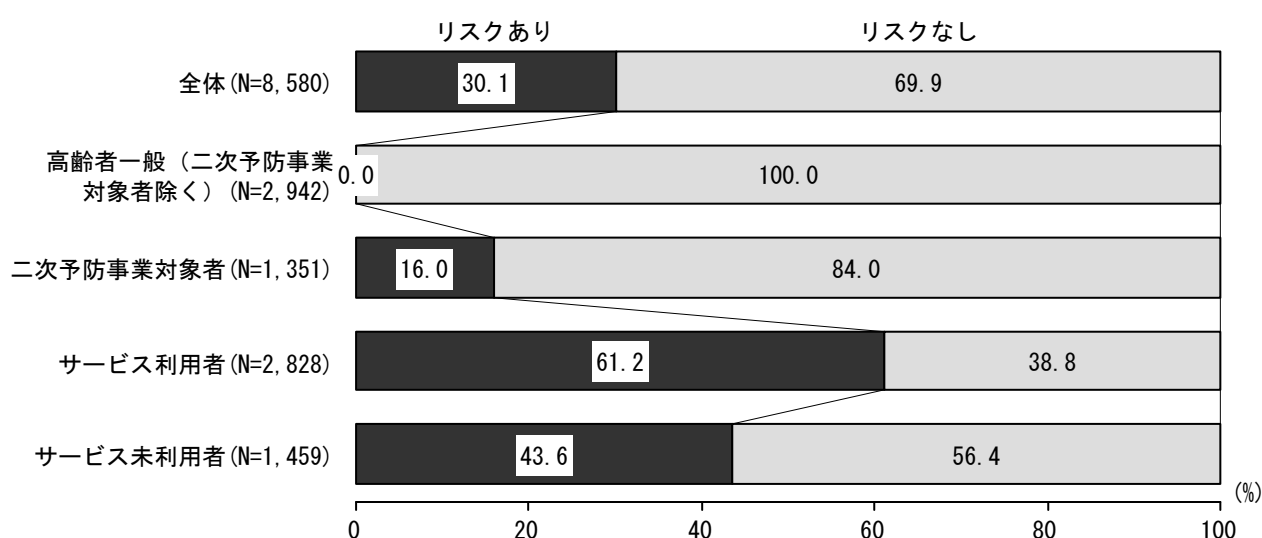
⑧虚弱

虚弱については、全体でリスクありに該当する方の割合は30.1%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が61.2%で最も高く、次いでサービス未利用者が43.6%、二次予防事業対象者が16.0%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が0.0%となっています。

性別でみると、サービス未利用者では、女性よりも男性の割合が8.8ポイント高くなっていますが、二次予防事業対象者・サービス利用者では男女間に大きな差異は見られません。

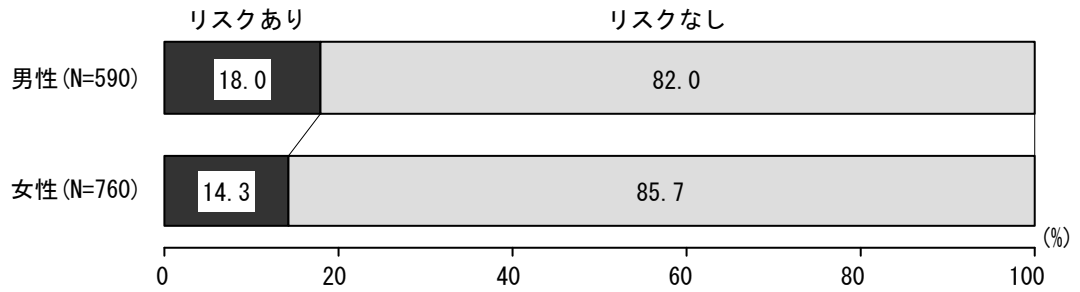
性年齢別でみると、二次予防事業対象者では、男性・女性ともに、概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。サービス利用者・サービス未利用者では、女性は、65～84歳では年齢別に大きな差異は見られませんが、85歳以上では割合が最も高くなっています。



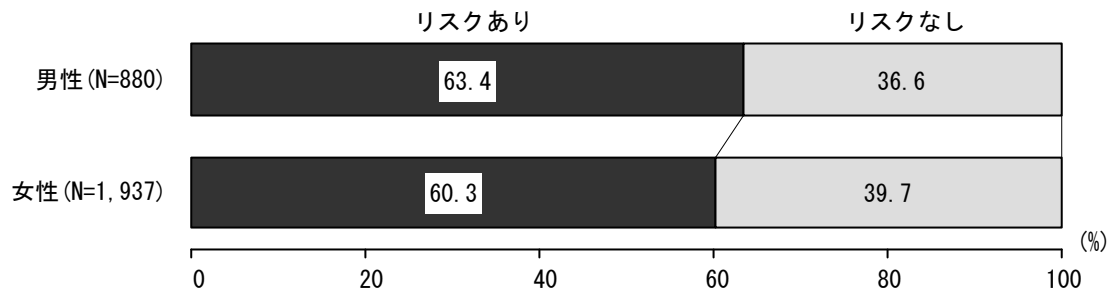
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問7Q1. バスや電車で一人で外出していますか。(「できるけどしていない」, 「できない」)	4.4%	12.6%	65.9%	43.0%
問7Q2. 日用品の買物をしていますか。(「できるけどしていない」, 「できない」)	10.0%	15.5%	59.9%	41.5%
問7Q6. 預貯金の出し入れをしていますか。(「できるけどしていない」, 「できない」)	13.1%	17.9%	55.6%	37.4%
問8Q5. 友人の家を訪ねていますか。(いいえ)	35.8%	51.3%	78.3%	66.1%
問8Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。(いいえ)	13.2%	25.4%	58.5%	44.0%

【性別 虚弱リスク】

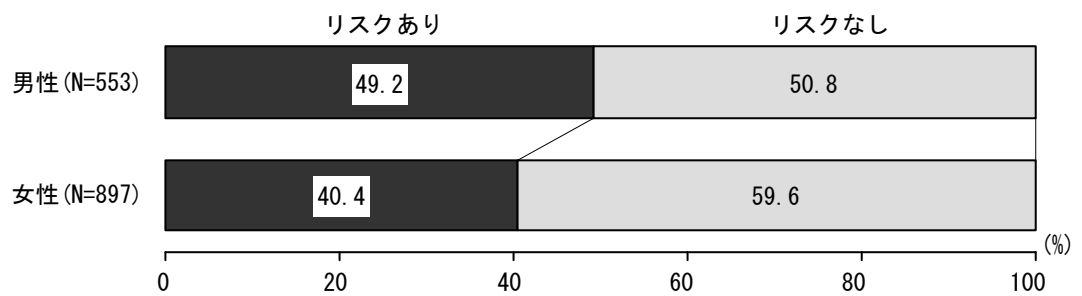
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

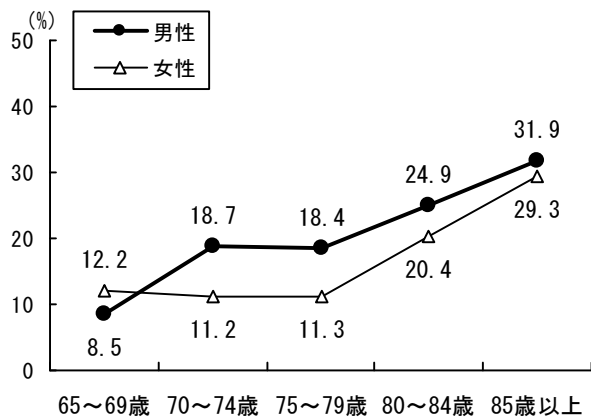


■サービス未利用者

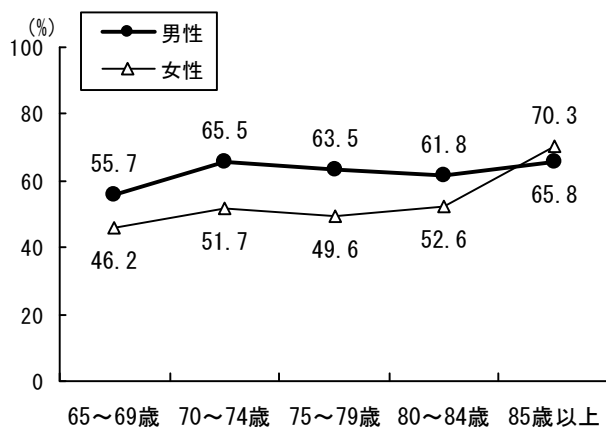


【性年齢別 虚弱リスク】

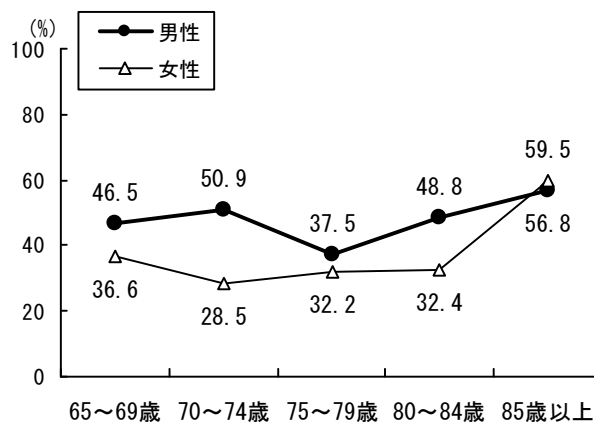
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■サービス未利用者



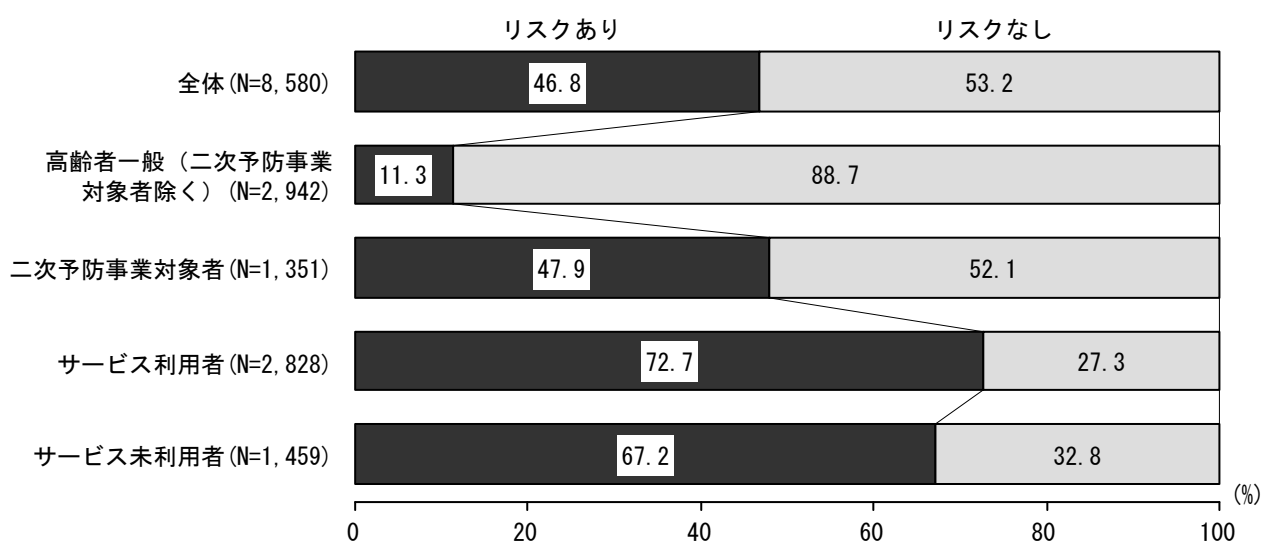
⑨転倒

転倒については、全体でリスクありに該当する方の割合は46.8%となっています。

リスクありに該当する方の割合は、サービス利用者が72.7%で最も高く、次いでサービス未利用者が67.2%、二次予防事業対象者が47.9%、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が11.3%となっています。

性別でみると、該当する方の割合は、すべての区分で男女間に大きな差異は見られません。

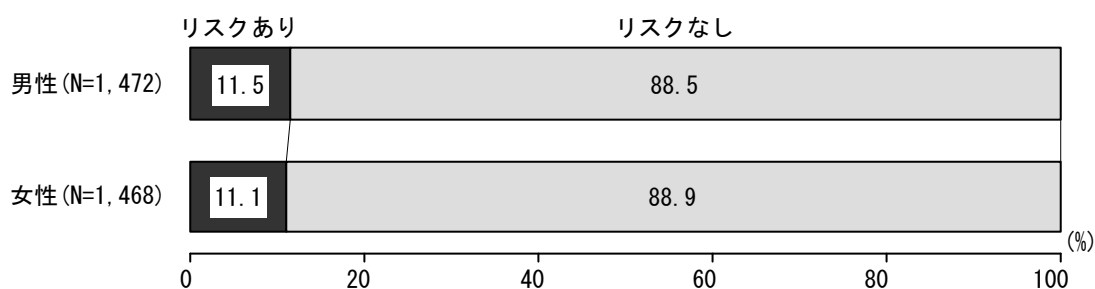
性年齢別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般、二次予防事業対象者、サービス利用者の男性・女性及びサービス未利用者の女性では、いずれも概ね年齢が上がるにつれて該当する方の割合が高くなる傾向が見られます。



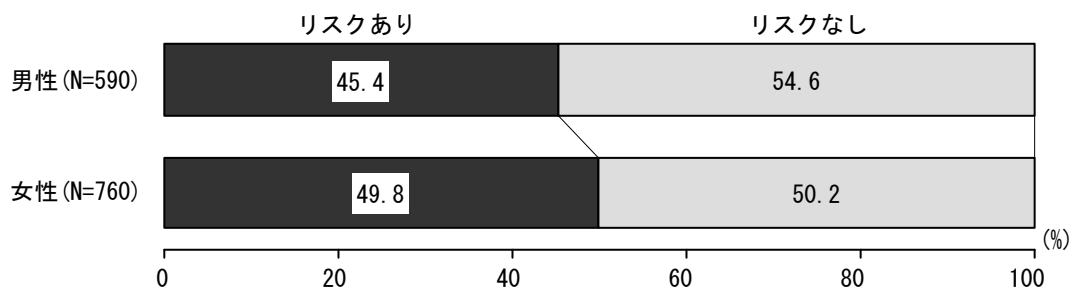
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問4Q1. この1年間に転んだことがありますか。(はい)	11.8%	39.9%	48.1%	43.3%
問4Q3. 背中が丸くなってきましたか。(はい)	20.8%	45.3%	57.3%	51.4%
問4Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(はい)	42.6%	79.0%	83.1%	83.7%
問4Q5. 杖を使っていますか。(はい)	2.4%	15.4%	57.0%	48.9%
問9Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(5種類以上)	17.2%	31.8%	55.7%	53.0%

【性別 転倒リスク】

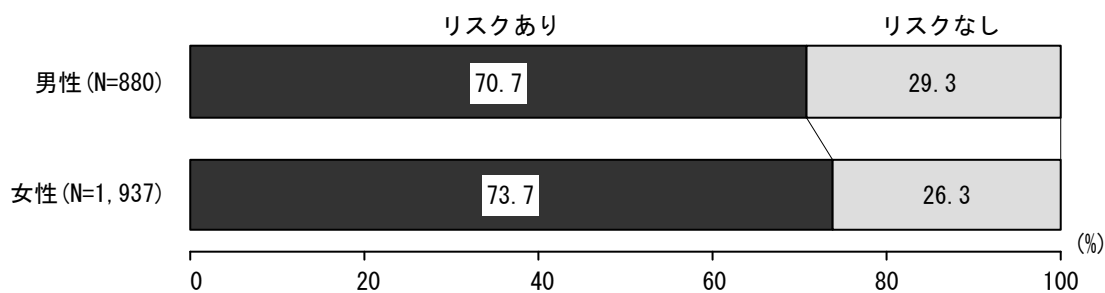
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



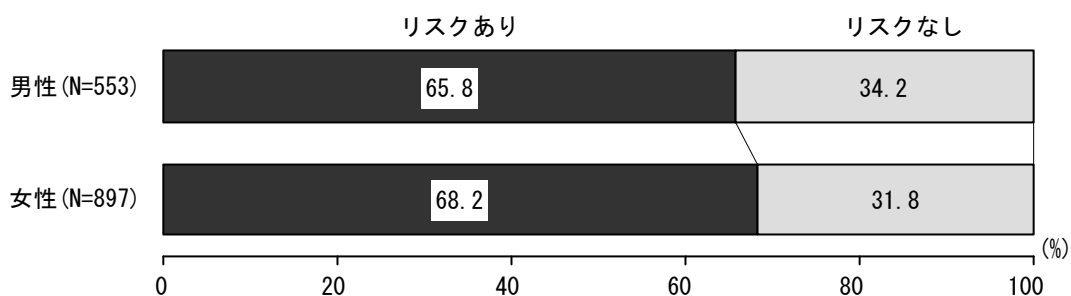
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

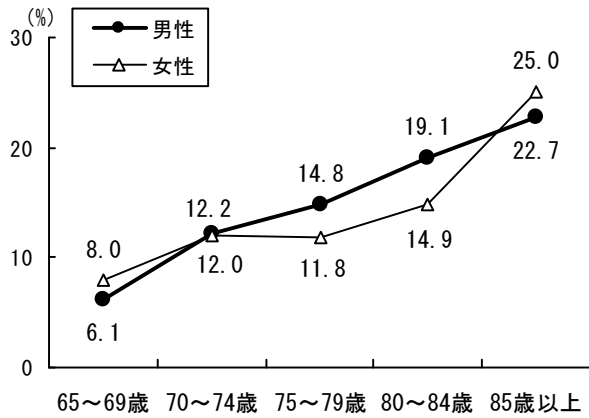


■サービス未利用者

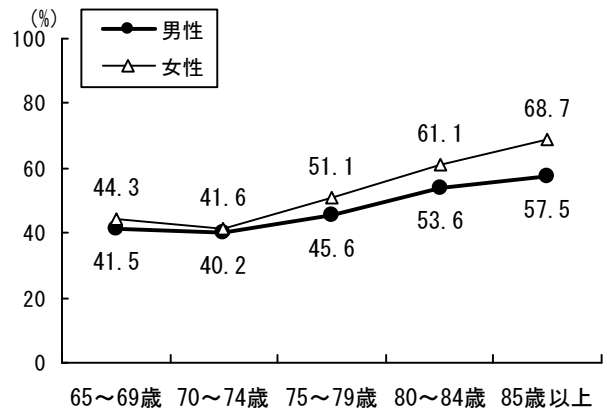


【性年齢別 転倒リスク】

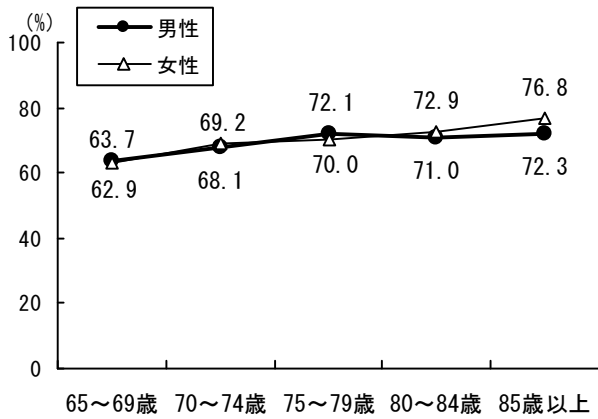
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



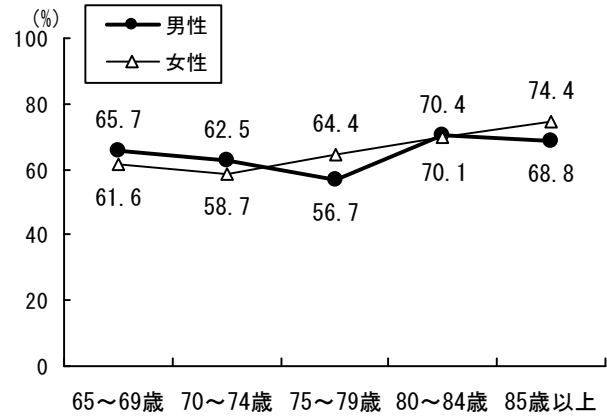
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■サービス未利用者



(2) 日常生活評価

①手段的自立度（IADL）

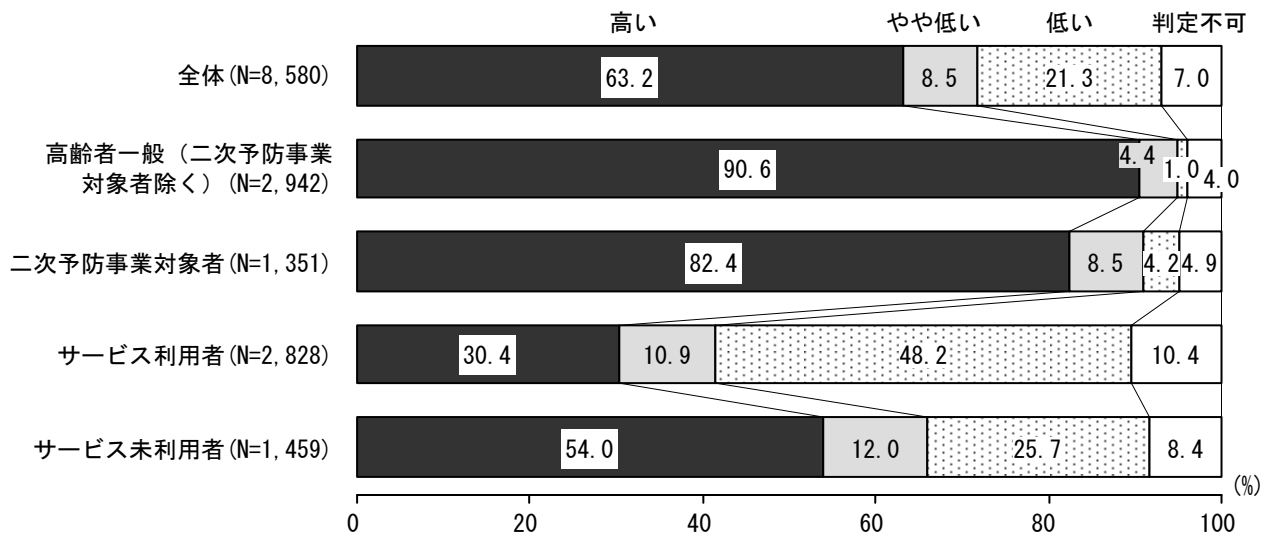
今回の質問項目の中に高齢者の比較的高いレベルでの生活機能を評価することが可能な「老研式活動能力指標」に準じた項目を設けています。この指標のひとつである「手段的自立度（IADL）」は、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ること、趣味のための活動など、日常生活を送るうえで必要な動作のことで、食事を摂ることや排せつ、入浴などの日常生活動作（ADL）より複雑で高次な動作を行える自立度の程度を示しています。

結果をみると、全体では、自立度が高い方の割合は63.2%となっています。

自立度の高い方の割合は、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が90.6%で最も高く、次いで二次予防事業対象者が82.4%、サービス未利用者が54.0%、サービス利用者が30.4%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般・二次予防事業対象者では、自立度が高い方の割合が男女ともに7～9割を占めています。サービス未利用者では、自立度の高い方の割合は男性・女性ともに5割前後を占めていますが、サービス利用者では3割前後に低下しています。なお、二次予防事業対象者を除く高齢者一般、二次予防事業対象者、サービス利用者、サービス未利用者のいずれも女性よりも男性がやや低くなっています。

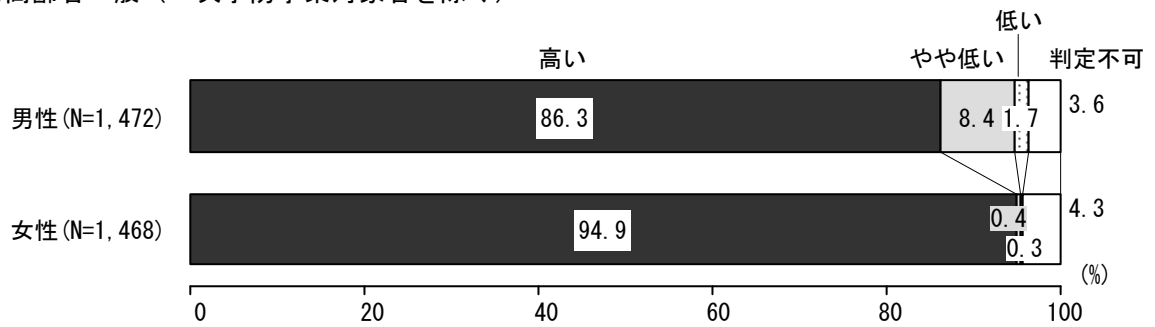
性年齢別でみると、概ね男性よりも女性で自立度が高い傾向が見られますが、二次予防事業対象者、サービス利用者・サービス未利用者の女性のいずれも85歳以上で大きく低下しています。



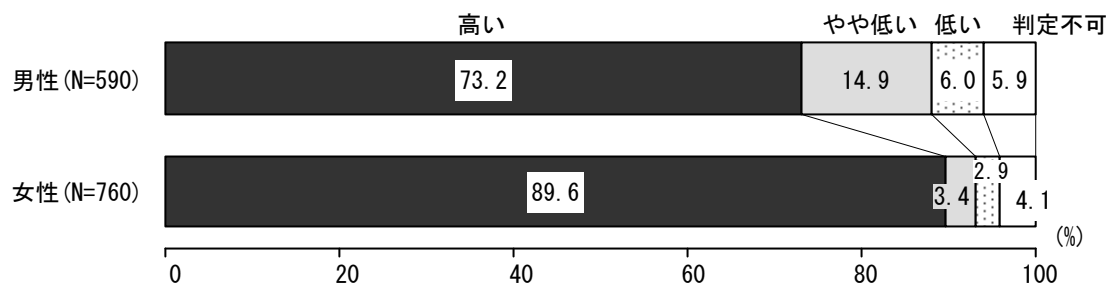
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問7Q1. バスや電車で一人で外出していますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	97.3%	93.3%	40.0%	66.3%
問7Q2. 日用品の買物をしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	97.3%	94.8%	50.3%	73.3%
問7Q4. 自分で食事の用意をしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	92.9%	89.2%	50.6%	72.4%
問7Q5. 請求書の支払いをしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	96.9%	94.2%	61.7%	79.6%
問7Q6. 預貯金の出し入れをしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	96.1%	93.4%	57.7%	77.0%

【性別 手段的自立度 (IADL)】

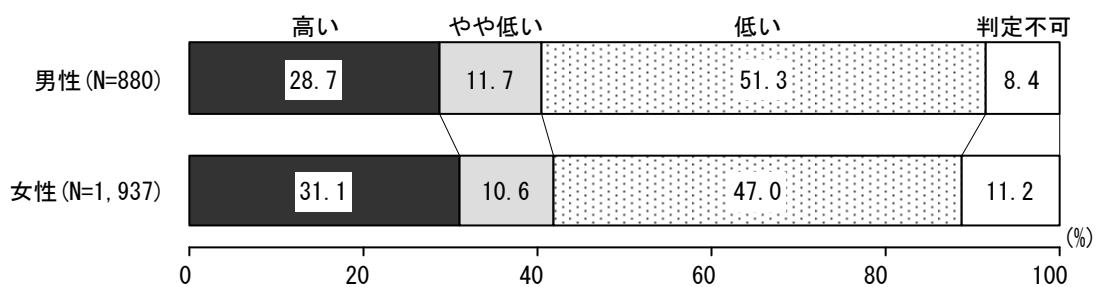
■高齢者一般 (二次予防事業対象者を除く)



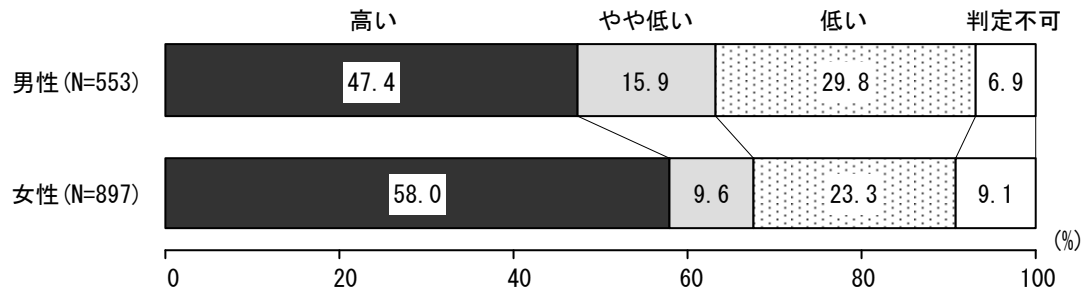
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

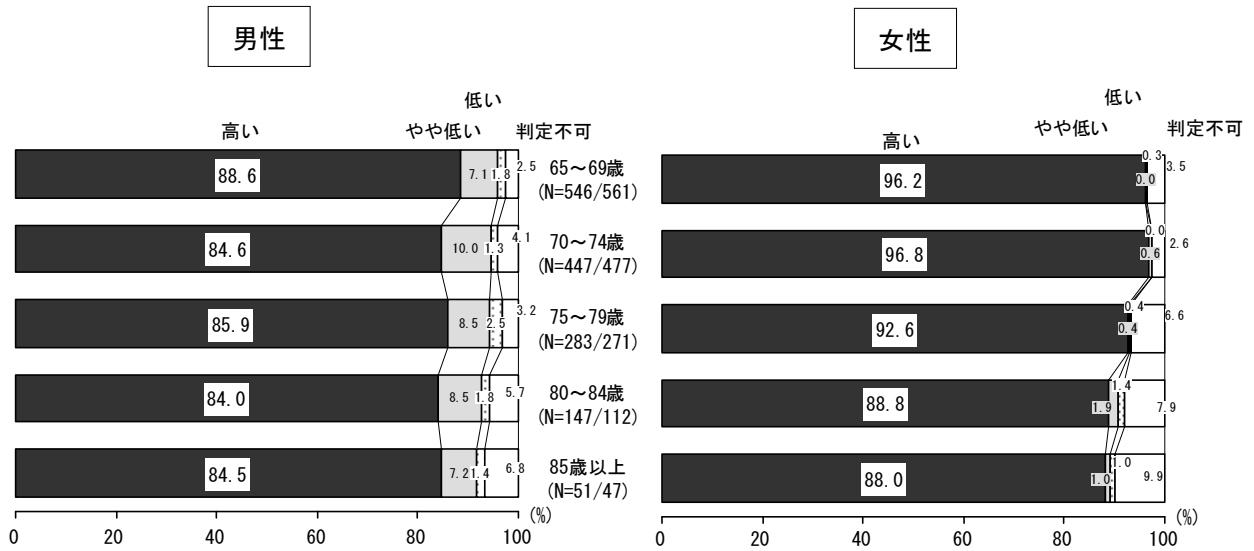


■ サービス未利用者

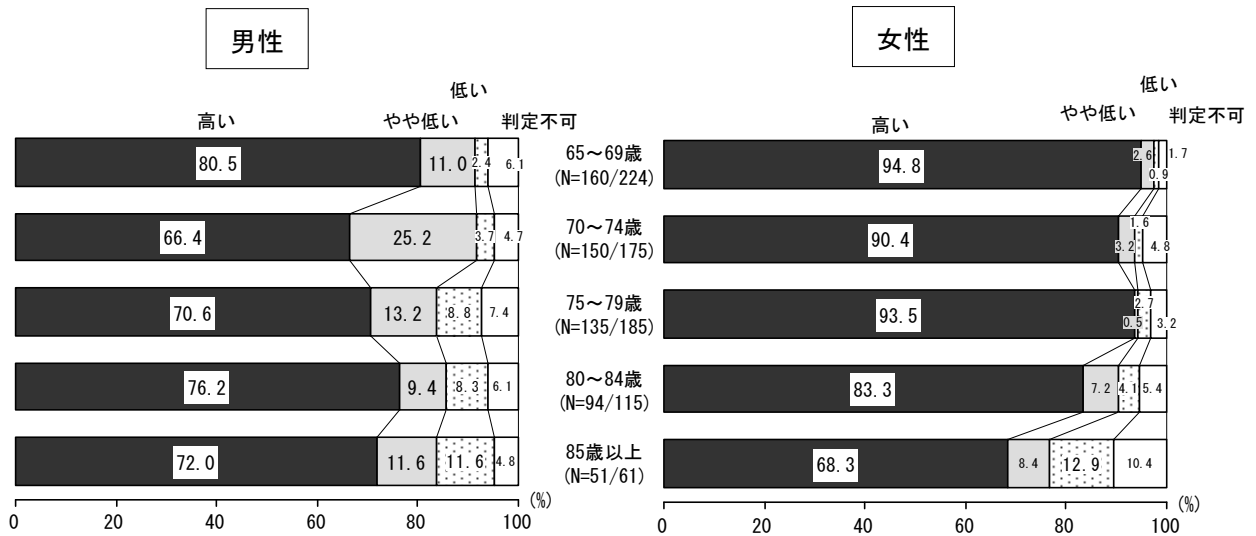


【性年齢別 手段的自立度 (IADL)】

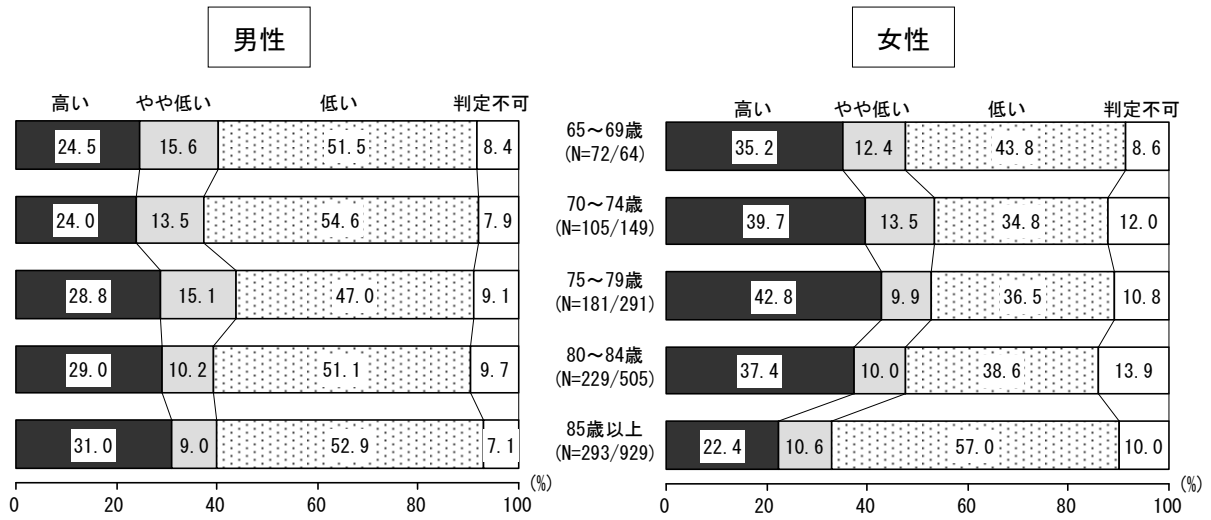
■ 高齢者一般 (二次予防事業対象者を除く)



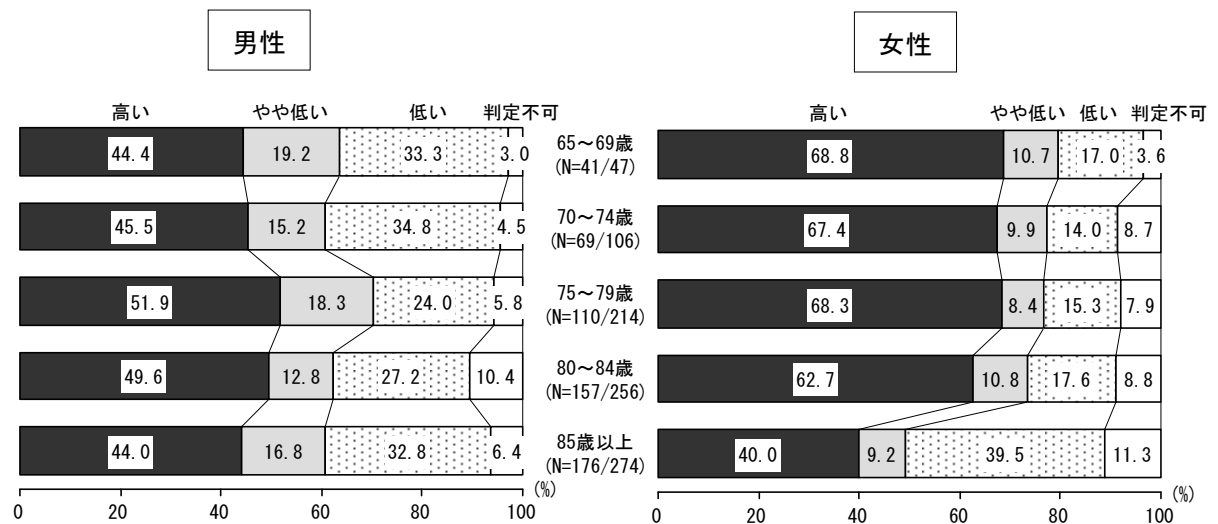
■ 二次予防事業対象者



■ サービス利用者



■ サービス未利用者



②日常生活動作（ADL）

今回の質問項目の中に高齢者の日常生活動作（ADL）を評価することが可能な「バーセルインデックス」に準じた項目を設けています。食事，移動，整容，トイレ動作，入浴，歩行，階段昇降，排便，排尿などに関する質問項目への回答から，「バーセルインデックス」の評価方法に従って，日常生活動作の自立度の程度に関する評価を行っています。

○ADL得点と評価区分

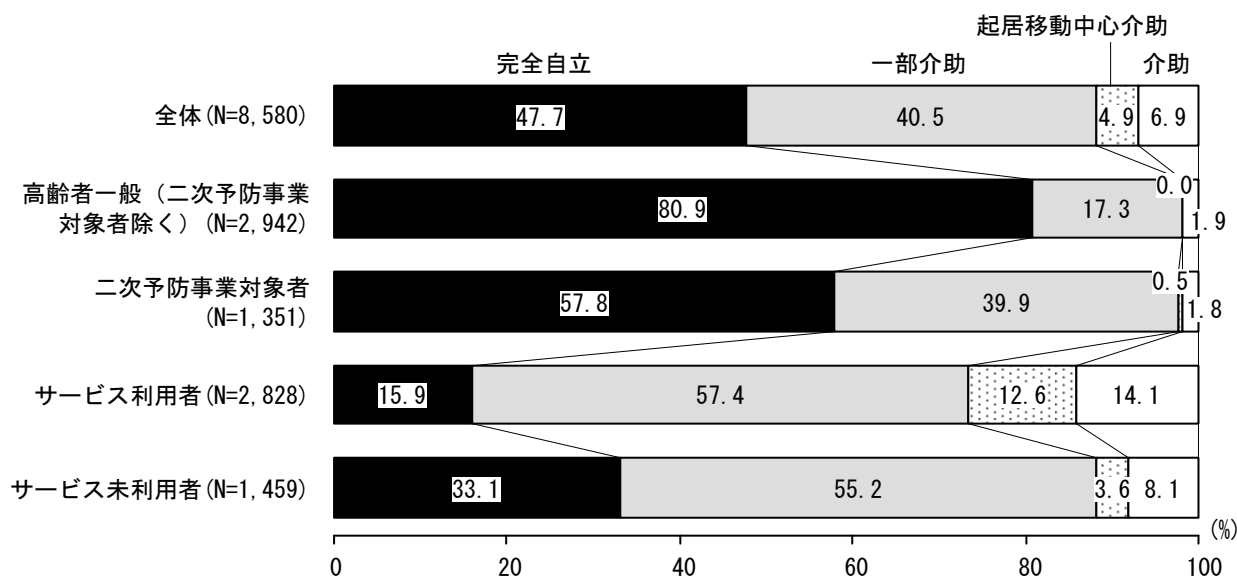
完全自立：100点 一部介助：65～95点 起居移動中心介助：45～60点 介助：40点以下

結果をみると，全体では，完全自立（100点）の割合は47.7%となっています。

完全自立（100点）の割合は，二次予防事業対象者を除く高齢者一般が80.9%で最も高く，次いで二次予防事業対象者が57.8%，サービス未利用者が33.1%，サービス利用者が15.9%となっています。

性別でみると，完全自立の割合は，二次予防事業対象者を除く高齢者一般では，男女ともに約8割，二次予防事業対象者では，男女ともに約6割を占めています。サービス未利用者では，完全自立の割合は男性・女性ともに約3割を占めていますが，サービス利用者では2割未満に低下しています。

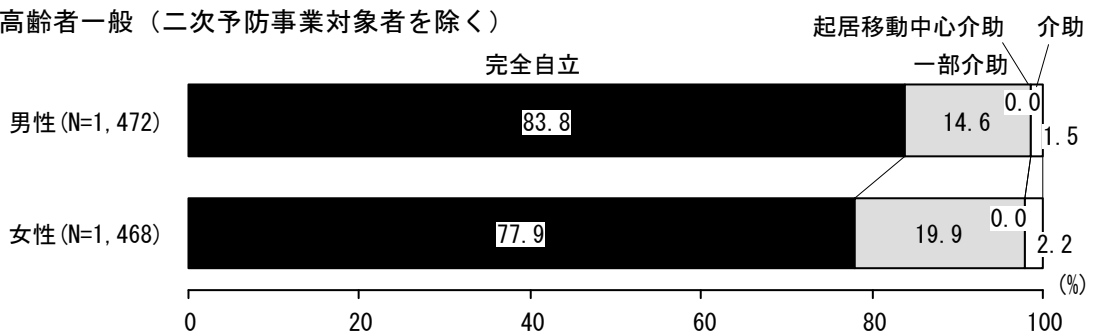
性年齢別でみると，二次予防事業対象者を除く高齢者一般・二次予防事業対象者では，男性・女性ともに，概ね年齢が上がるにつれて完全自立の割合が低くなる傾向が見られます。サービス利用者・サービス未利用者では，概ね男性よりも女性で完全自立の割合が高い傾向が見られますが，いずれも女性の85歳以上で大きく低下しています。



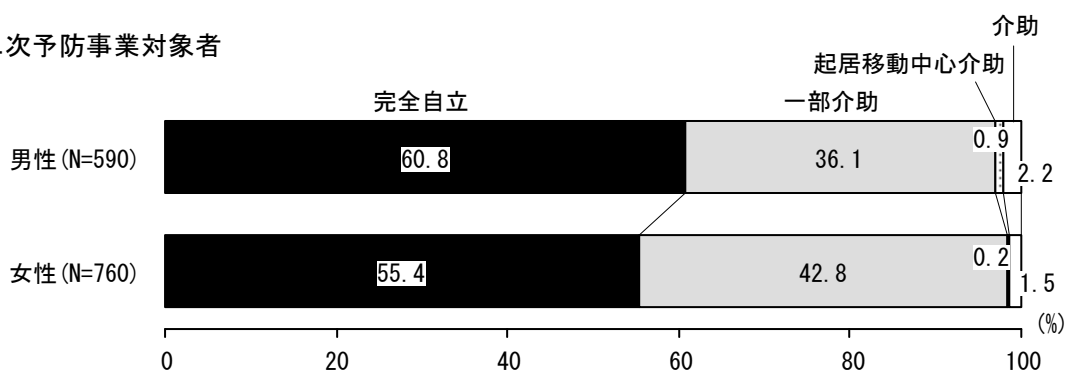
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問7Q7. 食事は自分で食べられますか。(「できる」, 「一部介助があればできる」)	97.8%	98.1%	93.9%	95.6%
問7Q8. 寝床に入るとき, 何らかの介助を受けますか。(「受けない」, 「一部介助があればできる」)	97.8%	97.7%	89.3%	93.4%
問7Q9. 座っていることができますか。(「できる」, 「支えが必要」)	97.5%	95.8%	86.2%	87.4%
問7Q10. 自分で洗面や歯磨きができますか。(「できる」, 「一部介助があればできる」)	98.0%	97.9%	80.3%	89.9%
問7Q11. 自分でトイレができますか。(「できる」, 「一部介助があればできる」)	98.1%	98.2%	91.8%	93.9%
問7Q12. 自分で入浴ができますか。(「できる」, 「一部介助があればできる」)	98.1%	97.3%	55.1%	81.7%
問7Q13. 50m以上歩けますか。(「できる」, 「一部介助があればできる」)	98.1%	96.6%	68.1%	83.1%
問7Q14. 階段を昇り降りできますか。(「できる」, 「介助があればできる」)	98.0%	96.2%	68.0%	81.7%
問7Q15. 自分で着替えができますか。(「できる」, 「介助があればできる」)	98.1%	98.1%	90.0%	93.0%
問7Q16. 大便の失敗がありますか。(「ない」, 「ときどきある」)	98.1%	97.5%	88.8%	92.6%
問7Q17. 尿もれや尿失禁がありますか。(「ない」, 「ときどきある」)	97.7%	95.5%	78.4%	87.7%

【性別 日常生活動作 (ADL)】

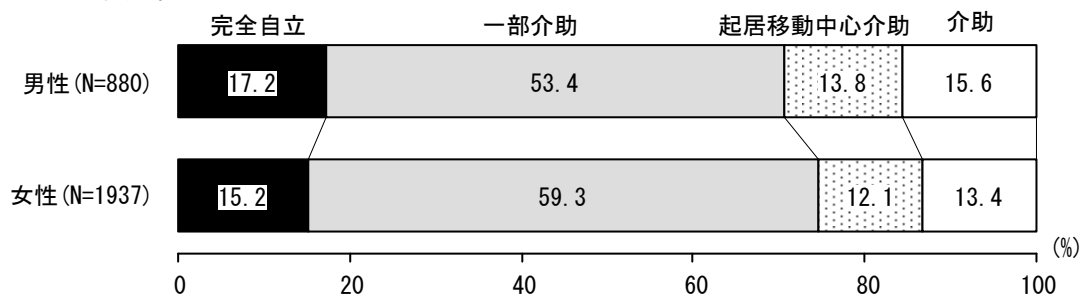
■ 高齢者一般 (二次予防事業対象者を除く)



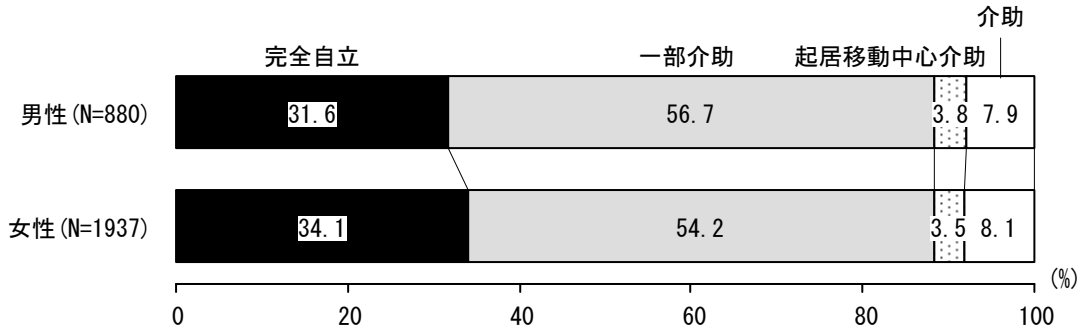
■ 二次予防事業対象者



■ サービス利用者

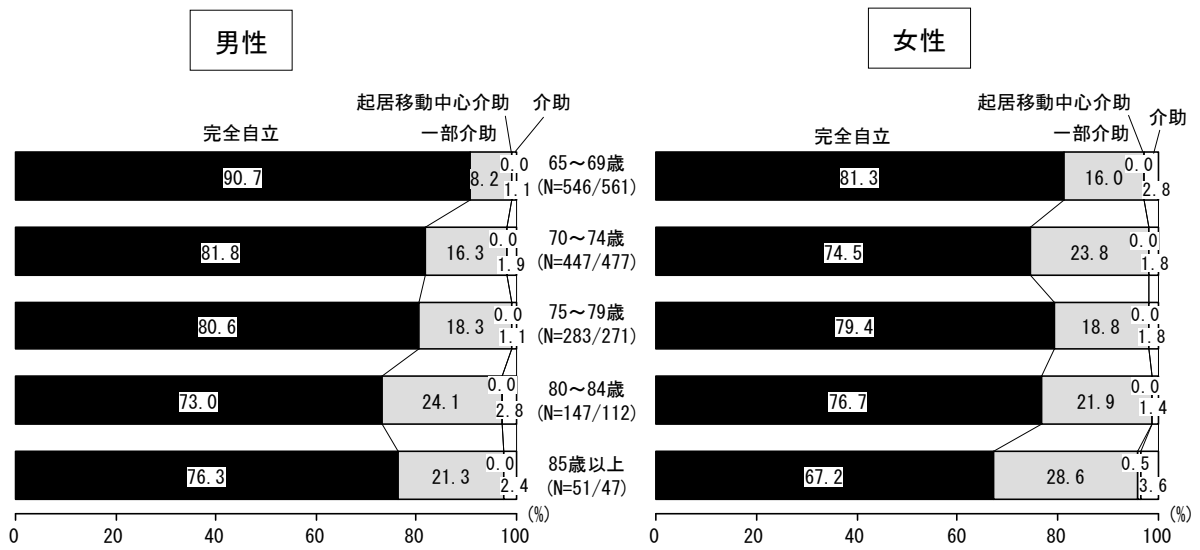


■ サービス未利用者

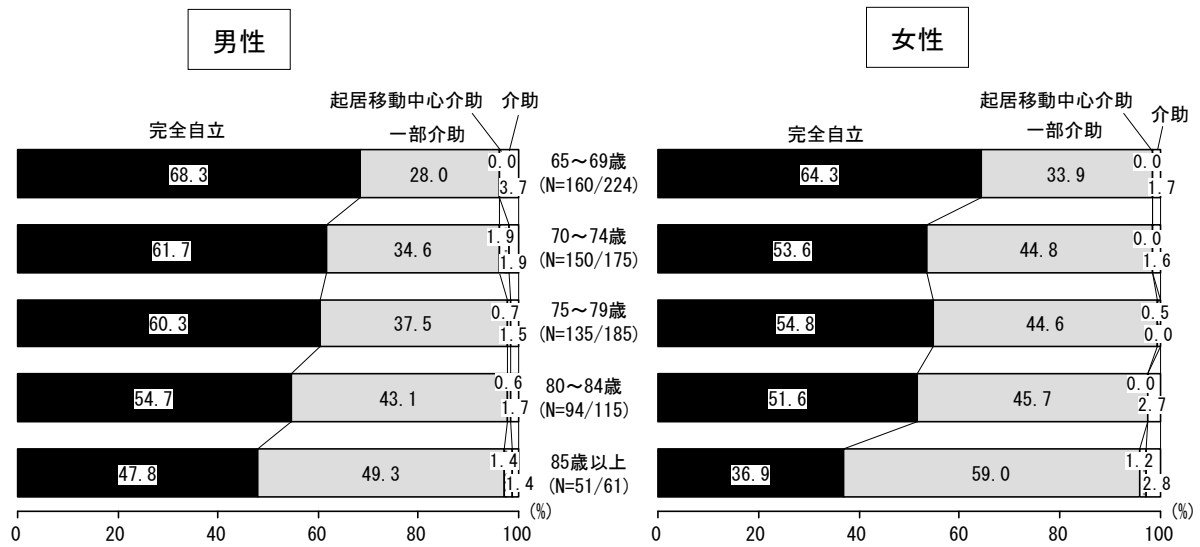


【性年齢別 日常生活動作 (ADL)】

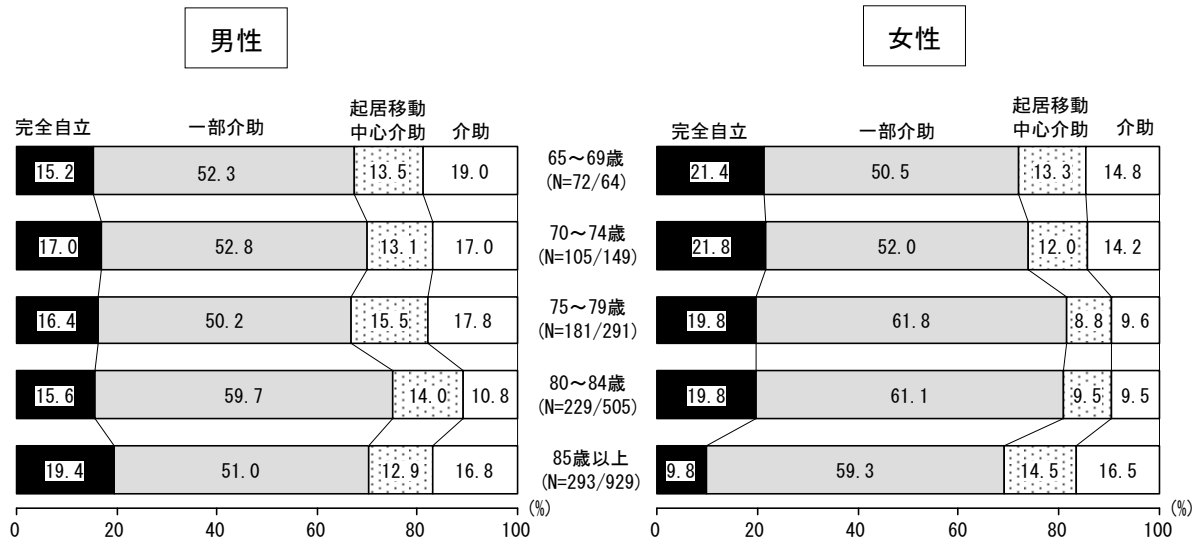
■ 高齢者一般 (二次予防事業対象者を除く)



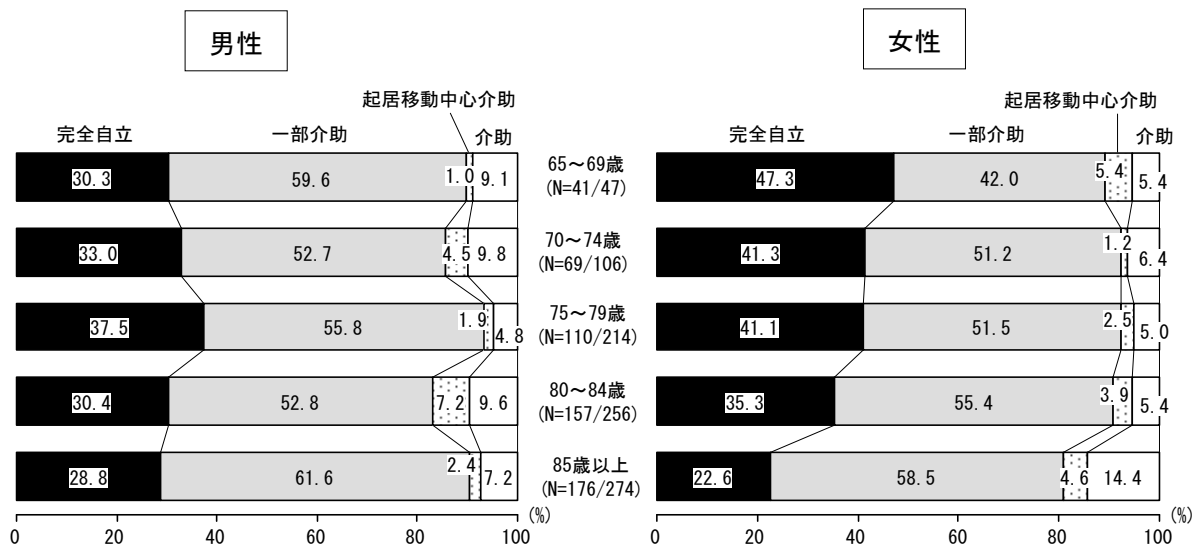
■ 二次予防事業対象者



■ サービス利用者



■ サービス未利用者



(3) 社会参加評価

①知的能動性

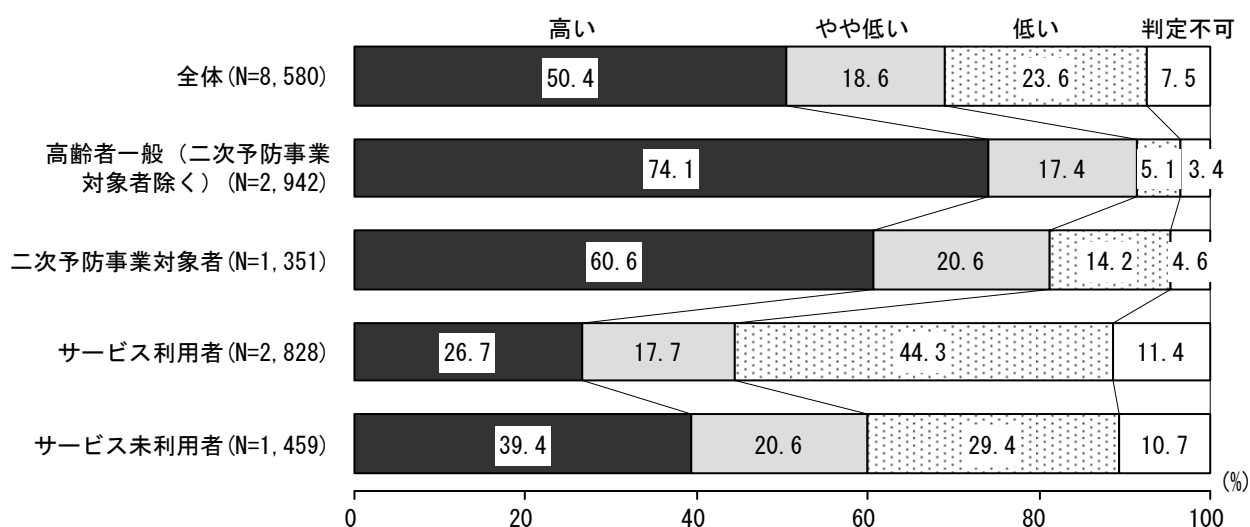
「老研式活動能力指標」のひとつである「知的能動性」は、書類などを書くことや、本や新聞を読むこと、物事に対する関心など、高齢者の知的活動の自立度の程度を示しています。

結果をみると、全体では、知的能動性が高い方の割合は50.4%となっています。

知的能動性が高い方の割合は、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が74.1%で最も高く、次いで二次予防事業対象者が60.6%、サービス未利用者が39.4%、サービス利用者が26.7%となっています。

性別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般・二次予防事業対象者では、男女ともに知的能動性が高い方の割合が5割以上を占めており、女性よりも男性がやや低くなっています。サービス利用者・サービス未利用者では、知的能動性が高い方の割合は男女間に大きな差異は見られません。

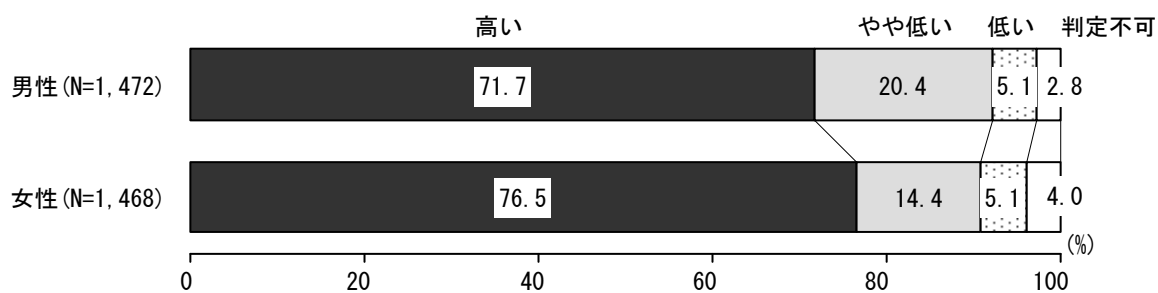
性年齢別でみると、知的能動性が高い方の割合は、全ての区分で女性の85歳以上で大きく低下しています。



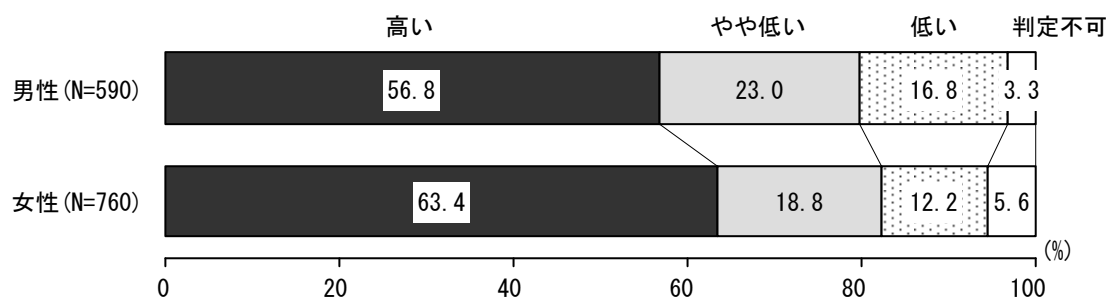
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問8Q1. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(はい)	95.5%	87.4%	45.0%	64.9%
問8Q2. 新聞を読んでいますか。(はい)	92.5%	86.2%	62.4%	76.1%
問8Q3. 本や雑誌を読んでいますか。(はい)	85.0%	72.1%	44.6%	54.3%
問8Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(はい)	91.2%	89.5%	66.1%	79.9%

【性別 知的能動性】

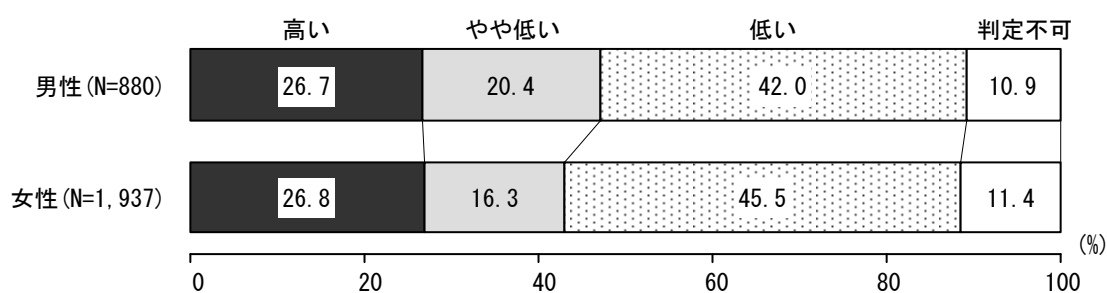
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



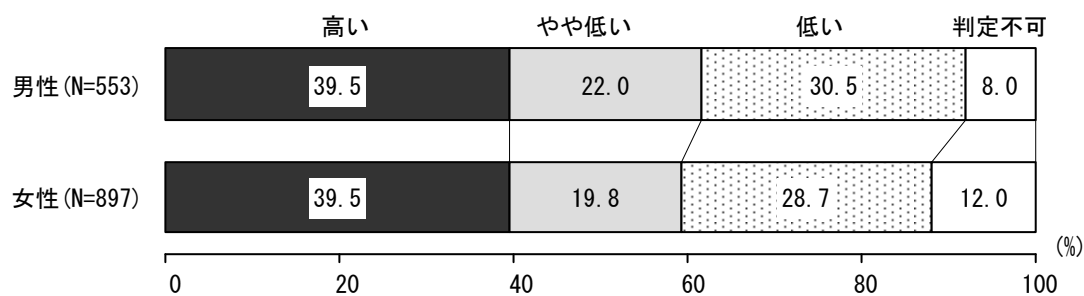
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

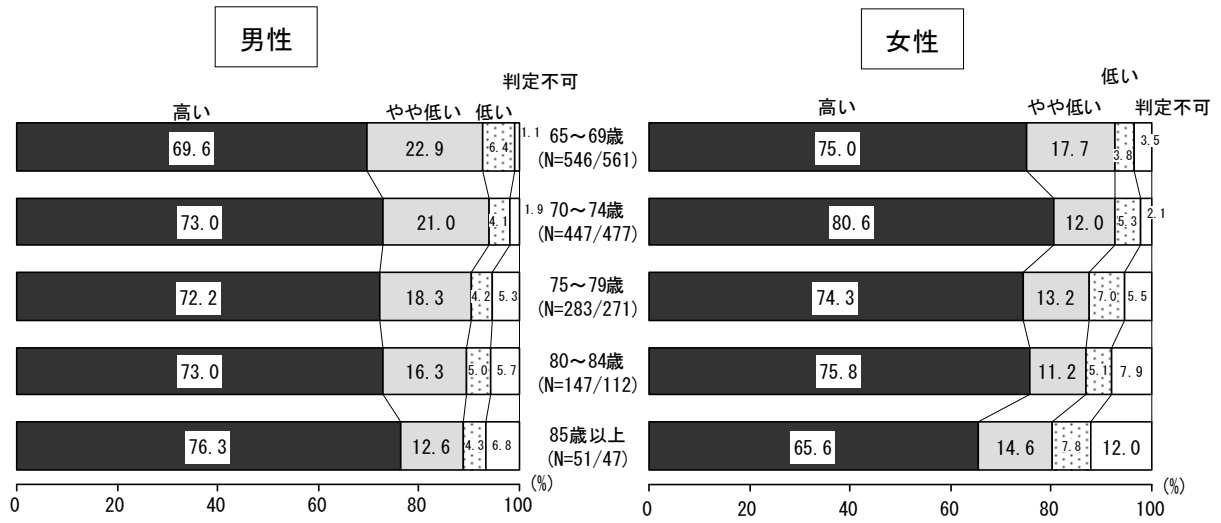


■サービス未利用者

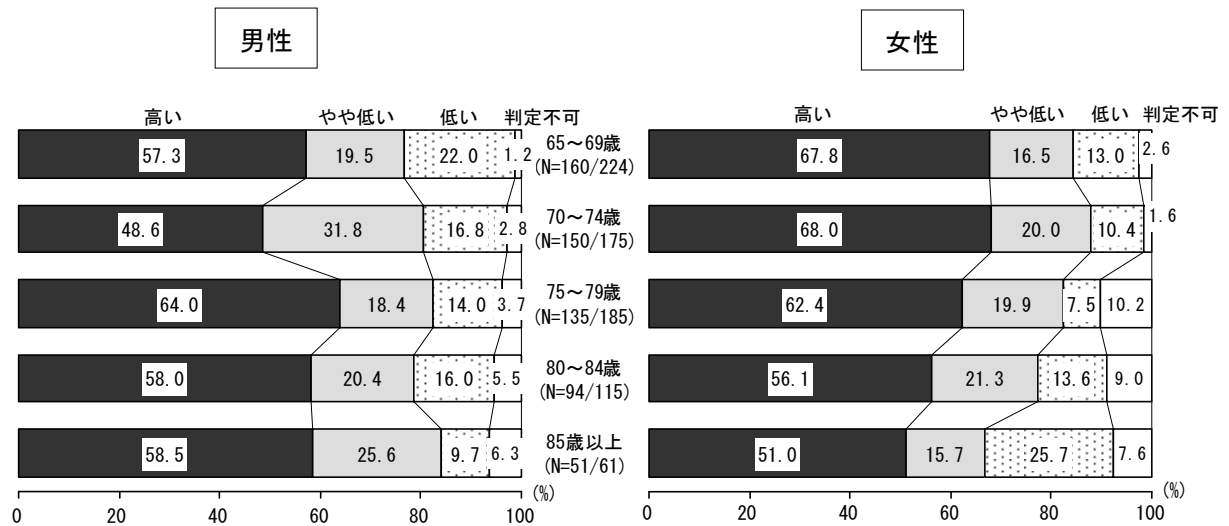


【性年齢別 知的能動性】

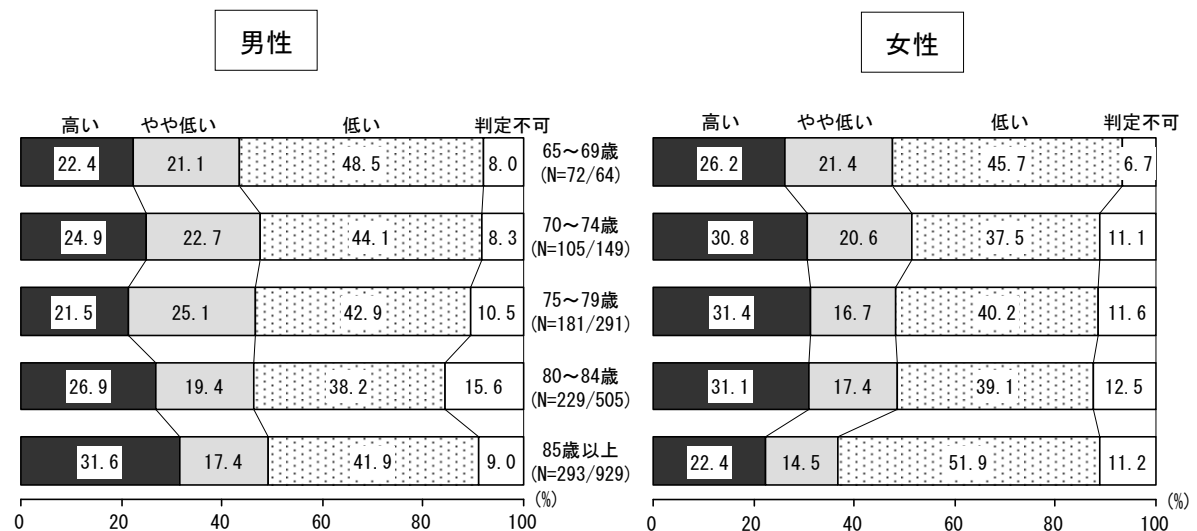
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



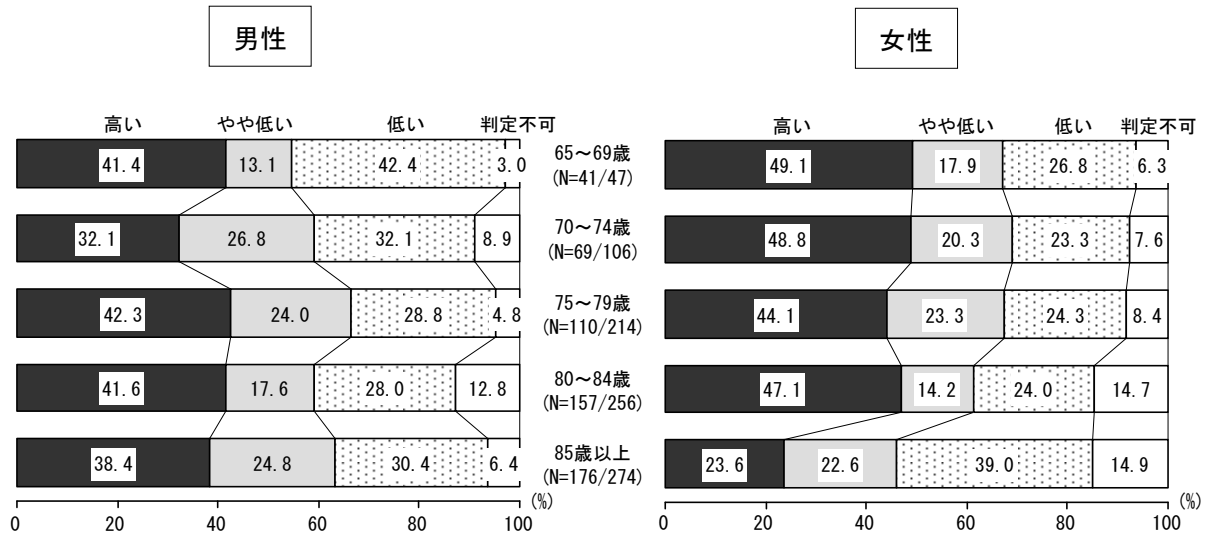
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■ サービス未利用者



②社会的役割

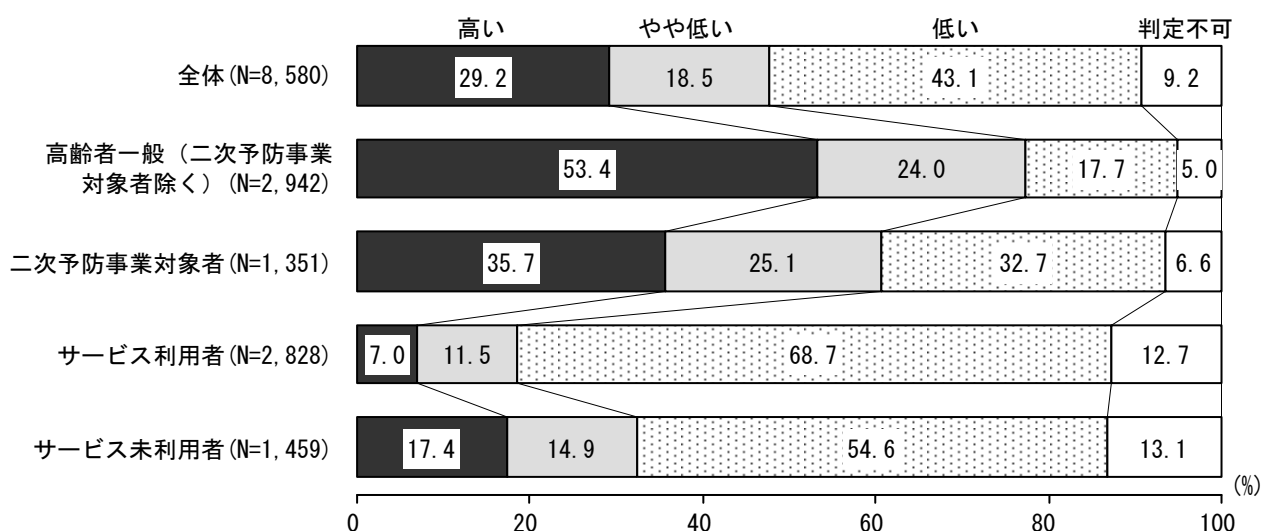
「老研式活動能力指標」のひとつである「社会的役割」は、友人宅を訪問することや家族や友人からの相談に応じることなど、高齢者の他者との関わりの程度や社会活動の自立度の程度を示しています。

結果をみると、全体では、社会的役割における自立度の高い方の割合は29.2%となっています。

自立度の高い方の割合は、二次予防事業対象者を除く高齢者一般が53.4%で最も高く、次いで二次予防事業対象者が35.7%、サービス未利用者が17.4%、サービス利用者が7.0%となっています。

性別でみると、自立度の高い割合は、いずれの区分も女性よりも男性が低くなっています。

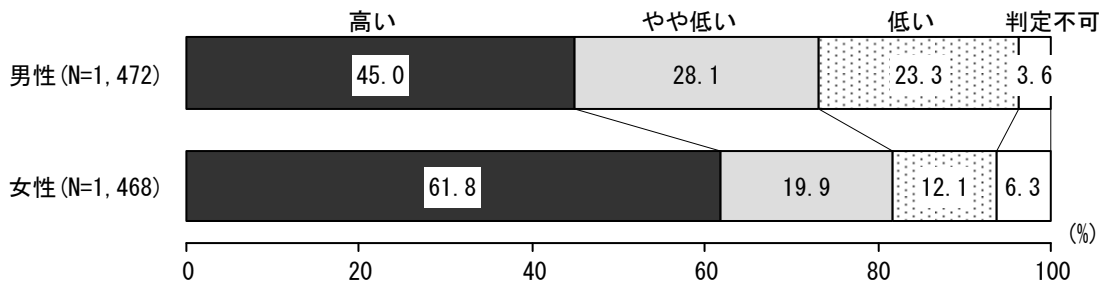
性年齢別でみると、二次予防事業対象者を除く高齢者一般・二次予防事業対象者の男女及びサービス利用者・サービス未利用者の女性は、年齢が上がるにつれて自立度の高い方の割合が低くなる傾向が見られます。一方、サービス利用者・未利用者の男性は、性年齢別に大きな差異は見られません。



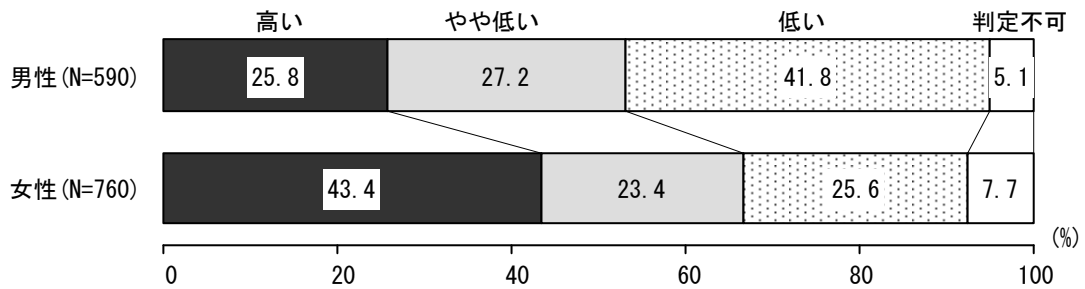
設問	高齢者一般 (二次予防事業 対象者除く) (N=2,942)	高齢者一般 (二次予防事業 対象者) (N=1,351)	サービス 利用者 (N=2,828)	サービス 未利用者 (N=1,459)
問8Q5. 友人の家を訪ねていますか。(はい)	61.6%	45.6%	14.6%	27.8%
問8Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。(はい)	83.8%	70.6%	33.2%	47.9%
問8Q7. 病人を見舞うことができますか。(はい)	94.4%	85.1%	33.1%	56.7%
問8Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(はい)	81.8%	70.5%	48.3%	53.2%

【性別 社会的役割】

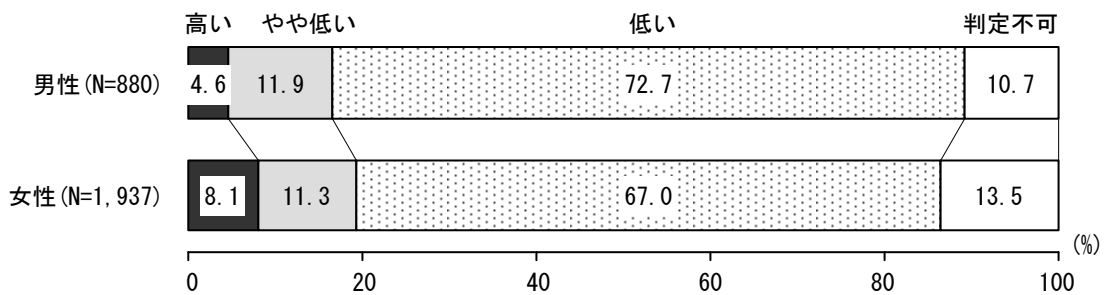
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



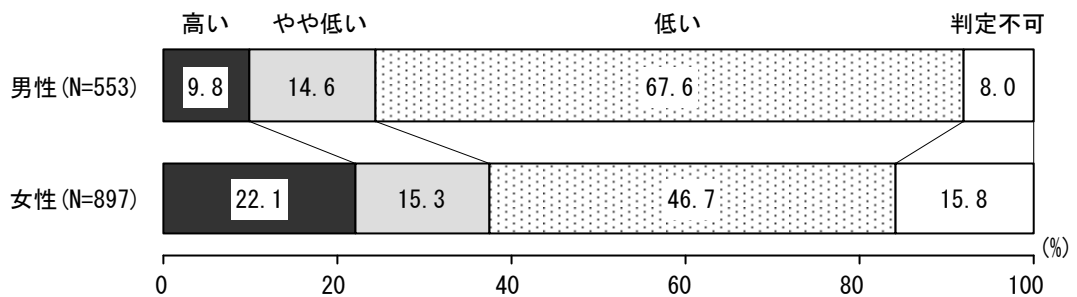
■二次予防事業対象者



■サービス利用者

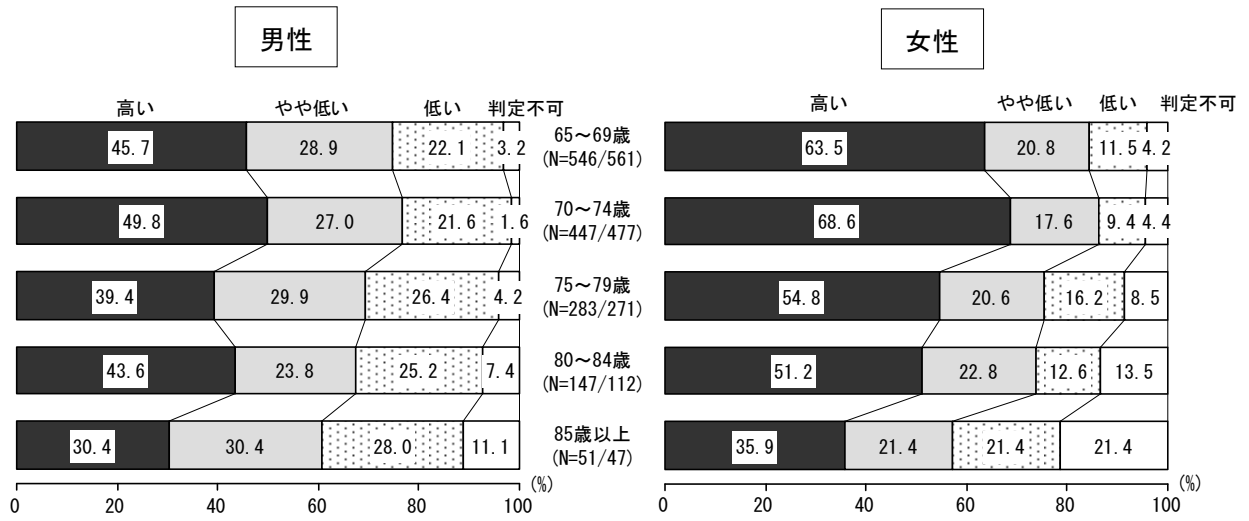


■サービス未利用者

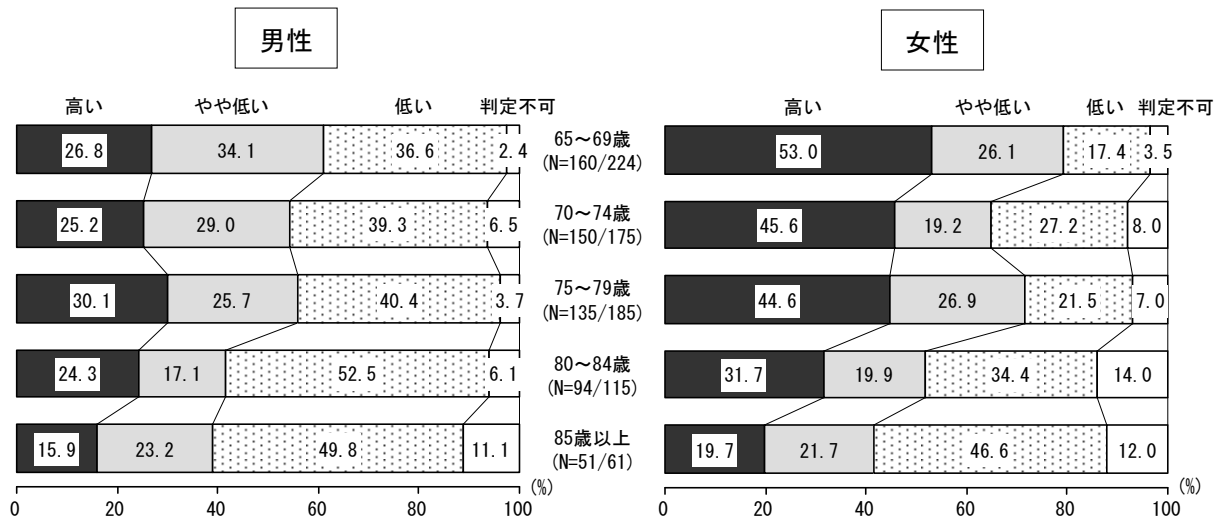


【性年齢別 社会的役割】

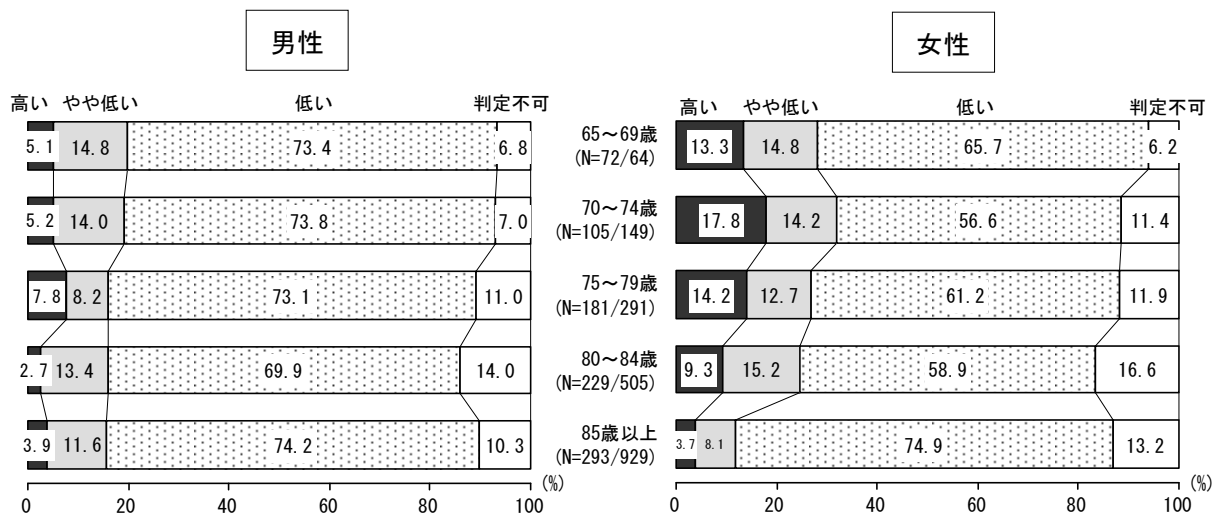
■高齢者一般（二次予防事業対象者を除く）



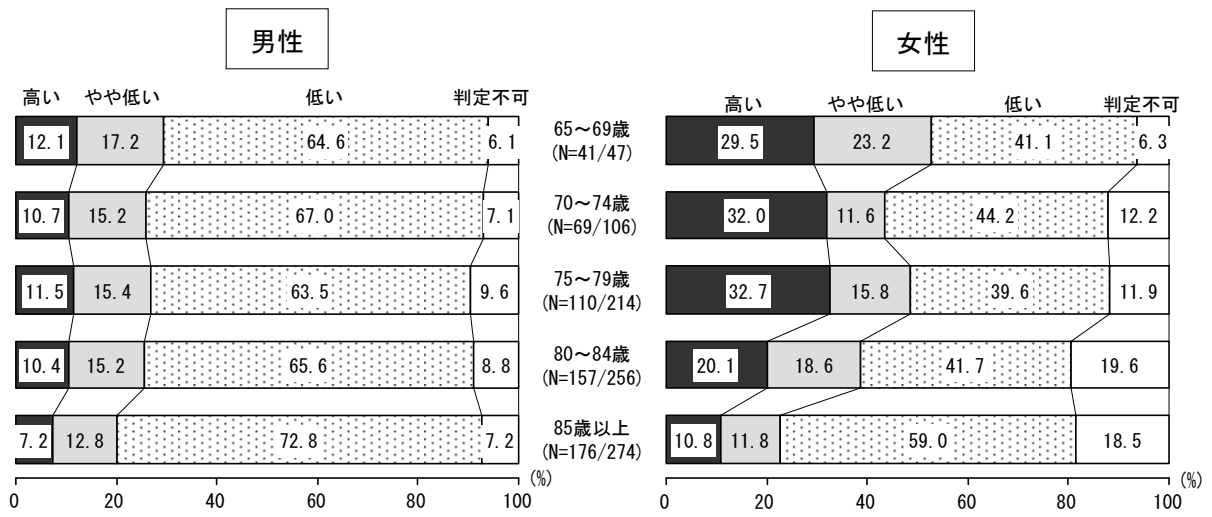
■二次予防事業対象者



■サービス利用者



■ サービス未利用者



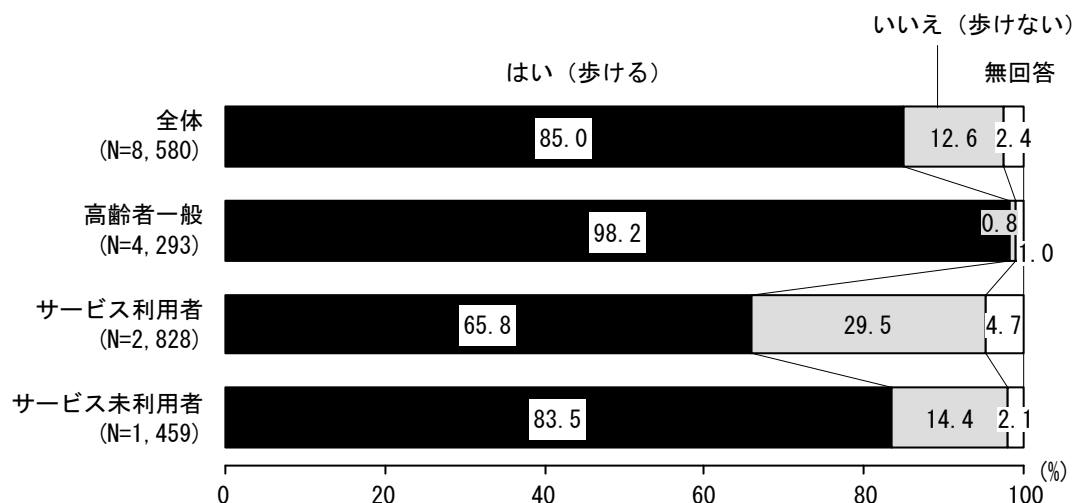
4 外出等について

(1) 一人での5m以上の歩行

問3 Q 4. 一人で5m以上歩けますか。〈〇は1つ〉

「一人で5m以上歩けるか」については、全体で「はい（歩ける）」が85.0%、「いいえ（歩けない）」が12.6%となっています。

「はい（歩ける）」は高齢者一般が98.2%で最も高く、サービス利用者が65.8%で最も低くなっています。

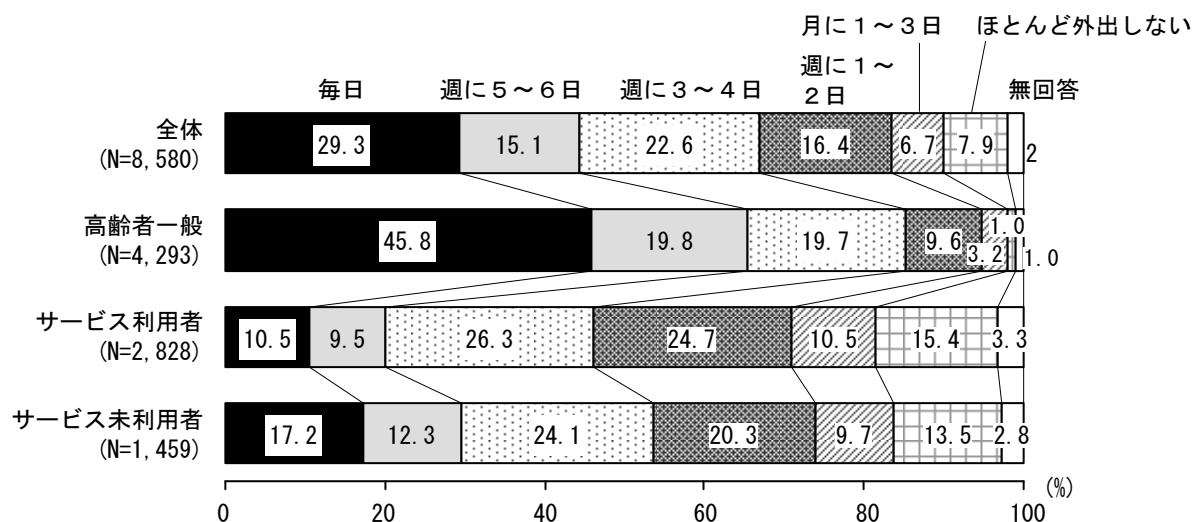


(2) 外出頻度

問3 Q 5. あなたの外出頻度はどのくらいですか。〈〇は1つ〉

「外出頻度はどのくらいか」については、全体で「毎日」が29.3%で最も高く、次いで「週に3～4日」が22.6%、「週に1～2日」が16.4%となっています。

週4日以下は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。



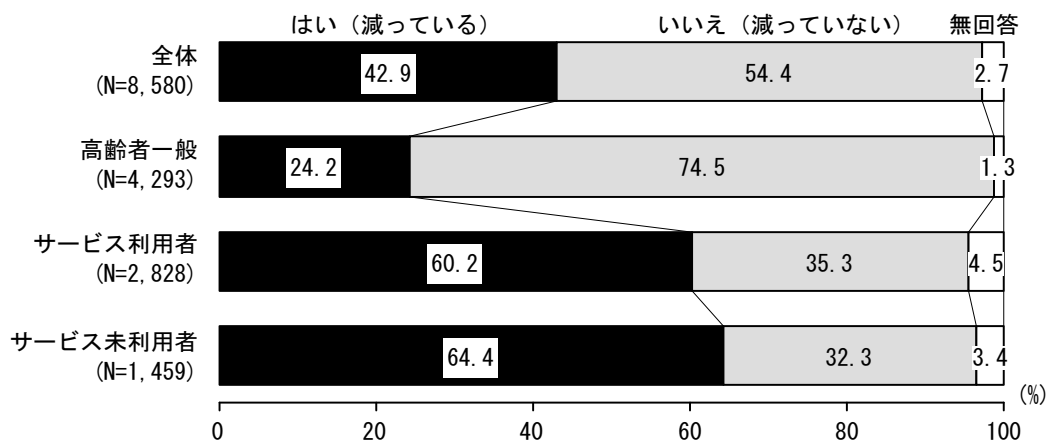
(3) 外出回数

問3 Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。〈○は1つ〉

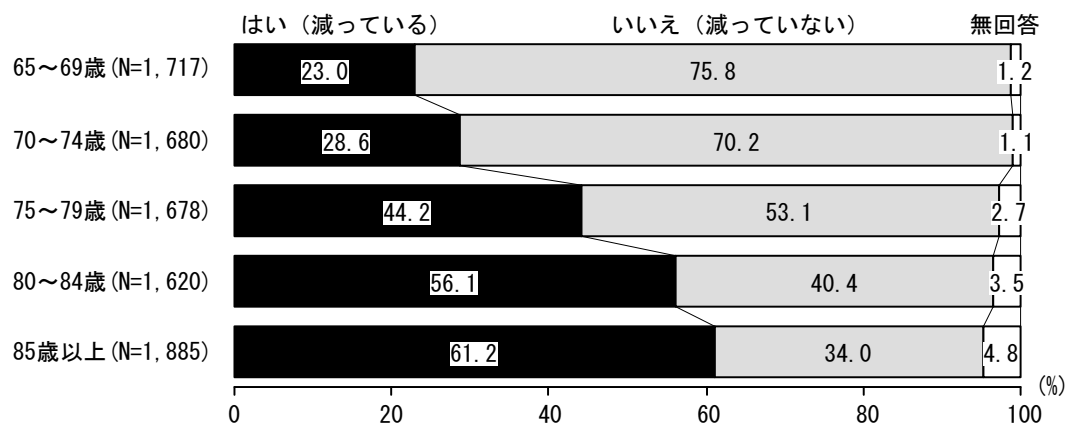
「昨年と比べて外出回数が減っているか」については、全体で「はい（減っている）」が42.9%、「いいえ（減っていない）」が54.4%となっています。

「はい（「減っている）」はサービス利用者・サービス未利用者がともに60%以上で高齢者一般よりも高くなっています。

全体を年齢別でみると、「はい（「減っている）」は年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で過半数を占めています。



【年齢別 外出回数（全体）】

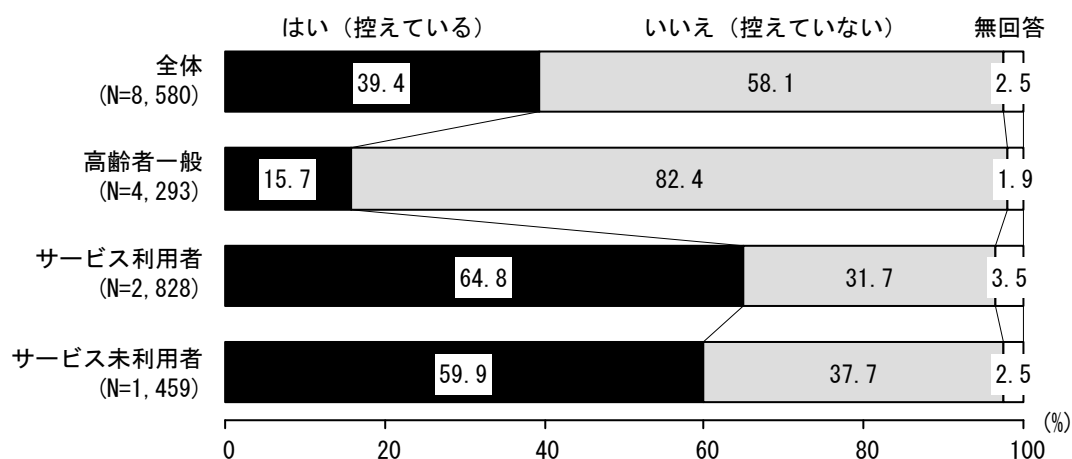


(4) 外出を控えているか

問3 Q 7. 外出を控えていますか。〈○は1つ〉

「外出を控えているか」については、全体で「はい（控えている）」が39.4%、「いいえ（控えていない）」が58.1%となっています。

「はい（控えている）」はサービス利用者・サービス未利用者がともに60%程度で、高齢者一般よりも高くなっています。



(5) 外出を控えている理由

【外出を控えている方のみ】(Q7で「1. はい」と回答した方)

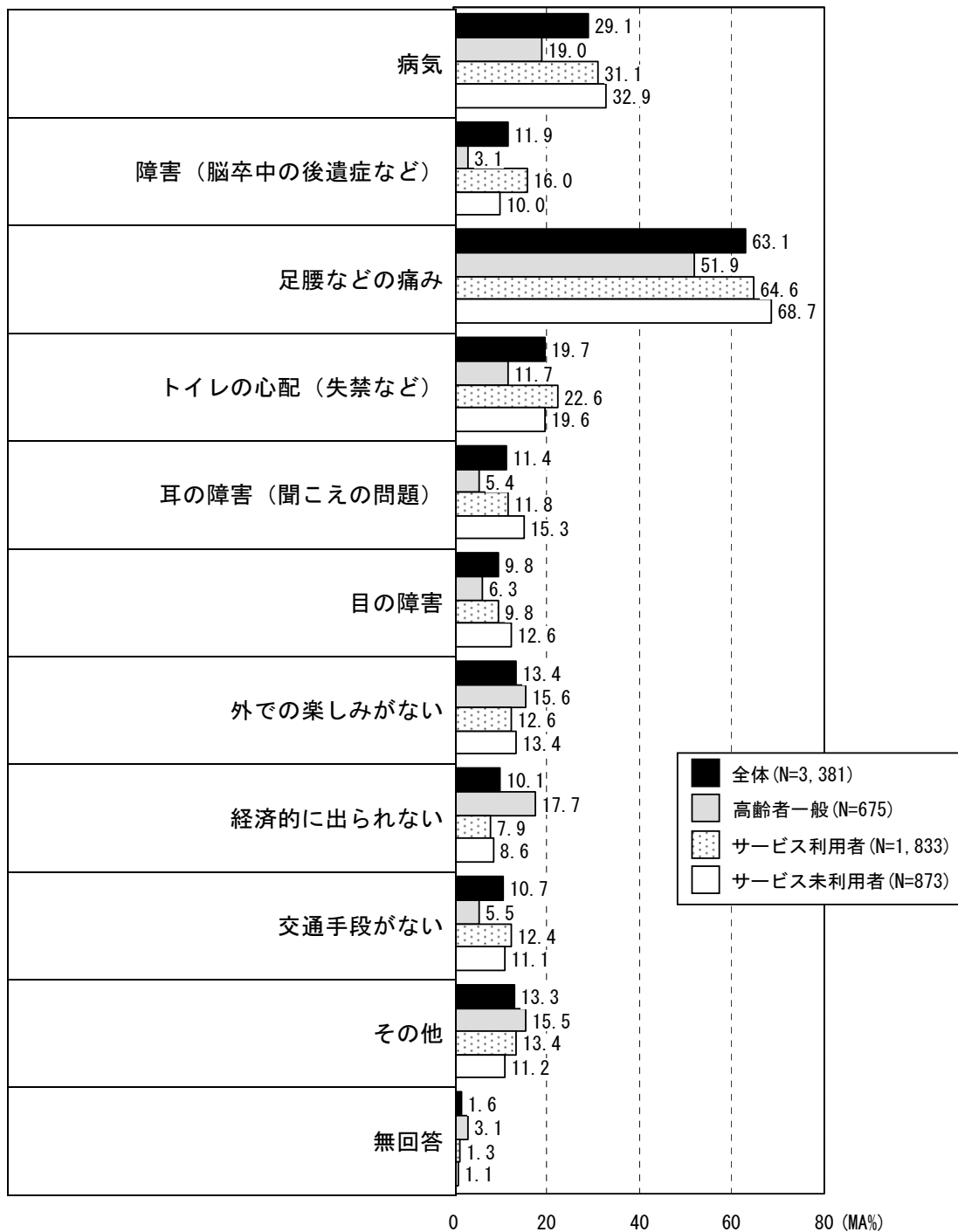
問3 Q 7-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。

〈あてはまるものすべてに○〉

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねたところ、全体で「足腰などの痛み」が63.1%で最も高く、次いで「病気」が29.1%、「トイレの心配（失禁など）」が19.7%となっています。

「病気」「障害（脳卒中の後遺症など）」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「耳の障害（聞こえの問題）」「交通手段がない」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「経済的に出られない」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。

全体を年齢別で見ると、「耳の障害（聞こえの問題）」と「目の障害」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。一方で、「外での楽しみがない」や「経済的に出られない」は年齢が下がるにつれて高くなっています。



【年齢別 外出を控えている理由 (全体)】

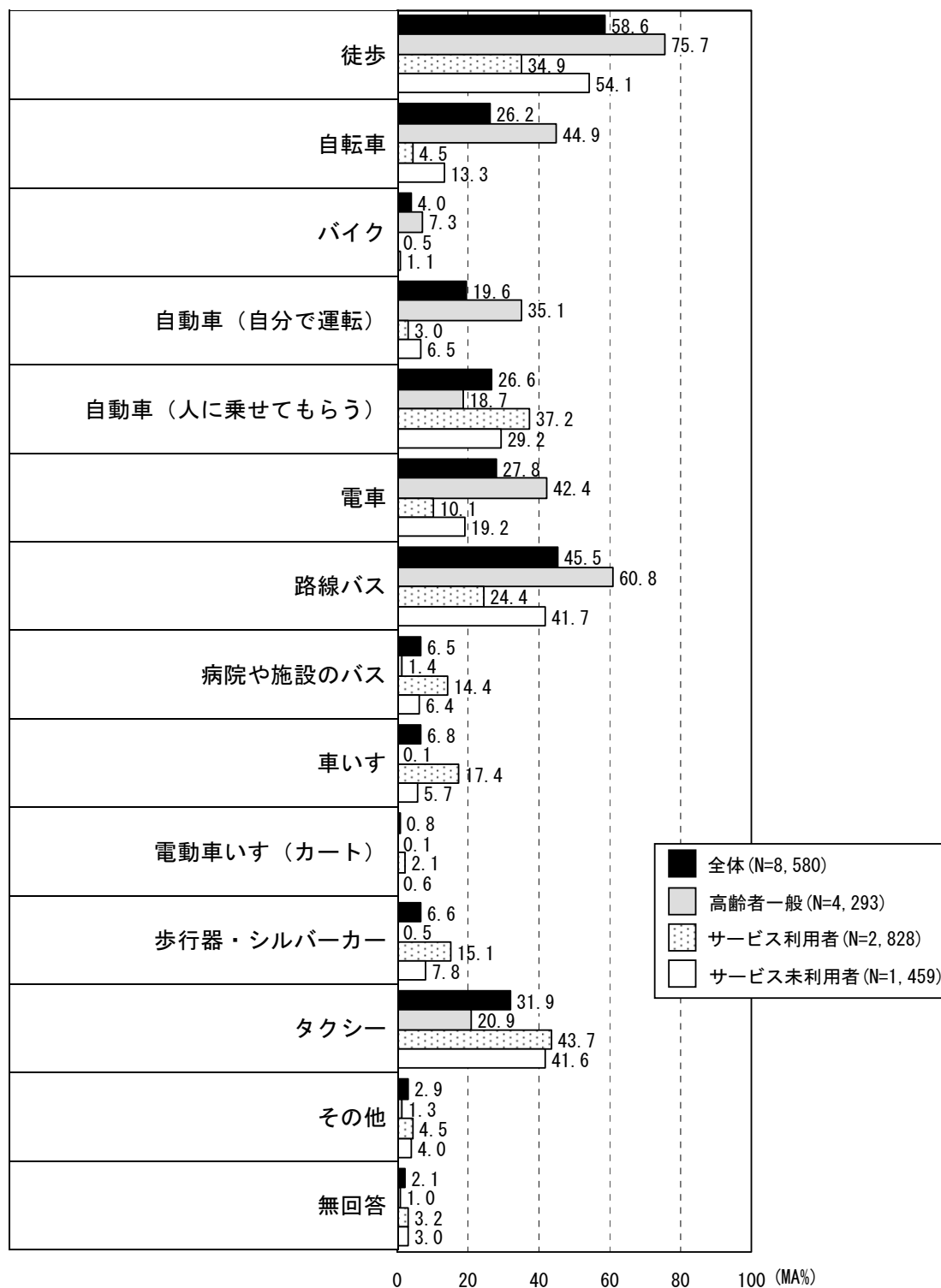
	N	病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
65～69歳	277	28.7	17.9	44.6	12.4	2.6	6.1	16.3	25.0	6.5	18.6	1.3
70～74歳	397	36.0	18.6	52.8	23.6	6.0	7.4	14.1	16.3	10.9	13.5	3.2
75～79歳	632	35.2	14.7	60.8	19.7	7.4	8.8	13.6	14.3	9.7	11.0	1.7
80～84歳	855	28.1	10.0	70.4	21.1	11.3	10.7	12.9	7.1	10.9	10.8	1.6
85歳以上	1,221	24.6	8.2	66.7	19.0	17.4	11.3	12.7	4.5	11.9	14.9	1.2

(6) 外出する際の移動手段

問3Q8. 外出する際の移動手段は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

外出する際の移動手段については、全体で「徒歩」が58.6%で最も高く、次いで「路線バス」が45.5%、「タクシー」が31.9%となっています。

「徒歩」「自転車」「バイク」「自動車（自分で運転）」「電車」「路線バス」は高齢者一般が最も高く、サービス利用者が最も低くなっています。「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「車いす」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」はサービス利用者が最も高く、高齢者一般が最も低くなっています。



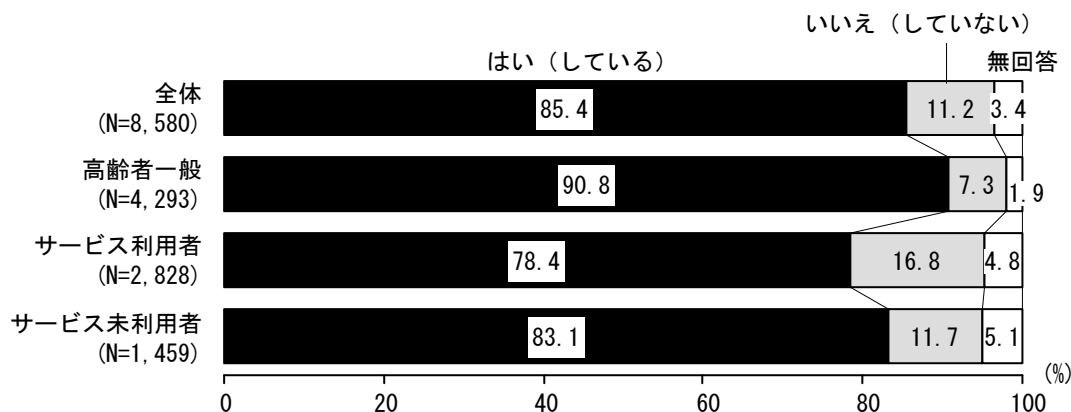
5 口腔・栄養について

(1) 歯磨き

問5Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。〈〇は1つ〉

「歯磨きを毎日しているか」については、全体で「はい（している）」が85.4%、「いいえ（していない）」が11.2%となっています。

「はい（している）」は高齢者一般が90.8%で最も高く、サービス利用者が78.4%で最も低くなっています。

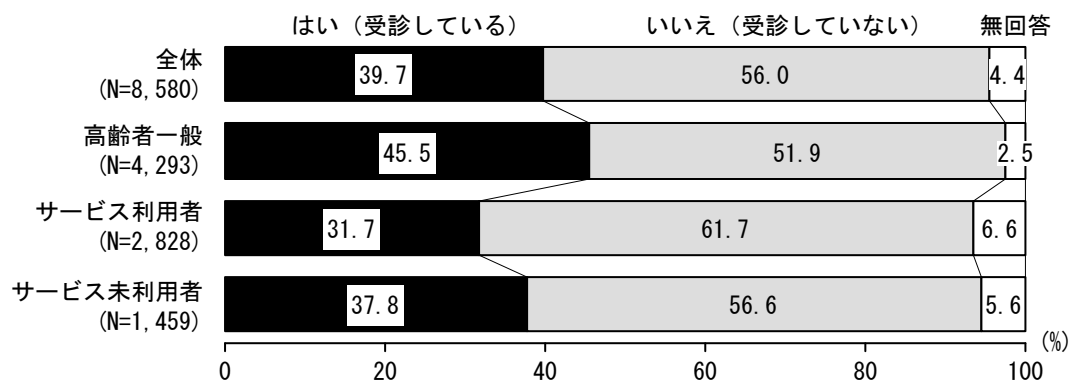


(2) 定期的な歯科受診の有無

問5Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。〈〇は1つ〉

「定期的に歯科受診しているか」については、全体で「はい（受診している）」が39.7%、「いいえ（受診していない）」が56.0%となっています。

「はい（受診している）」は高齢者一般が45.5%で最も高く、サービス利用者が31.7%で最も低くなっています。

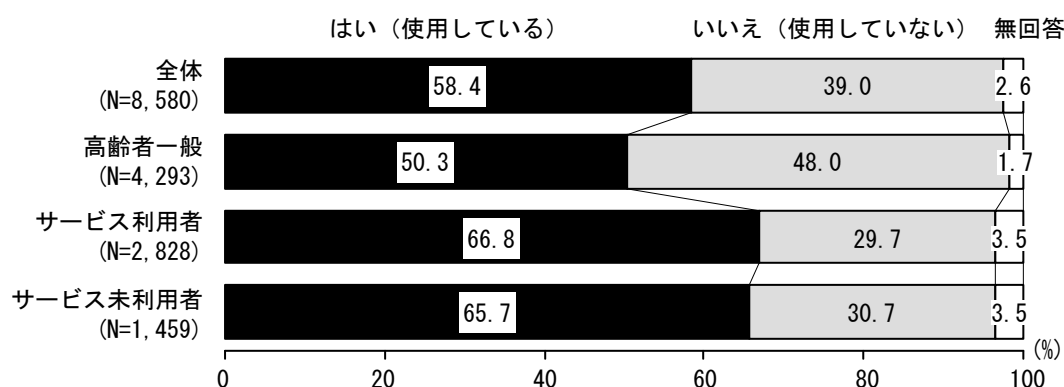


(3) 入れ歯の使用の有無

問5 Q 8. 入れ歯を使用していますか。〈○は1つ〉

「入れ歯を使用しているか」については、全体で「はい（使用している）」が58.4%、「いいえ（使用していない）」が39.0%となっています。

「はい（使用している）」はサービス利用者・サービス未利用者がともに60%以上で、高齢者一般よりも高くなっています。



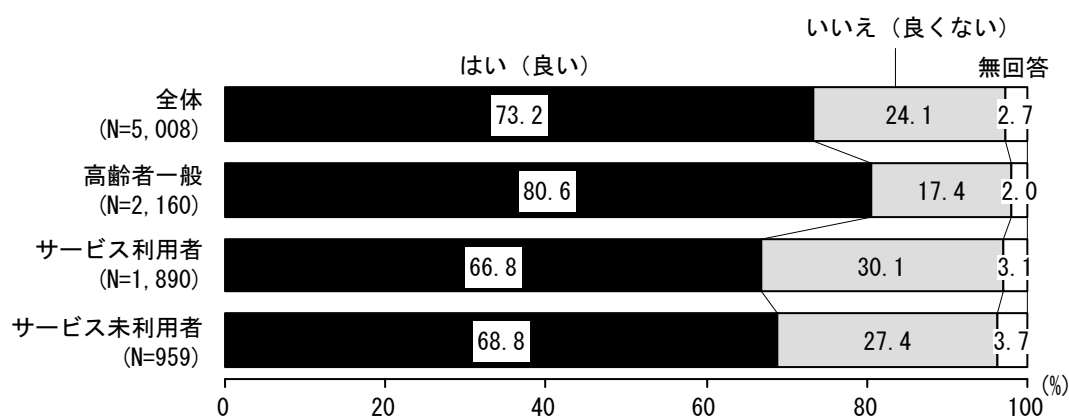
(4) 噛み合わせの状況

【入れ歯のある方のみ】(Q8で「1. はい」と回答した方)

問5 Q 8 - 1. 噛み合わせは良いですか。〈○は1つ〉

入れ歯を使用していると回答した人に、「噛み合わせが良いか」についてたずねたところ、全体で「はい（良い）」が73.2%、「いいえ（良くない）」が24.1%となっています。

「はい（良い）」は高齢者一般が80.6%で最も高く、サービス利用者・サービス未利用者よりも高くなっています。



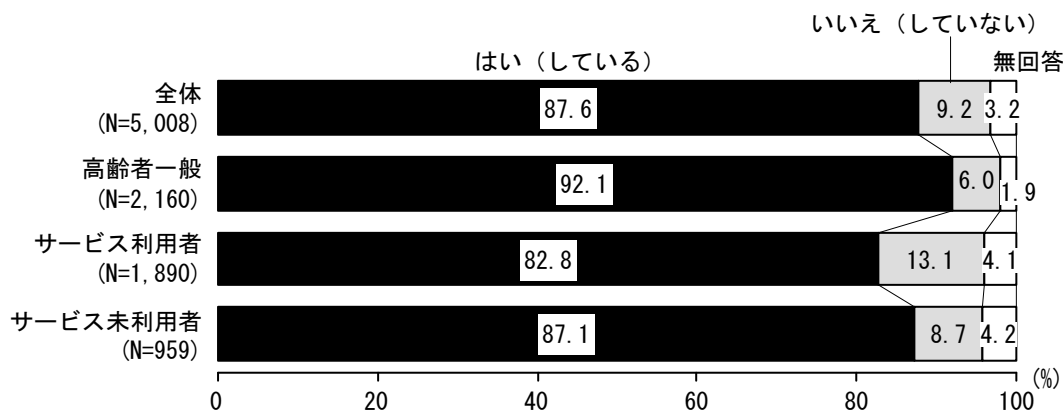
(5) 入れ歯の手入れ

【入れ歯のある方のみ】(Q8で「1. はい」と回答した方)

問5 Q 8 - 2. 毎日入れ歯の手入れをしていますか。〈〇は1つ〉

入れ歯を使用していると回答した人に、「毎日入れ歯の手入れをしているか」についてたずねたところ、全体で「はい(している)」が87.6%、「いいえ(していない)」が9.2%となっています。

「はい(している)」は高齢者一般が92.1%で最も高く、サービス利用者が82.8%で最も低くなっています。



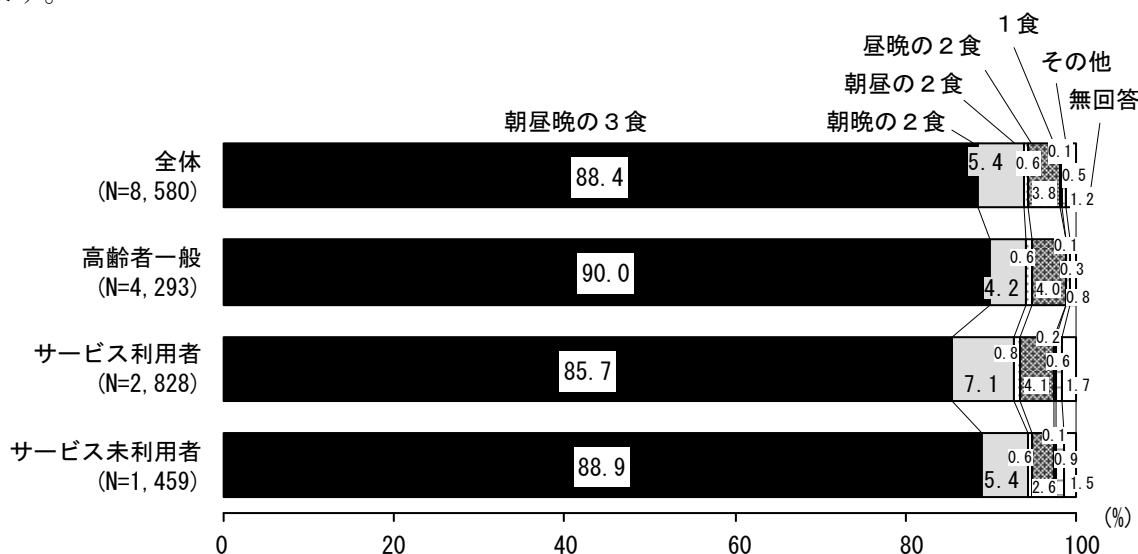
(6) 1日の食事の回数

問5 Q 9. 1日の食事の回数は何回ですか。〈〇は1つ〉

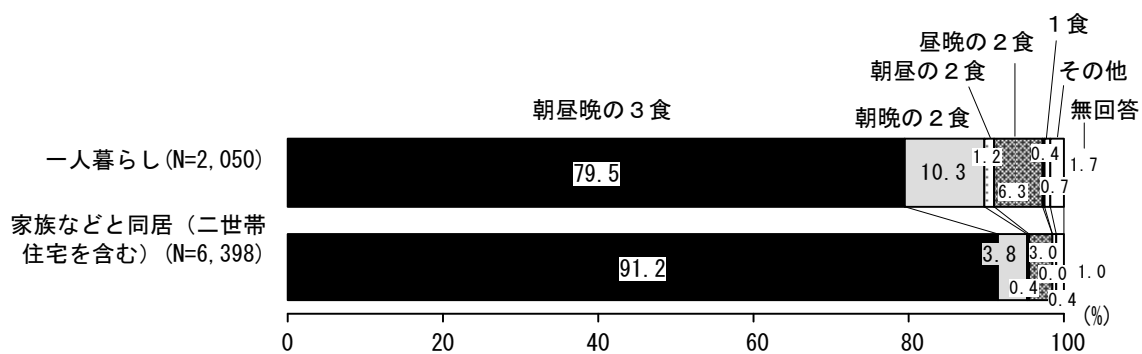
1日の食事の回数については、全体で「朝昼晩の3食」が88.4%で最も高く、次いで「朝晩の2食」が5.4%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。

全体を家族構成別で見ると、「朝昼晩の3食」は家族など同居よりも一人暮らしが11.7ポイント低くなっています。一人暮らしでは「朝晩の2食」(10.3%)が約1割を占めています。



【家族構成別 1日の食事の回数（全体）】

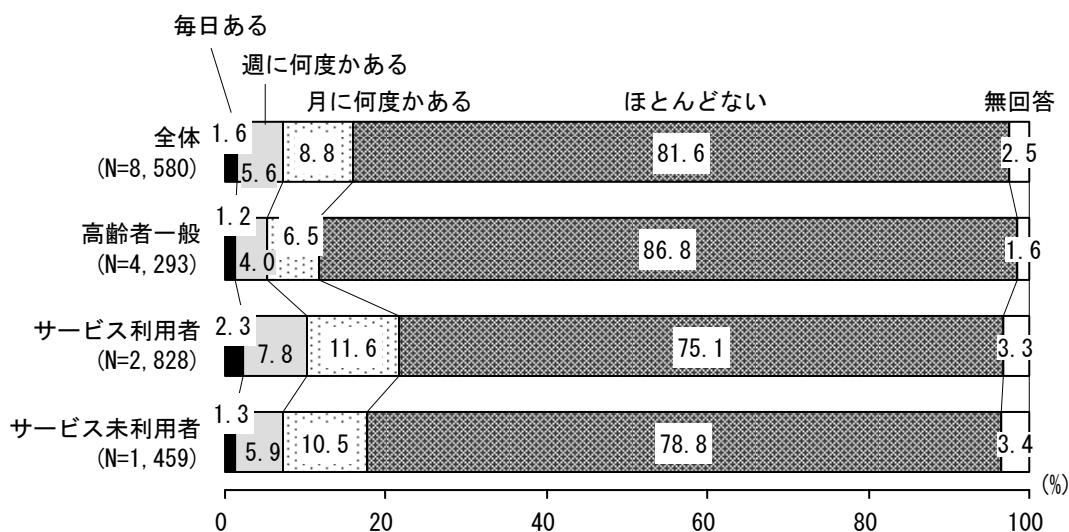


(7) 食事を抜くことの有無

問5 Q10. 食事を抜くことがありますか。〈○は1つ〉

食事を抜くことの有無については、全体で「ほとんどない」が81.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が8.8%、「週に何度かある」が5.6%となっています。

「ほとんどない」は高齢者一般が86.8%で最も高く、サービス利用者が75.1%で最も低くなっています。



(8) 共食の機会の頻度

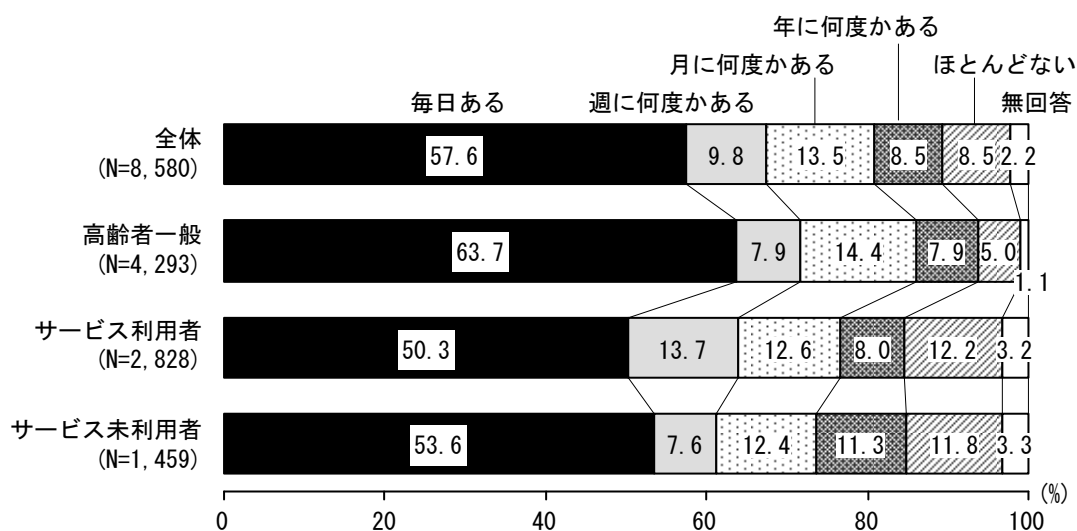
問5 Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。

<○は1つ>

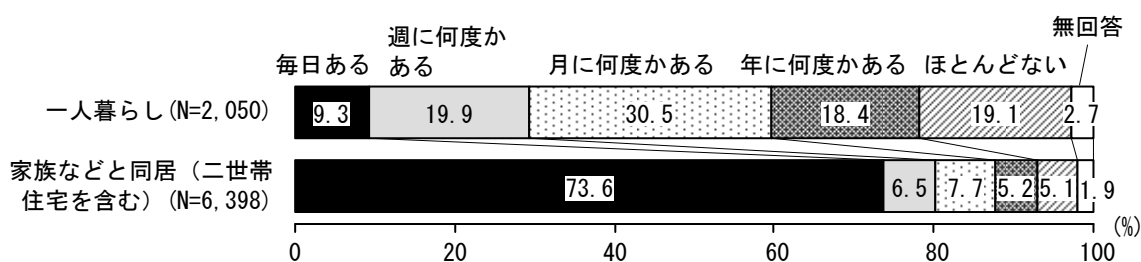
「どなたかと食事をとる機会はあるか」については、全体で「毎日ある」が57.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が13.5%、「週に何度かある」が9.8%となっています。

「毎日ある」は高齢者一般が63.7%で、サービス利用者・サービス未利用者よりも高くなっています。

全体を家族構成別で見ると、一人暮らしでは「毎日ある」(9.3%)は約1割、「年に何度かある」と「ほとんどない」をあわせて約4割となっています。



【家族構成別 共食の機会の頻度 (全体)】



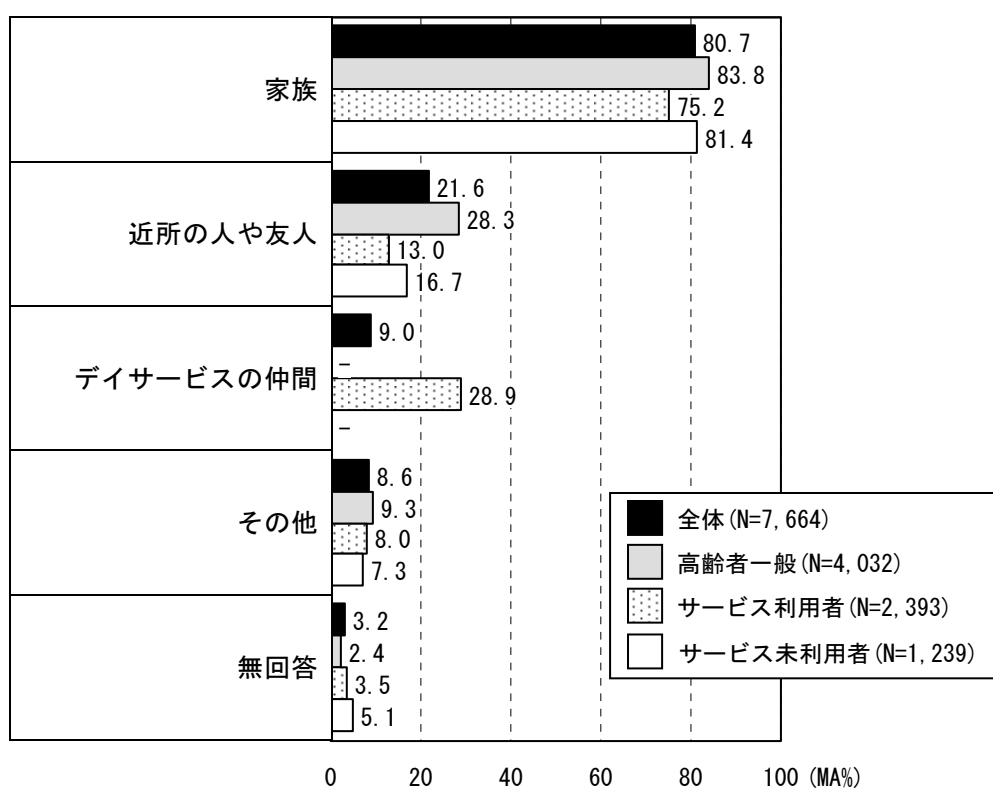
(9) 食事をとむにする人

【どなたかと食事をとむにする機会がある方のみ】 (Q11で「1」～「4」と回答した方)
問5 Q11-1. 食事をとむにする人はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

誰かと食事をとむにする機会があると回答した人に、食事をとむにする人についてたずねたところ、全体で「家族」が80.7%で最も高く、次いで「近所の人や友人」が21.6%となっています。

「近所の人や友人」は高齢者一般が28.3%で、サービス利用者・サービス未利用者よりも高くなっています。

全体を家族構成別で見ると、一人暮らしでは「家族」(45.6%),「近所の人や友人」(43.2%)がそれぞれ40%以上と高くなっています。家族など同居では「家族」(90.7%)が約9割を占めています。



【家族構成別 食事をとむにする人 (全体)】

	N	家族	近所の人や友人	デイサービス仲間	その他	無回答
一人暮らし	1,603	45.6	43.2	14.0	17.6	5.6
家族など同居 (二世帯住宅を含む)	5,950	90.7	15.6	7.7	6.1	2.4

6 日常生活について

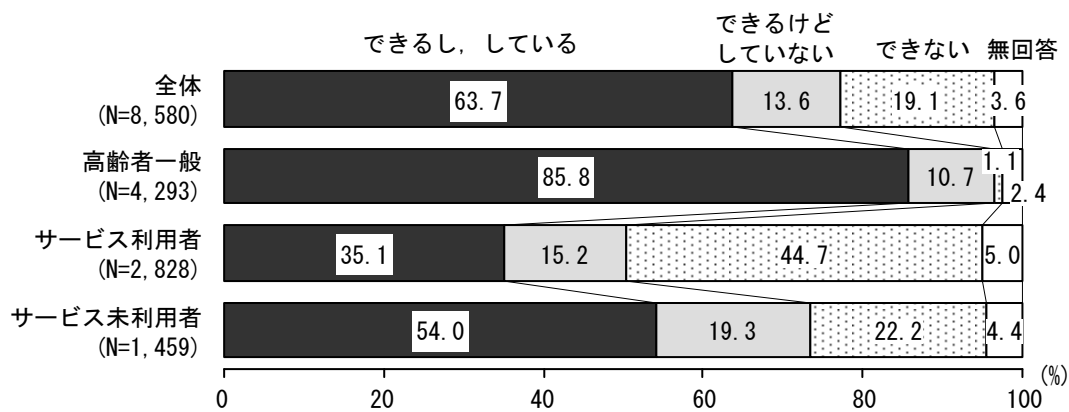
(1) 日用品の買物

問7Q2. 日用品の買物をしていますか。〈○は1つ〉

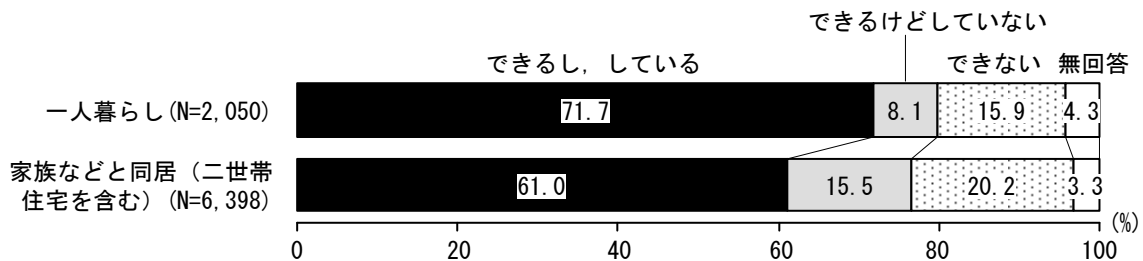
「日用品の買物をしているか」については、全体で「できるし、している」が63.7%で最も高く、次いで「できない」が19.1%、「できるけどしていない」が13.6%となっています。

「できるし、している」は高齢者一般が85.8%で最も高く、サービス利用者が35.1%で最も低くなっています。「できるけどしていない」はサービス未利用者が19.3%で最も高く、高齢者一般が10.7%で最も低くなっています。「できない」はサービス利用者が44.7%で最も高く、高齢者一般が1.1%で最も低くなっています。

全体を家族構成別で見ると、「できるし、している」は家族など同居よりも一人暮らしが10.7ポイント高くなっています。



【家族構成別 日用品の買物 (全体)】



(2) 日用品の買物をする人

【日用品の買物をしていない、できない方のみ】

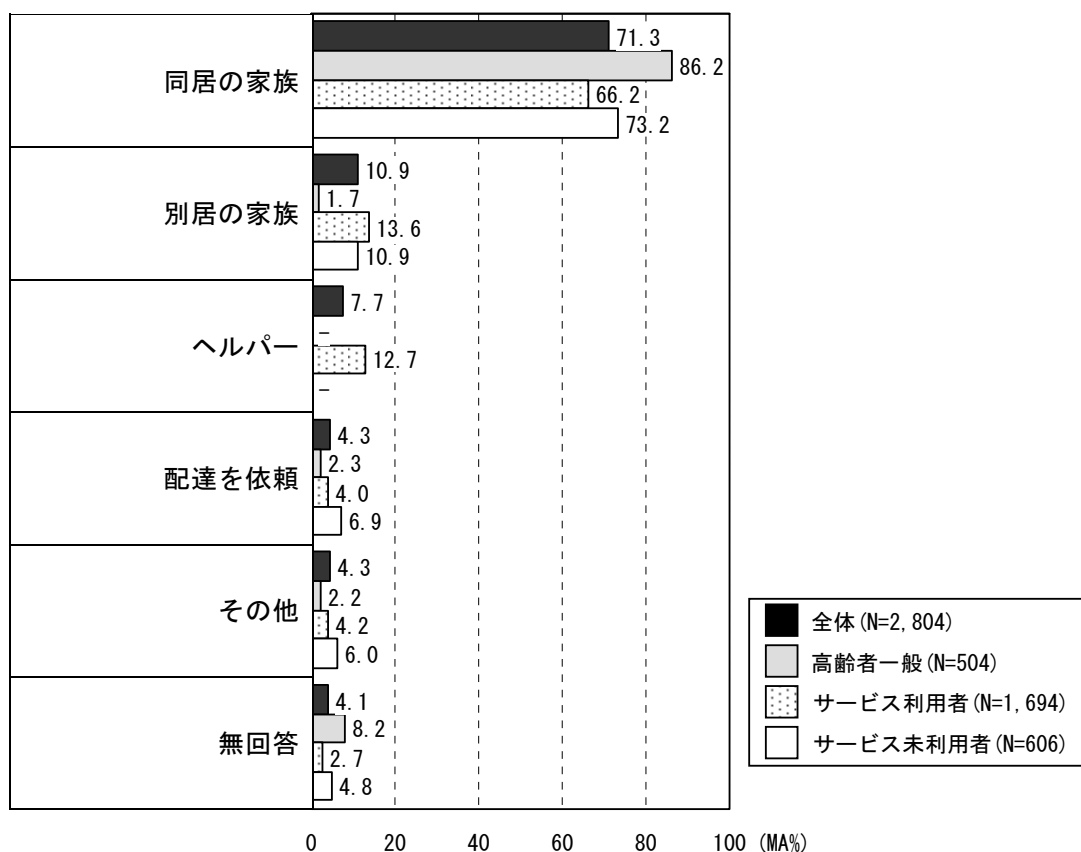
(Q2で「2. できるけどしていない」または「3. できない」と回答した方)

問7Q2-1. 日用品の買物をする人は主にどなたですか。〈〇は1つ〉

日用品の買物をしていない、できないと回答した人に、日用品の買物をする人についてたずねたところ、全体で「同居の家族」が71.3%で最も高く、次いで「別居の家族」が10.9%となっています。

「同居の家族」は高齢者一般が86.2%で最も高く、サービス利用者が66.2%で最も低くなっています。「別居の家族」はサービス利用者が13.6%で最も高く、高齢者一般が1.7%で最も低くなっています。

全体を家族構成別で見ると、一人暮らしでは「別居の家族」(38.8%)が最も高く、次いで「ヘルパー」(32.8%)となっています。家族など同居では「同居の家族」(87.0%)が約9割を占めています。



【家族構成別 日用品の買物をする人 (全体)】

	N	同居の家族	別居の家族	ヘルパー	配達を依頼	その他	無回答
一人暮らし	491	1.9	38.8	32.8	11.5	15.5	5.7
家族など同居 (二世帯住宅を含む)	2,284	87.0	4.5	1.9	2.7	1.7	3.8

(3) 生活に必要な情報の入手手段

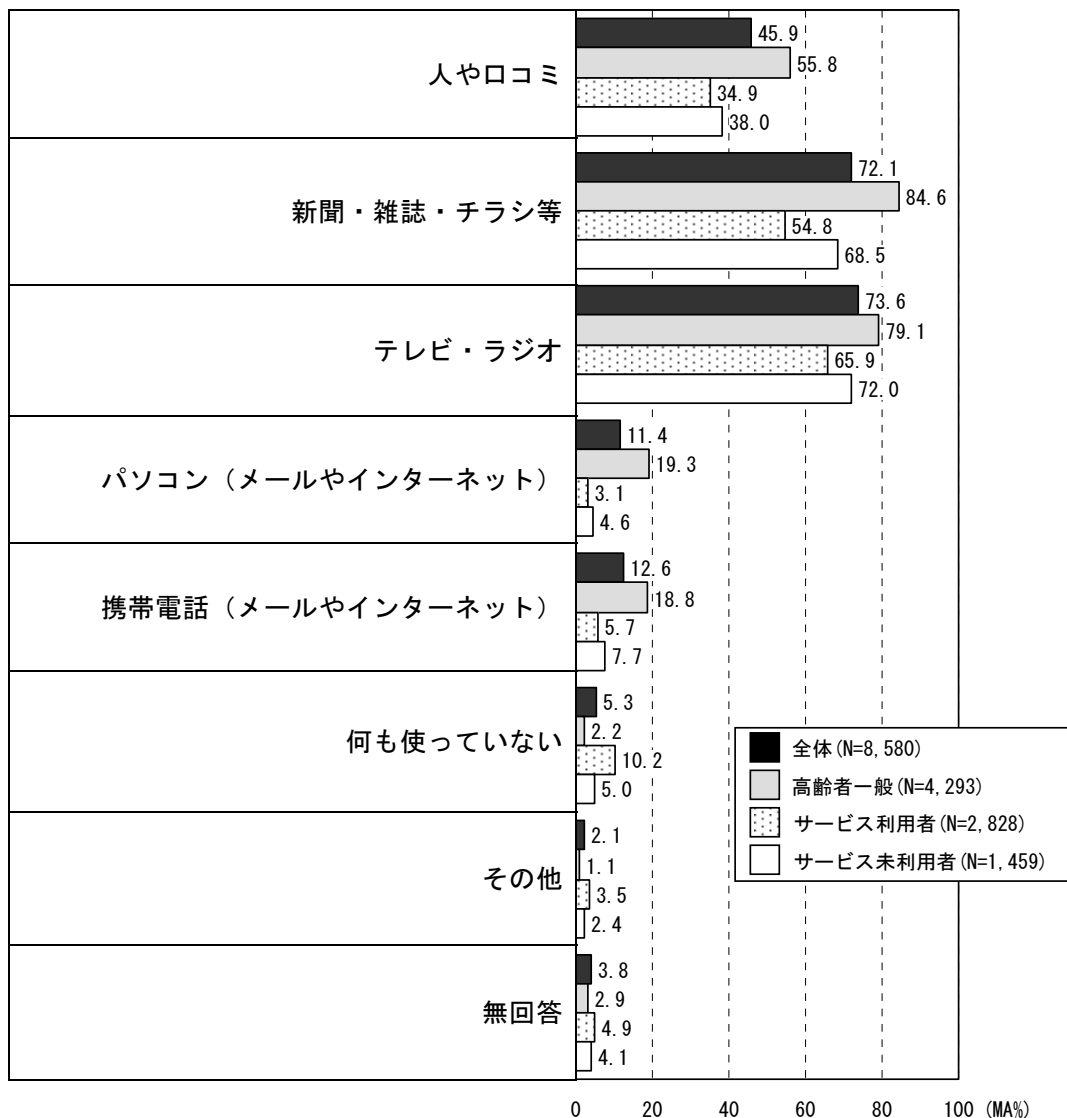
問7Q3. ふだん生活に必要な情報をどのように入手していますか。
 <あてはまるものすべてに○>

生活に必要な情報の入手手段については、全体で「テレビ・ラジオ」が73.6%で最も高く、次いで「新聞・雑誌・チラシ等」が72.1%、「人や口コミ」が45.9%となっています。

「人や口コミ」「新聞・雑誌・チラシ等」「テレビ・ラジオ」「パソコン（メールやインターネット）」「携帯電話（メールやインターネット）」は高齢者一般が最も高く、サービス利用者が最も低くなっています。「何も使っていない」はサービス利用者が10.2%で最も高く、高齢者一般が2.2%で最も低くなっています。

全体を年齢別で見ると、いずれの手段も年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。なかでも「パソコン（メールやインターネット）」や「携帯電話（メールやインターネット）」は65～69歳は20%台となっていますが、85歳以上では5%に満たない状況です。

前回調査との比較では、高齢者一般は「人や口コミ」が前回よりも15.3ポイント、「パソコン（メールやインターネット）」が9.0ポイント、「携帯電話（メールやインターネット）」が11.8ポイント高くなっています。



【年齢別 生活に必要な情報の入手手段（全体）】

		(MA%)							
	N	テレビ・ラジオ	等新聞・雑誌・チラシ	人や口コミ	携帯電話（メールやインターネット）	パソコン（メールやインターネット）	何も使っていない	その他	無回答
65～69歳	1,717	80.6	81.5	58.4	23.0	26.6	2.4	1.2	3.0
70～74歳	1,680	76.2	80.1	53.0	16.6	14.7	3.6	1.2	2.9
75～79歳	1,678	75.6	74.4	44.7	11.7	9.0	3.7	1.9	3.6
80～84歳	1,620	71.1	67.7	39.5	8.4	5.2	5.8	2.3	4.3
85歳以上	1,885	65.1	57.9	34.7	4.0	2.3	10.4	3.8	4.9

【前回調査との比較】

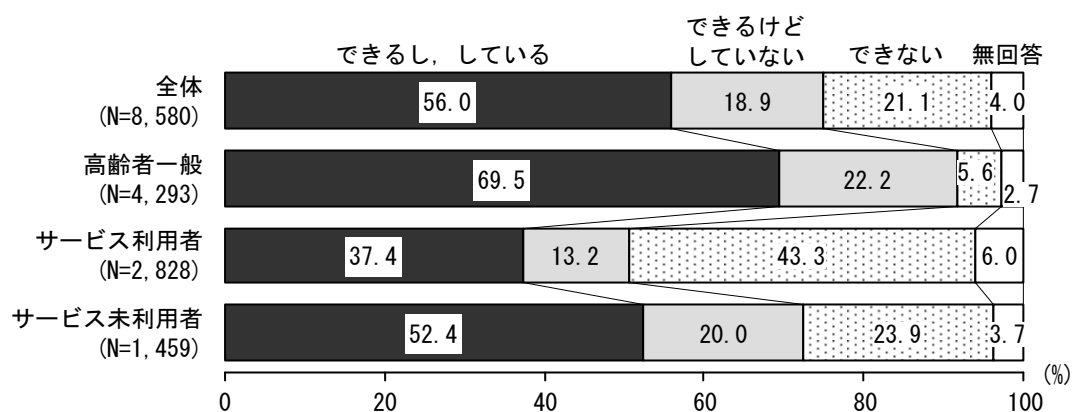
		(MA%)								
	N	人や口コミ	等新聞・雑誌・チラシ	テレビ・ラジオ	パソコン（メールやインターネット）	携帯電話（メールやインターネット）	何も使っていない	その他	無回答	
高齢者一般	平成25年度	4,293	55.8	84.6	79.1	19.3	18.8	2.2	1.1	2.9
	平成22年度	2,541	40.5	81.3	82.3	10.3	7.0	2.6	0.9	3.0
サービス利用者	平成25年度	2,828	34.9	54.8	65.9	3.1	5.7	10.2	3.5	4.9
	平成22年度	1,825	33.3	58.2	71.6	2.5	4.7	8.7	3.5	5.4
サービス未利用者	平成25年度	1,459	38.0	68.5	72.0	4.6	7.7	5.0	2.4	4.1
	平成22年度	825	34.3	62.5	69.1	3.5	4.7	7.0	3.0	6.8

(4) 食事の用意

問7 Q4. 自分で食事の用意をしていますか。〈〇は1つ〉

「自分で食事の用意をしているか」については、全体で「できるし、している」が56.0%で最も高く、次いで「できない」が21.1%、「できるけどしていない」が18.9%となっています。

「できるし、している」は高齢者一般が69.5%で最も高く、サービス利用者が37.4%で最も低くなっています。「できるけどしていない」は高齢者一般が22.2%で最も高く、サービス利用者が13.2%で最も低くなっています。「できない」はサービス利用者が43.3%で最も高く、高齢者一般が5.6%で最も低くなっています。



(5) 食事の用意をする人

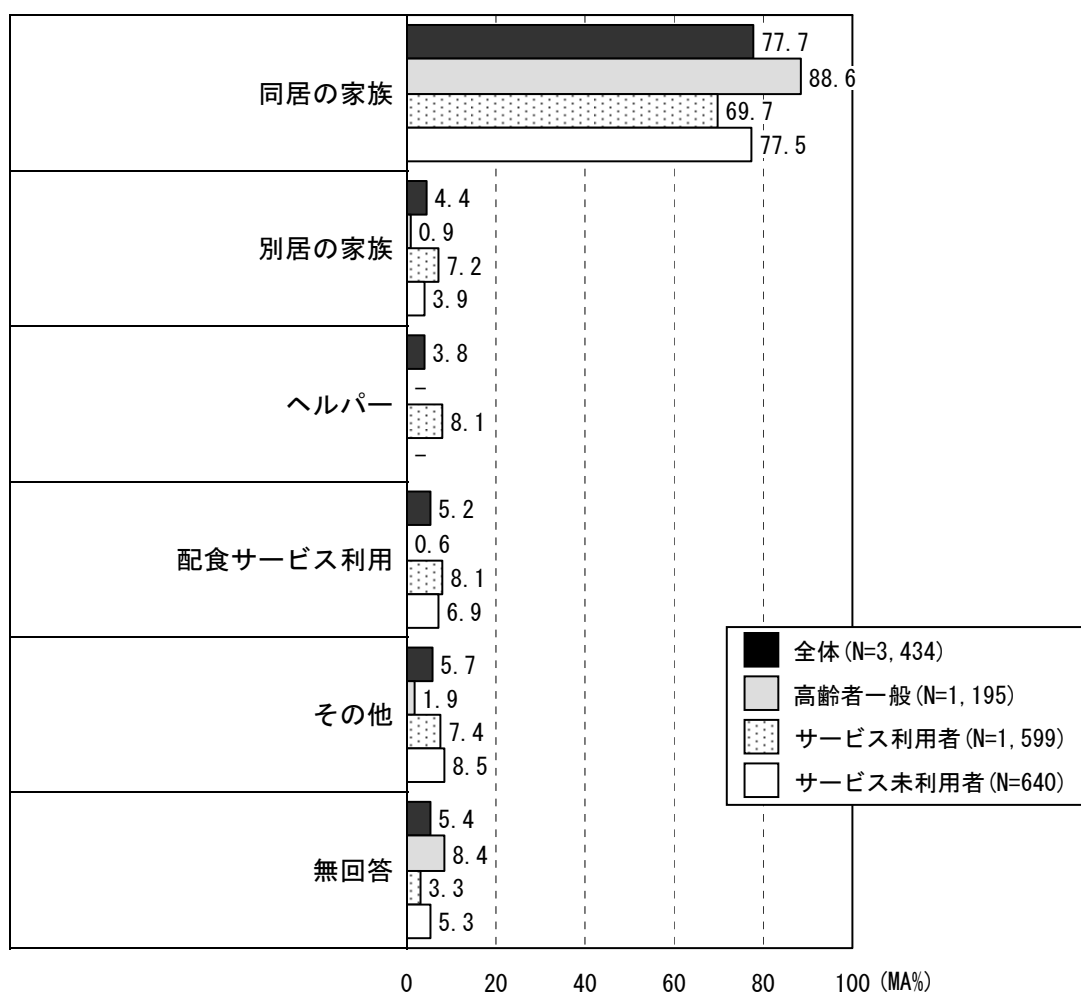
【自分で食事の用意をしていない、できない方のみ】

(Q4で「2. できるけどしていない」または「3. できない」と回答した方)

問7Q4-1. 食事の用意をする人は主にどなたですか。〈〇は1つ〉

食事の用意をしていない、できないと回答した人に、食事の用意をする人についてたずねたところ、全体で「同居の家族」が77.7%で最も高く、次いで「配食サービス利用」が5.2%、「別居の家族」が4.4%となっています。

「同居の家族」は高齢者一般が88.6%で最も高くなっており、サービス利用者が69.7%で最も低くなっています。「別居の家族」「配食サービス利用」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。



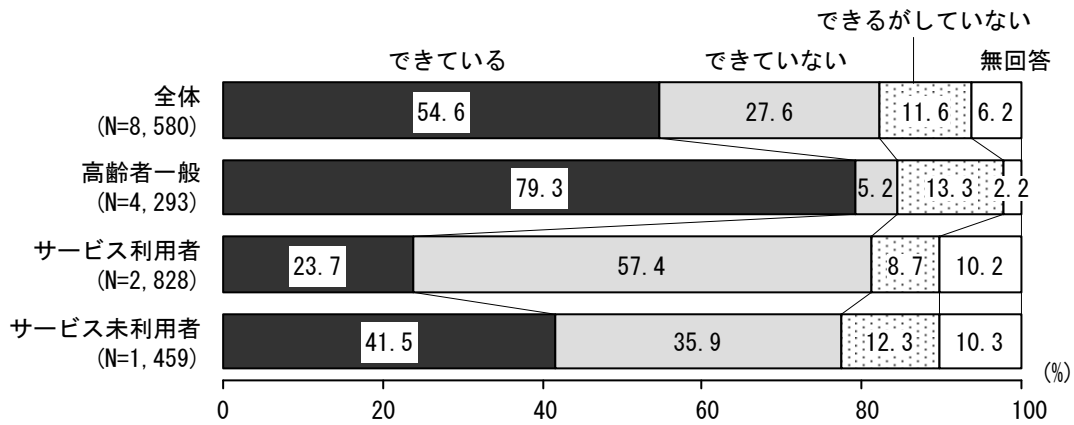
(6) 家事全般

問7 Q18. 家事全般ができていますか。〈○は1つ〉

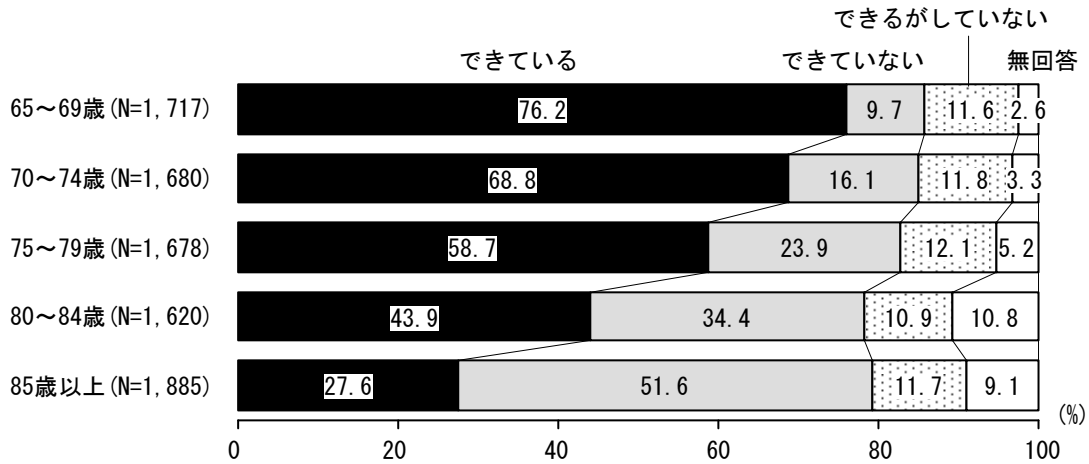
「家事全般ができていますか」については、全体で「できている」が54.6%で最も高く、次いで「できていない」が27.6%、「できるがしていない」が11.6%となっています。

「できている」は高齢者一般が79.3%で最も高く、サービス利用者が23.7%で最も低くなっています。「できていない」はサービス利用者が57.4%で最も高く、高齢者一般が5.2%で最も低くなっています。

全体を年齢別でみると、「できている」は年齢が上がるにつれて割合が低くなり、85歳以上では「できていない」(51.6%)が半数を占めています。



【年齢別 家事全般 (全体)】



(7) 日常生活で不自由と感じていること

問7 Q19. 今、日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。

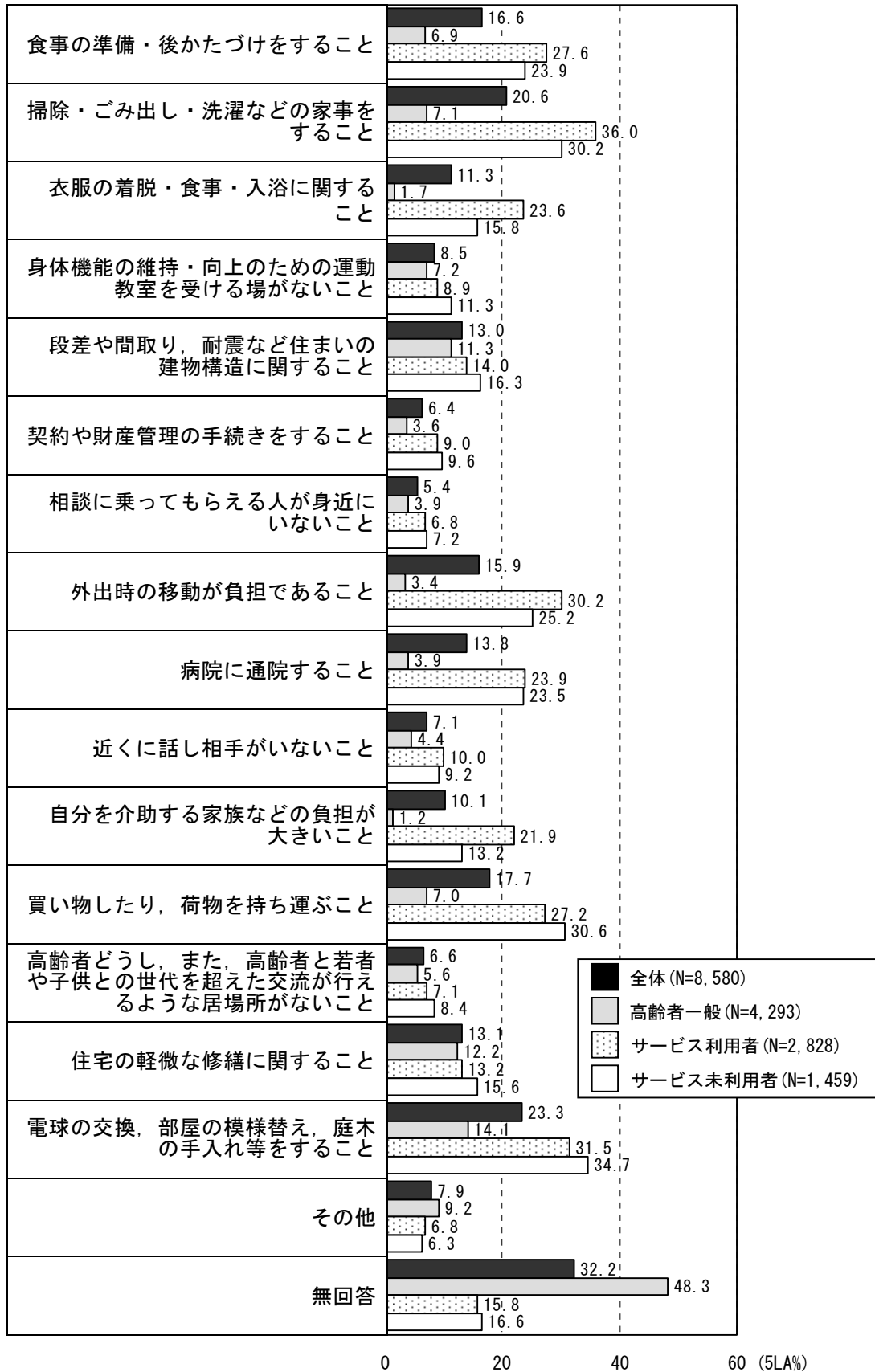
<〇は5つまで>

日常生活で不自由と感じていることについては、全体で「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を行うこと」が23.3%で最も高く、次いで「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事を行うこと」が20.6%、「買い物したり、荷物を持ち運ぶこと」が17.7%となっています。

「食事の準備・後かたづけを行うこと」「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事を行うこと」「衣服の着脱・食事・入浴に関すること」「契約や財産管理の手続きを行うこと」「外出時の移動が負担であること」「病院に通院すること」「自分を介助する家族などの負担が大きいこと」「買い物したり荷物を持ち運ぶこと」「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を行うこと」はそれぞれ高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。高齢者一般では「無回答」が48.3%と高くなっています。

全体を年齢別で見ると、多くの項目で年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあります。なかでも「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事を行うこと」や「外出時の移動が負担であること」は85歳以上が65～69歳よりも20ポイント以上高くなっています。

全体を家族構成別で見ると、「食事の準備・後かたづけを行うこと」「掃除・ごみ出し・洗濯などの家事を行うこと」「相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと」「近くに話し相手がないこと」「買い物したり、荷物を持ち運ぶこと」「住宅の軽微な修繕に関すること」「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を行うこと」は一人暮らしが、「自分を介助する家族などの負担が大きいこと」は家族などと同居が高くなっています。



【年齢別 日常生活で不自由と感じていること（全体）】

	N	(5LA%)														無回答		
		食事の準備・後かたづけをすること	掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	衣服の着脱・食事・入浴に関すること	身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと	住まいの建物構造に関すること	段差や間取り、耐震など物構造に関すること	契約や財産管理の手続きをすること	相談に乗ってもらえない人が身近にいないこと	外出時の移動が負担であること	病院に通院すること	近くに話し相手がないこと	自分を介助する家族などの負担が大きいこと	買い物したり、荷物を持ち運ぶこと	高齢者どうし、または、高年齢者や若者、子供との世代を超えた交流が行えないこと		住宅の軽微な修繕に関すること	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をすること
65～69歳	1,717	8.2	8.4	4.3	7.9	10.9	2.7	4.5	5.1	4.8	4.7	3.1	6.6	4.9	10.7	11.1	10.3	48.4
70～74歳	1,680	11.6	12.8	6.3	8.9	13.9	4.7	4.0	9.1	8.3	5.0	4.9	11.6	5.2	12.7	17.7	8.6	40.0
75～79歳	1,678	16.1	20.9	10.0	9.1	14.4	7.1	6.4	14.9	14.3	7.5	9.5	20.2	8.1	14.2	27.3	7.8	30.0
80～84歳	1,620	21.5	28.5	15.2	7.3	14.5	9.1	6.7	21.9	20.2	8.1	12.9	27.0	7.1	16.5	32.6	6.4	23.1
85歳以上	1,885	25.0	31.4	20.1	9.1	11.7	8.5	5.5	27.5	21.2	9.9	19.0	22.8	7.6	11.8	28.0	6.6	20.3

【家族構成別 日常生活で不自由と感じていること（全体）】

	N	(5LA%)														無回答		
		食事の準備・後かたづけをすること	掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	衣服の着脱・食事・入浴に関すること	身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと	住まいの建物構造に関すること	段差や間取り、耐震など物構造に関すること	契約や財産管理の手続きをすること	相談に乗ってもらえない人が身近にいないこと	外出時の移動が負担であること	病院に通院すること	近くに話し相手がないこと	自分を介助する家族などの負担が大きいこと	買い物したり、荷物を持ち運ぶこと	高齢者どうし、または、高年齢者や若者、子供との世代を超えた交流が行えないこと		住宅の軽微な修繕に関すること	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をすること
一人暮らし	2,050	21.3	29.7	12.2	9.2	13.2	6.5	10.7	16.5	15.0	12.3	5.2	23.4	8.4	17.3	37.4	6.0	22.5
家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	6,398	15.1	17.6	11.1	8.4	13.0	6.5	3.7	15.7	13.5	5.3	11.7	15.7	6.0	11.7	18.5	8.6	35.5

7 社会参加について

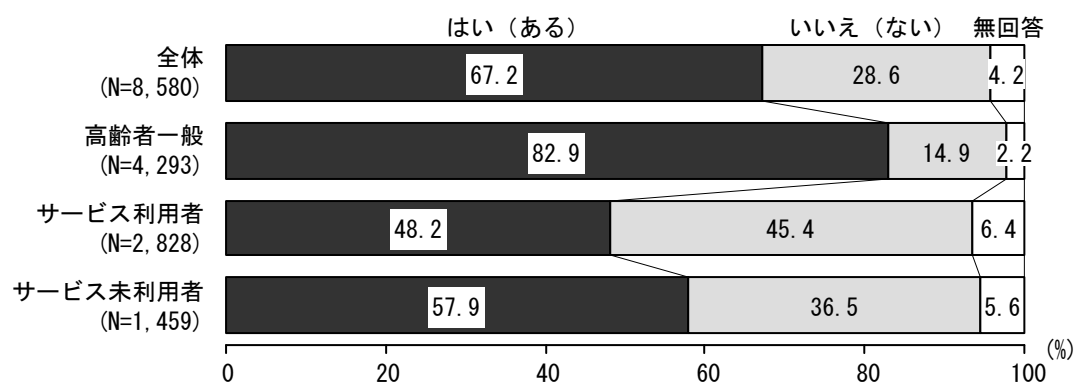
(1) 趣味の有無

問8Q9. 趣味はありますか。〈〇は1つ〉

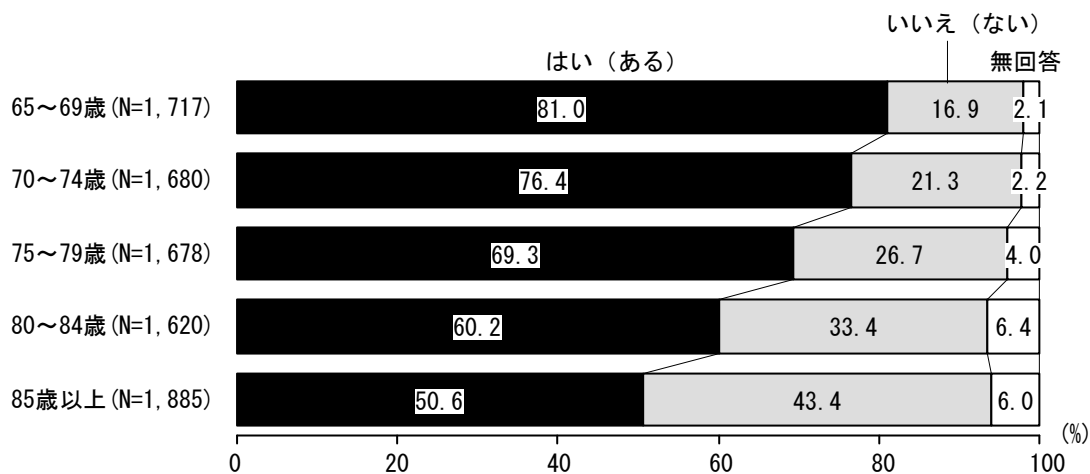
「趣味はあるか」については、全体で「はい(ある)」が67.2%、「いいえ(ない)」が28.6%となっています。

「はい(ある)」は高齢者一般が82.9%で最も高く、サービス利用者が48.2%で最も低くなっています。

全体を年齢別で見ると、「はい(ある)」の割合は年齢が上がるにつれて低くなっています。



【年齢別 趣味の有無 (全体)】



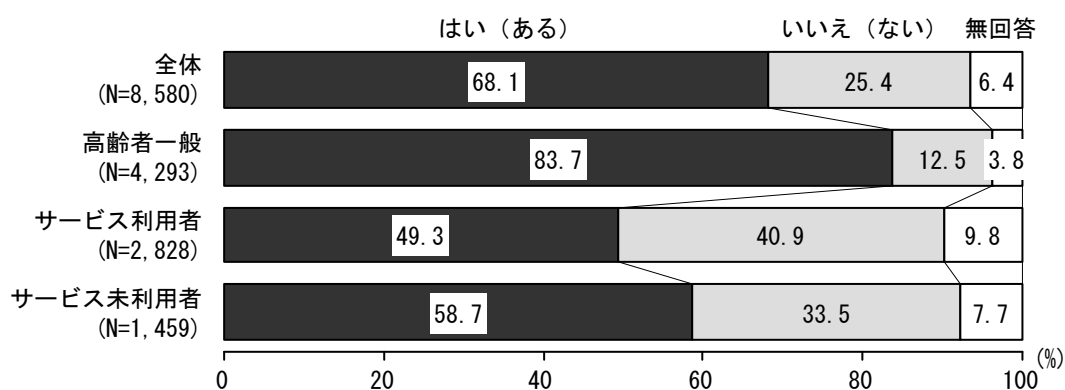
(2) 生きがいの有無

問8 Q10. 生きがいはありますか。〈○は1つ〉

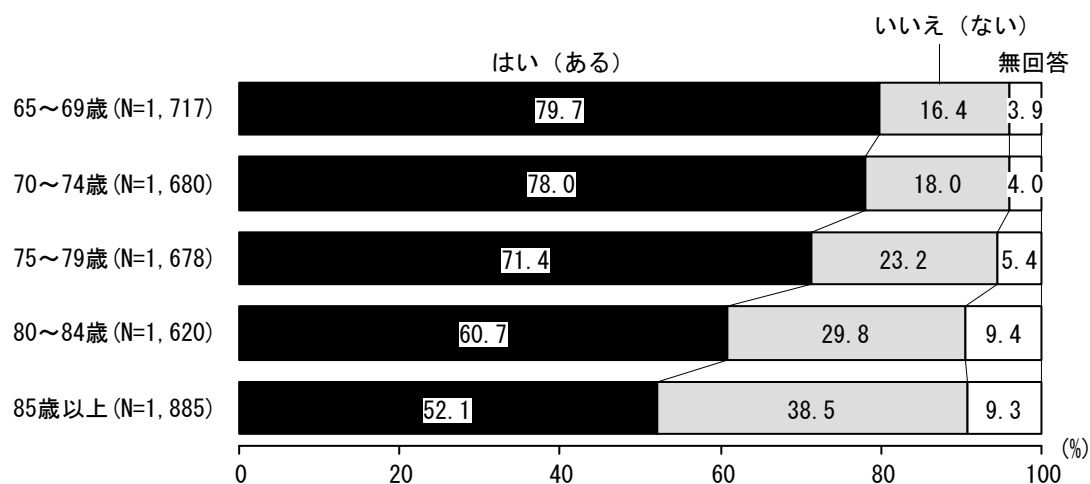
「生きがいがあるか」については、全体で「はい（ある）」が68.1%、「いいえ（ない）」が25.4%となっています。

「はい（ある）」は高齢者一般が83.7%で最も高く、サービス利用者が49.3%で最も低くなっています。

全体を年齢別で見ると、「はい（ある）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。



【年齢別 生きがいの有無（全体）】



(3) 会・グループの参加頻度

問8 Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 <①から⑦までそれぞれ〇は1つつ>

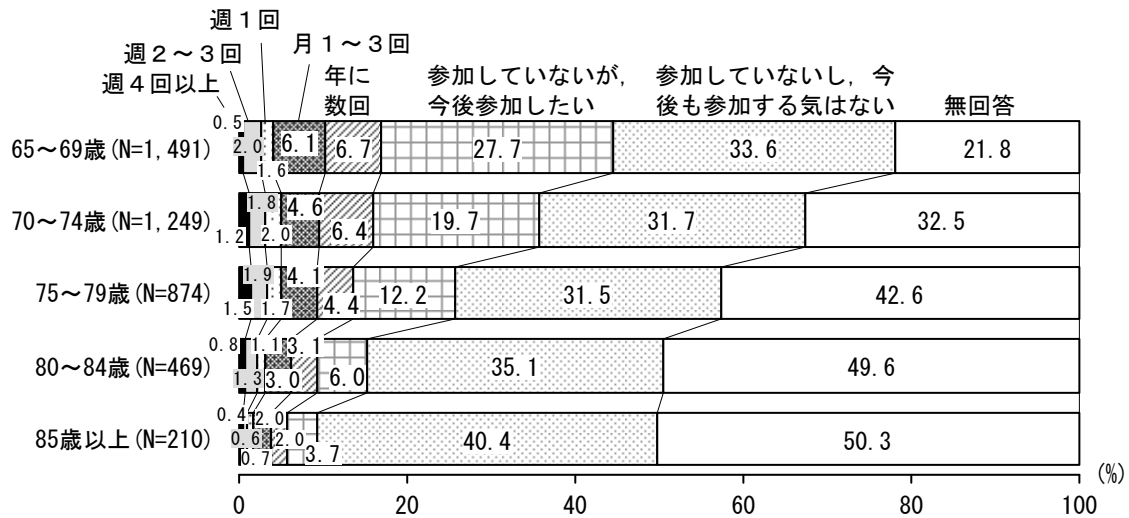
会・グループの参加頻度については、全体で「⑤町内会・自治会」の「年に数回」(16.8%)を除き、いずれも10%未満となっています。「参加していないが、今後参加したい」は全体で「①ボランティアのグループ」「③趣味関係のグループ」「④老人クラブ」「⑥学習・教養サークル」で10%以上となっています。「参加していないし、今後も参加する気はない」はいずれも30%以上となっています。

高齢者一般を年齢別で見ると、65～69歳では、「年に数回」以上が40.4%を占める「⑤町内会・自治会」を除いてどの項目についても、「参加していないが、今後参加したい」が20%以上と高くなっています。

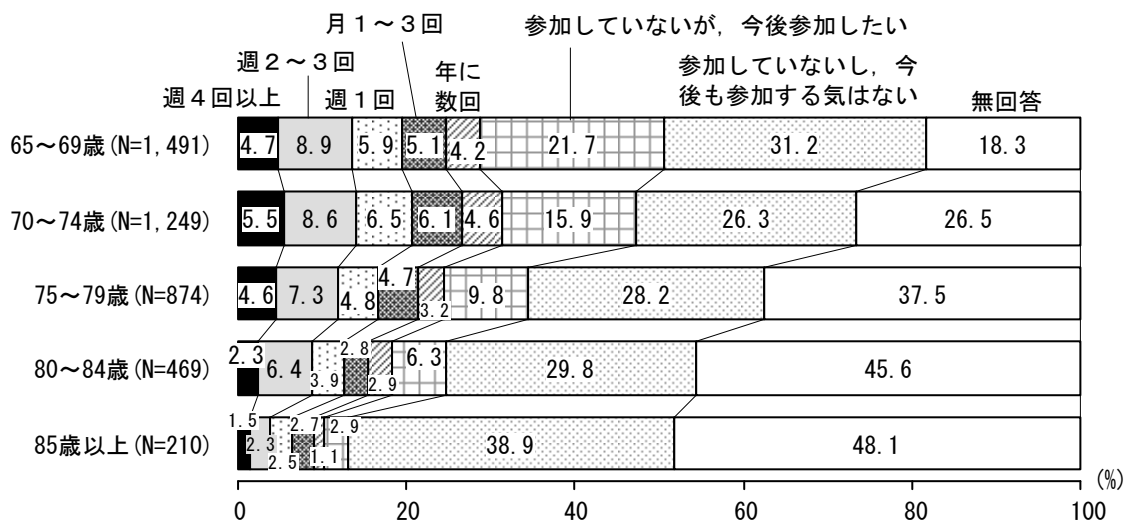
		N	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い が 参 加 し 今 後 参 加 し な い た	る し 参 加 し 今 後 も 参 加 し な い	無 回 答
①ボラン ティアの グループ	全体	8,580	0.8	1.4	1.2	3.1	3.5	12.0	42.8	35.2
	高齢者一般	4,293	0.9	1.8	1.6	4.7	5.5	18.7	33.1	33.6
	サービス利用者	2,828	0.8	1.4	0.7	1.2	1.4	4.3	54.3	35.9
	サービス未利用者	1,459	0.6	0.4	0.8	2.0	1.5	7.2	49.1	38.5
②スポー ツ関係の グループ やクラブ	全体	8,580	2.6	4.8	3.6	2.9	2.2	9.8	41.0	33.0
	高齢者一般	4,293	4.5	7.9	5.5	4.9	3.8	15.0	29.4	29.0
	サービス利用者	2,828	0.7	1.6	1.4	0.7	0.5	3.8	54.6	36.7
	サービス未利用者	1,459	0.6	2.1	2.6	1.3	0.8	6.3	48.9	37.3
③趣味関 係のグ ループ	全体	8,580	1.6	3.4	5.0	8.5	4.5	13.6	33.8	29.6
	高齢者一般	4,293	2.5	4.6	7.3	12.4	6.8	17.8	22.5	26.1
	サービス利用者	2,828	0.5	1.7	2.1	3.5	2.1	8.5	48.2	33.4
	サービス未利用者	1,459	0.8	3.2	3.5	6.9	2.8	11.1	39.4	32.1
④老人ク ラブ	全体	8,580	0.6	1.1	0.8	2.4	4.4	11.3	44.4	35.2
	高齢者一般	4,293	0.6	0.8	0.7	2.5	4.6	15.6	40.4	34.8
	サービス利用者	2,828	0.6	1.7	1.1	1.9	3.7	5.9	50.3	34.7
	サービス未利用者	1,459	0.3	0.5	0.9	2.9	5.0	8.8	44.4	37.0
⑤町内会 ・自治会	全体	8,580	0.4	0.6	0.4	3.3	16.8	8.3	36.9	33.4
	高齢者一般	4,293	0.6	0.9	0.6	5.2	26.4	11.2	24.8	30.2
	サービス利用者	2,828	0.2	0.3	0.2	1.1	5.7	4.7	51.8	36.0
	サービス未利用者	1,459	0.4	0.2	0.4	1.9	9.7	6.5	43.4	37.5
⑥学習・ 教養サー クル	全体	8,580	0.5	1.0	1.5	3.1	3.4	14.2	40.5	35.9
	高齢者一般	4,293	0.7	1.5	2.2	4.7	5.2	21.1	30.8	33.8
	サービス利用者	2,828	0.1	0.4	0.6	1.4	1.5	6.4	52.2	37.3
	サービス未利用者	1,459	0.8	0.5	1.1	1.6	1.6	8.8	46.2	39.4
⑦その他 の団体や 会	全体	8,580	0.9	2.1	1.7	4.3	6.2	9.0	41.6	34.2
	高齢者一般	4,293	1.0	1.8	1.7	6.1	9.3	13.0	34.1	33.0
	サービス利用者	2,828	1.0	3.0	2.0	2.1	2.6	4.5	51.1	33.7
	サービス未利用者	1,459	0.6	0.9	1.1	3.2	4.3	5.9	45.4	38.6

【年齢別 会・グループの参加頻度（高齢者一般）】

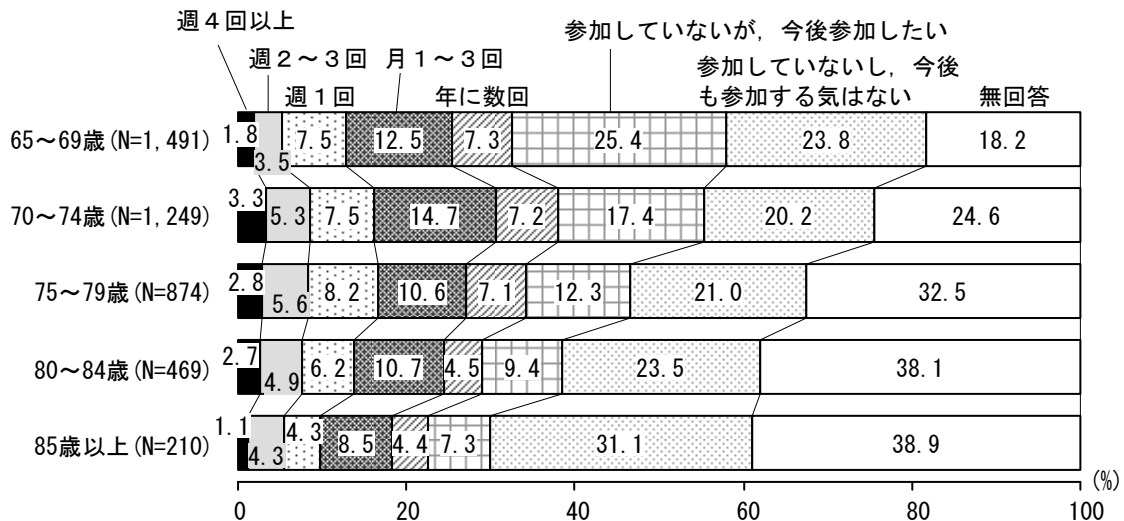
① ボランティアのグループ



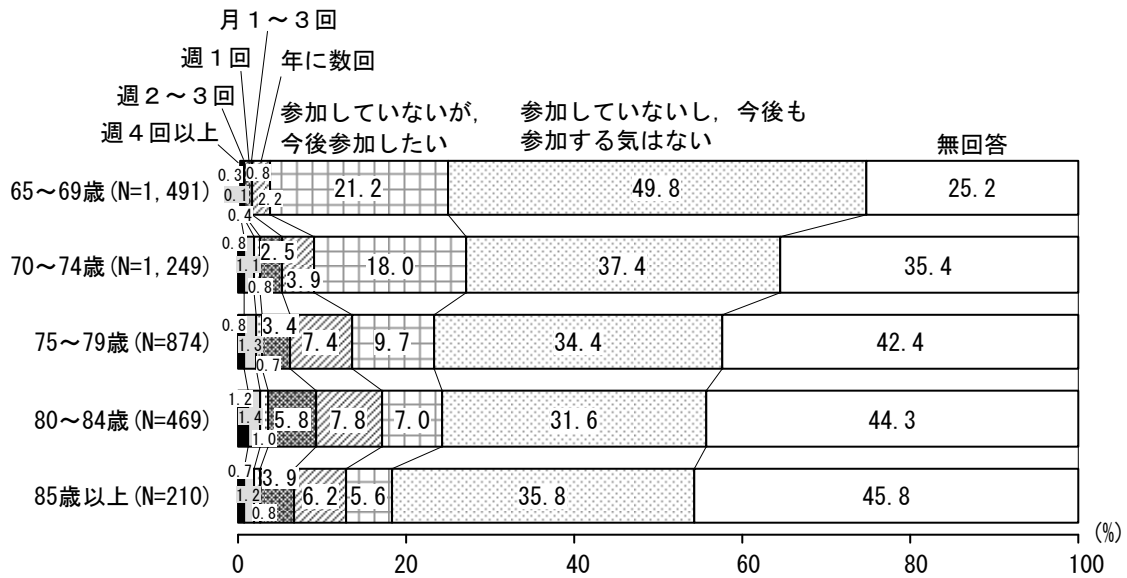
② スポーツ関係のグループやクラブ



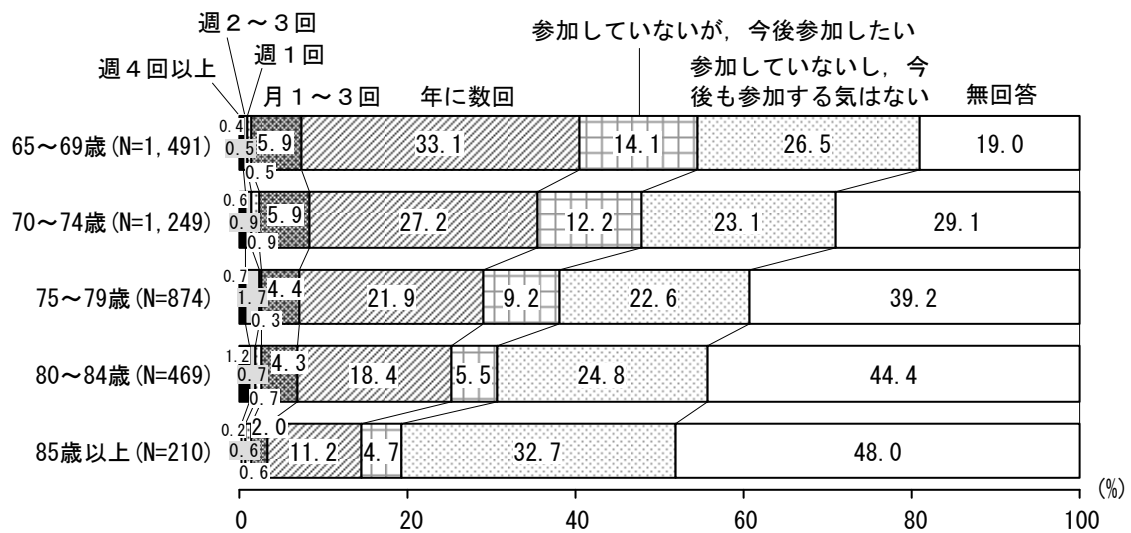
③ 趣味関係のグループ



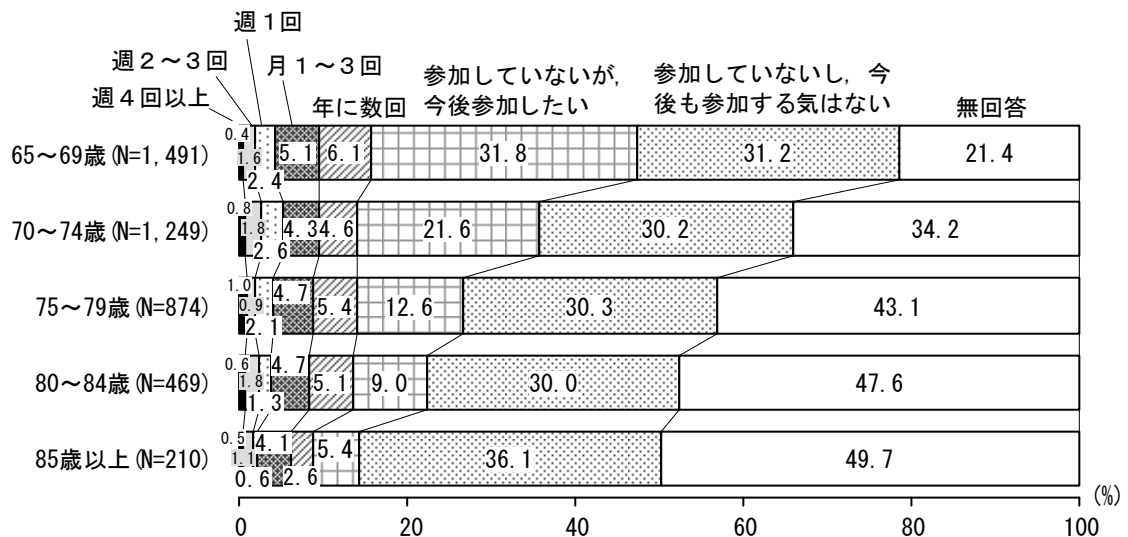
④ 老人クラブ



⑤ 町内会・自治会



⑥ 学習・教養サークル



(4) 社会参加活動や仕事の活動頻度

問8 Q12. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。
 <①から⑤までそれぞれ〇は1つつ>

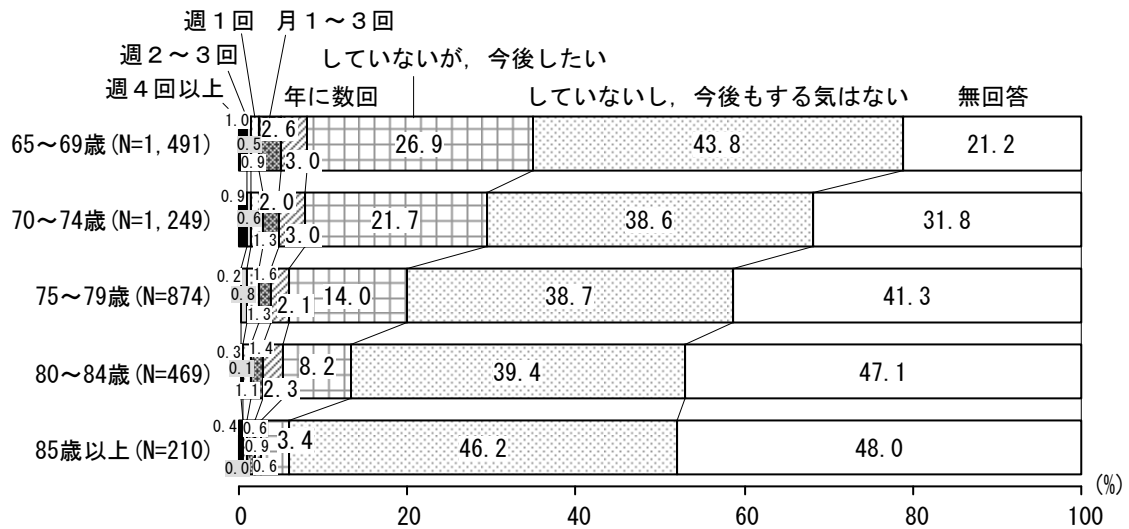
社会参加活動や仕事の活動頻度については、全体で「④地域の生活環境の改善(美化)活動」の「年に数回」(6.2%)及び「⑤収入のある仕事」の「週4回以上」(6.0%)を除き、いずれも5%未満となっています。「していないが、今後したい」は「①見守りが必要な高齢者を支援する活動」「②介護が必要な高齢者を支援する活動」「③子どもを育てている親を支援する活動」「④地域の生活環境の改善(美化)活動」で10%以上となっています。「していないし、今後する気はない」はいずれも40%以上となっています。

高齢者一般を年齢別でみると、65～69歳では、「年に数回」以上が34.5%を占める「⑤収入のある仕事」を除いてどの項目についても、「していないが、今後したい」が20%以上と高くなっています。

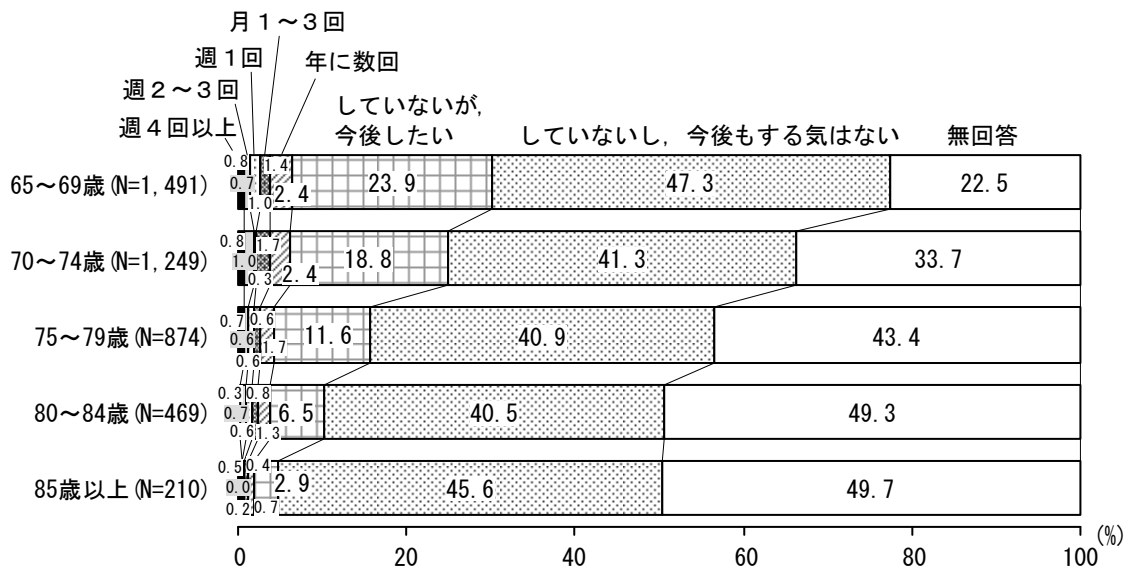
		N	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	今して 後しない が	今して 後しない し は、 ない	無 回 答
①見守り が必要な 高齢者を 支援する 活動	全体	8,580	0.6	0.4	0.7	1.1	1.6	12.2	48.9	34.6
	高齢者一般	4,293	0.7	0.5	1.1	2.0	2.6	19.6	40.9	32.5
	サービス利用者	2,828	0.5	0.3	0.3	0.2	0.6	3.9	59.0	35.2
	サービス未利用者	1,459	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	6.5	52.7	39.3
②介護が 必要な 高齢者を 支援する 活動	全体	8,580	0.6	0.8	0.5	0.7	1.2	10.6	50.1	35.6
	高齢者一般	4,293	0.7	0.7	0.6	1.2	2.0	17.0	43.4	34.3
	サービス利用者	2,828	0.7	1.0	0.2	0.1	0.3	3.5	58.6	35.6
	サービス未利用者	1,459	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	5.3	53.1	39.5
③子ども を育てて いる親を 支援する 活動	全体	8,580	0.6	0.5	0.4	0.6	1.5	12.2	48.2	36.0
	高齢者一般	4,293	1.0	0.8	0.6	1.0	2.5	19.7	39.9	34.4
	サービス利用者	2,828	0.2	0.0	0.1	0.2	0.5	3.9	58.8	36.4
	サービス未利用者	1,459	0.2	0.2	0.3	0.2	0.7	6.4	52.0	40.0
④地域の 生活環境 の改善 (美化) 活動	全体	8,580	0.7	0.5	0.7	1.6	6.2	15.7	41.3	33.2
	高齢者一般	4,293	1.0	0.8	1.1	2.7	10.8	24.7	28.6	30.4
	サービス利用者	2,828	0.4	0.2	0.2	0.4	1.0	5.3	57.1	35.4
	サービス未利用者	1,459	0.4	0.4	0.7	0.8	2.8	9.3	48.1	37.4
⑤収入の ある仕事	全体	8,580	6.0	2.9	0.7	1.2	0.9	8.4	46.5	33.5
	高齢者一般	4,293	11.3	5.2	1.1	2.1	1.3	12.5	36.6	29.9
	サービス利用者	2,828	0.4	0.3	0.1	0.2	0.4	3.8	58.9	35.9
	サービス未利用者	1,459	1.0	1.1	0.5	0.7	0.6	5.0	51.8	39.4

【年齢別 社会参加活動や仕事の活動頻度（高齢者一般）】

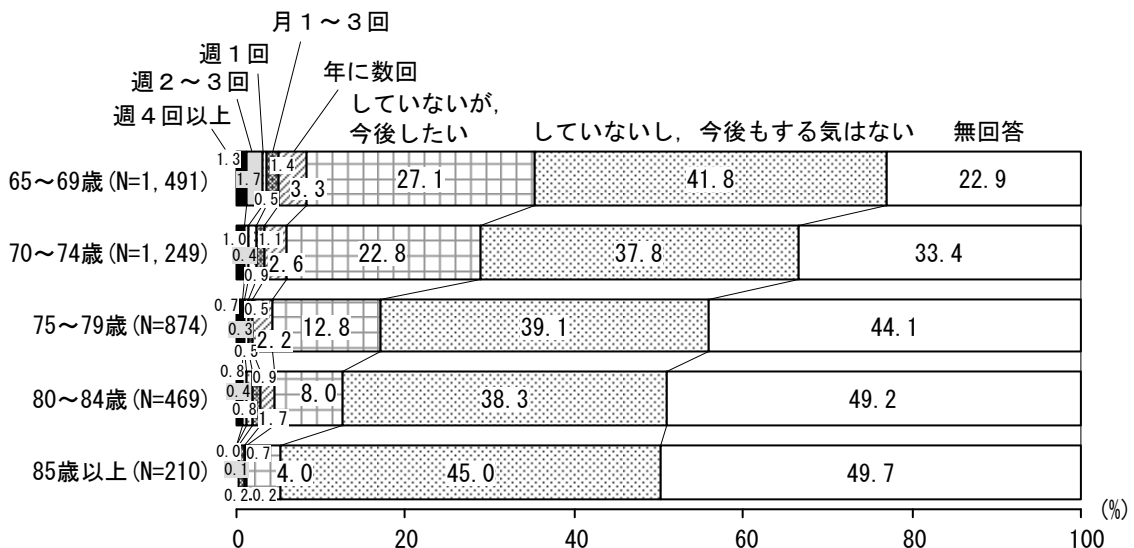
① 見守りが必要な高齢者を支援する活動



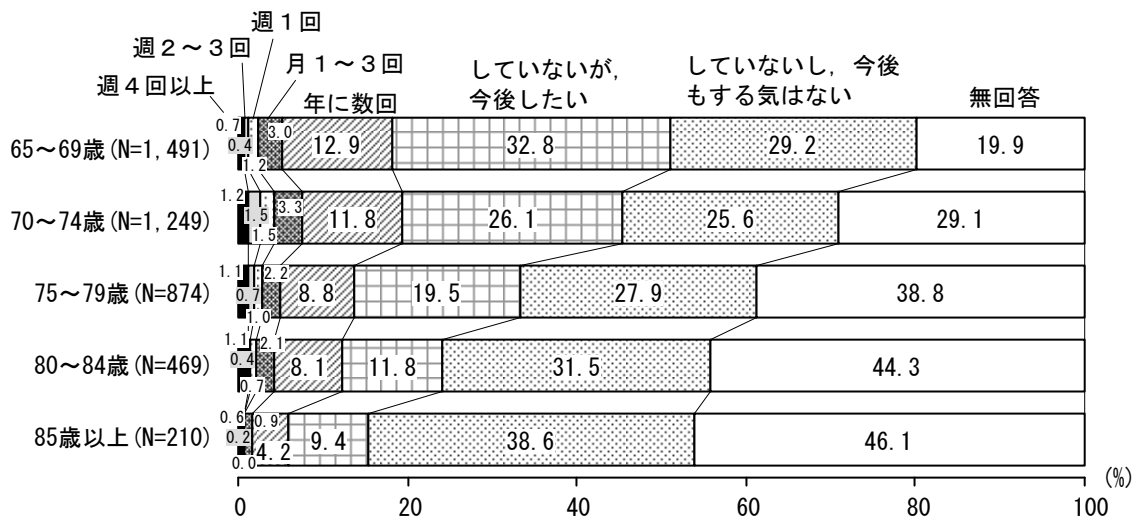
② 介護が必要な高齢者を支援する活動



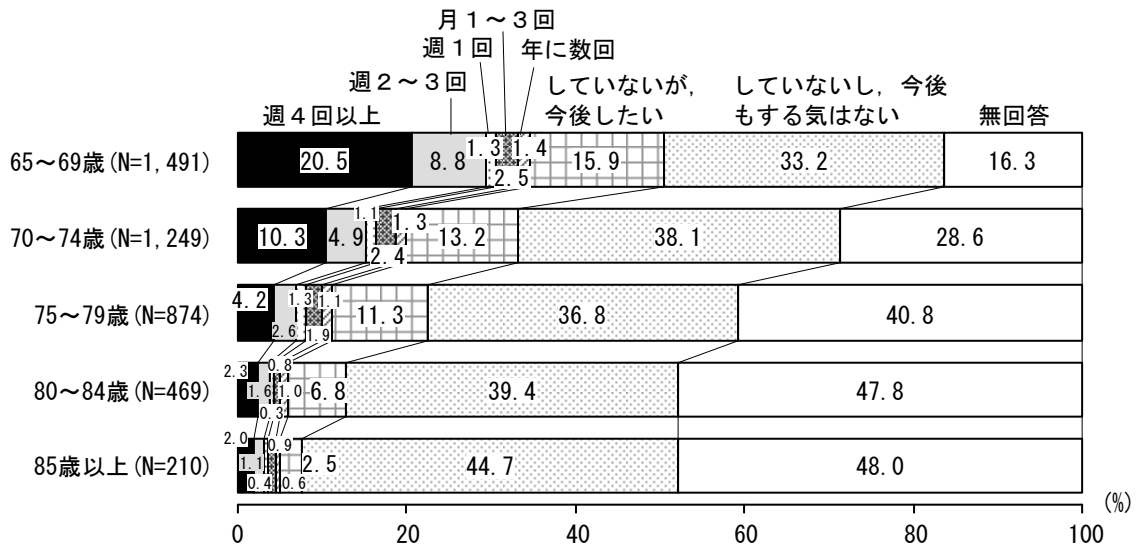
③ 子どもを育てている親を支援する活動



④ 地域の生活環境の改善（美化）活動



⑤ 収入のある仕事



(5) たすけあいの状況

問8 Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

<①から④までそれぞれにあてはまるものすべてに○>

「①心配事や愚痴を聞いてくれる人」と「②心配や愚痴を聞いてあげる人」については、全体でいずれも「配偶者」が40%以上で最も高くなっています。「①心配事や愚痴を聞いてくれる人」は「別居の子ども」(31.1%)、「友人」(27.0%)と続きますが、「②心配事や愚痴を聞いてあげる人」は「友人」(29.0%)「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(25.4%)と続きます。

「③病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」と「④看病や世話をし

てあげる人」については、全体でいずれも「配偶者」が40%以上で最も高くなっています。

「③病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は「別居の子ども」(28.2%)

「同居の子ども」(23.6%)と続きますが、「④看病や世話をし

てあげる人」は「そのような人はいない」(20.2%)と続きます。なお、「そのような人はいない」はサービス利用者

(38.2%)・サービス未利用者(22.9%)に対し、高齢者一般は7.3%と低くなっています。

		(MA%)									
		N	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いそ	無回答
									ない		
									ような		
									な人は		
①心配事や愚痴を聞いてくれる人	全体	8,580	45.6	20.1	31.1	24.8	9.5	27.0	3.9	4.7	5.2
	高齢者一般	4,293	58.7	16.7	30.6	30.2	10.7	37.3	2.0	3.5	3.7
	サービス利用者	2,828	28.1	23.6	31.3	18.4	7.9	14.6	6.7	6.6	7.1
	サービス未利用者	1,459	40.9	23.0	32.0	21.8	9.1	20.7	4.2	4.5	5.7
②心配事や愚痴を聞いてあげる人	全体	8,580	40.0	13.7	23.2	25.4	12.3	29.0	2.9	12.1	8.5
	高齢者一般	4,293	53.9	15.0	29.0	34.7	15.9	40.6	2.5	4.2	4.5
	サービス利用者	2,828	22.1	11.5	16.5	14.9	7.7	15.1	4.0	22.7	13.1
	サービス未利用者	1,459	33.5	14.5	19.4	18.7	10.3	21.5	2.0	14.6	11.3
③病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	全体	8,580	47.4	23.6	28.2	12.1	2.0	4.1	4.4	6.5	5.3
	高齢者一般	4,293	62.8	20.2	27.7	13.6	1.8	5.3	1.9	5.2	3.4
	サービス利用者	2,828	27.8	26.8	28.7	9.8	2.0	2.8	8.0	8.5	8.0
	サービス未利用者	1,459	39.9	27.4	28.7	12.2	2.8	3.3	5.0	6.7	5.5
④看病や世話をし	全体	8,580	45.7	13.7	15.5	14.8	2.3	5.1	4.6	20.2	11.8
	高齢者一般	4,293	65.0	18.9	23.4	23.2	3.5	7.6	1.5	7.3	6.0
	サービス利用者	2,828	19.9	6.6	6.4	5.0	0.9	2.0	9.2	38.2	18.9
	サービス未利用者	1,459	39.1	12.2	9.9	9.3	1.8	3.7	4.8	22.9	15.3

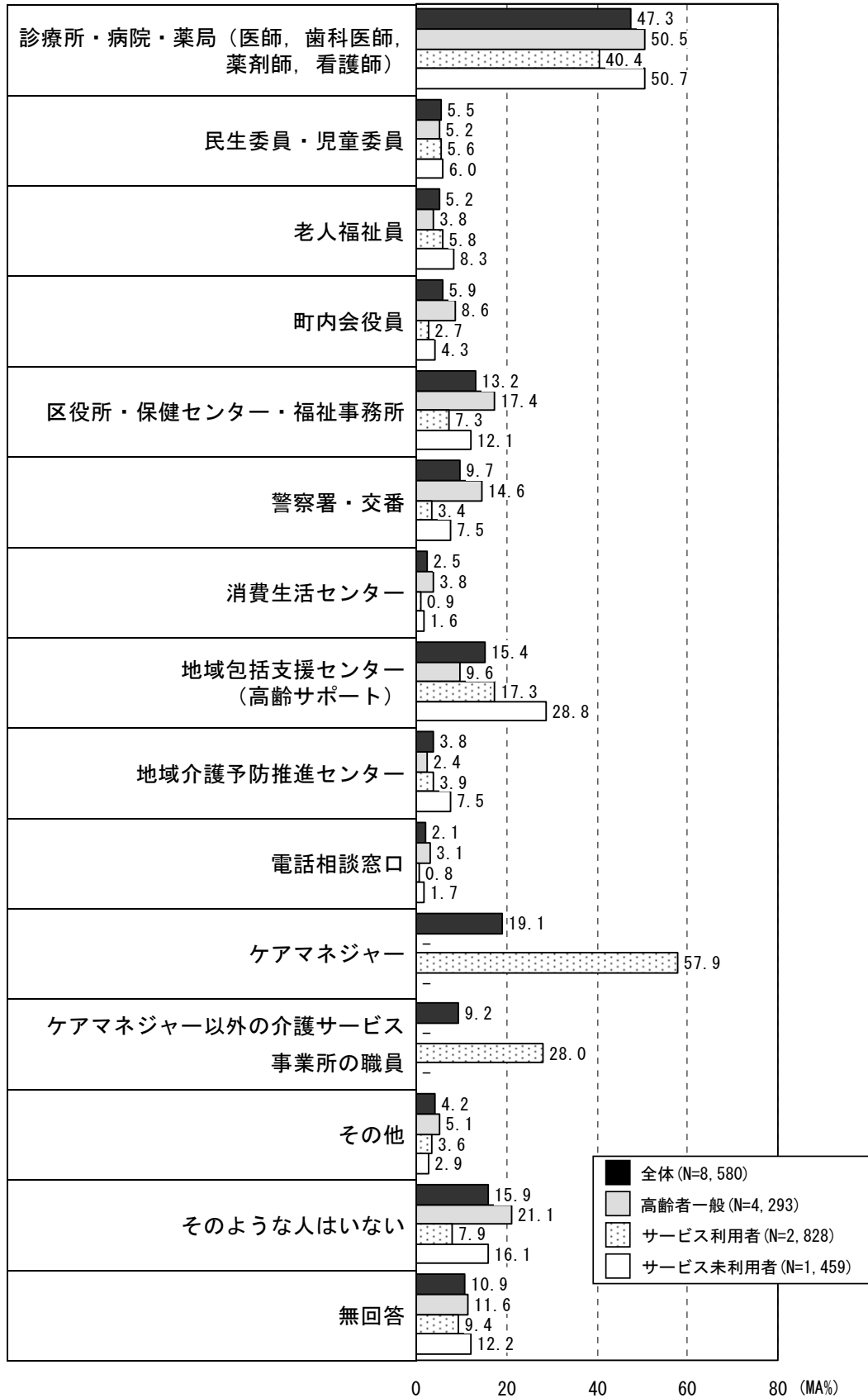
(6) 家族や友人・知人以外での相談相手

問8 Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
<あてはまるものすべてに○>

家族や友人・知人以外での相談相手については、全体で「診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」が47.3%で最も高く，次いで「ケアマネジャー」が19.1%，「地域包括支援センター（高齢サポート）」が15.4%となっています。

「診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」は高齢者一般・サービス未利用者が約50%で，サービス利用者よりも高くなっています。「区役所・保健センター・福祉事務所」「警察署・交番」「そのような人はいない」は高齢者一般が最も高く，サービス利用者が最も低くなっています。「地域包括支援センター（高齢サポート）」はサービス未利用者が28.8%で最も高く，高齢者一般が9.6%で最も低くなっています。サービス利用者のうち，「ケアマネジャー」は57.9%，「ケアマネジャー以外の介護サービス事業所の職員」は28.0%を占めています。

家族構成別でみると，「地域包括支援センター（高齢サポート）」は全体では一人暮らしが家族など同居よりも9.5ポイント高くなっています。また，一人暮らしのサービス未利用者では34.5%と，一人暮らしの高齢者一般やサービス利用者よりも高くなっています。



【家族構成別 家族や友人・知人以外での相談相手】

			(MA%)															
		N	護 師 (診 療 所 ・ 病 院 ・ 薬 局 ・ 医 看)	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	老 人 福 祉 員	町 内 会 役 員	社 事 務 所	区 役 所 ・ 保 健 セ ン タ ー ・ 福	警 察 署 ・ 交 番	消 費 生 活 セ ン タ ー	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー (高 齢 サ ポ ー ト)	地 域 介 護 予 防 推 進 セ ン タ ー	電 話 相 談 窓 口	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	ケ ア マ ネ ジ ャ ー 以 外 の 介 護 サ ー ビ ス 事 業 所 の 職 員	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体	一人暮らし	2,050	41.2	10.0	8.4	5.4	11.9	7.9	1.7	22.5	3.8	1.7	25.9	15.3	4.2	13.1	10.6	
	家族など同居 (二世帯住宅を含む)	6,398	49.4	3.9	4.0	6.1	13.6	10.4	2.7	13.0	3.6	2.2	16.8	7.2	4.2	16.9	11.0	
高齢者一般	一人暮らし	724	46.1	9.3	6.6	8.8	18.0	12.2	2.7	14.3	2.4	1.9	-	-	4.8	21.3	11.6	
	家族など同居 (二世帯住宅を含む)	3,536	51.6	4.4	3.2	8.5	17.3	15.1	4.0	8.5	2.3	3.3	-	-	5.1	21.1	11.5	
サービス利用者	一人暮らし	973	36.5	10.2	8.8	3.1	7.8	4.6	0.7	24.3	4.3	1.5	54.6	32.2	4.1	6.5	8.9	
	家族など同居 (二世帯住宅を含む)	1,794	42.5	3.0	3.9	2.3	6.8	2.8	1.0	13.5	3.5	0.5	59.9	25.7	3.2	8.8	9.5	
サービス未利用者	一人暮らし	354	43.7	10.9	11.2	4.4	10.9	8.1	2.3	34.5	5.5	1.7	-	-	3.5	14.6	13.2	
	家族など同居 (二世帯住宅を含む)	1,067	53.6	4.2	6.8	4.2	12.5	7.5	1.4	26.9	8.1	1.8	-	-	2.8	16.8	11.7	

(7) 地域包括支援センターの認知・利用状況

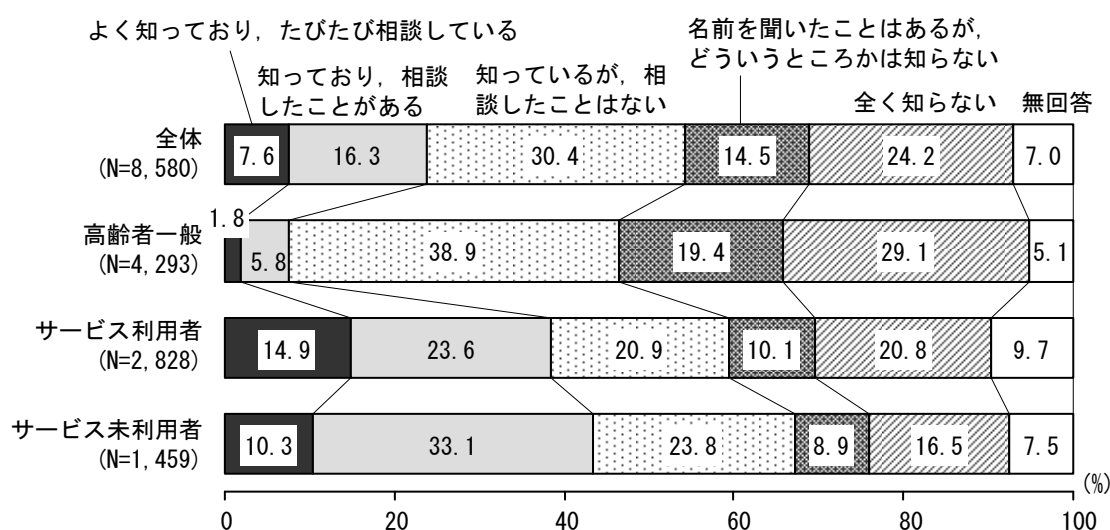
問8 Q15. 地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また、相談したことはありますか。〈〇は1つ〉

地域包括支援センターの認知・利用状況については、全体で「知っているが、相談したことはない」が30.4%で最も高く、次いで「全く知らない」が24.2%、「知っており、相談したことがある」が16.3%となっています。「よく知っており、たびたび相談している」と「知っており、相談したことがある」、「知っているが、相談したことはない」をあわせた『知っている』は54.3%となっています。

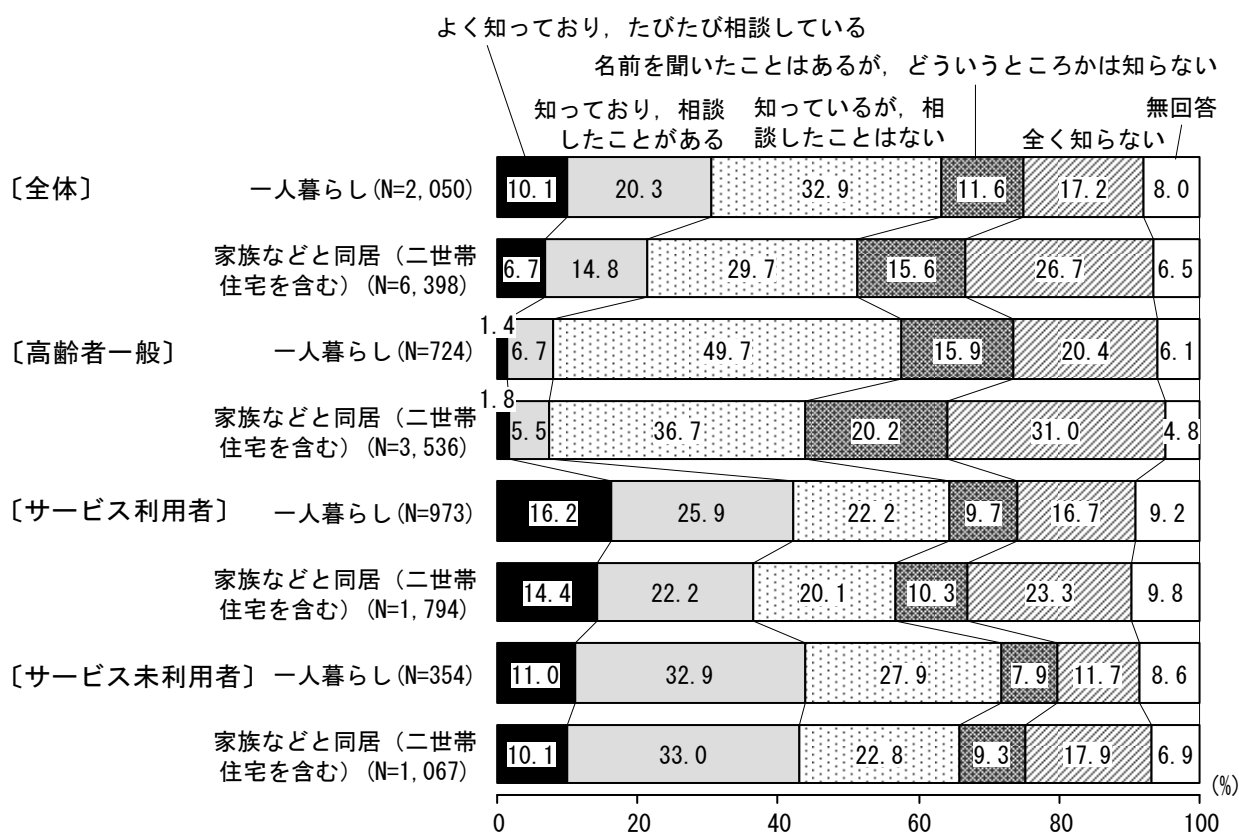
『知っている』は、サービス未利用者が67.2%で最も高く、高齢者一般が46.5%で最も低くなっています。「全く知らない」は高齢者一般が29.1%で最も高く、サービス未利用者が16.5%で最も低くなっています。

家族構成別でみると、『知っている』は全体では家族などと同居よりも一人暮らしが12.1ポイント高く、すべての調査において『知っている』は一人暮らしが高くなっています。

前回調査との比較では、『知っている』は高齢者一般では前回よりも8.6ポイント、サービス未利用者では5.1ポイント高くなっていますが、サービス利用者では5.1ポイント低くなっています。



【家族構成別 地域包括支援センターの認知・利用状況】



【前回調査との比較】

		N	Dark Grey (%)	Light Grey (%)	Dotted (%)	Dark Grey (%)	Hatched (%)	White (%)
高齢者一般	平成25年度	4,293	1.8	5.8	38.9	19.4	29.1	5.1
	平成22年度	2,541	1.7	3.7	32.5	22.9	31.8	7.4
サービス利用者	平成25年度	2,828	14.9	23.6	20.9	10.1	20.8	9.7
	平成22年度	1,825	21.4	23.6	19.5	10.3	16.9	8.4
サービス未利用者	平成25年度	1,459	10.3	33.1	23.8	8.9	16.5	7.5
	平成22年度	825	11.0	30.9	20.2	12.8	15.5	9.5

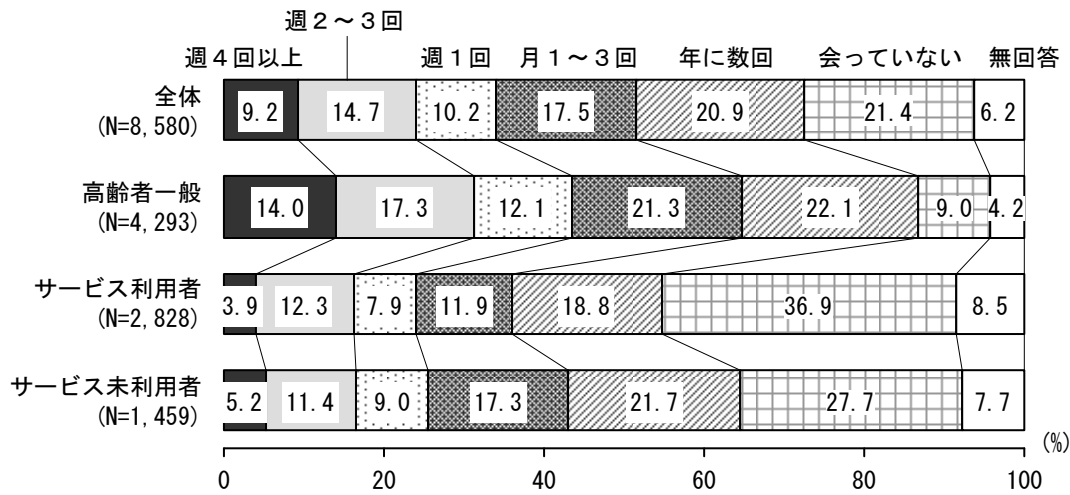
(8) 友人・知人と会う頻度

問8 Q16. (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。〈○は1つ〉

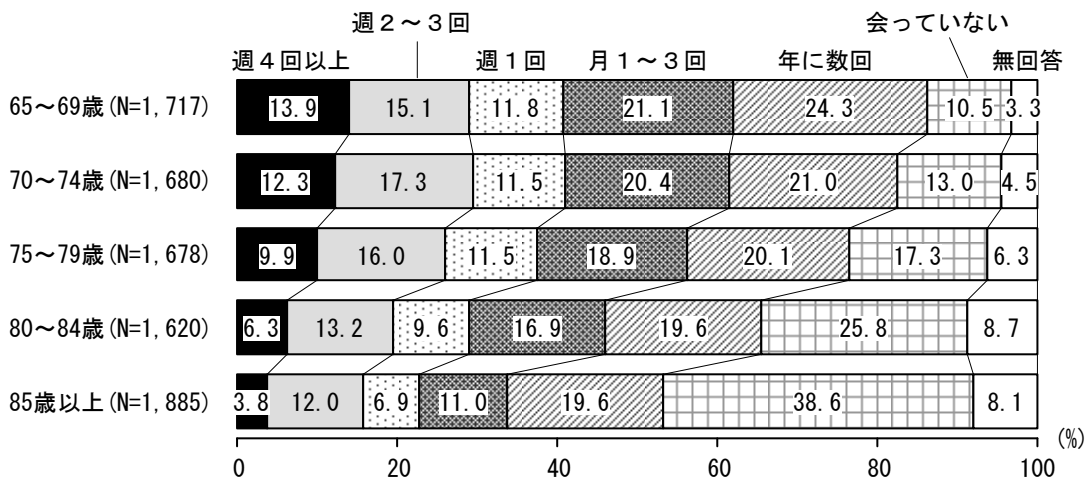
友人・知人と会う頻度については、全体で「会っていない」が21.4%で最も高く、次いで「年に数回」が20.9%、「月1～3回」が17.5%となっています。「週4回以上」から「年に数回」をあわせた『会っている』は72.5%となっています。

「週4回以上」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。『会っている』は高齢者一般が86.8%で最も高く、サービス利用者が54.8%で最も低くなっています。「会っていない」はサービス利用者が36.9%で最も高く、高齢者一般が9.0%で最も低くなっています。

全体を年齢別でみると、85歳以上は「会っていない」が38.6%を占めており、年齢が上がるにつれて会う頻度が低くなる傾向が見られます。



【年齢別 知人・友人と会う頻度 (全体)】

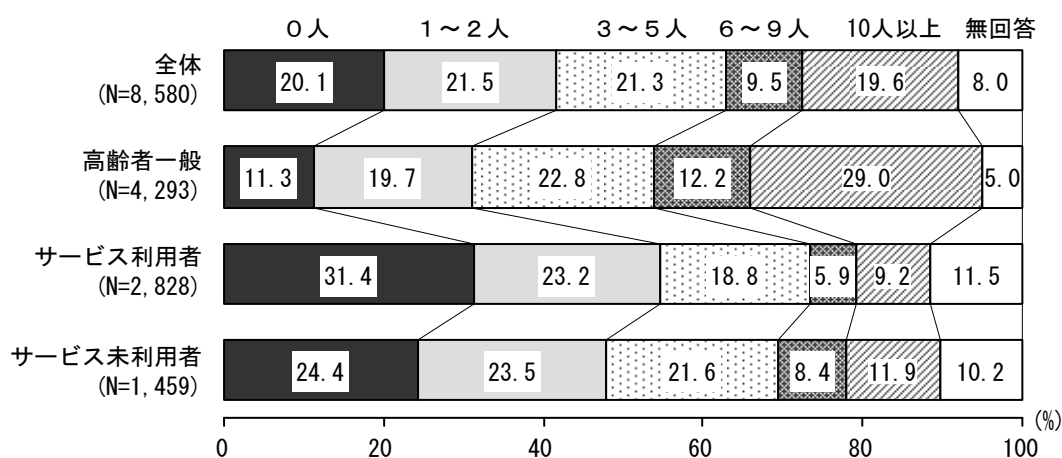


(9) この1ヶ月間に会った友人・知人の人数

問8 Q16. (2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。〈〇は1つ〉

この1ヶ月間に会った友人・知人の人数は、全体で「1～2人」が21.5%で最も高く、次いで「3～5人」が21.3%、「0人」が20.1%となっています。「1～2人」から「10人以上」をあわせた『会ったことがある』は71.9%となっています。

「0人」はサービス利用者が31.4%で最も高くなっており、高齢者一般が11.3%で最も低くなっています。『会ったことがある』は高齢者一般が83.7%で最も高く、サービス利用者が57.1%で最も低くなっています。

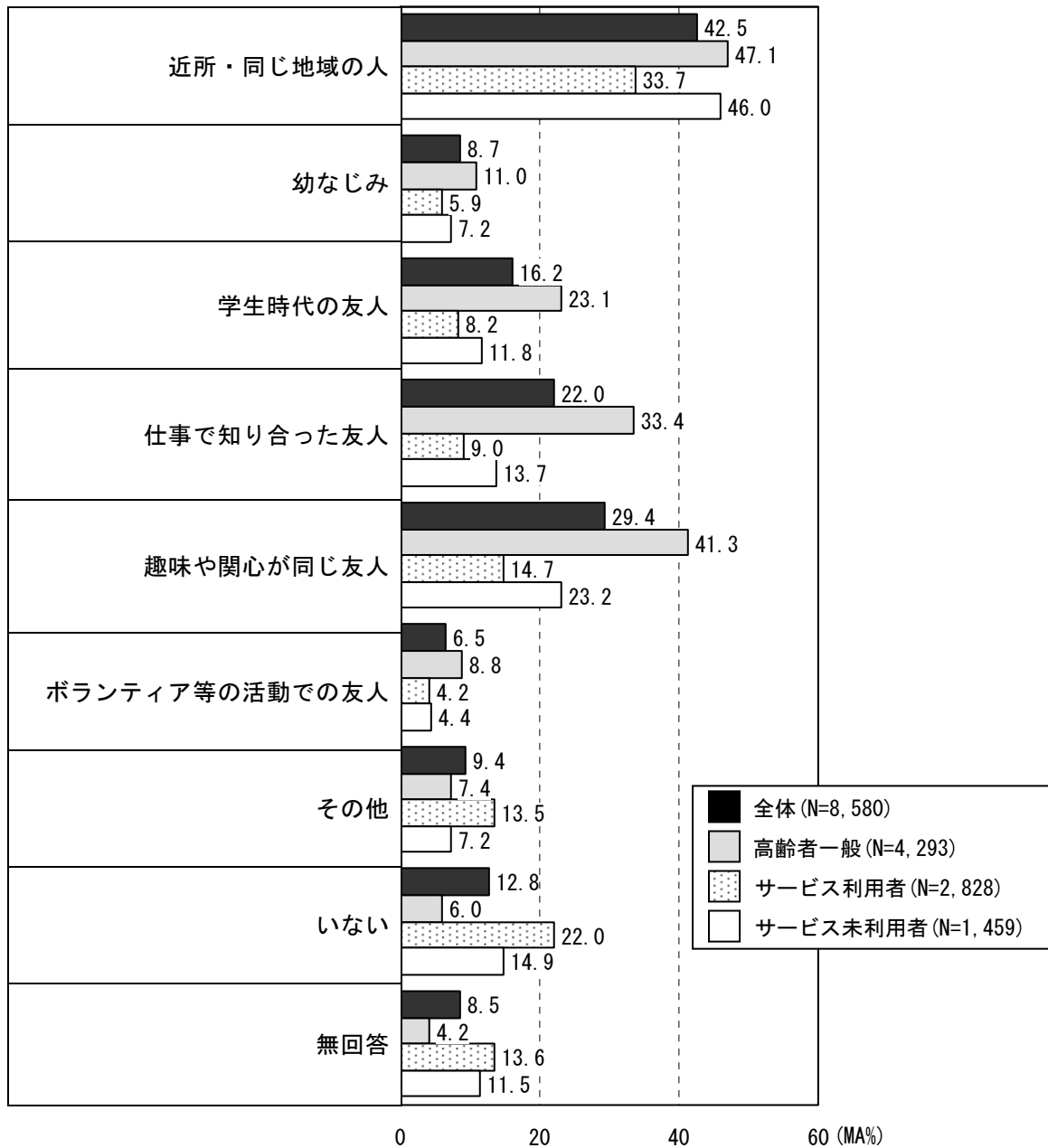


(10) よく会う友人・知人との関係

問8 Q16. (3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。
 <あてはまるものすべてに○>

よく会う友人・知人との関係については、全体で「近所・同じ地域の人」が42.5%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が29.4%、「仕事で知り合った友人」が22.0%となっています。

「近所・同じ地域の人」は高齢者一般・サービス未利用者がともに45%以上で、サービス利用者よりも高くなっています。「学生時代の友人」「仕事で知り合った友人」「趣味や関心が同じ友人」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。



8 健康について

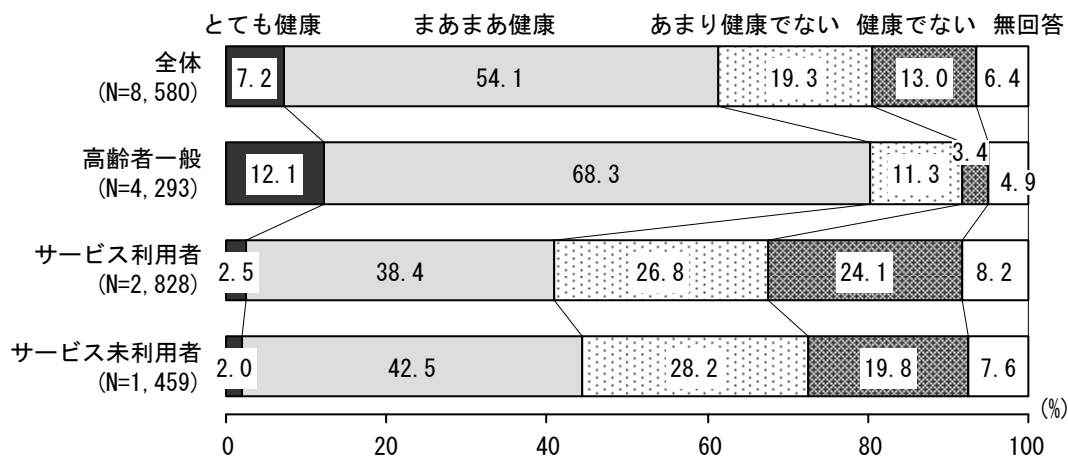
(1) 主観的健康観

問9 Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか。〈〇は1つ〉

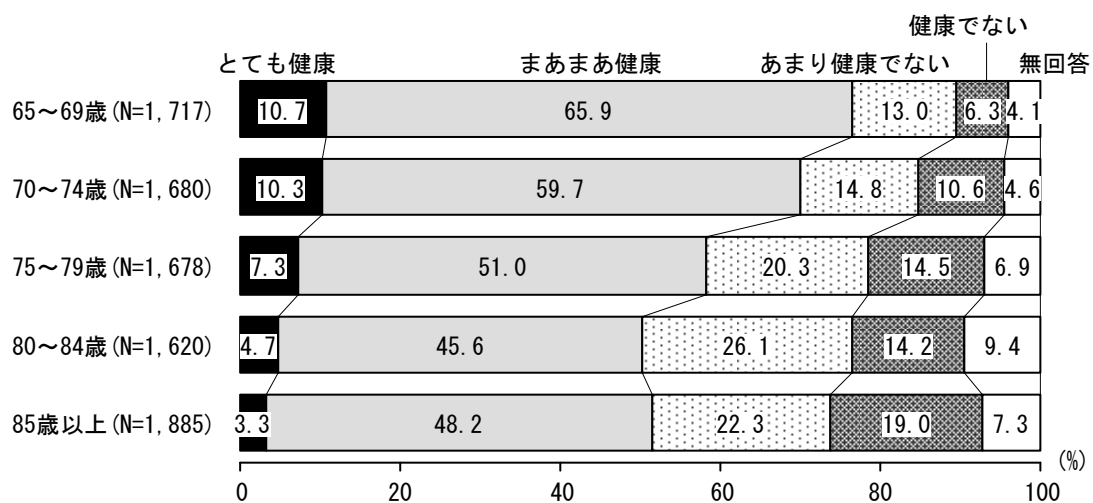
「普段、自分で健康だと思うか」については、全体で「まあまあ健康」が54.1%で最も高く、次いで「あまり健康でない」が19.3%、「健康でない」が13.0%となっています。「とても健康」と「まあまあ健康」をあわせた『健康である』は61.3%、「あまり健康でない」と「健康でない」をあわせた『健康でない』は32.3%となっています。

『健康である』は高齢者一般が80.4%で最も高く、サービス利用者が40.9%で最も低くなっています。『健康でない』はサービス利用者が50.9%で最も高く、高齢者一般が14.7%で最も低くなっています。

全体を年齢別でみると、『健康である』は概ね年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向が見られ、『健康でない』は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。



【年齢別 主観的健康観 (全体)】



(2) 現在治療中・後遺症のある病気

問9 Q2. 現在治療中，または後遺症のある病気はありますか。

〈あてはまるものすべてに○〉

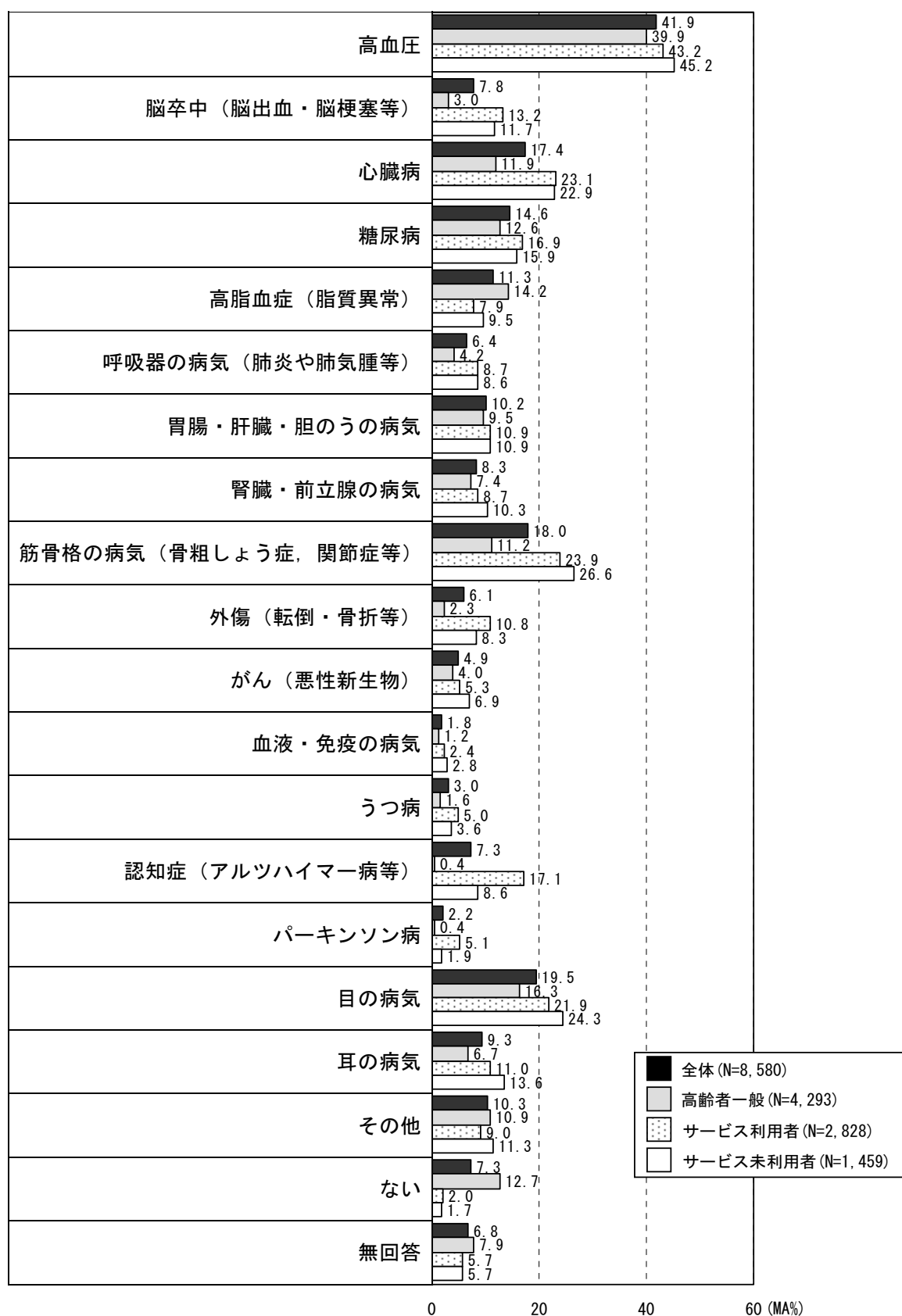
現在治療中，または後遺症のある病気については，全体で「高血圧」が41.9%で最も高く，次いで「目の病気」が19.5%，「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」が18.0%となっています。

「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「目の病気」「耳の病気」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「高脂血症（脂質異常）」は高齢者一般が最も高く，サービス利用者が最も低くなっています。

全体を年齢別でみると，「高血圧」「心臓病」「呼吸器の病気（肺炎や肺気腫等）」「骨格筋の病気（骨粗しょう症，関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「目の病気」「耳の病気」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると，「高血圧」は要支援1～要介護4で30%以上となっています。「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は要介護4・5で20%以上と高くなっています。「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」は要支援1・2で30%以上と高くなっています。「認知症（アルツハイマー病等）」「パーキンソン病」は概ね要介護度が重度化するにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

全体を日常生活の中での不自由点別でみると，「高血圧」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」「目の病気」はすべての項目において高い割合を占めています。「認知症（アルツハイマー病等）」は，“衣服の着脱・食事・入浴に関すること”“自分を介助する家族などの負担が大きいこと”で高くなっています。



【年齢別 現在治療中・後遺症のある病気（全体）】

	N	(MA%)																			
		高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や肺気腫等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
65～69歳	1,717	35.8	6.2	9.2	14.5	15.6	3.4	8.4	5.1	9.6	3.6	3.9	1.6	2.3	1.1	0.8	13.0	4.7	12.1	15.6	8.5
70～74歳	1,680	39.8	7.5	14.8	14.3	13.6	5.4	8.7	6.9	13.5	3.7	4.8	1.8	3.4	2.6	2.4	16.6	7.4	12.0	9.0	6.2
75～79歳	1,678	44.3	9.1	16.9	16.9	12.2	7.1	12.8	10.8	19.0	5.6	6.9	2.3	3.8	5.7	2.7	19.6	9.8	10.2	5.5	6.8
80～84歳	1,620	47.3	8.8	20.8	14.9	8.6	7.8	11.3	9.4	24.9	8.7	5.6	2.5	3.1	9.9	2.6	23.7	11.2	8.4	3.0	5.8
85歳以上	1,885	42.5	7.6	24.9	12.5	6.8	8.3	9.8	9.4	22.9	8.9	3.6	1.2	2.5	16.2	2.5	24.3	13.1	9.0	3.6	6.6

【要介護度別 現在治療中・後遺症のある病気（サービス利用者・サービス未利用者）】

	N	(MA%)																			
		高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や肺気腫等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
要支援1	866	49.4	7.1	23.3	15.7	12.2	7.9	14.1	8.4	30.2	7.4	5.2	1.9	4.0	3.0	1.4	26.6	12.5	10.3	2.0	4.8
要支援2	1,002	50.0	11.0	26.2	16.8	10.1	10.0	14.3	10.2	33.1	12.0	5.6	2.9	4.2	3.1	2.8	27.0	15.8	10.5	1.7	3.7
要介護1	508	41.0	12.3	23.4	15.8	8.1	10.2	10.6	10.1	18.1	10.5	6.3	3.5	5.9	19.8	3.4	21.1	11.0	8.0	1.6	5.1
要介護2	639	42.9	14.8	23.6	18.8	8.4	9.3	8.2	10.1	23.3	12.0	6.0	2.8	7.4	22.6	5.5	24.2	11.2	9.8	1.9	5.6
要介護3	418	38.3	18.1	21.7	15.7	5.5	10.1	7.4	12.1	16.3	9.4	5.6	3.6	2.9	33.9	6.8	16.3	7.9	9.2	1.8	4.3
要介護4	258	34.9	23.0	20.9	19.5	3.7	8.5	6.7	10.0	16.8	11.7	7.5	1.5	4.5	29.6	7.5	14.3	7.0	12.1	2.0	3.0
要介護5	176	29.2	22.3	17.5	18.3	5.7	6.3	8.8	7.8	16.7	7.7	5.5	1.7	2.7	38.4	12.6	15.0	4.9	11.3	0.7	7.3

【日常生活の中での不自由点別 現在治療中・後遺症のある病気（全体）】

	N	(MA%)																			
		高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や肺気腫等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	ない	無回答
食事の準備・後かたづけをすること	1,425	42.6	12.5	24.2	17.1	9.1	10.2	13.4	11.4	24.4	9.4	5.6	2.8	4.9	11.9	4.3	25.3	14.5	10.6	3.4	4.8
掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	1,764	43.9	11.3	24.8	16.6	9.6	9.2	12.9	10.9	28.0	11.3	5.7	3.0	4.8	10.5	3.6	24.5	14.7	10.7	2.1	4.3
衣服の着脱・食事・入浴に関する事	973	40.4	17.2	22.0	17.3	7.0	10.3	9.4	11.7	21.6	9.2	5.8	3.3	6.1	21.9	6.8	20.9	11.1	10.7	2.0	4.3
身体機能の維持・向上のための運動教室を受けられないこと	728	44.8	12.2	20.7	18.4	13.2	9.7	12.5	12.0	22.5	10.6	7.2	3.1	3.5	6.2	2.7	24.1	12.9	11.8	3.7	4.1
段差や間取り、耐震など住まいの建物構造に関する事	1,118	47.3	10.2	21.2	16.3	13.9	7.9	15.1	11.5	23.7	9.6	5.7	2.5	3.8	5.9	2.5	25.0	11.7	10.8	5.4	3.2
契約や財産管理の手続きをすること	553	43.2	9.8	18.8	15.6	9.2	8.0	11.2	11.7	21.0	11.7	6.3	0.9	7.0	17.4	4.6	24.2	12.3	9.9	3.6	4.1
相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと	464	42.1	6.4	23.8	12.7	12.1	10.3	19.0	14.8	19.2	9.7	5.5	3.2	7.1	6.5	1.3	27.9	16.2	13.7	2.9	4.8
外出時の移動が負担であること	1,366	45.3	16.1	24.9	19.2	8.7	10.6	9.5	10.9	27.8	12.3	6.5	3.5	4.5	13.7	4.9	25.7	14.3	10.8	1.9	4.1
病院に通院する	1,188	43.9	13.5	25.0	19.1	7.1	11.6	11.6	13.5	27.0	12.4	7.6	3.4	5.5	12.2	4.3	30.2	17.8	10.4	0.9	4.6
近くに話し相手がないこと	608	39.8	7.9	21.0	14.2	12.9	10.1	14.0	11.6	18.7	8.3	3.9	2.3	6.2	10.7	1.6	25.5	14.4	11.7	4.2	5.8
自分を介助する家族などの負担が大きいこと	863	39.4	19.4	22.4	20.0	7.5	9.1	10.2	14.0	22.1	10.4	6.2	2.7	4.9	25.1	6.0	25.6	11.6	9.1	2.2	2.6
買い物したり、荷物を持ち運ぶこと	1,515	46.1	10.7	23.1	16.3	10.1	9.6	13.7	10.0	32.6	11.1	6.8	3.5	4.5	6.5	3.1	26.1	13.5	10.5	1.9	4.1
高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと	564	44.2	8.4	20.4	17.1	15.4	8.7	14.6	12.2	19.7	9.9	3.3	2.4	4.9	6.0	1.7	24.5	15.1	11.6	5.6	4.7
住宅の軽微な修繕に関する事	1,125	45.0	7.7	20.7	14.2	14.3	7.5	14.8	11.4	25.3	7.5	6.0	3.1	3.9	5.0	2.2	26.4	11.8	12.9	4.3	4.0
電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をすること	2,002	45.5	8.6	20.9	15.0	13.3	7.2	13.7	10.1	28.9	9.7	5.0	3.1	4.3	4.9	2.3	25.5	13.5	11.4	2.5	4.9
その他	679	38.9	10.4	14.1	15.7	14.9	6.1	8.9	6.0	15.8	5.4	3.9	1.8	2.6	11.2	1.5	17.4	8.5	18.0	11.5	3.9

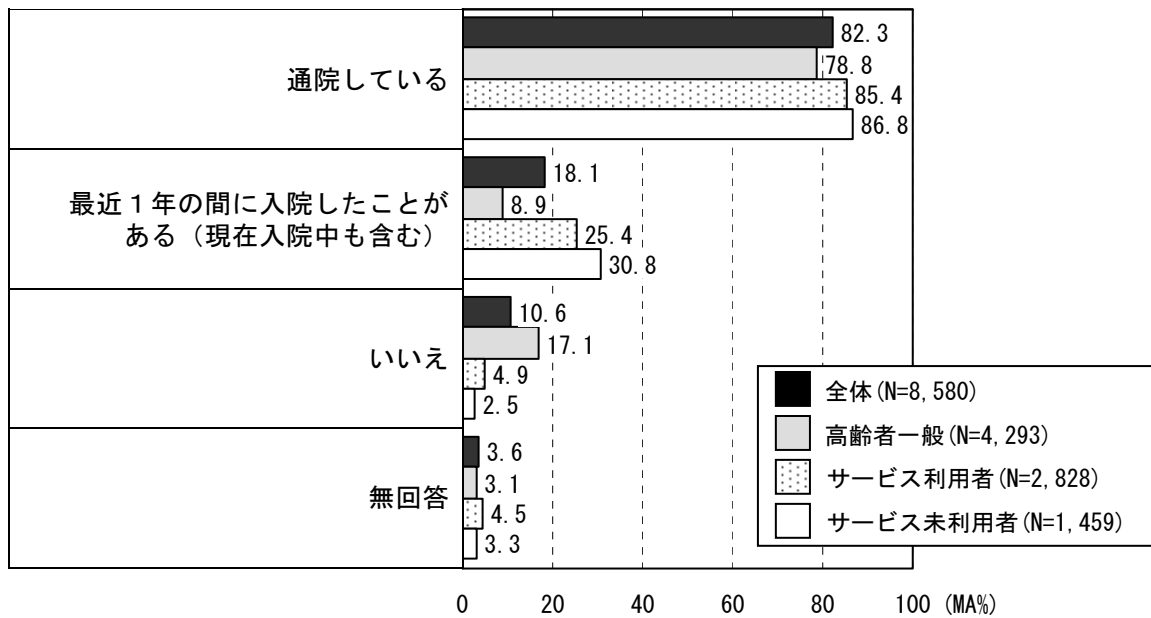
(3) 最近1年間における病院・医院への通院・入院経験の有無

問9 Q4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院もしくは最近1年間に入院の経験がありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

最近1年間における病院・医院への通院・入院経験の有無については、全体で「通院している」が82.3%で最も高く、次いで「最近1年の間に入院したことがある（現在入院中も含む）」が18.1%、「いいえ（通院も最近1年間の入院もしていない）」が10.6%となっています。

「通院している」「最近1年の間に入院したことがある（現在入院中も含む）」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高い割合になっています。「いいえ」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、「通院している」は要介護度が重度化するにつれて割合が低くなり、「最近1年の間に入院したことがある（現在入院中も含む）」は概ね要介護度が重度化するにつれて割合が高くなる傾向が見られます。



【要介護度別 最近1年間における病院・医院への通院・入院経験の有無（サービス利用者・サービス未利用者）】

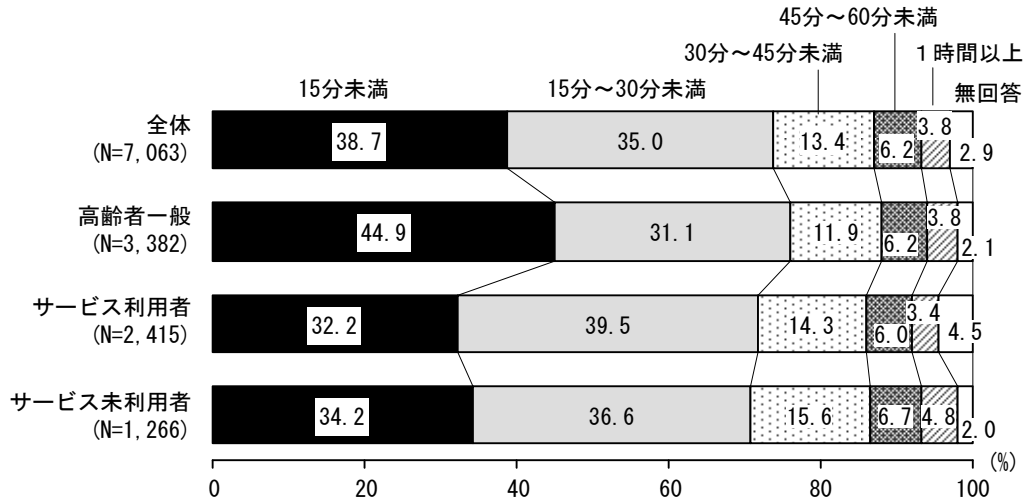
	N	通院している	最近1年の間に入院したことがある (現在入院中も含む)	いいえ	無回答
要支援1	866	95.6	19.5	2.3	0.5
要支援2	1,002	93.0	24.0	2.6	1.6
要介護1	508	91.3	30.6	2.0	1.3
要介護2	639	87.9	29.0	5.5	0.8
要介護3	418	81.8	34.9	6.7	2.8
要介護4	258	68.6	45.8	9.6	0.7
要介護5	176	53.1	46.3	6.9	12.7

(4) 診療所・病院までにかかる時間

【通院している方のみ】(Q4で「1. 通院している」と回答した方)
 問9 Q 4 - 1. かかりつけの診療所・病院までの片道でかかる時間は次のどれですか。
 <○は1つ> (複数ある場合は主なものについてお答えください。)

通院していると回答した人に、診療所・病院までの片道でかかる時間についてたずねたところ、全体で「15分未満」が38.7%で最も高く、次いで「15分～30分未満」が35.0%、「30分～45分未満」が13.4%となっています。

「15分未満」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。

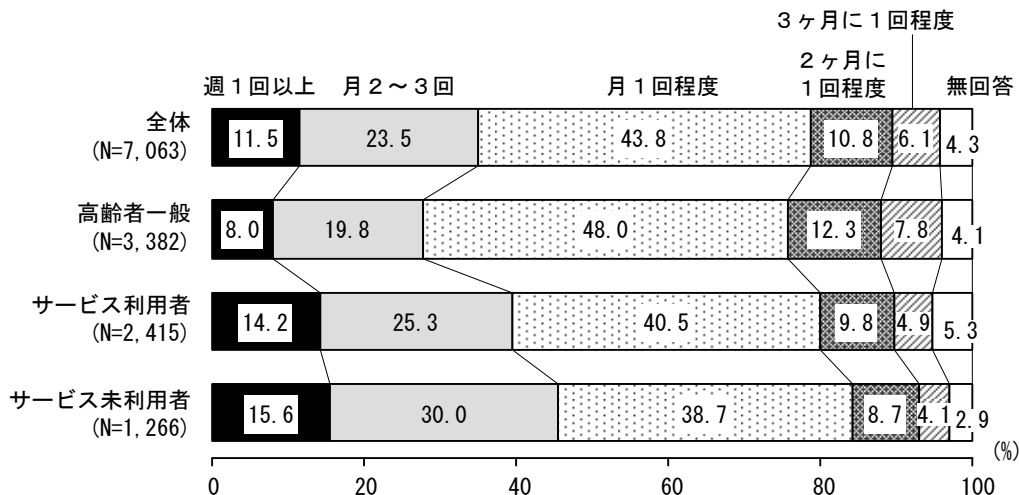


(5) 通院頻度

【通院している方のみ】(Q4で「1. 通院している」と回答した方)
 問9 Q 4 - 2. その頻度は次のどれですか。<○は1つ>

通院していると回答した人に、通院頻度についてたずねたところ、全体で「月1回程度」が43.8%で最も高く、次いで「月2～3回」が23.5%、「週1回以上」が11.5%となっています。

「週1回以上」「月2～3回」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「月1回程度」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。



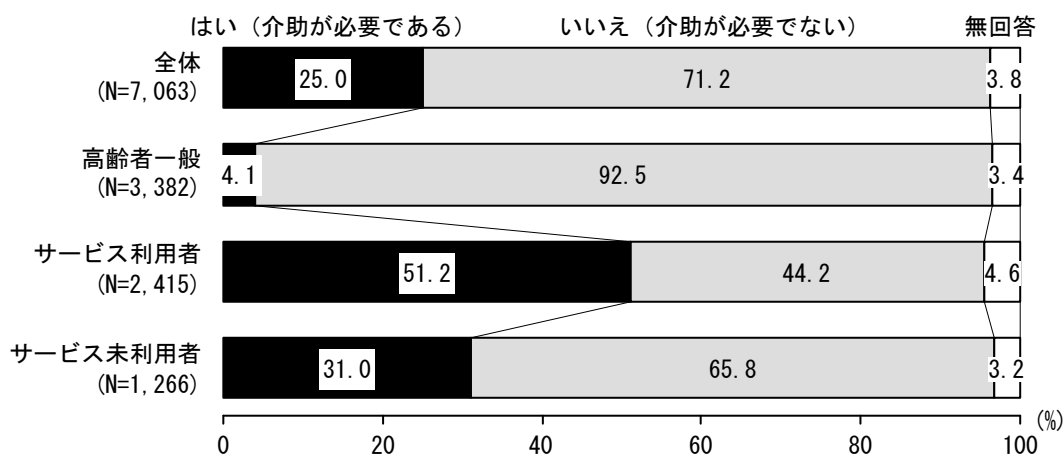
(6) 通院時の介助の必要性

【通院している方のみ】(Q4で「1. 通院している」と回答した方)

問9 Q 4 - 3. 通院に介助が必要ですか。〈○は1つ〉

通院していると回答した人に、「通院時に介助が必要か」についてたずねたところ、全体で「はい(介助が必要である)」が25.0%、「いいえ(介助が必要でない)」が71.2%となっています。

「はい(介助が必要である)」はサービス利用者が51.2%で最も高く、高齢者一般が4.1%で最も低くなっています。「いいえ(介助が必要でない)」は高齢者一般が92.5%で最も高く、サービス利用者が44.2%で最も低くなっています。

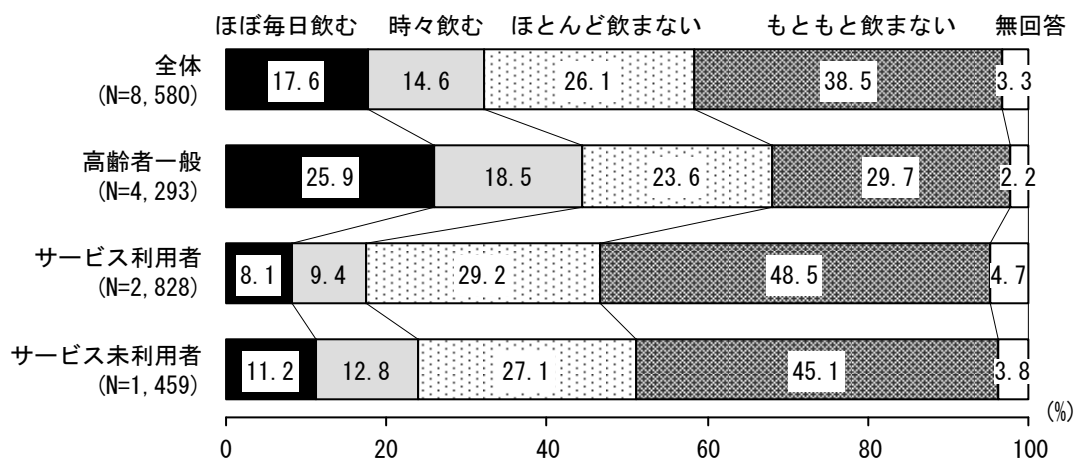


(7) 飲酒習慣

問9 Q 5. お酒は飲みますか。〈○は1つ〉

「お酒は飲むか」については、全体で「もともと飲まない」が38.5%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.1%、「ほぼ毎日飲む」が17.6%となっています。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた『飲む』は32.2%、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」をあわせた『飲まない』は64.6%となっています。

『飲む』は高齢者一般が44.4%で最も高く、サービス利用者が17.5%で最も低くなっています。『飲まない』はサービス利用者が77.7%で最も高く、高齢者一般が53.3%で最も低くなっています。

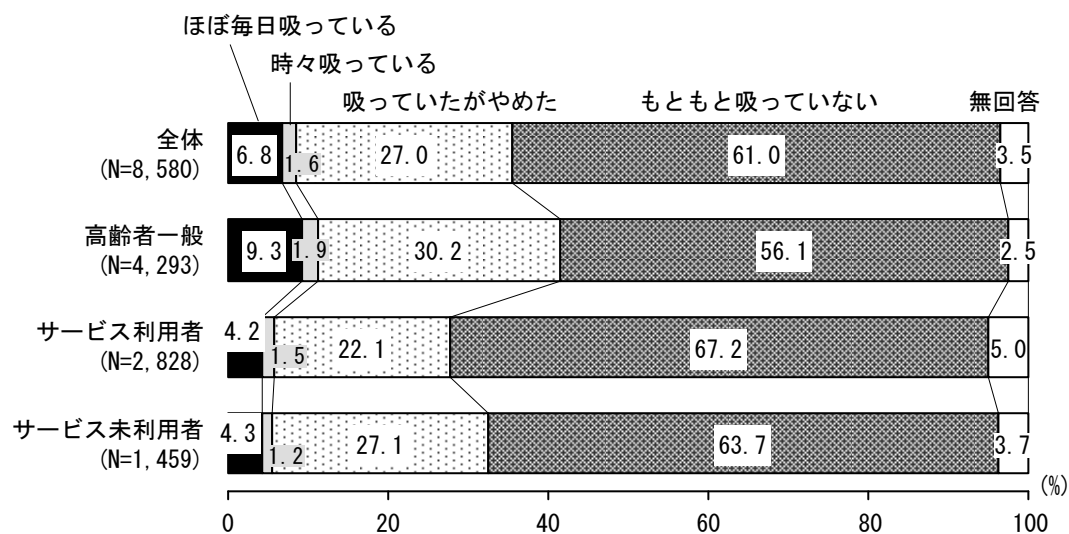


(8) 喫煙習慣

問9 Q6. タバコは吸っていますか。〈〇は1つ〉

「タバコは吸っているか」については、全体で「もともと吸っていない」が61.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が27.0%、「ほぼ毎日吸っている」が6.8%となっています。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」をあわせた『吸っている』は8.4%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」をあわせた『吸っていない』は88.0%となっています。

『吸っている』はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。



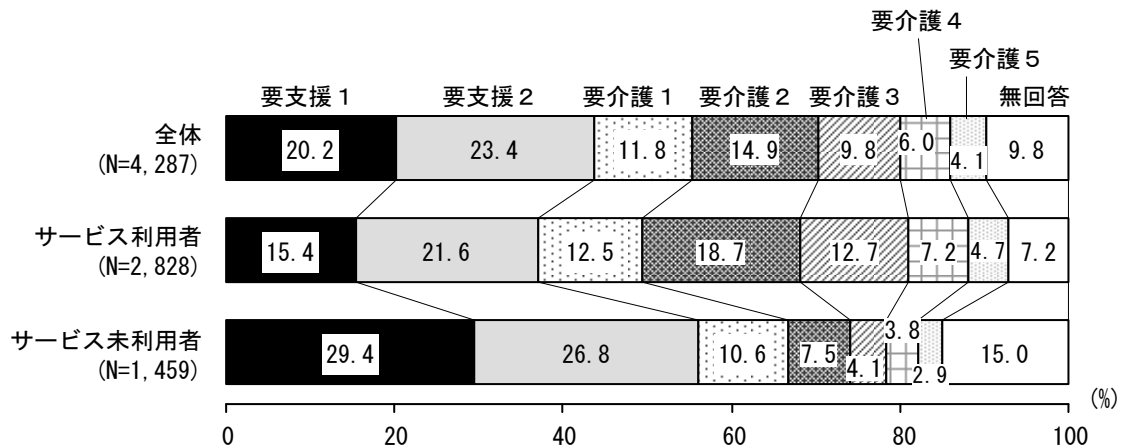
9 介護・介助を要する状況について

(1) 要介護度【サービス利用者・サービス未利用者のみ】

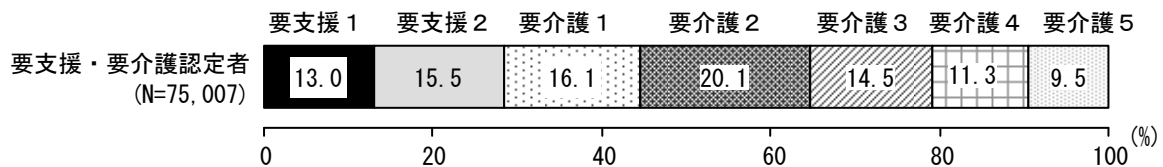
問10Q 1. あなたの要介護度は次のどれにあてはまりますか。〈○は1つ〉

回答者の要介護度については、全体で「要支援2」が23.4%で最も高く、次いで「要支援1」が20.2%、「要介護2」が14.9%となっています。

「要支援1」「要支援2」は、サービス利用者よりもサービス未利用者が高くなっています。「要介護2」「要介護3」は、サービス未利用者よりもサービス利用者が高くなっています。



<参考>



※要支援・要介護認定者数（第1号被保険者）（平成25年12月31日現在）

(2) 介護・介助が必要になった原因【サービス利用者・サービス未利用者のみ】

問10Q2. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。

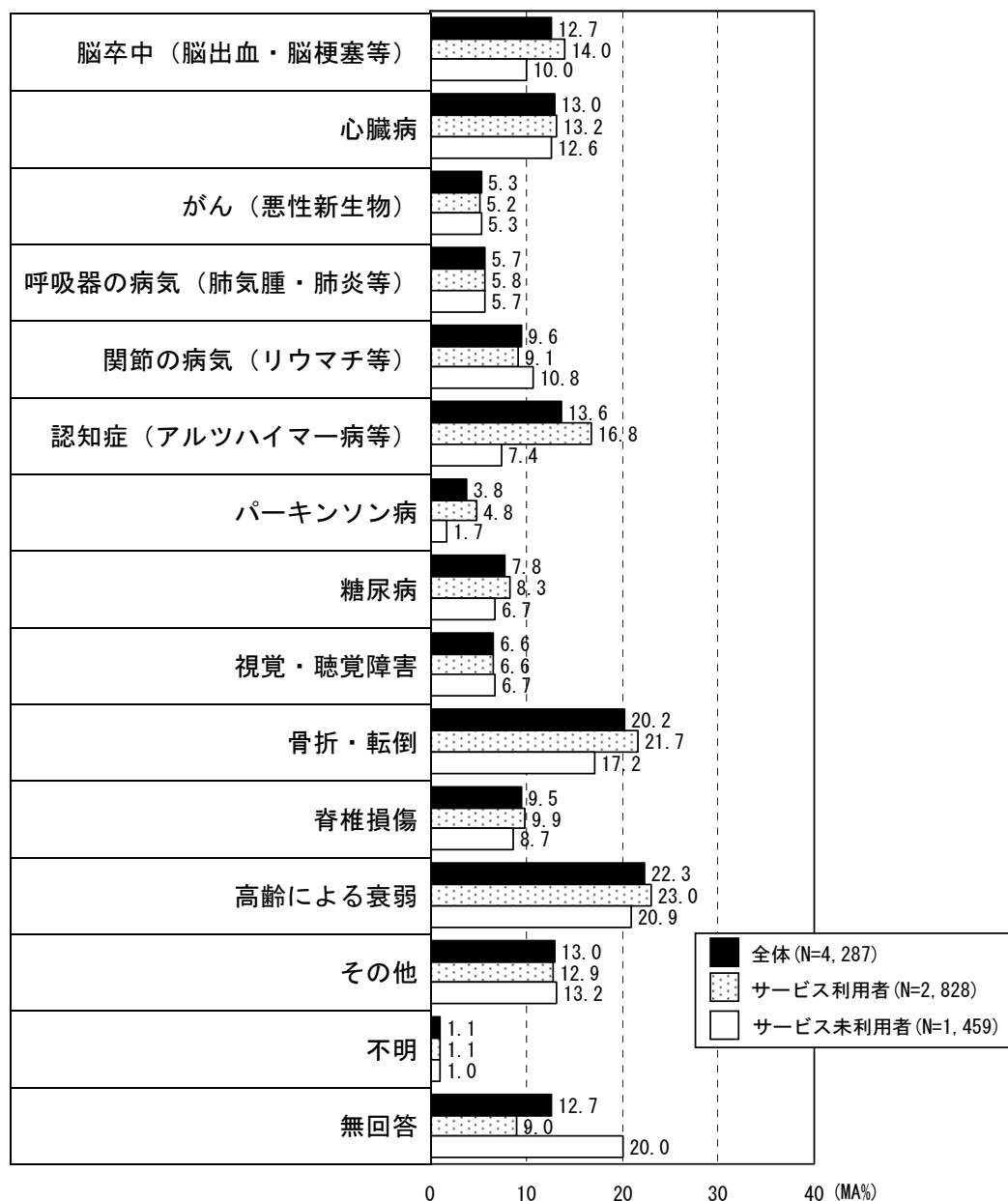
〈あてはまるものすべてに○〉

介護・介助が必要になった原因については、全体で「高齢による衰弱」が22.3%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が20.2%、「認知症（アルツハイマー病等）」が13.6%となっています。

「認知症（アルツハイマー病等）」はサービス未利用者よりもサービス利用者が9.4ポイント高くなっています。

全体を年齢別で見ると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。一方、「心臓病」「認知症（アルツハイマー病等）」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別で見ると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は要介護3～5で高く、「認知症（アルツハイマー病等）」は要介護1以上で高くなっています。「骨折・転倒」「高齢による衰弱」はいずれの要介護度でも高い割合を占めています。



【年齢別 介護・介助が必要になった原因（全体）】

	N	(MA%)														
		脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	腫呼吸器 の病気 (肺炎等)	関節の 病気 (リウマ チ等)	認知症 (アルツ ハイ マー病等)	パー キンソン 病	糖尿 病	視覚・ 聴覚障 害	骨折・ 転倒	脊 椎損 傷	高 齢に よる 衰弱	そ の 他	不 明	無 回 答
65～69歳	225	30.1	8.0	8.4	5.4	10.2	7.0	5.4	10.4	4.8	13.0	9.8	4.2	15.8	1.2	9.0
70～74歳	432	22.1	11.5	4.5	5.2	10.2	8.5	6.9	9.6	4.7	15.5	11.7	7.5	14.4	1.7	12.7
75～79歳	804	15.0	12.6	7.7	5.9	12.4	11.0	4.9	10.2	5.2	17.6	10.9	11.7	14.7	1.1	13.0
80～84歳	1,151	9.8	13.3	5.7	5.8	10.2	12.7	3.7	7.4	6.8	20.4	11.0	18.6	13.6	1.0	14.5
85歳以上	1,676	8.8	14.0	3.5	5.8	7.7	17.6	2.3	6.0	8.0	23.4	7.1	36.1	11.0	1.0	11.9

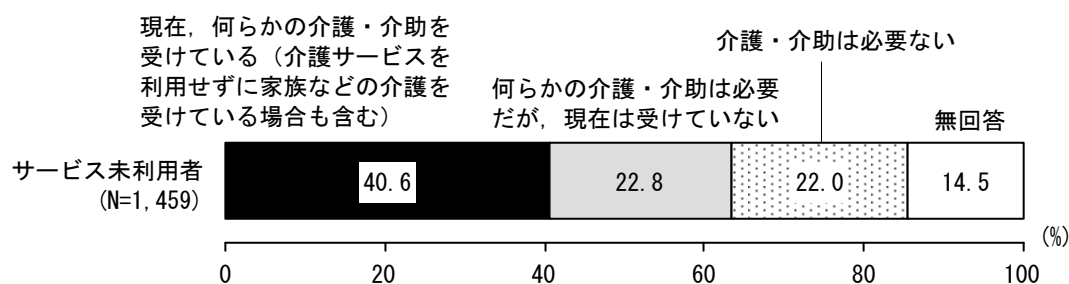
【要介護度別 介護・介助が必要になった原因（サービス利用者・サービス未利用者）】

	N	(MA%)														
		脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	腫呼吸器 の病気 (肺炎等)	関節の 病気 (リウマ チ等)	認知症 (アルツ ハイ マー病等)	パー キンソン 病	糖尿 病	視覚・ 聴覚障 害	骨折・ 転倒	脊 椎損 傷	高 齢に よる 衰弱	そ の 他	不 明	無 回 答
要支援1	866	5.9	13.3	5.0	5.2	10.8	2.9	1.2	6.0	5.3	18.6	9.4	22.3	17.0	1.3	15.5
要支援2	1,002	9.5	15.0	5.0	6.2	14.6	3.1	3.2	8.0	8.3	21.0	14.6	24.1	16.3	0.9	8.1
要介護1	508	13.1	15.5	6.9	6.2	7.3	20.3	3.4	7.5	7.8	19.6	9.9	26.0	10.7	1.9	3.7
要介護2	639	15.9	15.0	7.3	5.8	8.2	21.5	5.2	10.0	9.0	23.9	10.0	25.6	12.3	1.2	2.9
要介護3	418	22.1	10.8	4.5	7.3	6.2	34.6	6.7	10.0	5.5	22.8	6.7	26.7	11.6	0.3	1.9
要介護4	258	27.2	12.2	5.5	7.4	10.4	30.1	7.3	10.0	4.1	29.0	6.0	20.6	11.1	-	-
要介護5	176	25.4	9.9	4.4	4.9	5.7	31.1	9.3	7.2	4.7	21.8	5.0	17.6	13.7	1.5	4.4

(3) 普段の生活での介護・介助の必要性【サービス未利用者のみ】

問10Q3. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。〈○は1つ〉

「普段の生活で介護・介助が必要か」については、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護サービスを利用せずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が40.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が22.8%、「介護・介助は必要ない」が22.0%となっています。



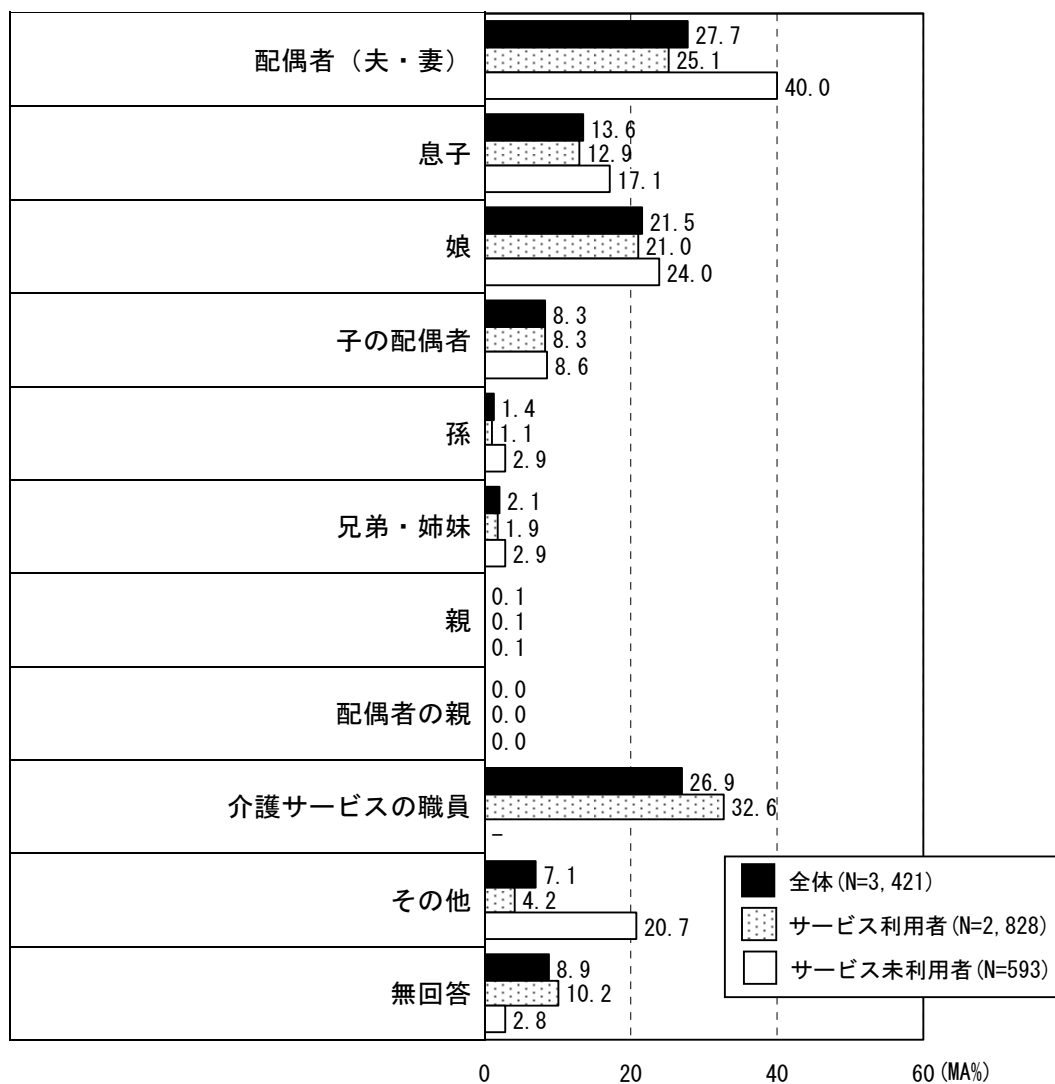
(4) 主な介護・介助者【サービス利用者・サービス未利用者のみ】

問10Q3. 主にどなたの介護・介助を受けていますか。〈〇は1つ〉

主な介護・介助者については、全体で「配偶者（夫・妻）」が27.7%で最も高く、次いで「介護サービスの職員」が26.9%、「娘」が21.5%となっています。

「配偶者（夫・妻）」は、サービス利用者（25.1%）よりもサービス未利用者（40.0%）が高くなっています。

全体を年齢別で見ると、「配偶者（夫・妻）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。一方、「息子」「娘」の割合は年齢が上がるにつれて高くなっています。



【年齢別 主な介護・介助者（全体）】

	N	(配偶者 夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	親	配偶 者の 親	介護 サー ビス の 職 員	そ の 他	無 回 答
65～69歳	171	50.8	6.9	9.6	2.0	0.5	7.1	0.6	0.4	28.8	6.9	5.9
70～74歳	324	49.7	7.7	11.1	1.8	0.6	3.4	0.1	-	24.3	7.4	8.0
75～79歳	594	41.8	10.1	16.1	3.0	0.5	2.3	-	-	27.2	6.0	9.0
80～84歳	907	27.9	12.6	21.7	6.0	1.8	1.9	0.1	-	27.5	6.2	11.0
85歳以上	1,424	13.9	17.9	27.5	14.3	1.9	1.2	0.1	-	26.8	8.0	8.0

(5) 利用している在宅サービス【サービス利用者のみ】

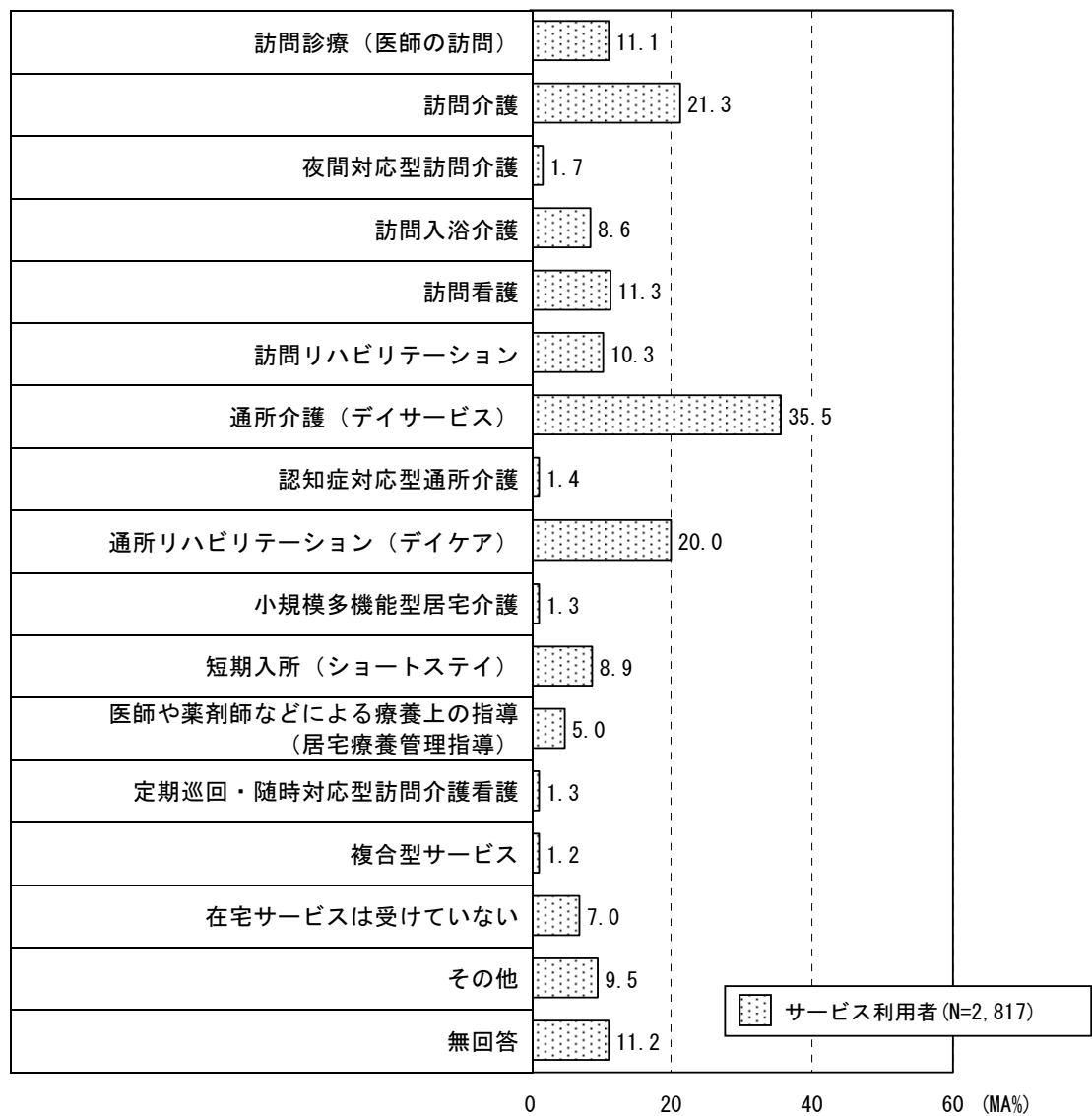
問10Q4. どのような在宅サービスを受けていますか。〈あてはまるものすべてに○〉

利用している在宅サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が35.5%で最も高く、次いで「訪問介護」が21.3%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が20.0%となっています。

家族構成別でみると、「訪問介護」は一人暮らしが高く、「通所介護（デイサービス）」「短期入所（ショートステイ）」は家族などと同居が高くなっています。

日常生活の中での不自由点別でみると、「通所介護（デイサービス）」はどの項目においても高い割合となっています。「訪問介護」は、“食事の準備・後かたづけをすること”，“掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること”，“相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと”，“近くに話し相手がいらないこと”，“住宅の軽微な修繕に関すること”，“電球の交換，部屋の模様替え，庭木の手入れ等をする”が高く、「通所リハビリテーション（デイケア）」では“衣服の着脱・食事・入浴に関すること”，“自分を介助する家族などの負担が大きいこと”，“住宅の軽微な修繕に関する”が、「短期入所（ショートステイ）」では“自分を介助する家族などの負担が大きいこと”が高くなっています。

現在治療中・後遺症のある疾病別でみると、「通所介護（デイサービス）」はどの疾病についても高くなっています。「訪問介護」は，心臓病，糖尿病，高脂血症，呼吸器の病気，胃腸・肝臓・胆のうの病気，腎臓・前立腺の病気，外傷，がん，血液・免疫の病気，うつ病が，「通所リハビリテーション（デイケア）」は脳卒中，糖尿病，高脂血症，腎臓・前立腺の病気，パーキンソン病が，「短期入所（ショートステイ）」は認知症が高くなっています。



【家族構成別 利用している在宅サービス（サービス利用者）】

	N	(MA%)																
		訪問診療（医師の訪問）	訪問介護	夜間対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション（デイケア）	小規模多機能型居宅介護	短期入所（ショートステイ）	療養管理指導（医師や薬剤師などによる療養上の指導）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	在宅サービスは受けていない	その他	無回答
一人暮らし	973	10.3	27.7	1.8	6.9	9.6	3.8	31.2	0.9	11.3	1.6	4.6	5.8	1.8	1.3	6.1	14.5	14.7
家族などと同居（二世帯住宅を含む）	1,794	12.2	12.5	1.3	8.1	10.5	9.1	46.5	2.1	19.7	1.2	15.6	5.7	1.8	0.6	7.5	5.8	10.0

【日常生活の中での不自由点別 利用している在宅サービス（サービス利用者）】

(MA%)

	N	訪問診療（医師の訪問）	訪問介護	夜間対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション（デイケア）	小規模多機能型居宅介護	短期入所（ショートステイ）	療養管理指導	医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	在宅サービスは受けていない	その他	無回答
食事の準備・後かたづけをすること	780	12.8	20.6	1.4	9.6	12.5	7.6	44.3	2.1	18.3	1.1	11.5	6.4	2.2	0.8	7.0	8.7	7.4	
掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること	1,017	11.2	22.6	0.8	8.6	12.0	6.9	40.4	1.6	16.5	1.1	9.1	5.7	2.2	1.1	6.2	10.7	9.5	
衣服の着脱・食事・入浴に関すること	668	18.0	19.9	1.8	13.5	13.5	13.0	49.4	2.7	20.0	1.3	18.4	7.8	2.6	0.4	6.7	8.1	4.3	
身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと	253	19.1	18.6	0.8	9.4	10.6	10.5	40.8	0.3	11.5	0.9	9.2	4.7	2.3	1.0	6.6	12.1	9.8	
段差や間取り、耐震など住まいの建物構造に関すること	395	7.4	18.0	1.8	6.0	9.7	6.3	42.2	0.5	19.9	0.7	10.0	6.0	4.6	0.6	6.5	7.6	7.1	
契約や財産管理の手続きをすること	256	10.9	19.2	1.2	9.5	16.3	6.2	49.5	5.4	13.9	1.2	11.9	5.0	0.9	0.4	5.8	8.9	8.0	
相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと	192	7.1	22.9	0.8	5.3	11.8	3.0	37.4	0.9	12.2	0.6	7.0	4.0	0.6	0.9	5.0	14.4	14.6	
外出時の移動が負担であること	854	11.5	18.8	1.6	9.7	12.5	9.9	44.2	1.8	18.4	1.2	13.6	6.9	2.0	0.8	6.5	9.1	8.0	
病院に通院すること	677	10.2	18.8	1.8	10.3	13.1	8.7	40.3	1.1	18.2	1.1	9.5	6.2	1.8	0.7	6.7	9.8	8.9	
近くに話し相手がないこと	284	5.3	22.3	0.5	7.3	10.8	3.5	40.4	2.9	15.5	1.1	7.8	3.9	1.0	0.2	8.3	11.3	9.8	
自分を介助する家族などの負担が大きいこと	620	15.5	14.8	1.5	10.5	14.8	12.5	55.1	3.3	23.8	2.2	22.6	5.7	2.1	0.6	5.2	4.8	3.7	
買い物したり、荷物を持ち運ぶこと	769	8.2	17.9	1.0	6.6	9.0	6.6	35.3	1.0	18.0	0.6	4.8	6.3	2.3	1.4	5.7	12.4	12.7	
高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと	200	5.9	14.7	1.8	5.6	7.8	4.2	39.8	1.8	15.7	2.5	9.8	3.0	1.4	0.4	13.6	9.9	7.7	
住宅の軽微な修繕に関すること	373	6.9	20.9	0.9	4.5	9.0	5.1	32.9	0.6	21.0	0.3	5.8	6.2	2.5	0.6	9.1	11.2	9.6	
電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をすること	890	7.7	20.5	0.8	6.0	8.6	5.9	32.1	0.9	17.5	0.9	5.0	6.9	2.1	1.4	8.3	12.6	10.3	
その他	192	14.0	18.4	2.9	9.7	9.9	9.1	53.2	4.5	16.2	1.2	22.9	9.3	2.7	1.2	5.6	15.8	4.9	

【現在治療中・後遺症のある疾病別 利用している在宅サービス（サービス利用者）】

(MA%)

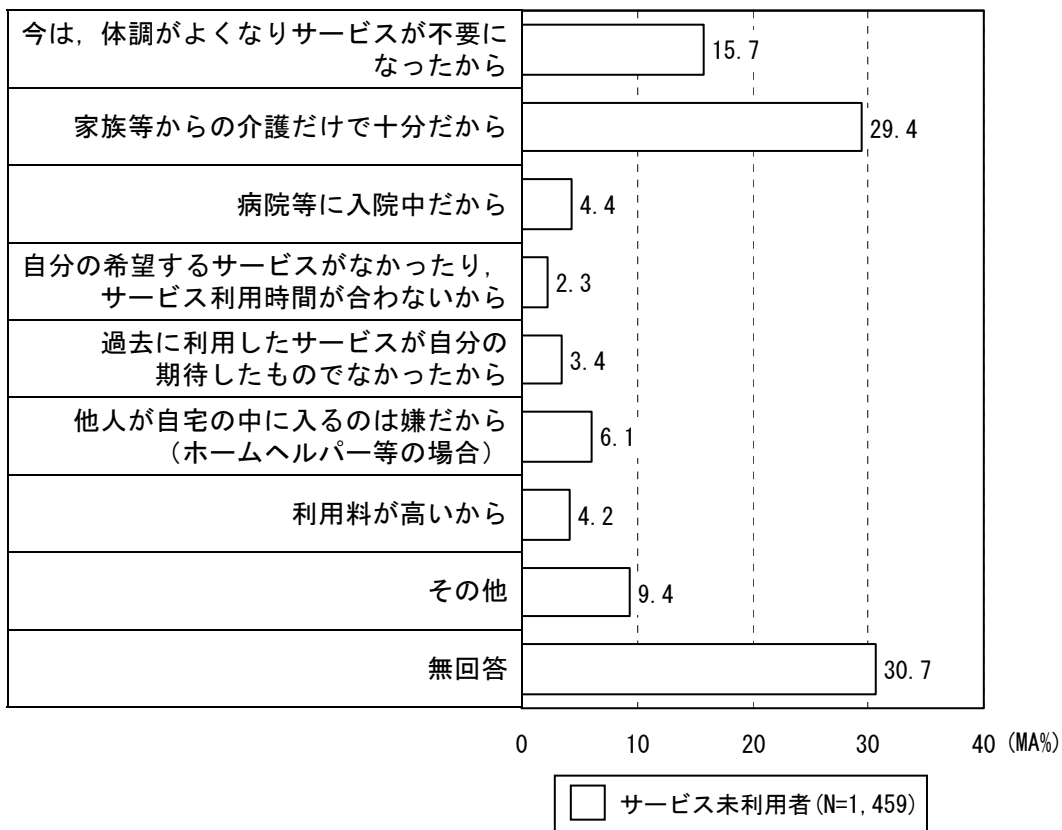
	N	訪問診療（医師の訪問）	訪問介護	夜間対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション（デイケア）	小規模多機能型居宅介護	短期入所（ショートステイ）	療養管理指導	医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	在宅サービスは受けていない	その他	無回答
高血圧	1,222	8.8	17.8	1.1	5.5	7.8	7.1	38.5	1.6	17.6	1.0	8.7	5.0	1.7	0.8	7.3	10.8	10.6	
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	372	16.5	19.2	2.7	10.4	13.9	14.8	38.1	0.6	31.6	0.1	14.3	6.2	0.9	0.2	4.1	8.9	9.4	
心臓病	654	10.7	21.6	1.3	6.8	10.7	6.2	38.0	1.3	14.4	1.3	7.7	8.5	2.7	0.8	7.2	10.1	12.4	
糖尿病	478	11.6	20.4	1.5	5.1	12.8	7.8	42.6	1.7	21.1	1.2	10.6	6.4	2.3	1.0	6.1	5.8	9.2	
高脂血症（脂質異常）	224	7.4	21.6	1.0	4.8	8.2	5.5	34.7	1.0	22.1	-	9.3	7.9	1.1	1.6	6.7	14.0	9.0	
呼吸器の病気（肺炎や肺炎腫等）	247	15.7	26.1	1.2	11.8	16.0	9.5	32.9	0.1	17.0	0.7	10.8	7.9	3.4	0.3	9.7	8.7	9.7	
胃腸・肝臓・胆のうの病気	307	10.3	21.9	0.9	7.1	10.8	6.8	34.1	0.4	14.3	0.4	6.3	9.9	3.3	0.5	4.7	13.6	11.4	
腎臓・前立腺の病気	247	14.0	21.1	1.3	11.3	15.6	11.7	33.1	0.8	20.0	1.1	8.8	7.6	3.7	0.5	7.9	8.2	9.5	
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	675	9.8	19.8	1.0	7.0	8.8	7.2	37.4	0.8	17.4	1.3	8.4	8.6	3.0	1.0	5.5	12.0	13.1	
外傷（転倒・骨折等）	306	13.4	20.2	1.3	10.4	14.3	9.1	34.8	1.2	18.7	1.3	8.3	7.3	2.0	1.7	8.1	11.3	7.3	
がん（悪性新生物）	150	15.4	21.4	2.0	11.9	14.2	8.5	31.4	0.6	16.1	0.6	9.3	7.2	4.6	-	9.4	12.3	9.5	
血液・免疫の病気	67	7.3	22.9	-	5.6	12.9	11.3	25.4	-	19.3	1.2	13.1	7.3	2.8	2.5	17.9	12.5	4.3	
うつ病	140	12.7	21.4	2.6	7.9	18.0	8.7	41.7	1.6	13.0	1.2	10.7	8.0	1.4	0.6	4.9	9.1	7.3	
認知症（アルツハイマー病等）	484	16.1	14.2	2.5	7.0	11.2	6.9	64.3	7.0	18.6	3.6	28.2	7.6	1.7	0.7	5.4	7.1	2.7	
パーキンソン病	145	14.9	15.9	2.8	9.2	19.7	16.8	49.6	0.8	28.5	0.9	12.5	6.7	2.9	0.6	7.3	5.9	5.2	
目の病気	619	9.5	19.1	0.8	6.8	10.2	7.0	38.7	1.1	14.7	1.2	7.5	7.3	3.1	1.1	7.1	8.3	11.3	
耳の病気	311	8.6	18.0	0.7	7.9	9.0	6.9	38.6	1.2	16.3	-	10.4	6.3	1.4	2.0	8.4	8.8	12.7	
その他	254	15.7	21.0	0.8	11.6	13.2	10.9	37.1	1.7	13.7	2.7	13.1	3.9	1.7	0.7	5.9	18.2	6.5	
ない	58	6.6	12.0	3.3	9.8	-	3.3	56.4	2.1	13.1	-	26.2	-	0.5	0.8	6.2	3.8	12.4	

(6) 介護保険サービスを利用していない理由【サービス未利用者のみ】

問10Q 4. 介護保険のサービスを利用していない理由は、何ですか。〈〇は1つ〉

介護保険サービスを利用していない理由については、「家族等からの介護だけで十分だから」が29.4%で最も高く、次いで「今は、体調がよくなりサービスが不要になったから」が15.7%、「他人が自宅の中に入るのは嫌だから(ホームヘルパー等の場合)」が6.1%となっています。

家族構成別でみると、一人暮らしは「今は、体調がよくなりサービスが不要になったから」が最も高く、家族など同居よりも4.5ポイント高くなっています。一方、家族など同居は「家族等からの介護で十分だから」が最も高く、一人暮らしよりも26.7ポイント高くなっています。



【家族構成別 介護保険サービスを利用していない理由 (サービス未利用者)】

	N	か 今 は サ ー ビ ス が 調 が よ く な っ た り た	十 分 だ か ら の 介 護 だ け で	病 院 等 に 入 院 中 だ か ら	利 用 時 間 が 合 わ な い か ら	自 分 の 希 望 す る サ ー ビ ス が な か つ た か ら	過 去 に 利 用 し た サ ー ビ ス が 自 分 の 期 待 し た も の で な か つ た か ら	パ ー ソ ン 等 の 場 合 (ホ ー ム ヘ ル パ ー 等)	他 人 が 自 宅 の 中 に 入 る の は 嫌 だ か ら	利 用 料 が 高 い か ら	そ の 他	無 回 答
一人暮らし	354	19.1	9.8	4.7	2.4	4.4	9.9	6.0	13.6	35.7		
家族など同居 (二世帯住宅を含む)	1,067	14.6	36.5	4.3	2.3	3.0	5.0	3.6	8.2	27.9		

(7) 現在入所申込みしている介護保険施設【サービス利用者・サービス未利用者のみ】

問10Q5. 現在、介護保険施設等に入所（入院）の申込みをしていますか。①～⑤のそれぞれの施設について申し込まれている場合は申し込まれた施設の数をお答えください。

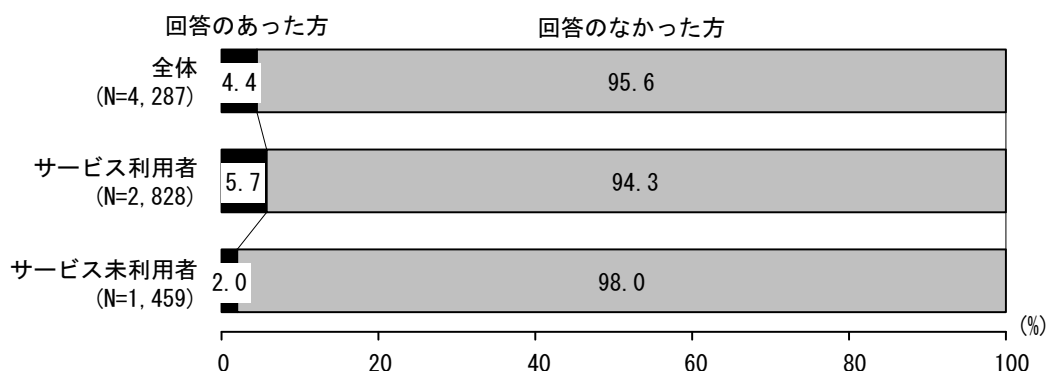
回答のあった方の申込施設数については、全体で1箇所が「①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」は64.0%、「②介護老人保健施設」は76.7%、「③介護療養型医療施設」「④認知症高齢者グループホーム」「⑤有料老人ホーム等[介護付]」「⑥有料老人ホーム[介護付以外]」はいずれも80%以上となっています。

2箇所以上は「①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が36.0%で最も高く、次いで、「②介護老人保健施設」が23.3%となっています。

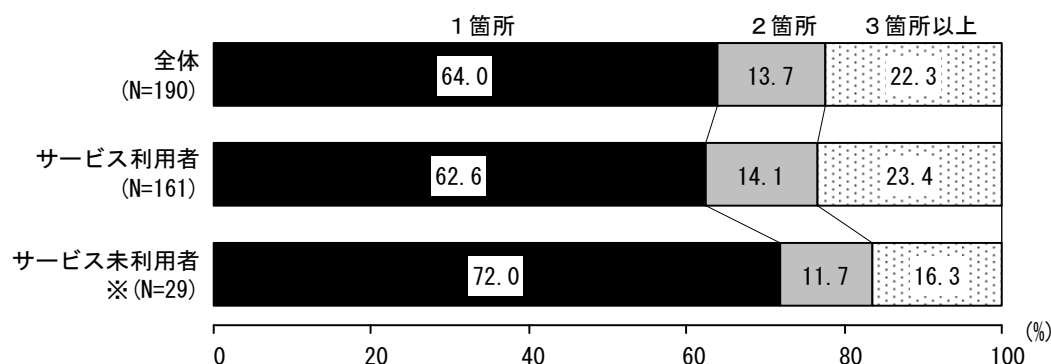
① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、「1箇所」は要支援1（100%）から要介護4（40.8%）まで重度化するほど割合が低くなりますが、要介護5では72.1%と高くなります。逆に、2箇所以上は、要支援1（0.0%）から要介護4（59.2%）まで重度化するほど割合が高くなりますが、要介護5では27.9%と低くなります。

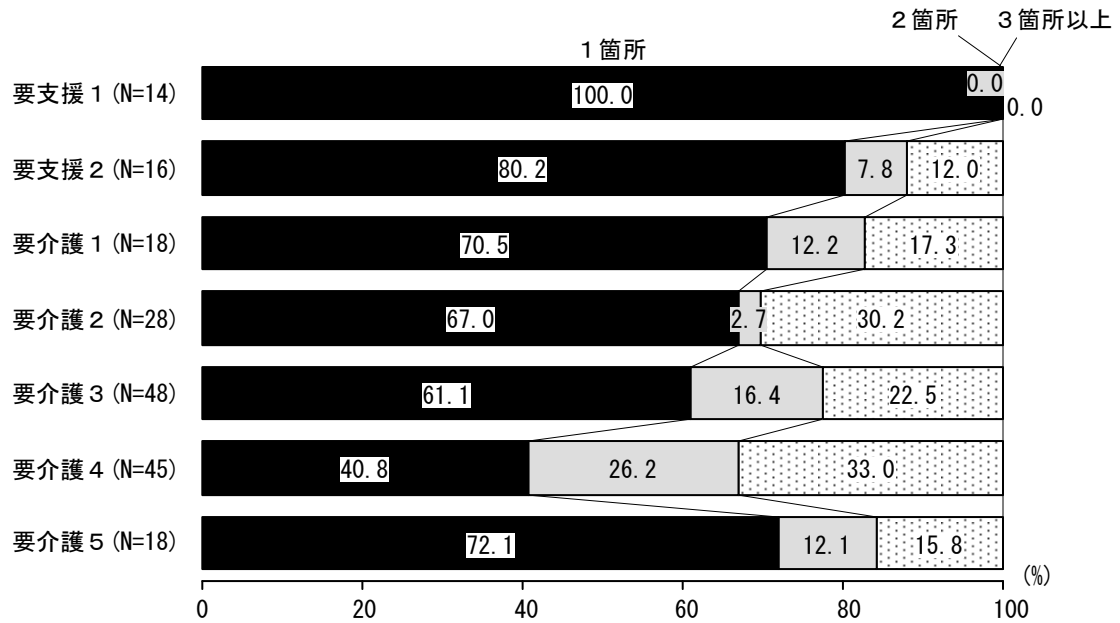
■ 当該質問の回答有無



■ 申込施設数

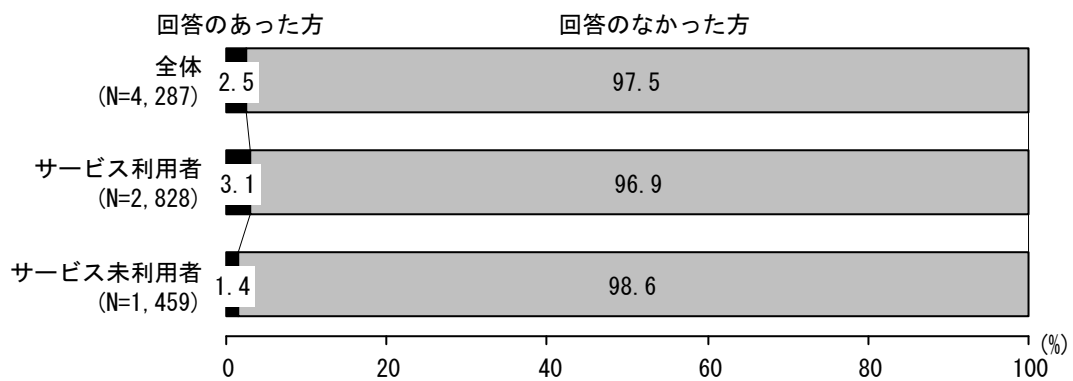


【要介護度別 申込み施設数（サービス利用者・サービス未利用者）】

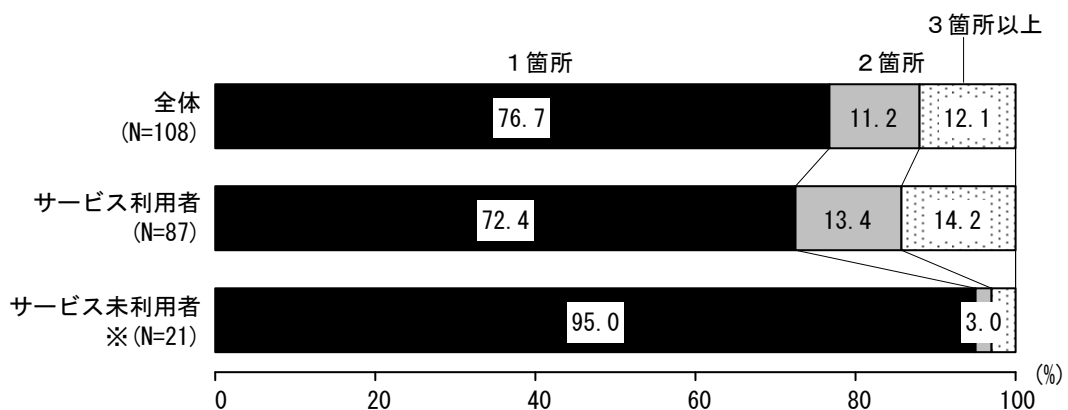


② 介護老人保健施設

■ 当該質問の回答有無

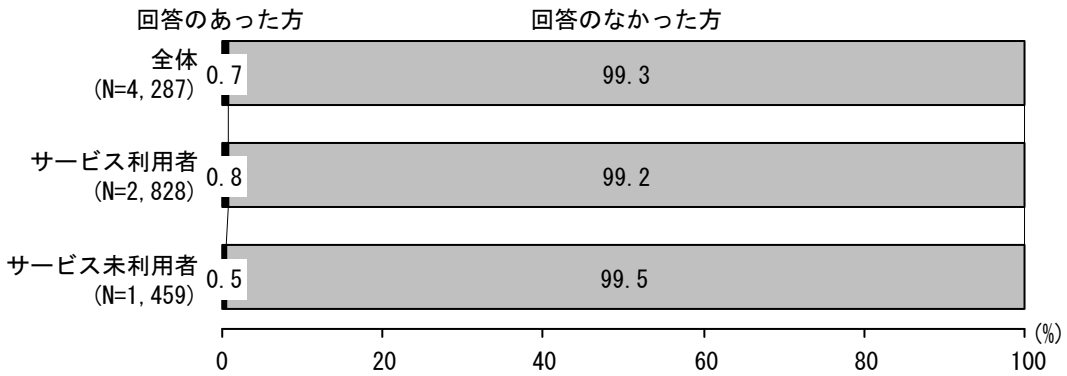


■ 申込施設数

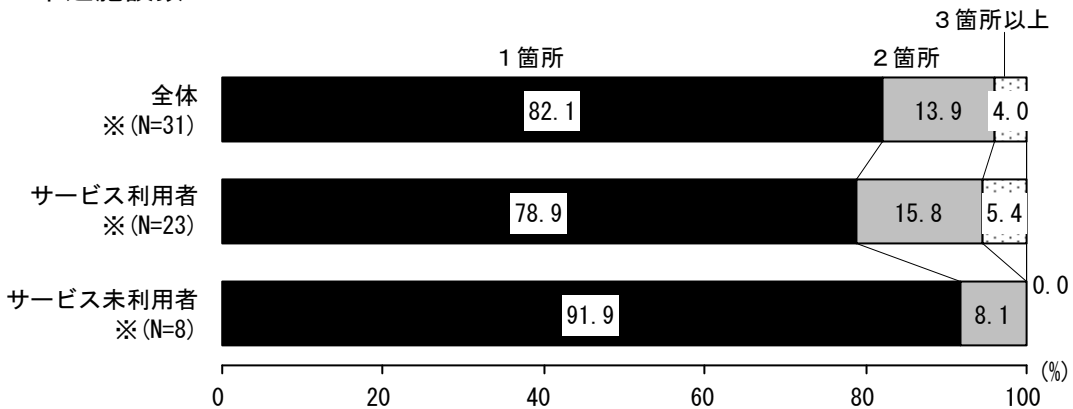


③ 介護療養型医療施設

■ 当該質問の回答有無

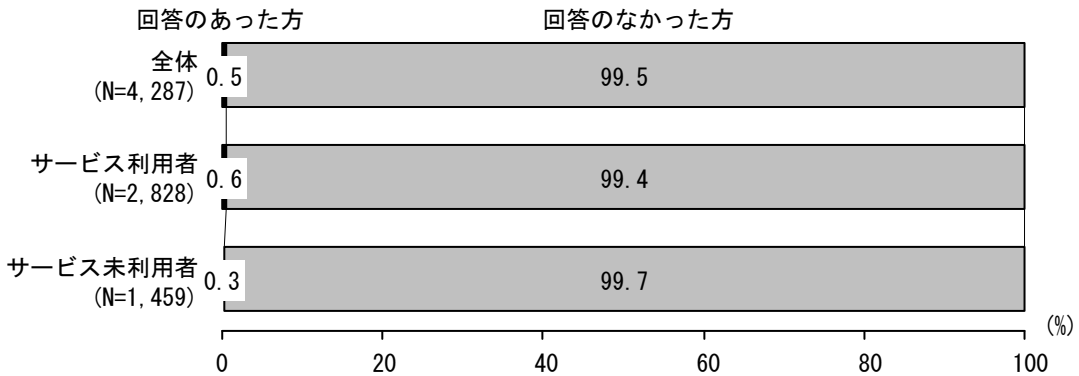


■ 申込施設数

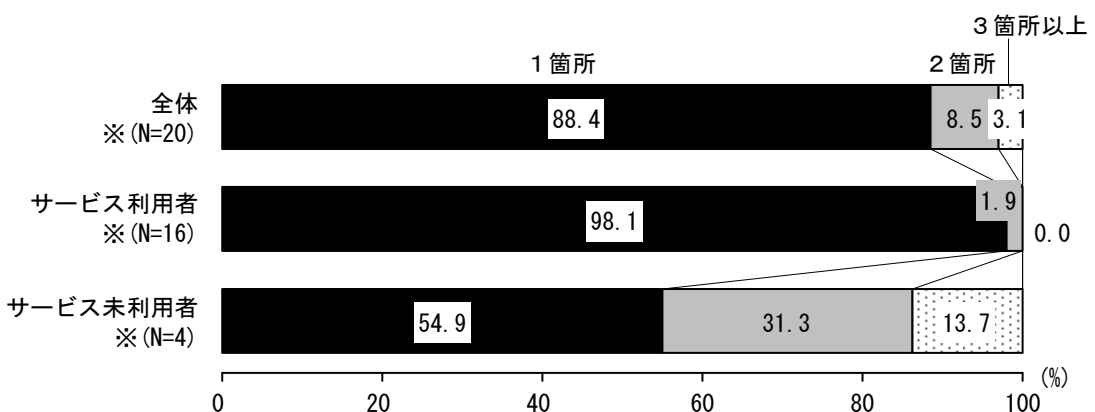


④ 認知症高齢者グループホーム

■ 当該質問の回答有無

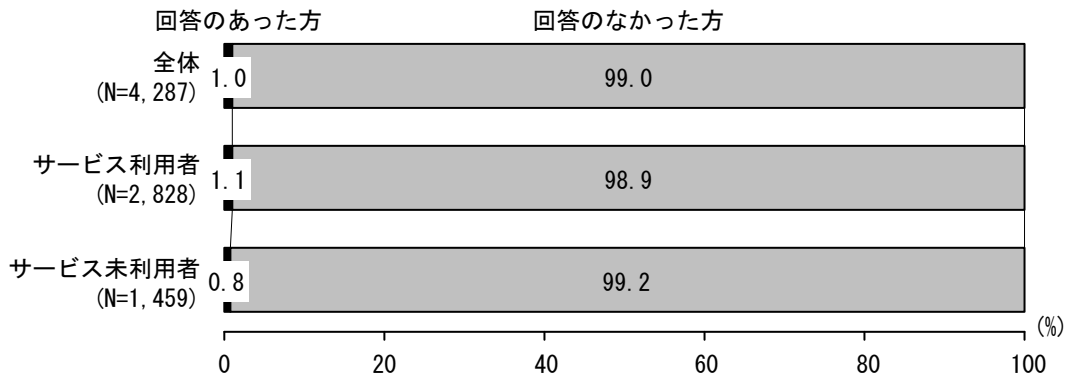


■ 申込施設数

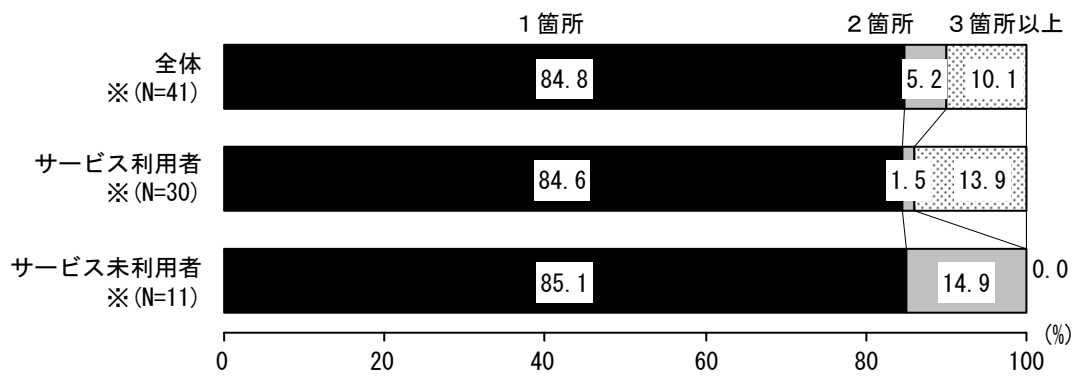


⑤ 有料老人ホーム等〔介護付〕

■ 当該質問の回答有無

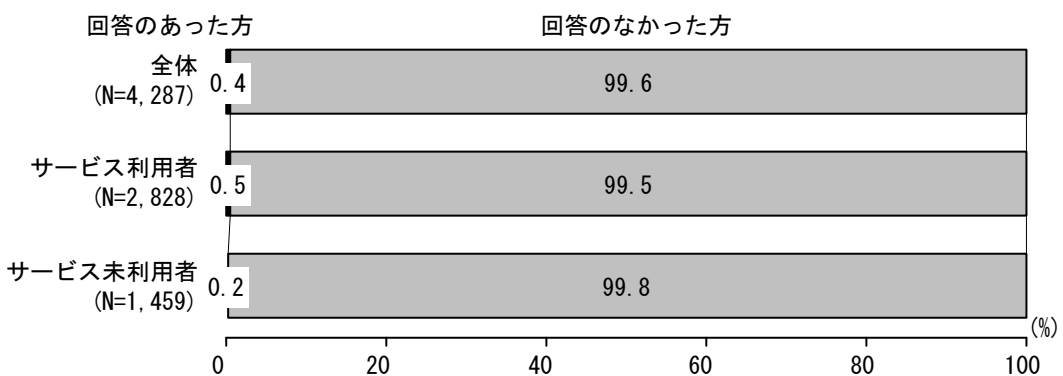


■ 申込施設数

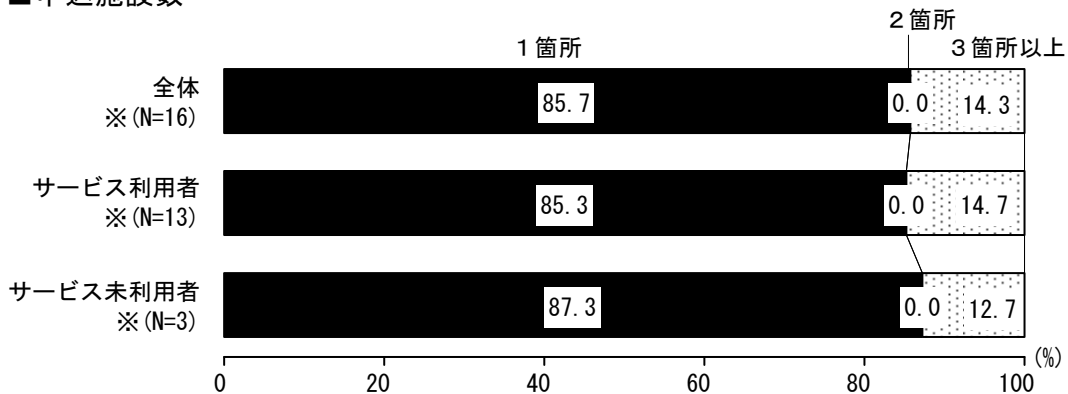


⑥ 有料老人ホーム等〔介護付以外〕

■ 当該質問の回答有無



■ 申込施設数



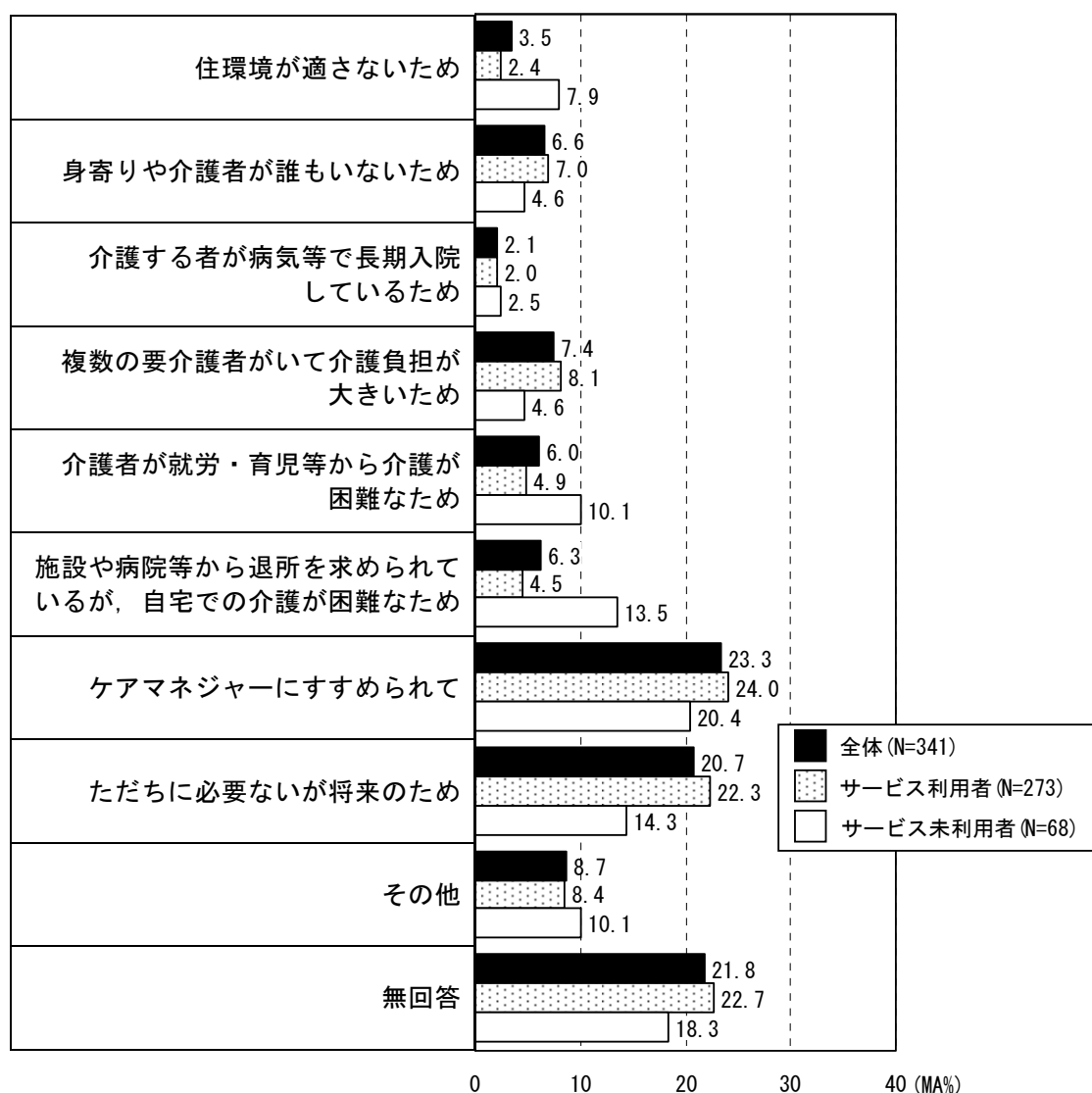
(8) 介護保険施設等の申込理由【サービス利用者・サービス未利用者のみ】

【申込みをされている方のみ】(Q5の①～⑤の施設に申し込んでいる方)
 問10Q5-1. 申込まれた理由は、次のうちどれですか。〈〇は1つ〉

介護保険施設等に入所（入院）を申し込んでいると回答した人に、申し込んだ理由についてたずねたところ、全体で「ケアマネジャーにすすめられて」が23.3%で最も高く、次いで「ただちに必要ないが将来のため」が20.7%、「複数の要介護者がいて介護負担が大きいため」が7.4%となっています。

「ただちに必要ないが将来のため」はサービス未利用者（14.3%）よりもサービス利用者（22.3%）が高く、「施設や病院等から退所を求められているが、自宅での介護が困難なため」はサービス利用者（4.5%）よりもサービス未利用者（13.5%）が高くなっています。

要介護度別でみると、「ただちに必要ないが将来のため」は要支援1が28.2%で最も高く、概ね要介護度が重度化するにつれて割合が低くなる傾向が見られます。「ケアマネジャーにすすめられて」は要支援2が42.1%で最も高く、要支援1、要介護3～5でも、20%以上と割合が高くなっています。



【要介護度別 介護保険施設等の申込理由（サービス利用者・サービス未利用者）】

(MA%)

	N	住環境が適さないため	身寄りや介護者が誰もいないため	長期入院している病気等	介護の負担が大きい	介護者が就労・育児等から介護が困難なため	施設等から退所を求められているが、自宅での介護が困難なため	ケアマネジャーにすめられない	来たために必要ないが将来のために	その他	無回答
要支援1	37	5.0	5.1	2.8	-	-	-	22.2	28.2	4.1	40.5
要支援2	33	1.3	14.6	-	1.9	6.3	1.4	42.1	23.2	-	21.0
要介護1	37	4.2	11.4	-	8.1	7.3	-	19.0	26.1	5.1	27.8
要介護2	57	-	7.0	1.1	13.7	4.5	9.2	10.5	27.0	4.3	22.9
要介護3	79	-	4.4	2.4	10.3	9.6	2.2	24.3	19.7	8.2	19.1
要介護4	61	7.7	2.6	4.6	7.5	7.9	16.4	23.0	15.9	14.7	11.7
要介護5	30	7.3	4.1	2.8	4.1	2.1	12.5	30.9	5.8	24.4	20.3

10 介護保険制度等について

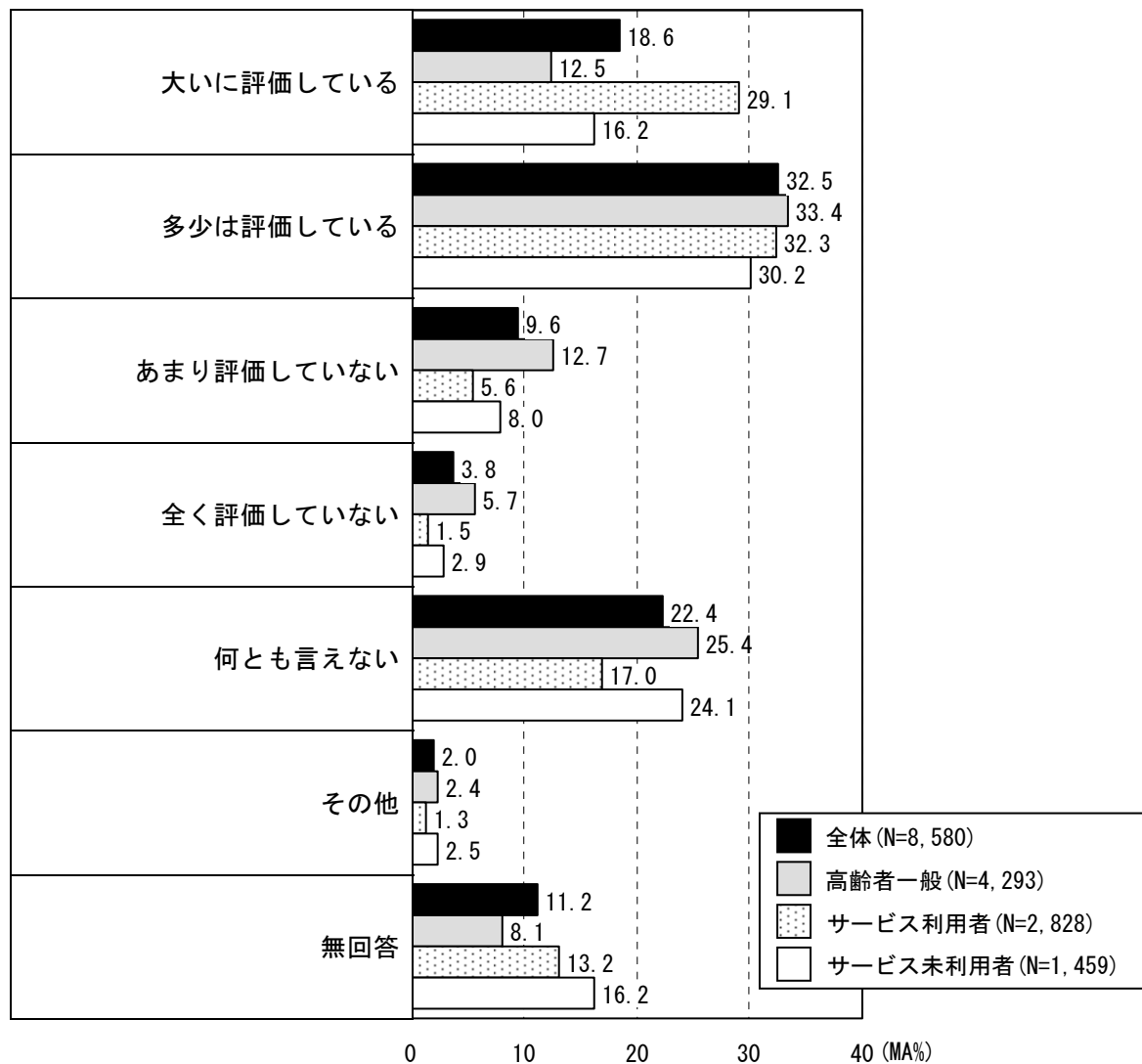
(1) 介護保険制度に対する評価

問10Q 1. 介護保険制度への評価として、あなたの考えに近いものは次のどれですか。
 <〇は1つ>

介護保険制度に対する評価については、全体で「多少は評価している」が32.5%で最も高く、次いで「何とも言えない」が22.4%、「大いに評価している」が18.6%となっています。「大いに評価している」と「多少は評価している」をあわせた『評価している』は51.1%、「あまり評価していない」と「全く評価していない」をあわせた『評価していない』は13.4%となっています。

『評価している』はサービス利用者が61.4%で高齢者一般・サービス未利用者よりも高くなっています。『評価していない』は高齢者一般が18.4%で最も高く、サービス利用者が7.1%で最も低くなっています。

前回調査との比較では、すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。



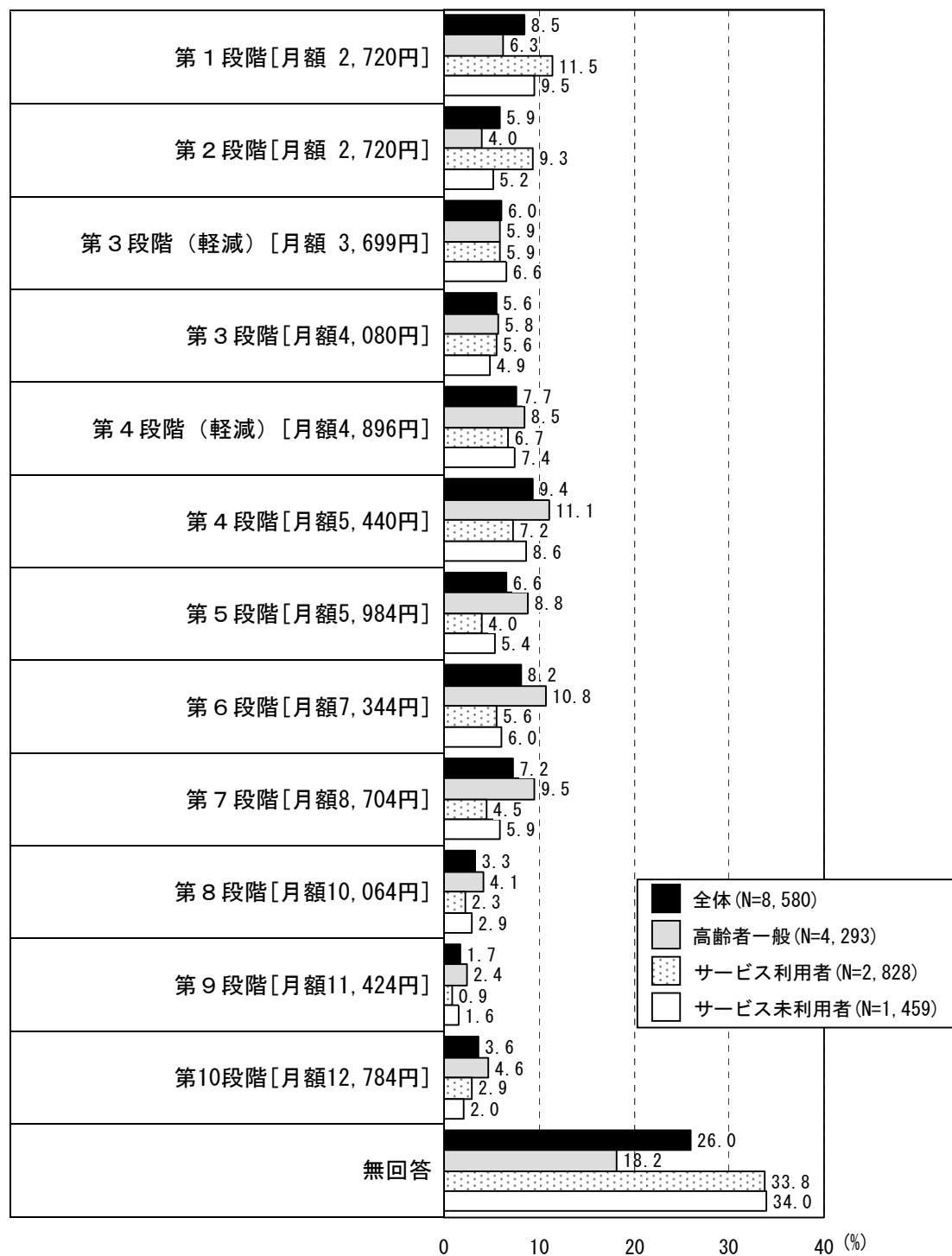
【前回調査との比較】

			(MA%)						
		N	大いに評価している	多少は評価している	あまり評価していない	全く評価していない	何とも言えない	その他	無回答
高齢者一般	平成25年度	4,293	12.5	33.4	12.7	5.7	25.4	2.4	8.1
	平成22年度	2,541	11.2	27.4	15.2	4.7	26.2	3.3	12.1
サービス利用者	平成25年度	2,828	29.1	32.3	5.6	1.5	17.0	1.3	13.2
	平成22年度	1,825	29.8	33.6	7.6	1.8	14.7	1.8	10.6
サービス未利用者	平成25年度	1,459	16.2	30.2	8.0	2.9	24.1	2.5	16.2
	平成22年度	825	18.9	28.2	10.7	3.5	21.0	2.8	14.9

(2) 介護保険料の段階区分

問10Q2. あなたの介護保険料の「段階区分」は次のどれですか。〈○は1つ〉

回答者の介護保険料の段階区分については、全体で「第4段階[月額5,440円]」が9.4%で最も高く、次いで「第1段階[月額2,720円]」が8.5%、「第6段階[月額7,344円]」が8.2%となっています。



(3) 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援

問10Q3. 今後も住み慣れた地域で生活をするには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。〈〇は5つまで〉

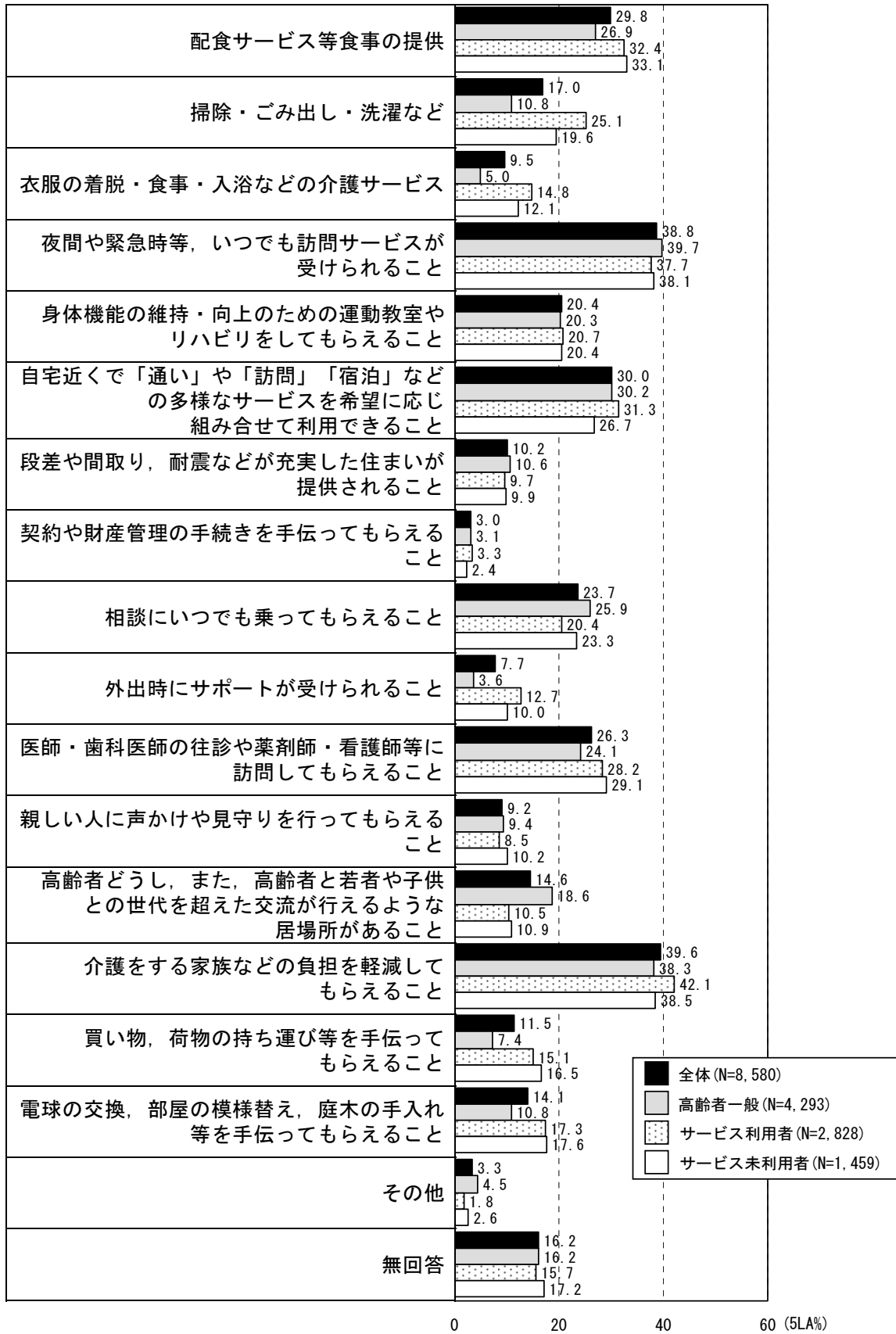
住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援については、全体で「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」が39.6%で最も高く、次いで「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」が38.8%、「自宅近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせて利用できること」が30.0%となっています。

「配食サービス等食事の提供」「掃除・ごみ出し・洗濯など」「衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス」「外出時にサポートが受けられること」「買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」は高齢者一般よりもサービス利用者・サービス未利用者が高くなっています。「高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。

全体を年齢別でみると、「掃除・ごみ出し・洗濯など」「買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」は概ね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。「相談にいつでも乗ってもらえること」「高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっています。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、「配食サービス等食事の提供」は要支援1～要介護4で高くなっています。「掃除・ごみ出し・洗濯など」「身体機能の維持・向上に運動教室やリハビリをしてもらえること」は要支援1～要介護3で高くなっています。「衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス」は要介護3～5で高くなっています。「夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること」「自宅近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせて利用できること」「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること」「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」はどの要介護度でも高くなっています。「相談にいつでも乗ってもらえること」は要支援1～要介護1で高くなっています。「買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」は要支援2で高くなっています。「電球の交換、部屋の模様替え等を手伝ってもらえること」は要支援1～2で高くなっています。

全体を家族構成別でみると、「配食サービス等食事の提供」「掃除・ごみ出し・洗濯など」「買い物・荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること」「電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること」は一人暮らしが高くなっています。「自宅近くで「通い」や「訪問」「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせて利用できること」「医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師等に訪問してもらえること」「介護をする家族などの負担を軽減してもらえること」は家族などと同居が高くなっています。



【年齢別 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援（全体）】

	N	(5LA%)																				
		配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス	訪問サービスが受けられること	夜間や緊急時等	身体機能の維持・向上に運動教室やリハビリをしても	合せて利用できること	問「宿泊」などの多様なサービス希望に応じ組み	自宅近くで「通い」や「訪問」サービス希望に応じ組み	充実した住まいが提供されること	段差や間取り、耐震などが	手伝ってもらえること	契約や財産管理の手続きを手伝ってしてもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	薬剤師・歯科医師の往診や薬師・看護師等に訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること
65～69歳	1,717	29.5	12.9	7.3	40.5	23.6	32.6	11.5	3.0	26.2	4.8	24.9	8.2	18.3	42.4	6.8	8.3	4.1	13.4			
70～74歳	1,680	29.0	13.3	7.3	39.4	22.4	34.3	11.2	3.0	26.8	5.5	24.1	9.7	17.7	40.4	9.2	11.8	4.4	15.3			
75～79歳	1,678	28.2	16.6	7.9	38.7	20.6	28.4	11.3	3.5	25.6	8.4	24.5	10.2	16.1	38.4	13.2	17.0	3.2	15.8			
80～84歳	1,620	29.2	22.1	10.4	37.6	18.5	25.6	10.0	2.6	21.8	9.3	26.5	10.0	12.0	35.6	15.8	19.6	2.6	18.8			
85歳以上	1,885	32.7	20.2	13.9	37.6	17.2	28.8	7.3	3.1	18.5	10.2	30.9	8.2	9.5	40.8	12.4	14.2	2.1	17.8			

【要介護度別 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援（サービス利用者・サービス未利用者）】

	N	(5LA%)																				
		配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス	訪問サービスが受けられること	夜間や緊急時等	身体機能の維持・向上に運動教室やリハビリをしても	合せて利用できること	問「宿泊」などの多様なサービス希望に応じ組み	自宅近くで「通い」や「訪問」サービス希望に応じ組み	充実した住まいが提供されること	段差や間取り、耐震などが	手伝ってもらえること	契約や財産管理の手続きを手伝ってしてもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	薬剤師・歯科医師の往診や薬師・看護師等に訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること
要支援1	866	35.6	23.0	7.1	39.7	22.8	26.6	7.3	3.1	25.3	7.3	26.5	11.1	14.4	32.8	19.3	25.1	2.1	15.8			
要支援2	1,002	34.7	29.3	11.5	39.0	22.2	26.8	10.9	3.0	26.2	11.5	28.3	9.2	12.3	34.6	23.6	25.2	2.0	14.2			
要介護1	508	34.8	26.2	13.2	31.6	21.4	28.4	9.9	2.1	20.0	16.0	25.9	10.3	8.0	48.0	16.6	13.5	1.6	11.4			
要介護2	639	35.7	23.8	16.7	39.4	20.9	35.7	11.7	2.9	18.8	15.6	30.2	7.8	9.8	48.5	10.1	13.4	2.1	13.8			
要介護3	418	30.6	20.7	24.5	40.9	21.5	37.7	11.5	4.0	15.3	14.2	33.9	5.2	7.8	52.5	7.2	6.9	1.6	14.6			
要介護4	258	29.7	18.4	27.4	47.1	15.8	39.8	7.3	4.1	17.6	16.3	37.9	9.6	7.7	54.1	5.9	6.7	3.5	13.2			
要介護5	176	14.0	6.7	25.0	42.8	18.6	33.1	10.8	4.6	17.7	12.6	42.0	4.2	6.1	58.9	6.4	6.9	5.0	14.9			

【家族構成別 住み慣れた地域での継続生活で充実すべき支援（全体）】

	N	(5LA%)																				
		配食サービス等食事の提供	掃除・ごみ出し・洗濯など	衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス	訪問サービスが受けられること	夜間や緊急時等	身体機能の維持・向上に運動教室やリハビリをしても	合せて利用できること	問「宿泊」などの多様なサービス希望に応じ組み	自宅近くで「通い」や「訪問」サービス希望に応じ組み	充実した住まいが提供されること	段差や間取り、耐震などが	手伝ってもらえること	契約や財産管理の手続きを手伝ってしてもらえること	相談にいつでも乗ってもらえること	外出時にサポートが受けられること	薬剤師・歯科医師の往診や薬師・看護師等に訪問してもらえること	親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること	高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること	介護をする家族などの負担を軽減してもらえること	買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること	電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること
一人暮らし	2,050	33.2	26.0	10.0	38.9	16.9	24.4	9.8	3.5	24.6	8.2	22.3	10.7	14.1	20.5	17.0	23.8	3.4	17.5			
家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	6,398	28.6	14.0	9.2	38.9	21.7	31.9	10.3	2.9	23.5	7.4	27.8	8.7	14.7	46.1	9.6	10.9	3.2	15.6			

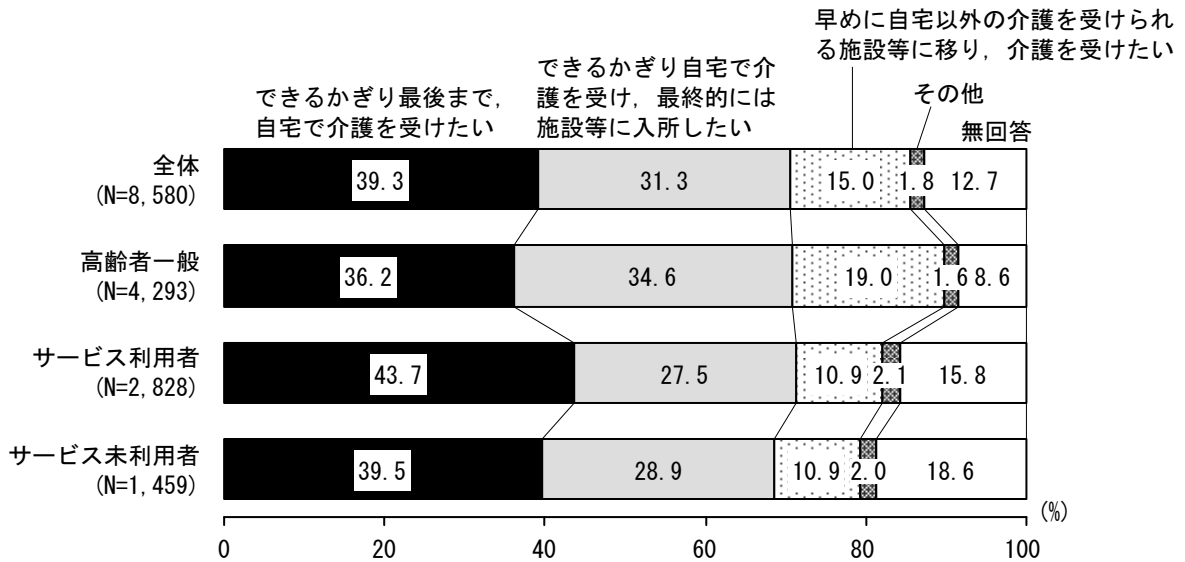
(4) 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所

問10Q 4. もし、あなた自身に介護が必要になった場合、あなたはどこで介護を受けたいですか。〈○は1つ〉

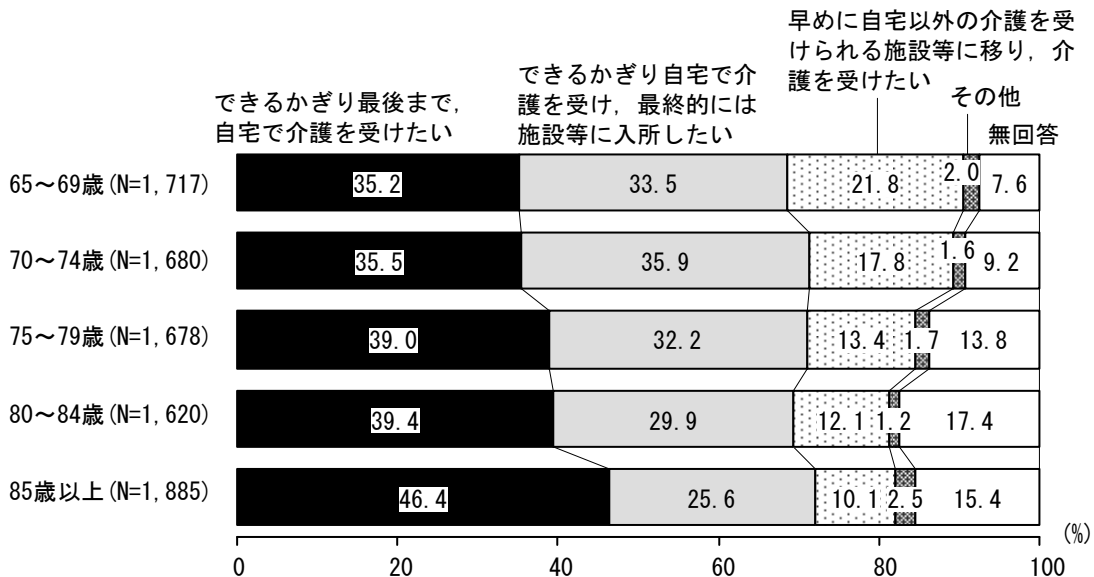
介護が必要になった場合に介護を受けたい場所については、全体で「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」が39.3%で最も高く、次いで「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」が31.3%、「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」が15.0%となっています。

「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」は、サービス利用者が43.7%で最も高く、高齢者一般が36.2%で最も低くなっています。「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」はサービス利用者・サービス未利用者よりも高齢者一般が高くなっています。

全体を年齢別でみると、「できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。「できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」「早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい」は概ね年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向が見られます。



【年齢別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所 (全体)】



(5) 希望する介護形態

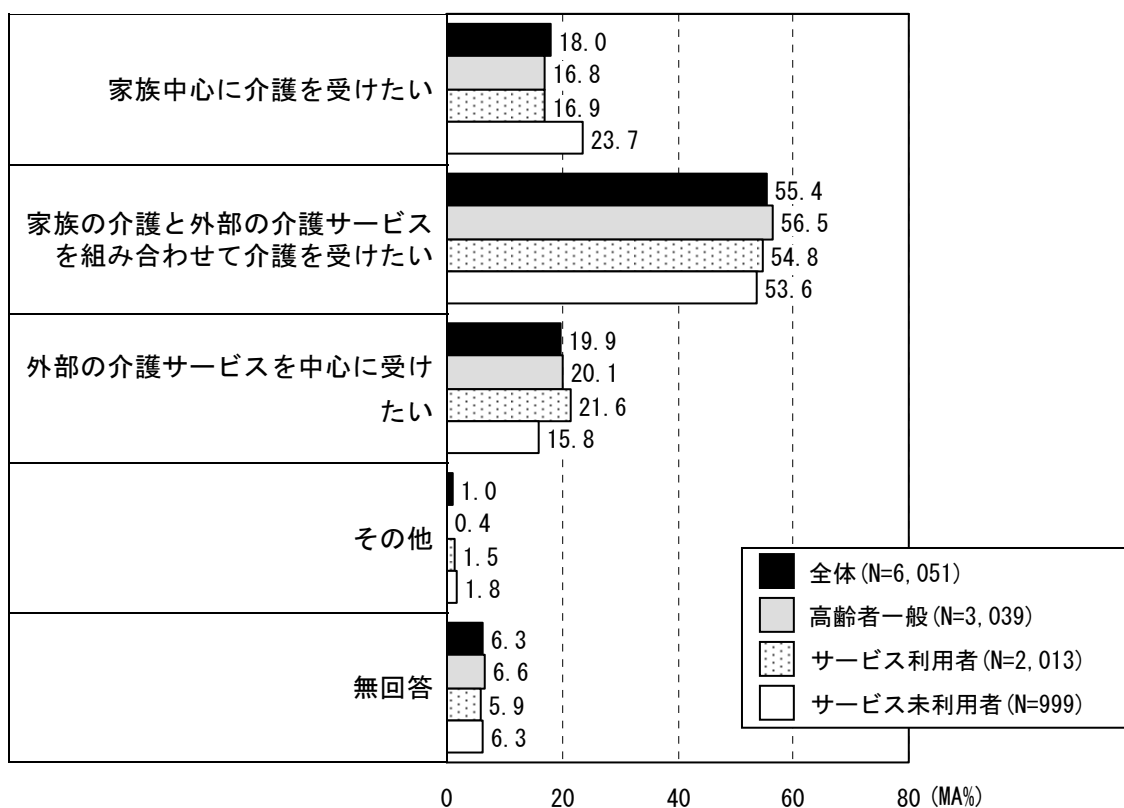
【できるだけ自宅で介護を受けたい方のみ】(Q4で「1」または「2」と回答した方)
 問10Q4-1. どのような介護を希望しますか。〈〇は1つ〉

できるだけ自宅で介護を受けたいと回答した人に、どのような介護を希望するかについてたずねたところ、全体で「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が55.4%で最も高く、次いで「外部の介護サービスを中心に受けたい」が19.9%、「家族中心に介護を受けたい」が18.0%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。

サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、「家族中心に介護を受けたい」は要介護度別に大きな差異は見られません。「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」は概ね要介護度が重度化するほど高くなる傾向が見られます。「外部の介護サービスを中心に受けたい」は概ね要介護度が重度化するほど低くなる傾向が見られます。

全体を家族構成別でみると、一人暮らしは「外部の介護サービスを中心に受けたい」が最も高く、家族など同居よりも32.5ポイント高くなっています。一方、家族など同居は「家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が約6割を占め最も高くなっています。



【要介護度別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所（サービス利用者・サービス未利用者）】

(MA%)

	N	た い 家 族 中 心 に 介 護 を 受 け た い	せ て 介 護 を 受 け た い 家 族 の 介 護 と 組 み 合 わ せ た い	中 心 に 受 け た い 外 部 の 介 護 サ ー ビ ス を	そ の 他	無 回 答
要支援 1	601	14.8	50.4	26.3	2.2	7.3
要支援 2	697	17.8	48.6	25.8	1.8	7.2
要介護 1	387	20.6	56.0	16.6	2.1	5.3
要介護 2	491	20.1	59.1	15.7	0.8	4.3
要介護 3	311	22.9	59.7	12.7	0.3	5.0
要介護 4	181	21.7	61.6	14.5	1.8	1.5
要介護 5	123	20.6	70.8	7.8	-	2.2

【家族構成別 介護が必要になった場合の介護を受けたい場所（全体）】

(MA%)

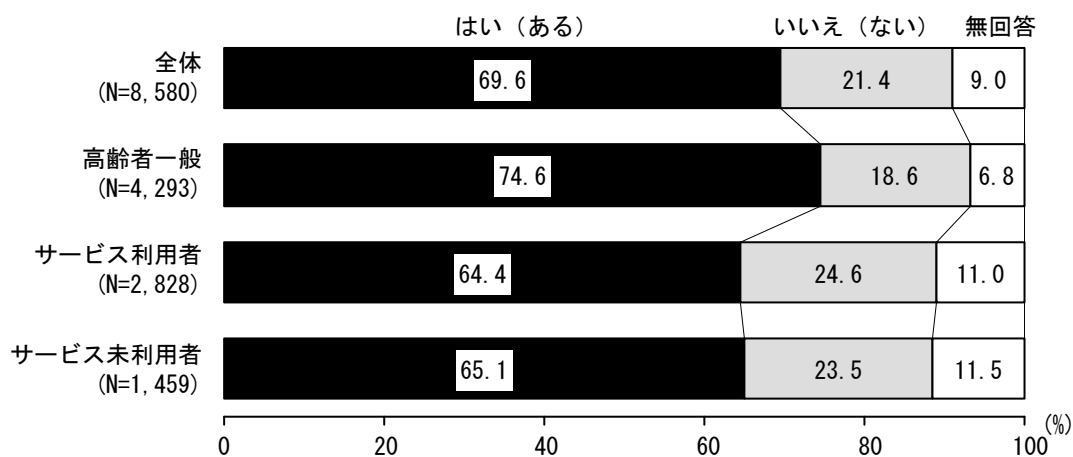
	N	た い 家 族 中 心 に 介 護 を 受 け た い	せ て 介 護 を 受 け た い 家 族 の 介 護 と 組 み 合 わ せ た い	中 心 に 受 け た い 外 部 の 介 護 サ ー ビ ス を	そ の 他	無 回 答
一人暮らし	1,232	7.5	35.6	45.7	2.2	9.4
家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	4,744	20.7	60.8	13.2	0.6	5.4

(6) 高齢者の死に立ち会った経験の有無

問10Q5. 高齢者の死に立ち会った経験がありますか。〈○は1つ〉

高齢者の死に立ち会った経験については、全体で「はい(ある)」が69.6%、「いいえ(ない)」が21.4%となっています。

「はい(ある)」は高齢者一般が74.6%で、サービス利用者・サービス未利用者よりも高くなっています。

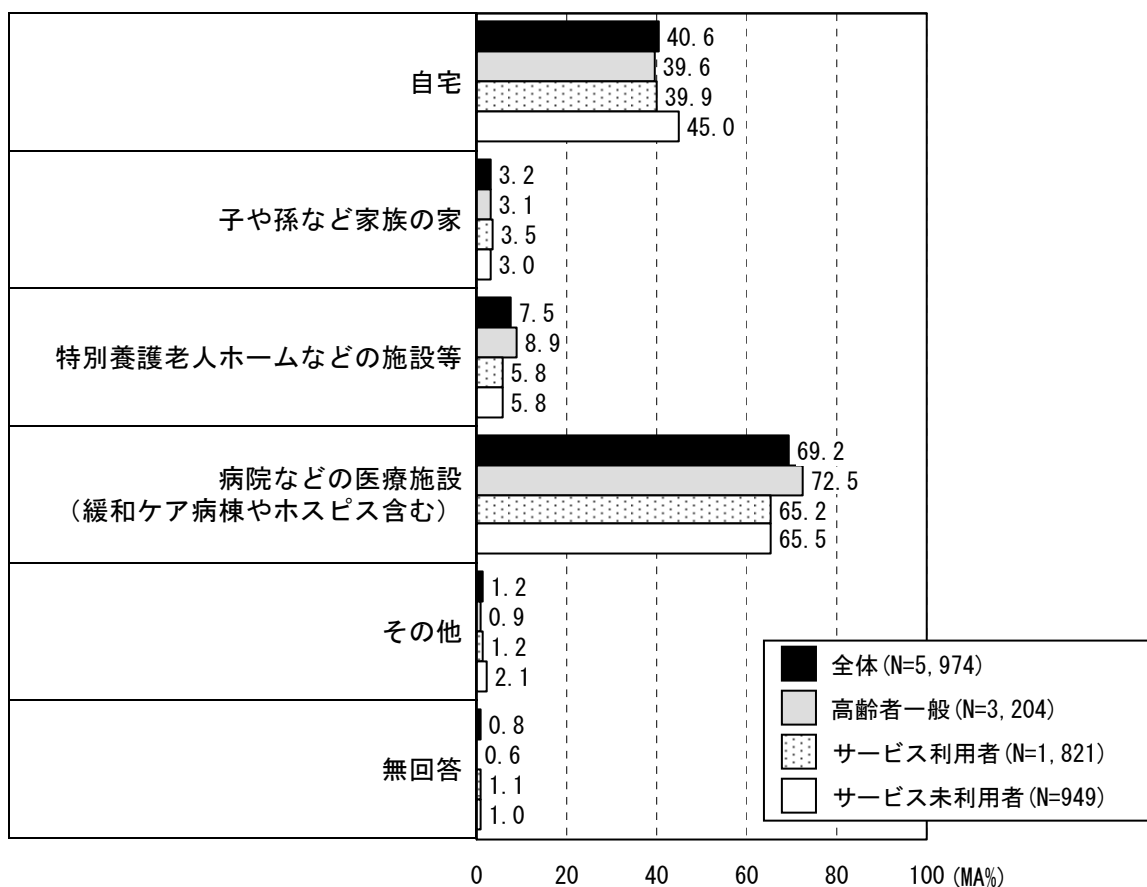


(7) 死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所

【高齢者の死に立ち会った経験がある方のみ】(Q5で「1. はい」と回答した方)
 問10Q5-1. 死に立ち会った高齢者はどこで人生の終末を迎えられましたか。
 <あてはまるものすべてに○>

高齢者の死に立ち会った経験があると回答した人に、死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所についてたずねたところ、全体で「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が69.2%で最も高く、次いで「自宅」が40.6%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が7.5%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。



(8) 終末を迎えたい場所

問10Q6. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。〈○は1つ〉

終末を迎えたい場所については、全体で「自宅」が51.3%で最も高く、次いで「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が29.1%、「特別養護老人ホームなどの施設等」が5.4%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。

全体を家族構成別でみると、「自宅」は家族などと同居が55.3%で、一人暮らしよりも16.0ポイント高くなっています。「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」は一人暮らしが35.4%で、家族などと同居よりも8.4ポイント高くなっています。

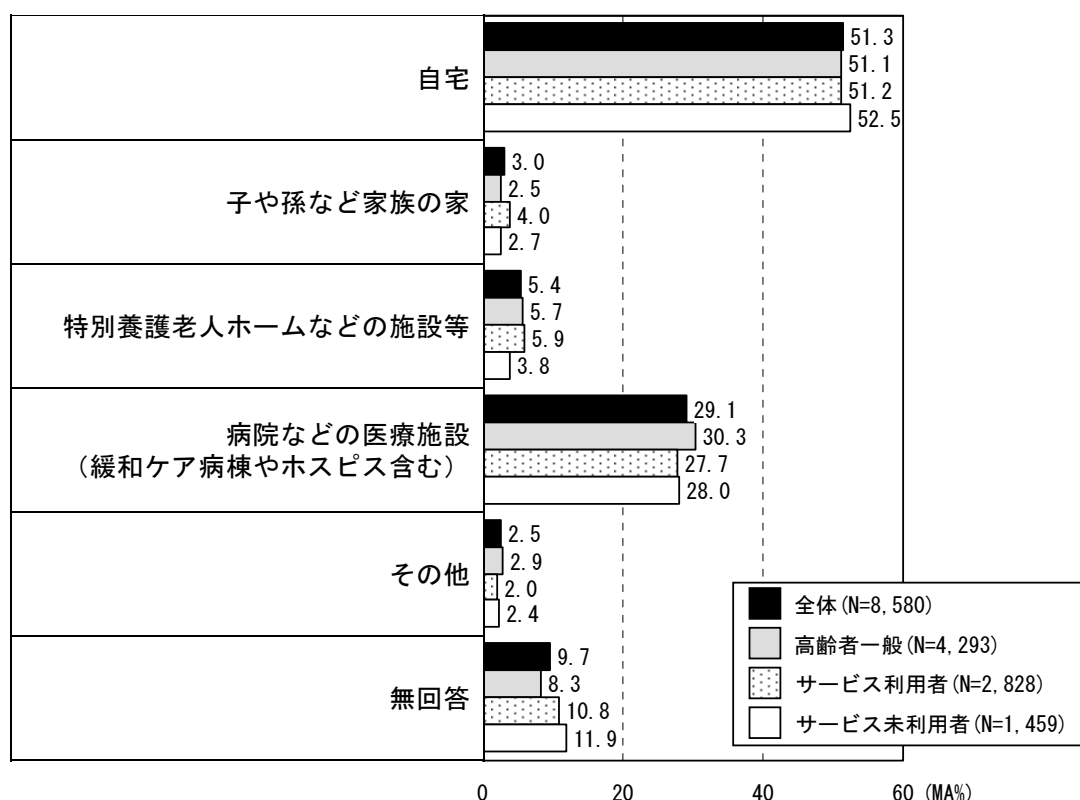
サービス利用者・サービス未利用者を要介護度別でみると、いずれも「自宅」が最も高くなっています。「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」は要介護度が重度化するにつれて割合が低くなっています。

全体を高齢者の死に立ち会った経験別でみると、「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」は“はい（ある）”が32.5%で“いいえ（ない）”よりも5.5ポイント高くなっています。

全体を死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所別でみると、いずれも「自宅」が最も高くなっていますが、死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所と同じ場所が終末を迎えたい場所として高い割合となっています。

全体を介護が必要になった場合の介護を受けたい場所別でみると、「自宅」は“できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい”が79.4%で最も高く、次いで“できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい”が45.8%となっています。

前回調査との比較では、サービス利用者では「自宅」が前回よりも5.5ポイント低く、「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）」が前回よりも5.5ポイント高くなっています。



【家族構成別 終末を迎えたい場所】

(MA%)

	N	自宅	子や孫など家族の家	特別養護老人ホームなどの施設等	ス(病院などの医療施設やホスピス含む)	その他	無回答
一人暮らし	2,050	39.3	2.9	8.4	35.4	2.9	12.5
家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	6,398	55.3	3.1	4.5	27.0	2.4	8.7

【要介護度別 終末を迎えたい場所 (サービス利用者・サービス未利用者)】

(MA%)

	N	自宅	子や孫など家族の家	特別養護老人ホームなどの施設等	ス(病院などの医療施設やホスピス含む)	その他	無回答
要支援1	866	48.1	3.4	5.5	32.9	1.5	10.4
要支援2	1,002	48.6	3.2	4.6	35.0	2.2	7.9
要介護1	508	57.8	3.7	3.6	27.1	1.7	7.8
要介護2	639	55.2	4.3	6.1	23.4	1.9	9.6
要介護3	418	58.3	2.4	6.5	22.7	2.4	9.0
要介護4	258	52.3	4.8	8.0	20.7	3.4	12.8
要介護5	176	57.5	2.8	6.2	12.2	1.9	19.4

【高齢者の死に立ち会った経験別 終末を迎えたい場所】

(MA%)

	N	自宅	子や孫など家族の家	特別養護老人ホームなどの施設等	ス(病院などの医療施設やホスピス含む)	その他	無回答
はい(ある)	5,974	54.2	3.1	5.7	32.5	2.4	3.2
いいえ(ない)	1,836	56.6	3.6	6.6	27.0	3.9	3.5

【死に立ち会った高齢者の終末を迎えた場所別 終末を迎えたい場所】

(MA%)

	N	自宅	子 や 孫 な ど 家 族 の 家	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 等	ス ピ ス （ 病 院 な ど の 医 療 施 設 や ホ ス ピ ス 含 む ）	そ の 他	無 回 答
自宅	2,244	64.6	3.0	5.7	22.3	2.9	3.1
子や孫など家族の家	168	60.2	14.7	5.1	17.7	3.1	3.5
特別養護老人ホームなどの施設等	475	42.3	3.2	17.9	29.5	4.3	3.7
病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）	4,218	47.7	2.5	6.0	39.3	2.1	3.2
その他	83	41.2	7.8	8.0	22.7	16.8	5.1

【介護が必要になった場合の介護を受けたい場所別 終末を迎えたい場所】

(MA%)

	N	自宅	子 や 孫 な ど 家 族 の 家	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 等	ス ピ ス （ 病 院 な ど の 医 療 施 設 や ホ ス ピ ス 含 む ）	そ の 他	無 回 答
できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい	3,368	79.4	3.1	0.6	14.9	1.1	2.1
できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい	2,683	45.8	3.7	6.5	40.0	2.5	3.0
早めに自宅以外の介護を受けられる施設等に移り、介護を受けたい	1,283	16.3	2.1	18.5	55.4	4.0	3.9
その他	158	20.9	6.0	8.4	28.6	27.7	11.5

【前回調査との比較】

(MA%)

		N	自宅	子 や 孫 な ど 家 族 の 家	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 等	ス ピ ス （ 病 院 な ど の 医 療 施 設 や ホ ス ピ ス 含 む ）	そ の 他	無 回 答
高齢者一般	平成25年度	4,293	51.1	2.5	5.7	30.3	2.9	8.3
	平成22年度	2,541	56.0	1.7	6.5	28.1	3.4	4.4
サービス利用者	平成25年度	2,828	51.2	4.0	5.9	27.7	2.0	10.8
	平成22年度	1,825	56.7	2.8	9.3	22.2	2.5	6.4
サービス未利用者	平成25年度	1,459	52.5	2.7	3.8	28.0	2.4	11.9
	平成22年度	825	52.0	1.8	8.1	27.8	2.2	8.1

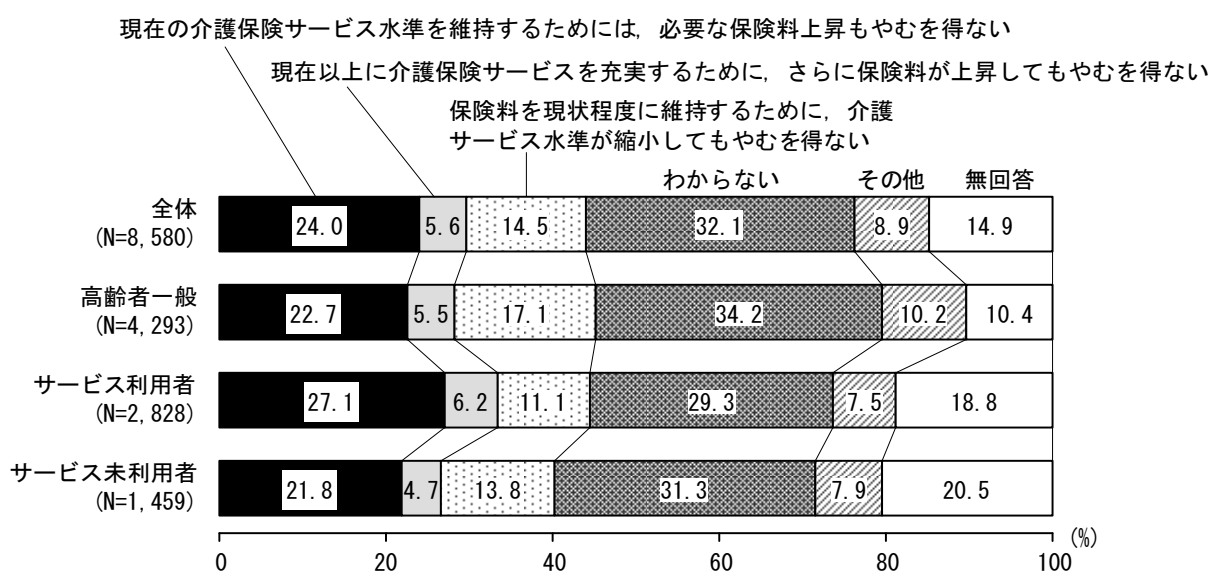
(9) 介護保険料と介護サービスのあり方に関する考え方

問10Q7. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたの考え方に近いものは次のどれですか。〈○は1つ〉

介護保険料と介護サービスのあり方に関する考え方については、全体で「わからない」が32.1%で最も高く、次いで「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」が24.0%、「保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない」が14.5%となっています。

すべての調査で傾向に大きな差異は見られません。

全体を介護保険制度に対する評価別でみると、「現在の介護保険サービス水準を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない」は“大いに評価している”と“多少は評価している”で高くなっています。「保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない」は“あまり評価していない”と“全く評価していない”で高くなっています。



【介護保険制度に対する評価別 介護保険料と介護サービスのあり方に関する考え方】

